

法 学 研 究 科

1. 法学研究科の教育研究上の目的及び人材養成の目的

法律学専攻

本専攻は法学・政治学の研究者の養成、並びに、この素養を身につけた社会人を送り出すことを目的とする。

現代社会では、研究者は自分の専門領域に特化しているだけで足りるものでなく、社会で生起するさまざまな問題を論理的に再構成し、より高度な問題を処理できる実務能力を身につけていなければならない。社会人を積極的に受け入れ、研究者養成とともに、法学・政治学の素養を身につけた人材の養成を目指す。

2. 各専攻のディプロマ・ポリシー

法律学専攻

本課程では、学生が修了時に身につけるべき能力や知識を次のように定めています。法学・政治学研究者の養成と高度の専門的能力を有する職業人および人間性豊かな法律家を養成し、社会に送り出すために、修了要件を満たし論文審査に合格した学生には、これらを身につけた者と認め、学位を授与します。

【博士前期課程】

専攻分野に関する高度な専門知識を修得し、使いこなす能力

【博士後期課程】

専攻分野に関する深い学識と高度な分析力を備え、その学識と分析力を基盤として独創的な課題を設定し、自らそれを解決・展開する能力

3. 各専攻のカリキュラム・ポリシー

法律学専攻

本課程では、ディプロマ・ポリシーの方針に沿って、法律学の諸分野における実定法の研究教育や基礎法・国際法・政治学・比較法などや、グローバル化や環境問題についても研究教育をおこなうよう、以下の趣旨を盛り込んだ科目によってカリキュラムを編成しています。

【博士前期課程】

学部で修得した法学・政治学全般の基礎知識の深化を図り、専攻科目の研究への移行を助け、高度な法的能力および政治的分析力の涵養を目指し、また、社会人については、社会で身につけた知識・経験を専攻科目と関連づけて、専門的視点および分析力の深化を目指す専門科目を置く。

【博士後期課程】

研究者養成を主な目的としながら、既存の法秩序や政治の枠を超えて生起する現代の諸問題の処理能力を養うことに重点を置き、また、社会で生起するさまざまな問題を論理的に再構成し、より高度な問題を処理できる実務能力を涵養する専門科目を置く。

法学専攻 博士前期課程

1. 修了に要する科目, 単位数, 科目数などの要件

【17年次生以降】

(標準修業年限(2年) 修了予定者)

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考(上限, その他)
総単位数	30		
授業科目			
▶必修科目	4		
└前期研究演習Ⅱ	2		M1対象
└前期研究演習Ⅲ	2		M2対象
▶選択必修科目	2		M2対象, 指導教員と協議の上, 「前期研究演習Ⅳ」又は「前期論文演習」のいずれかを履修すること
▶選択科目	24		
└自専攻科目			
研究指導(必修)		4	M1・M2対象, 単位なし, 在学中毎学期履修登録される4科目以上合格すること
修士論文/リサーチペーパー			必要な研究指導を受けた上, 修士論文の審査および試験に合格すること (修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること) ※ただし, リサーチペーパーの提出をもって修士論文に代えることができる。詳細についてはp.167履修上の注意を参照。

(早期修了予定者)

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考(上限, その他)
総単位数	30		
授業科目			
▶必修科目	4		
└前期研究演習Ⅰ	2		M1対象
└前期研究演習Ⅱ	2		M1対象
▶選択科目	26		
└自専攻科目			
研究指導(必修)		4	M1対象, 単位なし, 在学中毎学期履修登録される4科目以上合格すること ただし, 早期修了者については, 在学しない学期分は免除される
修士論文/リサーチペーパー			必要な研究指導を受けた上, 修士論文の審査および試験に合格すること (修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること) ※ただし, リサーチペーパーの提出をもって修士論文に代えることができる。詳細についてはp.168履修上の注意を参照。

【16 年次生以前】

(標準修業年限 (2年) 修了予定者)

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考 (上限, その他)
総単位数	30		
授業科目			
・必修科目	4		
└前期研究演習Ⅱ	2		M1 対象
└前期研究演習Ⅲ	2		M2 対象
・選択必修科目	2		M2 対象, 指導教員と協議の上, 「前期研究演習Ⅳ」又は「前期論文演習」のいずれかを履修すること
・選択科目	24		
└自専攻科目			
研究指導 (必修)			M1・M2 対象, 単位なし, 在学中毎学期履修登録される
修士論文/リサーチペーパー			必要な研究指導を受けた上, 修士論文の審査および試験に合格すること (修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること) ※ただし, リサーチペーパーの提出をもって修士論文に代えることができる。詳細については p. 167 履修上の注意を参照。

(早期修了予定者)

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考 (上限, その他)
総単位数	30		
授業科目			
・必修科目	4		
└前期研究演習Ⅰ	2		M1 対象
└前期研究演習Ⅱ	2		M1 対象
・選択科目	26		
└自専攻科目			
研究指導 (必修)			M1 対象, 単位なし, 在学中毎学期履修登録される
修士論文/リサーチペーパー			必要な研究指導を受けた上, 修士論文の審査および試験に合格すること (修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること) ※ただし, リサーチペーパーの提出をもって修士論文に代えることができる。詳細については p. 168 履修上の注意を参照。

【研究指導スケジュール】

4 月初旬の新入生専攻別ガイダンスにおいて配布される「法学研究科 (博士前期課程) における研究指導スケジュール (2 年修了予定者)」, または「同 (早期修了予定者)」を参照のこと。

【修士論文審査基準】

修士学位論文の位置づけと評価基準

- 1) 修士の学位は, 博士前期課程における履修と研鑽を通じて, 専門的研究者としての能力水準をある程度具え, それを提出論文に充分反映されている場合に, これを授与するものとする (課程「修了」の証明)。また, この学位

は、爾後、学界において研究者としての活動を継続・発展させていくのに必要な能力をある程度具えていると思科される場合に、これを授与するものとする。

2) 修士の学位論文は、主題に関する学界での到達点を適切に理解し、かつこれをさらに発展させるための斬新な視点ないし切り口・分析方法をある程度提示していること、論文全体に一貫性・実証性・独創性が認められ、構成力と表現力において優れていること等が必要である。

【リサーチ・ペーパーの提出要件および審査基準】

提出要件

博士前期課程の学生は、指導教授の承諾を得た上で、修士論文に代えてリサーチ・ペーパーを提出することができる。

リサーチ・ペーパーとして受理されるためには下記の要件を充足する必要がある、その審査も下記の要件を踏まえた観点から実施される。

また、リサーチ・ペーパー提出にかかる一連の取扱いは、「法学研究科法律学専攻博士前期課程の履修等に関する申し合わせ」の関連規定によるものとする。

なお、リサーチ・ペーパーを提出した者は、本研究科博士後期課程入試において、筆記試験の免除を受けることはできない。

審査基準

1. 特定の研究課題に沿った問題の所在が明確にされ、学説、判例、実務ないし実例等の検討がなされ、十分ではないものの自説の展開がなされていること。
2. 特定の研究課題を論じるにあたって必須と思われる基本的な文献が引照されていること。
3. 外国語文献を参照することが望ましいが、比較法的な検討は必ずしも要しないこと。
4. 形式的には、一般的な論文の体裁により作成され、少なくとも1万字を超えていること。

2. 授業科目の編成・単位

科目名 ※(他)：他専攻開講科目	単位数		
	必修	選必	選択
前期研究演習Ⅰ ※注1	2		
前期研究演習Ⅱ	2		
前期研究演習Ⅲ	2		
前期研究演習Ⅳ		2	
前期論文演習		2	
課題研究			1
法哲学研究Ⅰ			2
法哲学研究Ⅱ			2
西洋法制史研究Ⅰ			2
西洋法制史研究Ⅱ			2
外国法研究Ⅱ			2
外国法研究Ⅲ			2
比較法研究Ⅱ			2
憲法研究Ⅰ			2
憲法研究Ⅱ			2
憲法研究Ⅲ			2
憲法研究Ⅳ			2
憲法研究Ⅴ			2
憲法研究Ⅵ			2
行政法研究Ⅰ			2
行政法研究Ⅱ			2
行政法研究Ⅲ			2
行政法研究Ⅳ			2
政治学研究Ⅰ			2
政治学研究Ⅱ			2
GENDER AND POLITICS 1			2
GENDER AND POLITICS 2			2
INTERNATIONAL RELATIONS THEORY			2
INTERNATIONAL MIGRATION			2
民法研究Ⅰ			2
民法研究Ⅱ			2
民法研究Ⅲ			2
民法研究Ⅳ			2
民法研究Ⅴ			2
民法研究Ⅵ			2
民法研究Ⅶ			2
民法研究Ⅷ			2
民法研究Ⅸ			2
民法研究Ⅹ			2
商法研究Ⅰ			2
商法研究Ⅱ			2
商法研究Ⅲ			2
商法研究Ⅳ			2

科目名 ※(他)：他専攻開講科目	単位数		
	必修	選必	選択
商法研究Ⅴ			2
商法研究Ⅵ			2
商法研究Ⅶ			2
民事訴訟法研究Ⅰ			2
民事訴訟法研究Ⅱ			2
民事訴訟法研究Ⅲ			2
刑法研究Ⅰ			2
刑法研究Ⅱ			2
刑法研究Ⅲ			2
刑法研究Ⅳ			2
刑法研究Ⅴ			2
刑法研究Ⅵ			2
刑事訴訟法研究Ⅰ			2
刑事訴訟法研究Ⅱ			2
労働法研究Ⅰ			2
労働法研究Ⅱ			2
経済法研究Ⅰ			2
経済法研究Ⅱ			2
知的財産権法研究Ⅰ			2
知的財産権法研究Ⅱ			2
社会保障法研究Ⅰ			2
社会保障法研究Ⅱ			2
国際法研究Ⅰ			2
国際法研究Ⅱ			2
国際法研究Ⅲ			2
国際法研究Ⅳ			2
国際法研究Ⅴ			2
国際法研究Ⅵ			2
国際経済法研究Ⅰ			2
国際経済法研究Ⅱ			2
国際私法研究Ⅰ			2
国際私法研究Ⅱ			2
国際取引法研究Ⅰ			2
国際取引法研究Ⅱ			2
環境法研究Ⅰ			2
環境法研究Ⅱ			2
環境法研究Ⅲ			2
環境法研究Ⅳ			2
環境法研究Ⅴ			2
環境法研究Ⅵ			2
環境法研究Ⅶ			2
環境法研究Ⅷ			2

科目名 ※(他)：他専攻開講科目	単位数		
	必修	選必	選択
(他)特殊講義(警察活動と法実務) ※注2			1
(他)LAW AND PRACTICE OF INTERNATIONAL BUSINESS TRANSACTIONS ※注2			1
(他)国際取引法の現代的課題 ※注2			2
(他)租税法 I ※注2			2
(他)租税法 II ※注2			2
(他)知的財産権法 I ※注2			2
(他)知的財産権法 II ※注2			2
(他)環境法政策 ※注2			2
(他)環境法の現代的課題 ※注2			2
(他)ビジネス法務演習 ※注2			2
(他)国際経済学研究 1 ※注3			2
(他)国際経済学研究 2 ※注3			2
(他)国際政治経済論研究 1 ※注3			2
(他)国際政治経済論研究 2 ※注3			2
(他)対外政策研究 1 ※注3			2
(他)対外政策研究 2 ※注3			2
(他)比較政治学研究 1 ※注3			2
(他)比較政治学研究 2 ※注3			2
(他)国際関係論 INTERNATIONAL RELATIONS THEORY ※注4			2
(他)主権, 国家, 自由主義 SOVEREIGNTY, NATIONHOOD, LIBERALISM ※注4			2
(他)比較政治学 I COMPARATIVE POLITICS ※注4			2
(他)比較政治学 II DEMOCRACY IN GLOBALIZATION ※注4			2
(他)グローバル政治学 III GLOBAL POLITICS ※注4			4

科目名 ※(他)：他専攻開講科目	単位数		
	必修	選必	選択
(他)マス・コミュニケーション法制特講 I ※注5			2
(他)司法・犯罪心理学特論(司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開) ※注6			2
(他)司法福祉研究 ※注7			2
(他)経営管理論特講 I ※注8			2
(他)財務会計論特講 I ※注8			2
(他)金融論特講(英語) ※注9			4
(他)環境経済学特講 I ※注9			2
(他)環境経済学特講 II ※注9			2
(他)環境政策論 ※注10			2
(他)環境行政論 ※注10			2
(他)国際環境法 ※注10			2

※注1：早期修了予定者のみ対象

※注2：法曹養成専攻開講科目(詳細は法科大学院履修要綱参照, 授業日程・履修中止期間が異なるため, 開講学期の履修登録期間が始まる前に法律学専攻事務室に確認すること)

※注3：国際関係論専攻開講科目

※注4：グローバル社会専攻開講科目(詳細はEnglish-taught GRADUATE PROGRAMS「BULLETIN OF INFORMATION 2020-2021」参照)

※注5：新聞学専攻開講科目

※注6：心理学専攻開講科目

※注7：社会福祉学専攻開講科目

※注8：経営学専攻開講科目

※注9：経済学専攻開講科目

※注10：地球環境学専攻開講科目

上記※3, 5~10の詳細は, 各専攻の履修要綱を確認すること

3. 履修上の注意

(標準修業年限(2年)修了予定者)

(9月修了予定者は4月第2月曜日までに法律学専攻事務室に申し出ること。)

- 1) 「前期研究演習Ⅱ」及び「前期研究演習Ⅲ」の履修登録を行い, 学期末に研究報告書を提出すること。
- 2) 2年次の秋学期においては, 指導教員と協議の上, 「前期研究演習Ⅳ」又は「前期論文演習」のいずれかを履修登録すること。
- 3) 「前期論文演習」の履修登録を予定する者は, 2年次春学期末に開催する「研究報告会」において報告すること。
- 4) 「前期論文演習」を履修登録した者は修士論文を提出し, 「前期研究演習Ⅳ」を履修登録した者はリサーチ・ペーパーを提出すること。ただし, 「前期論文演習」履修登録者であっても, 指導教員の承認を得て, リサーチ・ペーパーの提出をもって修士論文に代えることができる。
- 5) リサーチ・ペーパーは, 上智大学大学院学則第21条に規定する修士論文とみなす。

- 6) 修士論文、又はリサーチ・ペーパーを提出した者は、2年次秋学期末に法学会が開催する「研究報告会」で報告すること。
- 7) 「前期研究演習Ⅱ～Ⅳ」、又は「前期研究演習Ⅱ～Ⅲ」及び「前期論文演習」の6単位を含めて、合計30単位以上を履修すること。
- 8) 「研究指導・課題研究・前期研究演習・前期論文演習」は、指導教員の科目を履修すること。
- 9) 「研究指導」を在籍中（標準修業年限を超えて在籍する者も含む）毎学期受けること。なお、2017年次生以降の学生については、必要な合格科目数も定められている。「1. 修了に要する科目、単位数、科目数などの要件」を参照すること。
- 10) 「課題研究」とは、①常勤で就労する学生のみ履修登録することができ、②博士前期課程在籍中に2単位（1学期1単位）まで取得することができ、③履修登録に際しては、あらかじめ指導教員と問題設定等について相談して研究計画を立て、その了解を得ること。

なお、「課題研究」の履修登録を予定する者は、履修登録期間前までに法律学専攻事務室に*所定用紙を提出すること。

*上記所定用紙は、法律学専攻事務室にて配付。

(早期修了予定者)

- 1) 上智大学大学院学則第21条第3項に規定する1年間の在学期間（早期修了）を希望する者は、指導教員の承認を得て、1年次4月第2月曜日までに、「早期修了申請書」（*所定用紙）を法学研究科委員長（法律学専攻事務室）に届け出ること。なお、本学の法律学専攻博士後期課程進学希望者は、早期修了を希望することができない。同項に規定する「優れた業績を上げた者」とは、修了に必要な修得単位の成績評価のGPAが3.4以上であり、修士論文又はリサーチ・ペーパーが審査委員会によってB以上と評価された者とする。
- 2) 「前期研究演習Ⅰ」、「前期研究演習Ⅱ」の履修登録を行うこと。
- 3) 1年次春学期末に研究報告書を提出し、1年次秋学期末に修士論文又はリサーチ・ペーパーを提出すること。
- 4) リサーチ・ペーパーは、上智大学大学院学則第21条に規定する修士論文とみなすこと。
- 5) 修士論文又はリサーチ・ペーパーを提出した者は、1年次秋学期末に法学会が主催する「研究報告会」で報告すること。
- 6) 「前期研究演習Ⅰ」、「前期研究演習Ⅱ」の4単位を含めて、合計30単位以上を履修すること。
- 7) 「研究指導」を在籍中毎学期受けること。なお、2017年次生以降の学生については、必要な合格科目数も定められている。「1. 修了に要する科目、単位数、科目数などの要件」を参照すること。
- 8) 早期修了の予定を取り消す者については、指導教員の承認を得て、2020年11月16日～11月27日の期間（修士論文題目提出期間）に、「早期修了取消届出書」（*所定用紙）を、法学研究科委員長（法律学専攻事務室）に届け出ること。その者の履修は、上記の標準修業年限（2年）修了予定者に準ずる。
- 9) 「課題研究」とは、①常勤で就労する学生のみ履修登録することができ、②博士前期課程在籍中に2単位（1学期1単位）まで取得することができ、③履修登録に際しては、あらかじめ指導教員と問題設定等について相談して研究計画を立て、その了解を得ること。

なお、「課題研究」の履修登録を予定する者は、履修登録期間前までに法律学専攻事務室に*所定用紙を提出すること。

*上記所定用紙は、法律学専攻事務室にて配付。

4. 開講科目一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他)：他研究科教員 *：非常勤教員	外国語	備考
<必修科目>							
MLLW1114	春	前期研究演習Ⅰ	LAW501-41m00	2	安西明子		M1早期修了予定者対象
MLLW1314	秋	前期研究演習Ⅱ	LAW502-41m00	2	安西明子		M1対象
MLLW1430	春	前期研究演習Ⅲ	LAW503-41m00	2	梅村悠		M2対象(前期研究演習Ⅱを修得済みであること)
MLLW1428	春	前期研究演習Ⅲ	LAW503-41m00	2	桑原勇進		M2対象(前期研究演習Ⅱを修得済みであること)
<選択必修科目>							
MLLW1530	秋	前期研究演習Ⅳ	LAW504-41m00	2	梅村悠		M2対象(前期研究演習Ⅲを修得済みであること)
MLLW1528	秋	前期研究演習Ⅳ	LAW504-41m00	2	桑原勇進		M2対象(前期研究演習Ⅲを修得済みであること)
MLLW1630	秋	前期論文演習	LAW505-41m00	2	梅村悠		M2対象(前期研究演習Ⅲを修得済みであること)
MLLW1628	秋	前期論文演習	LAW505-41m00	2	桑原勇進		M2対象(前期研究演習Ⅲを修得済みであること)
<選択科目>※重複履修可(他専攻開講科目については、各専攻に確認すること)							
MLLW7740	休講△	課題研究	LAW506-41m00	1	法律学専攻各指導教員		M1・M2対象、△履修登録希望者がいる場合、春学期開講
MLLW7750	休講△	課題研究	LAW506-41m00	1	法律学専攻各指導教員		M1・M2対象、△履修登録希望者がいる場合、秋学期開講
MLLW7010	春	法哲学研究Ⅰ(法哲学文献講読)	JUR501-41m00	2	奥田純一郎		隔年開講
MLLW7020	休講	法哲学研究Ⅱ(正義論文献講読)	JUR502-41j00	2			隔年開講
MLLW7030	春	西洋法制史研究Ⅰ (ヨーロッパ近世・近代史)	JUR503-41m00	2	松本尚子		隔年開講
MLLW7040	休講	西洋法制史研究Ⅱ (ヨーロッパ現代史)	JUR504-41m00	2			隔年開講
MLLW7060	休講	外国法研究Ⅱ(英米法文献講読)	JUR505-41m00	2			
MLLW7070	秋	外国法研究Ⅲ (ドイツ法文献講読)	JUR506-41m00	2	松本尚子		
MLLW7090	休講	比較法研究Ⅱ(英米法文献講読)	JUR507-41m00	2			
MLLW7100	春	憲法研究Ⅰ(憲法判例研究)	PBL501-41m00	2	江藤祥平		
MLLW7110	春	憲法研究Ⅱ(憲法解釈理論)	PBL502-41m00	2	江藤祥平		
MLLW7790	春	憲法研究Ⅲ(憲法判例研究)	PBL503-41j00	2	巻美矢紀		
MLLW7120	秋	憲法研究Ⅳ(憲法理論研究)	PBL504-41m00	2	巻美矢紀		
MLLW7130	春	憲法研究Ⅴ(憲法理論研究)	PBL505-41m00	2	矢島基美		
MLLW7140	秋	憲法研究Ⅵ(憲法判例研究)	PBL506-41j00	2	矢島基美		
MLLW7150	春	行政法研究Ⅰ(行政法判例研究)	PBL507-41m00	2	大橋真由美		
MLLW7160	休講	行政法研究Ⅱ(行政法判例研究)	PBL508-41m00	2			
MLLW7170	秋	行政法研究Ⅲ(行政法判例研究)	PBL509-41j00	2	小幡純子		
MLLW7180	休講	行政法研究Ⅳ(行政法判例研究)	PBL510-41j00	2			
MLLW7190	休講	政治学研究Ⅰ (政治経済文献講読)	POL507-41m00	2			
MLLW7200	休講	政治学研究Ⅱ (リサーチデザイン)	POL508-41m00	2			
MLLW7211	春	GENDER AND POLITICS 1	POL509-41e00	2	MIURA Mari	○	

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他)：他研究科教員 *：非常勤教員	外国語	備考
MLLW7221	秋	GENDER AND POLITICS 2	POL510-41e00	2	MIURA Mari	○	
MLLW7231	春	INTERNATIONAL RELATIONS THEORY	POL511-41e00	2	OKABE Midori	○	
MLLW7241	秋	INTERNATIONAL MIGRATION	POL512-41e00	2	OKABE Midori	○	
MLLW7250	秋	民法研究Ⅰ(物権法・債権法の重要論点)	CVL501-41j00	2	小山 泰史		
MLLW7260	秋	民法研究Ⅱ(ドイツ民法文献講読)	CVL502-41m00	2	大塚 智見		
MLLW7270	春	民法研究Ⅲ(英米契約法・信託法の検討)	CVL503-41m00	2	小山 泰史		
MLLW7280	春	民法研究Ⅳ(フランス民法文献講読)	CVL504-41m00	2	大塚 智見		
MLLW7290	春	民法研究Ⅴ(債権法改正の諸問題(共同担保法に関する諸問題その1))	CVL505-41m00	2	佐藤 岩昭		
MLLW7300	秋	民法研究Ⅵ(債権法改正の諸問題(共同担保法に関する諸問題その2))	CVL506-41m00	2	佐藤 岩昭		
MLLW7310	春	民法研究Ⅶ(物権法改正の諸問題)	CVL507-41j00	2	伊藤 栄寿		
MLLW7320	秋	民法研究Ⅷ(民法判例の研究)	CVL508-41j00	2	伊藤 栄寿		
MLLW7330	秋	民法研究Ⅸ(親族法の諸問題)	CVL509-41j00	2	羽生 香織		
MLLW7340	秋	民法研究Ⅹ(相続法の諸問題)	CVL510-41j00	2	羽生 香織		
MLLW7350	春	商法研究Ⅰ(保険法研究)	CML501-41m00	2	梅村 悠		
MLLW7360	秋	商法研究Ⅱ(商事判例研究)	CML502-41j00	2	梅村 悠		
MLLW7370	春	商法研究Ⅲ(会社法判例研究)	CML503-41j00	2	土田 亮		
MLLW7380	休講	商法研究Ⅳ(ドイツ会社法判例講読)	CML504-41m00	2			
MLLW7820	休講	商法研究Ⅴ(ドイツ会社法文献講読)	CML505-41m00	2			
MLLW7830	春	商法研究Ⅵ(英米商事法研究Ⅰ)	CML506-41m00	2	梅村 悠		
MLLW7381	秋	商法研究Ⅶ(英米商事法研究Ⅱ)	CML507-41m00	2	梅村 悠		
MLLW7390	秋	民事訴訟法研究Ⅰ(民事手続法の理論研究)	CPL501-41j00	2	原 強		
MLLW7400	秋	民事訴訟法研究Ⅱ(倒産処理法の判例研究)	CPL502-41m00	2	田頭 章一		
MLLW7410	春	民事訴訟法研究Ⅲ(民事執行法・保全法の判例研究)	CPL503-41j00	2	安西 明子		
MLLW7920	春	刑法研究Ⅰ(刑法における重要判例の検討①)	CRL501-41j00	2	佐藤 結美		
MLLW7930	秋	刑法研究Ⅱ(刑法における重要判例の検討②)	CRL502-41j00	2	佐藤 結美		
MLLW7940	春	刑法研究Ⅲ(刑法理論の検討)	CRL503-41j00	2	伊藤 涉		

登録 コード	開 講 期	科目名	ナンバ リング	単 位 数	担当教員名 ※(他)：他研究科教員 *：非常勤教員	外 国 語	備考
MLLW7950	秋	刑法研究Ⅳ (現代社会における刑法の機能)	CRL504-41j00	2	伊 藤 涉		
MLLW7960	春	刑法研究Ⅴ (重要論点の検討①)	CRL505-41j00	2	照 沼 亮 介		
MLLW7970	秋	刑法研究Ⅵ (重要論点の検討②)	CRL506-41j00	2	照 沼 亮 介		
MLLW7980	春	刑事訴訟法研究Ⅰ (アメリカ刑事手続法入門①)	CRL507-41m00	2	長 沼 範 良		
MLLW7990	秋	刑事訴訟法研究Ⅱ (アメリカ刑事手続法入門②)	CRL508-41m00	2	長 沼 範 良		
MLLW7440	春	労働法研究Ⅰ(雇用関係法)	SCL501-41m00	2	富 永 晃 一		
MLLW7450	休講	労働法研究Ⅱ(労使関係法)	SCL502-41m00	2			
MLLW7460	春	経済法研究Ⅰ(独占禁止法)	SCL503-41m00	2	楠 茂 樹		隔年開講
MLLW7470	休講	経済法研究Ⅱ(公共調達と法)	SCL504-41m00	2			隔年開講
MLLW7480	春	知的財産権法研究Ⅰ(著作権法)	SCL505-41m00	2	駒 田 泰 士		
MLLW7490	秋	知的財産権法研究Ⅱ (特許・商標法)	SCL506-41m00	2	駒 田 泰 士		
MLLW7660	春	社会保障法研究Ⅰ (社会保障法政策研究)	SCL507-41m00	2	永 野 仁 美		
MLLW7670	秋	社会保障法研究Ⅱ (社会保障法判例研究)	SCL508-41m00	2	永 野 仁 美		
MLLW7500	春	国際法研究Ⅰ(国際法総論)	INL501-41j00	2	江 藤 淳 一		
MLLW7510	秋	国際法研究Ⅱ(国際紛争処理)	INL502-41j00	2	江 藤 淳 一		
MLLW7520	春	国際法研究Ⅲ(判例研究)	INL503-41m00	2	兼 原 敦 子		
MLLW7530	秋	国際法研究Ⅳ(文献講読)	INL504-41m00	2	兼 原 敦 子		
MLLW7780	秋	国際法研究Ⅴ(海洋法研究)	INL507-41j00	2	堀 口 健 夫		
MLLW7800	休講	国際法研究Ⅵ(国際環境法研究)	INL508-41j00	2			
MLLW7560	春	国際経済法研究Ⅰ (WTO判例研究1)	INL505-41m00	2	川 瀬 剛 志		
MLLW7570	秋	国際経済法研究Ⅱ (WTO判例研究2)	INL506-41m00	2	川 瀬 剛 志		
MLLW7600	休講	国際私法研究Ⅰ(比較国際私法)	PIL501-41m00	2			
MLLW7610	秋	国際私法研究Ⅱ(比較国際民事訴訟 法)	PIL502-41m00	2	出 口 耕 自		
MLLW7630	春	国際取引法研究Ⅰ (国際取引法文献講読1)	PIL503-41m00	2	森 下 哲 朗		
MLLW7640	秋	国際取引法研究Ⅱ (国際取引法文献講読2)	PIL504-41m00	2	森 下 哲 朗		
MLLW7680	休講	環境法研究Ⅰ (住生活環境法研究)	ENL501-41j00	2			
MLLW7690	春	環境法研究Ⅱ(環境法理論研究)	ENL502-41j00	2	北 村 喜 宣		
MLLW7700	春	環境法研究Ⅲ(環境法の基礎理論)	ENL503-41j00	2	桑 原 勇 進		
MLLW7710	休講	環境法研究Ⅳ(環境法の基本原則)	ENL504-41j00	2			
MLLW7720	休講	環境法研究Ⅴ (まちづくり、観光と法)	ENL505-41j00	2			
MLLW7730	秋	環境法研究Ⅵ(環境判例研究)	ENL506-41j00	2	越 智 敏 裕		
MLLW7890	休講	環境法研究Ⅶ(環境法事例研究)	ENL507-41m00	2			

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他)：他研究科教員 *：非常勤教員	外国語	備考
MLLW7891	秋	環境法研究Ⅷ(環境法文献講読)	ENL508-41m00	2	筑紫圭一		
他専攻より借り入れている科目(自専攻開講科目扱い)については、p.166「2. 授業科目の編成・単位」に記載							
<修士論文>							
MLLW9020	秋	修士論文/リサーチペーパー	LAW6699-41m00	0	法学専攻各指導教員		M2(M1早期修了予定者含む)対象
MLLW9021	春	修士論文/リサーチペーパー	LAW6699-41m00	0	法学専攻各指導教員		M2(9月修了予定者)対象

5. 研究指導一覧表

ナンバリング	担当教員名	備考
LAW5599-41m00	出口耕自	
	梅村悠	
	桑原勇進	
	矢島基美	
	安西明子	

法学専攻 博士後期課程

1. 修了に要する科目, 単位数, 科目数などの要件

【17年次生以降】

要件項目名	必要単位数	必要科目数	備考 (上限, その他)
総単位数	20		
授業科目			
▶必修科目	12		
└後期論文演習Ⅰ－A	2		D 1 対象
└後期論文演習Ⅰ－B	2		D 1 対象
└後期論文演習Ⅱ－A	2		D 2 対象
└後期論文演習Ⅱ－B	2		D 2 対象
└後期論文演習Ⅲ－A	2		D 3 対象
└後期論文演習Ⅲ－B	2		D 3 対象
▶選択科目	8		
研究指導 (必修)		6	D 1・D 2・D 3 対象, 単位なし, 在学中毎学期履修登録される 6科目以上合格すること
博士論文			必要な研究指導を受けた上, 博士論文の審査および試験に合格すること

【16年次生以前】

要件項目名	必要単位数	必要科目数	備考 (上限, その他)
総単位数	20		
授業科目			
▶必修科目	12		
└後期論文演習Ⅰ－A	2		D 1 対象
└後期論文演習Ⅰ－B	2		D 1 対象
└後期論文演習Ⅱ－A	2		D 2 対象
└後期論文演習Ⅱ－B	2		D 2 対象
└後期論文演習Ⅲ－A	2		D 3 対象
└後期論文演習Ⅲ－B	2		D 3 対象
▶選択科目	8		
研究指導 (必修)			D 1・D 2・D 3 対象, 単位なし, 在学中毎学期履修登録される
博士論文			必要な研究指導を受けた上, 博士論文の審査および試験に合格すること

【研究指導スケジュール】

4月初旬の新入生専攻別ガイダンスにおいて配布される①「法学研究科（博士後期課程）における研究指導スケジュール」、②「博士論文（課程博士）の作成・提出要領」を参照のこと（①については、2019年度入学生から適用）。

【博士論文審査基準】

博士学位論文の位置づけと評価基準

- 1) 博士の学位は、博士後期課程において履修と研鑽を通じて、専門的研究者としての能力水準を十分に具え、それが提出論文に充分反映されている場合に、これを授与するものとする（課程「修了」の証明）。また、この学位は、爾後、学界において研究者としての活動を継続・発展させていくに必要な能力を十分に具えていると思料される場合に、これを授与するものとする。
- 2) 博士の学位論文は、主題に関する学界での到達点を適切に理解し、かつこれをさらに発展させるための斬新な視点ないし切り口・分析方法を十分に提示していること、論文全体に一貫性・実証性・独創性が認められ、構成力と表現力において優れていること等が必要である。

2. 授業科目の編成・単位

科目名 ※(他)：他専攻開講科目	単位数		
	必修	選必	選択
<必修科目>			
後期論文演習Ⅰ-A	2		
後期論文演習Ⅰ-B	2		
後期論文演習Ⅱ-A	2		
後期論文演習Ⅱ-B	2		
後期論文演習Ⅲ-A	2		
後期論文演習Ⅲ-B	2		
<選択科目>			
法学政治学特殊研究Ⅰ			2
法学政治学特殊研究Ⅱ			2
法学政治学特殊研究Ⅲ			2
法学政治学特殊研究Ⅳ			2
選択科目は上記4科目および法学専攻前期課程の選択科目（【課題研究】除く）から履修すること（p.169～p.172参照）※重複履修可（他専攻開講科目については、各専攻に確認すること）			

3. 履修上の注意

- 1) 「後期論文演習Ⅰ-A」、「後期論文演習Ⅰ-B」、「後期論文演習Ⅱ-A」、「後期論文演習Ⅱ-B」、「後期論文演習Ⅲ-A」、「後期論文演習Ⅲ-B」の履修登録を行い、かつ各年度末には研究報告書を提出すること。
- 2) 「後期論文演習Ⅰ-A」、「後期論文演習Ⅰ-B」、「後期論文演習Ⅱ-A」、「後期論文演習Ⅱ-B」、「後期論文演習Ⅲ-A」、「後期論文演習Ⅲ-B」（12単位）を含めて20単位以上を履修すること。
- 3) 「研究指導・後期論文演習」は、指導教員の科目を履修すること。
- 4) 「研究指導」を在籍中（標準修業年限を超えて在籍する者も含む）毎学期受けること。なお、2017年次生以降の学生については、必要な合格科目数も定められている。「1. 修了に要する科目、単位数、科目数などの要件」を参照すること。
- 5) 後期課程の単位を取得したが学位論文を提出することなくその課程を満期退学しようとする者は、それまでの研究成果をまとめて論文として提出し、研究科委員会の承認を受けること。
- 6) 4月初旬の新入生専攻別ガイダンスにおいて配布される①「法学研究科（博士後期課程）における履修の流れ等」、②「博士論文（課程博士）の作成・提出要領」を参照のこと（①については、2019年度入学生から適用）。

4. 開講科目一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他)：他研究科教員 *：非常勤教員	外国語	備考
<必修科目>							
	休講	後期論文演習Ⅰ-A	LAW801-41m00	2			D1対象
	休講	後期論文演習Ⅰ-B	LAW802-41m00	2			D1対象(後期論文演習Ⅰ-Aを修得済みであること)
DLLW3746	春	後期論文演習Ⅱ-A	LAW803-41m00	2	出口耕自		D2対象(後期論文演習Ⅰ-Bを修得済みであること)
DLLW3846	秋	後期論文演習Ⅱ-B	LAW804-41m00	2	出口耕自		D2対象(後期論文演習Ⅱ-Aを修得済みであること)
	休講	後期論文演習Ⅲ-A	LAW805-41m00	2			D3対象(後期論文演習Ⅱ-Bを修得済みであること)
	休講	後期論文演習Ⅲ-B	LAW806-41m00	2			D3対象(後期論文演習Ⅲ-Aを修得済みであること)
<選択科目>							
DLLW7000	秋	法学政治学特殊研究Ⅰ (EU国際私法)	LAW807-41m00	2	出口耕自		D1・D2・D3対象
DLLW7010	春	法学政治学特殊研究Ⅱ (アメリカ環境法研究)	LAW808-41j00	2	北村喜宣		D1・D2・D3対象
DLLW7020	秋	法学政治学特殊研究Ⅲ (比較環境法研究)	LAW809-41j00	2	北村喜宣		D1・D2・D3対象
DLLW7030	春	法学政治学特殊研究Ⅳ (ジェンダー政治学における方法論)	LAW810-41m00	2	三浦まり		D1・D2・D3対象
上記4科目以外の選択科目については、p.174「2. 授業科目の編成・単位」に記載							

5. 研究指導一覧表

ナンバリング	担当教員名	備考
LAW8899-41m00	奥田純一郎	
	北村喜宣	
	出口耕自	

経済学研究科

経済学専攻

経営学専攻

1. 経済学研究科の教育研究上の目的及び人材養成の目的

経済学・経営学に関する深い学識を基礎に、実的な応用能力を有する職業専門家、深い洞察力を備えた高い水準の研究者を育成する。

前期課程修了者には、専門知識を活かして、研究やコンサルティングに従事したり、企業実務の第一線で活躍する高度専門職業人となることが期待される。

後期課程修了者には、学術・研究機関において教育・研究に従事することが期待される。

2. 各専攻のディプロマ・ポリシー

経済学専攻

【博士前期課程】

本課程では、学生が修了時に身につけるべき能力や知識を次のように定めています。修了要件を満たし論文審査に合格すれば、これらを身につけた者と認め、学位を授与します。

1. 経済を、理論的、実証的、歴史的に分析する力
2. 現代社会が直面する事象や問題について経済学の知識を活用し論理的に思考する力
3. データ処理・分析を通じてデータに潜む情報を表現する力

【博士後期課程】

本課程では、学生が修了時に身につけるべき能力や知識を次のように定めています。修了要件を満たし論文審査に合格すれば、これらを身につけた者と認め、学位を授与します。

1. 自ら選んだ専攻分野で専門家としての能力を深め、高める能力
2. 学術性の高い研究課題を設定し、経済学の適切な枠組みを用いて考察・分析を行う力
3. 自立した研究者として独自の研究を遂行し、研究で得た知見や洞察を用いて世界や社会の発展に貢献する力

経営学専攻

【博士前期課程】

本課程では、学生が修了時に身につけるべき能力や知識を次のように定めています。修了要件を満たし論文審査に合格すれば、これらを身につけた者と認め、学位を授与します。

1. 経営学、マーケティング論、会計学あるいはこれらの周辺領域から選択された少なくとも一つの専門分野を深く理解する力
2. 本学の精神に基づき、世界の人々の生活向上や世界の企業のさらなる繁栄に寄与する独創的、先進的研究を行う力

【博士後期課程】

本課程では、学生が修了時に身につけるべき能力や知識を次のように定めています。修了要件を満たし論文審査に合格すれば、これらを身につけた者と認め、学位を授与します。

1. 学術性の高い研究課題を設定し、経営学、マーケティング論、会計学の適切な枠組みを用いて考察・分析を行う力
2. 自立した研究者として独自の研究を遂行し、研究で得た知見や洞察を用いて世界や社会の発展に貢献する力

3. 各専攻のカリキュラム・ポリシー

経済学専攻

【博士前期課程】

本課程では、ディプロマ・ポリシーに沿って、1年次のコースワークで経済学の理論や分析手法を修得し、2年次では指導・審査グループの助言のもとでテーマを設定し学位論文を作成するよう、以下の趣旨を盛り込んだ科目によってカリキュラムを編成しています。

1. 1年次コースワークでは、基礎科目である「マイクロ経済学特講Ⅰ」「マクロ経済学特講Ⅰ」「計量経済学特講Ⅰ」および、「論文演習Ⅰ（基礎）」を必修科目とし、選択科目では各自の研究関心に応じて応用経済学の科目を開設する。
2. 「マイクロ経済学特講Ⅰ」「マクロ経済学特講Ⅰ」では、経済学の理論や分析手法を学び、「計量経済学特講Ⅰ」では、数量的分析手法を修得する。また、「論文演習Ⅰ（基礎）」や「選択科目」では、最新の研究動向を参考にしながら、現代社会が直面する事象や課題をどのような経済学的視点から分析できるのかを学ばせる。
3. 2年次では、論文テーマの設定や考察・分析枠組みの選択等について、指導教員を中心とした3人の教員から構成される審査・指導グループにより学位論文作成を指導する。
4. 学位論文審査では、研究課題を経済学の適切な枠組みにより分析し、学術的な位置づけを明確にしながら論理的に記述できているかを問う。

【博士後期課程】

本課程では、ディプロマ・ポリシーの達成を目的として、コースワークで経済学の高度な理論や分析手法を修得し、「研究指導」により博士論文作成の指導を受け、学内セミナーでの研究報告により学位論文の完成度を高めるよう、以下の趣旨を盛り込んだ科目によってカリキュラムを編成しています。

1. 「研究指導」を必修科目とし、博士論文のテーマ設定や分析手法の選択等について指導を行う。
2. コースワークとして理論経済学、応用経済学、経済統計の分野の科目を選択必修科目として開講する。
3. 学内セミナーで研究報告し、指導教員をはじめ他の教員からも助言を受け、論文の完成度を高める。
4. 研究成果の一部が査読付き専門雑誌へ掲載されるように指導を行う。
5. 学位論文審査では、独自の学術的価値を有するか、自立した研究者として研究遂行能力があるか等を問う。

経営学専攻

【博士前期課程】

本課程では、ディプロマ・ポリシーに沿って、本学の精神を基礎として個々人の能力に沿い、個性を活かした成長を目指すよう、以下の趣旨を盛り込んだ科目によってカリキュラムを編成しています。

1. 経営学、マーケティング論、会計学の各分野における標準的科目を配置する。
2. 少人数クラスにおいて、履修している学生の研究テーマや理解度を勘案しながら講義する。
3. 基礎と応用のバランス講義内容は、理論構築の基礎となる調査研究方法論（統計や社会調査技法）から、基礎的理論、現実の経営現象への応用まで広範囲にわたり、基礎と応用のバランスを考慮する。
4. 伝統的・標準的な文献講読タイプだけでなく、現実の事例に基づくケース・ディスカッション、データ分析の実習など多様な講義形式を科目特性や講義内容に応じて開設する。
5. 論文テーマの設定、その分析枠組みの選択、分析・考察および論文作成の各段階において、指導教員を中心とした3人の教員から構成される審査・指導グループが指導する。

【博士後期課程】

本課程では、ディプロマ・ポリシーに沿って、経営学、マーケティング論、会計学あるいはこれらの周辺領域から選択された研究課題に対する知見の深まりとその分析能力の高度化を目指すよう、以下の趣旨を盛り込んだ科目によってカリキュラムを編成しています。

1. 指導教員による研究指導を通じて、理論を基礎とする現象分析や理論の現実への応用を可能とする高度な研究能力を涵養する。
2. 会計学、マーケティング論、経営学の分野の科目を開設する。
3. 国内あるいは海外の学会での発表、国内外の学術雑誌への論文投稿を推奨する。

経済学専攻 博士前期課程

1. 修了に要する科目, 単位数, 科目数などの要件

【17年次生以降】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限, その他）
総単位数	30		
▶必修科目	8		
└マイクロ経済学特講 I	2		
└マクロ経済学特講 I	2		
└計量経済学特講 I	2		
└論文演習 I（基礎）	2		
▶選択科目	22		
└自専攻科目			
└自研究科他専攻科目			
└委託聴講科目			10単位まで修了に必要な単位として認められる。
研究指導（必修）		4	単位なし, 在学中毎学期登録される。 4科目以上合格すること。 ただし, 早期修了者については, 在学しない学期分は免除される。
修士論文			必要な研究指導を受けた上, 修士論文の審査および試験に合格すること。 (修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること。)

【研究指導スケジュール】

事項	期日	対象	備考
研究論文コースへの変更届の提出	3月末まで	M1	研究論文コースへ変更を希望する学生のみ提出が必要。
研究計画書の提出	5月上旬	M2	修士論文を提出する年度に提出すること。
修士論文中間発表会	春学期末	M2	修士論文を提出する年度に実施する。
修士論文の履修登録	9月下旬 ～10月上旬	M2	履修登録期間中に各自で履修登録を行うこと。
修士論文・論文要旨の提出	1月中旬	M2	
論文審査・口述試験	秋学期末	M2	

※ 書式や提出期限に係る詳細は、4月実施の専攻ガイダンスで配布する「修士論文提出・審査の手順および注意事項」を参照のこと。

※ 9月修了希望者は、上記に係る期日を別途指定するため、履修登録前に必ず指導教員に連絡をとり、スケジュール等詳細について確認すること。

【修士論文審査基準】

- 1) 指導・審査グループと協議の上、研究課題が明確に設定されていること。
- 2) 研究課題を考察・分析するための枠組みが適切であること。
- 3) 先行研究が適切に引用され、研究内容の学術的な位置づけが明確であること。
- 4) 研究内容が明確かつ論理的に記述されていること。
- 5) 経済学の当該専門分野に関する深い理解に基づき、社会で生じる事象や問題を考察・分析したものであること。

2. 授業科目の編成・単位

科目名 ※(他)：他専攻開講科目	単位数		
	必修	選必	選択
ミクロ経済学特講 I	2		
ミクロ経済学特講 II			2
マクロ経済学特講 I	2		
マクロ経済学特講 II			2
計量経済学特講 I	2		
計量経済学特講 II			2
論文演習 I (基礎)	2		
論文演習 II (応用)			2
プレゼンテーションの技術 I			2
プレゼンテーションの技術 II			2
公共経済学特講 I			2
公共経済学特講 II			2
国際貿易論特講 I			2
国際貿易論特講 II			2
財政学特講 I			2
財政学特講 II			2
産業組織論特講 I			2
産業組織論特講 II			2
環境経済学特講 I			2
環境経済学特講 II			2
金融論特講			4
貨幣とマクロ経済特講 I			2
貨幣とマクロ経済特講 II			2

科目名 ※(他)：他専攻開講科目	単位数		
	必修	選必	選択
労働経済学特講 I			2
労働経済学特講 II			2
統計学特講 I			2
統計学特講 II			2
国際経済史特講			2
農業経済学特講			2
厚生経済学特講 I			2
厚生経済学特講 II			2
開発経済学特講 I			2
開発経済学特講 II			2
日本経済論特講 I			2
日本経済論特講 II			2
HEALTH ECONOMICS I			2
HEALTH ECONOMICS II			2
MONETARY ECONOMICS I			2
MONETARY ECONOMICS II			2
数理経済分析特講 I			2
数理経済分析特講 II			2
(他) 途上国の環境と開発			2

3. 履修上の注意

- 1) 修了要件に必要な必修科目 8 単位を含む 30 単位以上を修得し、指導教員の指導のもとに修士論文を作成・提出することが必要である。
- 2) 「研究指導 (必修)」を在学中毎学期受けること。なお、必要な合格科目数も定められているので、「1. 修了に要する科目、単位数、科目数などの要件」を参照すること。
- 3) 修士論文の履修登録については、論文を提出する学期の履修登録期間に必ず登録をすること。
- 4) 年度初めの専攻ガイダンスで「研究指導」「修士論文作成について」説明をおこなうので、必ず出席のこと。

(早期修了希望者)

上智大学大学院学則第 21 条に基づいて、経済学研究科経済学専攻および経営学専攻の博士前期課程における早期修了について、以下のように定められている。

- 1) 早期修了とは、経済学研究科博士前期課程に 1 年在学した者のうち、所定の手続を経て、1 年次終了時をもって修了することである。
- 2) 早期修了の認定を受けるには、次に掲げる要件を満たしていること。
 - (ア) 本人が早期修了を希望すること。
 - (イ) 早期修了時において、修了に必要な履修上の要件をすべて満たし、所定の授業科目の単位をすべて取得し、かつ、その成績評価が GPA3.8 以上であること。
 - (ウ) 修士論文の評価が A であること。
- 3) 早期修了を希望する者は、早期修了申請書 (書式自由) に指導教員の承認印を受けて、これを所属専攻主任・経済学研究科委員長宛に提出すること。なお、早期修了申請書の提出は、1 年次春学期の履修登録前までに行うこと。

4) 申請取り消しを希望する場合は、1 年次秋学期の履修中止期間中に、早期修了申請取消願書（書式自由）に指導教員の承認印を受けて、これを所属専攻主任・経済学研究科委員長宛に提出すること。

4. 開講科目一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他)：他専攻教員 *：非常勤教員	外国語	備考
MEEC1010	春	ミクロ経済学特講 I	ECN501-55j00	2	堀江哲也		
MEEC1020	春	マクロ経済学特講 I	ECN503-55j00	2	中里透		
MEEC1030	春	計量経済学特講 I	ECN513-55j00	2	南橋尚明		
MEEC7130	春	公共経済学特講 I	ECN507-55j00	2	近藤広紀		
MEEC7150	春	国際貿易論特講 I	ECN511-55j00	2	蓬田守弘		
MEEC7190	春	金融論特講	ECN537-55e00	4	川西論	○	
MEEC7220	春	貨幣とマクロ経済特講 I	ECN505-55j00	2	竹田陽介		
MEEC7240	春	労働経済学特講 I	ECN517-55j00	2	出島敬久		
MEEC7280	春	統計学特講 I	ECN515-55j00	2	竹内明香		
MEEC7460	春	国際経済史特講	ECN527-55j00	2	倉田正充		
MEEC7563	春	数理経済分析特講 I	ECN540-55j00	2	來島愛子		
MEEC7380	春	厚生経済学特講 I	ECN521-55j00	2	釜賀浩平		
MEEC7480	春	開発経済学特講 I	ECN531-55j00	2	樋口裕城		
MEEC7520	春	HEALTH ECONOMICS I	ECN533-55e00	2	本田文子	○	2018医療経済学特講 I と同一科目。
MEEC7561	春	MONETARY ECONOMICS I	ECN535-55e00	2	SCHLEGL Matthias	○	
P 185参照	春	論文演習 I (基礎)	ECN538-55j00	2	経済学専攻各指導教員		M 1 対象
P 185参照	春	プレゼンテーションの技術 I	ECN601-55j00	2	経済学専攻各指導教員		M 2 対象
MEEC7010	秋	ミクロ経済学特講 II	ECN502-55j00	2	蓬田守弘		
MEEC7020	秋	マクロ経済学特講 II	ECN504-55j00	2	近藤広紀		
MEEC7030	秋	計量経済学特講 II	ECN514-55j00	2	竹内明香		
MEEC7370	秋	産業組織論特講 II	ECN520-55j00	2	青木研		
MEEC7410	秋	環境経済学特講 II	ECN524-55j00	2	堀江哲也		
MEEC7230	秋	貨幣とマクロ経済特講 II	ECN506-55j00	2	竹田陽介		
MEEC7250	秋	労働経済学特講 II	ECN518-55j00	2	出島敬久		
MEEC7470	秋	農業経済学特講	ECN528-55j00	2	倉田正充		
MEEC7564	秋	数理経済分析特講 II	ECN541-55j00	2	來島愛子		
MEEC7390	秋	厚生経済学特講 II	ECN522-55j00	2	釜賀浩平		
MEEC7490	秋	開発経済学特講 II	ECN532-55j00	2	樋口裕城		
MEEC7510	秋	日本経済論特講 II	ECN530-55j00	2	南橋尚明	○	
MEEC7530	秋	HEALTH ECONOMICS II	ECN534-55e00	2	本田文子	○	2018医療経済学特講 II と同一科目。
MEEC7562	秋	MONETARY ECONOMICS II	ECN536-55e00	2	SCHLEGL Matthias	○	
P 185参照	秋	論文演習 II (応用)	ECN539-55j00	2	経済学専攻各指導教員		M 1 対象
P 185参照	秋	プレゼンテーションの技術 II	ECN602-55j00	2	経済学専攻各指導教員		M 2 対象
MEEC9010	秋	修士論文	ECN699-55j00	0	経済学専攻各指導教員		
MGGE7200	秋	途上国の環境と開発	ENV609-94j00	2	(他)ブテンカラムジョンジョセフ		(他)地球環境学研究科, 隔年開講
MEEC7140	休	公共経済学特講 II	ECN508-55j00	2			
MEEC7160	休	国際貿易論特講 II	ECN512-55j00	2			
MEEC7170	休	財政学特講 I	ECN509-55j00	2			
MEEC7180	休	財政学特講 II	ECN510-55j00	2			
MEEC7360	休	産業組織論特講 I	ECN519-55j00	2			
MEEC7400	休	環境経済学特講 I	ECN523-55j00	2			
MEEC7290	休	統計学特講 II	ECN516-55j00	2			
MEEC7500	休	日本経済論特講 I	ECN529-55j00	2			

論文演習（Ⅰ・Ⅱ），プレゼンテーションの技術（Ⅰ・Ⅱ） 登録コード一覧

科目名・対象/ 開講期 指導教員	論文演習Ⅰ（基礎） M1／春 登録コード	論文演習Ⅱ（応用） M1／秋 登録コード	プレゼンテーションの技術Ⅰ M2／春 登録コード	プレゼンテーションの技術Ⅱ M2／秋 登録コード
竹田 陽介	MEEC1101	MEEC7701	MEEC7801	MEEC7901
出島 敬久	MEEC1102	MEEC7702	MEEC7802	MEEC7902
青木 研	MEEC1104	MEEC7704	MEEC7804	MEEC7904
中里 透	MEEC1105	MEEC7705（休講）	MEEC7805	MEEC7905（休講）
川西 諭	MEEC1106	MEEC7706	MEEC7806	MEEC7906
蓬田 守弘	MEEC1107	MEEC7707	MEEC7807	MEEC7907
近藤 広紀	MEEC1108	MEEC7708	MEEC7808	MEEC7908
來島 愛子	MEEC1109	MEEC7709	MEEC7809	MEEC7909
竹内 明香	MEEC1110	MEEC7710	MEEC7810	MEEC7910
釜賀 浩平	MEEC1112	MEEC7712	MEEC7812	MEEC7912
倉田 正充	MEEC1114	MEEC7714	MEEC7814	MEEC7914
堀江 哲也	MEEC1116	MEEC7716	MEEC7816	MEEC7916
南橋 尚明	MEEC1117	MEEC7717	MEEC7817	MEEC7917
本田 文子	MEEC1118	MEEC7718	MEEC7818	MEEC7918
樋口 裕城	MEEC1115	MEEC7715	MEEC7819	MEEC7919

5. 研究指導一覧表

ナンバリング	担当教員名	備考
ECN599-55j00	出島 敬久	
	竹田 陽介	
	青木 研	
	中里 透	休講（秋）
	川西 諭	
	蓬田 守弘	
	近藤 広紀	
	來島 愛子	
	竹内 明香	
	釜賀 浩平	
	堀江 哲也	
	南橋 尚明	
	本田 文子	
	倉田 正充	
樋口 裕城		

経済学専攻 博士後期課程

1. 修了に要する科目, 単位数, 科目数などの要件

【18年次生以降】

要件項目名	必要単位数	必要科目数	備考（上限, その他）
総単位数	6		
・必修科目			
・選択必修科目	6		理論経済学・応用経済学・経済統計の3コースの中から1コースを選択する。
研究指導（必修）		6	単位なし, 在学中毎学期登録される。 6科目以上合格すること。
博士論文			必要な研究指導を受けた上, 博士論文の審査および試験に合格すること。

【17年次生】

要件項目名	必要単位数	必要科目数	備考（上限, その他）
総単位数			
・必修科目			
・選択科目			
研究指導（必修）		6	単位なし, 在学中毎学期登録される。 6科目以上合格すること。
博士論文			必要な研究指導を受けた上, 博士論文の審査および試験に合格すること。

【16年次生以前】

要件項目名	必要単位数	必要科目数	備考（上限, その他）
総単位数			
・必修科目			
・選択科目			
研究指導（必修）			単位なし, 修業年数にかかわらず, 在学中は毎学期登録される。
博士論文			必要な研究指導を受けた上, 博士論文の審査および試験に合格すること。

【研究指導スケジュール】

年度初めの専攻ガイダンスで「研究指導」「博士論文作成について」説明をおこなうので, 必ず出席のこと。
なお, 「3. 履修上の注意」を参照すること。

【博士論文審査基準】

- 1) 学術性の高い研究課題が設定されていること。
- 2) 研究課題を考察・分析するための枠組みが適切であること。
- 3) 先行研究が適切に引用され、研究内容の学術的な位置づけが明確であること。
- 4) 研究内容が明確かつ論理的に記述されていること。
- 5) 経済学の当該専門分野において、独自の学術的貢献を有する研究内容であること。
- 6) 執筆者が自立的研究者としての研究遂行能力を有することを証するものであること。

2. 授業科目の編成・単位

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
【理論経済学コース】			
理論経済学特講Ⅰ		2	
理論経済学特講Ⅱ		2	
理論経済学特講Ⅲ		2	
【応用経済学コース】			
応用経済学特講Ⅰ		2	
応用経済学特講Ⅱ		2	
応用経済学特講Ⅲ		2	
【経済統計コース】			
経済統計特講Ⅰ		2	
経済統計特講Ⅱ		2	
経済統計特講Ⅲ		2	

3. 履修上の注意

指導教員の研究指導を受け、博士論文を作成・提出することが必要である。

2018年度以降に入学した者には、コースワークが設定されている。

選択必修科目のうち、各コースの特講Ⅰ・Ⅱ・Ⅲの順に履修すること。

研究指導について

【16年次生以前】在学期間中は研究指導が每学期履修登録される。

【17年次生以降】在学中每学期受けること。なお、必要な合格科目数も定められているので、「1. 修了に要する科目、単位数、科目数などの要件」を参照すること。

年度初めの専攻ガイダンスで「研究指導」「博士論文作成について」説明をおこなうので、必ず出席のこと。

4. 開講科目一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他)：他専攻教員 *：非常勤教員	外国語	備考
DEEC3300	春	理論経済学特講Ⅰ	ECN801-55j00	2	指導教員		D 1 対象
DEEC3303	春	応用経済学特講Ⅰ	ECN804-55j00	2	指導教員		D 1 対象
DEEC3306	春	経済統計特講Ⅰ	ECN807-55j00	2	指導教員		D 1 対象
DEEC3301	休講	理論経済学特講Ⅱ	ECN802-55j00	2	指導教員		D 2 対象
DEEC3304	休講	応用経済学特講Ⅱ	ECN805-55j00	2	指導教員		D 2 対象
DEEC3307	休講	経済統計特講Ⅱ	ECN808-55j00	2	指導教員		D 2 対象
DEEC3302	休講	理論経済学特講Ⅲ	ECN803-55j00	2	指導教員		D 3 対象
DEEC3305	休講	応用経済学特講Ⅲ	ECN806-55j00	2	指導教員		D 3 対象
DEEC3308	休講	経済統計特講Ⅲ	ECN809-55j00	2	指導教員		D 3 対象

5. 研究指導一覧表

ナンバリング	担当教員名	備考
ECN899-55j00	出島敬久	
	青木研	
	川西諭	
	近藤広紀	
	來島愛子	
	中里透	休講(秋)
	竹田陽介	
	蓬田守弘	
	竹内明香	
	釜賀浩平	
	堀江哲也	
	南橋尚明	
	本田文子	
	倉田正充	
樋口裕城		

経営学専攻 博士前期課程

1. 修了に要する科目, 単位数, 科目数などの要件

【17 年次生以降】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限, その他）
総単位数	30		
▶ 必修科目			
└ 論文演習 I	2		
▶ 選択科目	28		
└ 専攻科目			
└ 自研究科他専攻科目			
└ 委託聴講科目			10単位まで修了に必要な単位として認められる。
研究指導（必修）			単位なし, 在学中毎学期登録される。 4科目以上合格すること。 ただし, 早期修了者については, 在学しない学期分は免除される。
修士論文			必要な研究指導を受けた上, 修士論文の審査および試験に合格すること。 (修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること。)

【16 年次生以前】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限, その他）
総単位数	30		
▶ 必修科目			
└ 論文演習 I	2		
▶ 選択科目	28		
└ 専攻科目			
└ 自研究科他専攻科目			
└ 委託聴講科目			10単位まで修了に必要な単位として認められる。
研究指導（必修）			単位なし, 在学中毎学期登録される。
修士論文			必要な研究指導を受けた上, 修士論文の審査および試験に合格すること。 (修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること。)

【研究指導スケジュール】

事項	期日	対象	備考
研究論文コースへの変更届の提出	3月末まで	M1	研究論文コースへ変更を希望する学生のみ提出が必要。
研究計画書の提出	5月上旬	M2	修士論文を提出する年度に提出すること。
修士論文中間発表会	春学期末	M2	修士論文を提出する年度に実施する。
修士論文の履修登録	9月下旬 ～10月上旬	M2	履修登録期間中に各自で履修登録を行うこと。
修士論文・論文要旨の提出	1月中旬	M2	
論文審査・口述試験	秋学期末	M2	

※ 書式や提出期限に係る詳細は、4月実施の専攻ガイダンスで配布する「修士論文提出・審査の手順および注意事項」を参照のこと。

※ 9月修了希望者は、上記に係る期日を別途指定するため、履修登録前に必ず指導教員に連絡をとり、スケジュール等詳細について確認すること。

【修士論文審査基準】

- 1) 指導・審査グループと協議の上、研究課題が明確に設定されていること。
- 2) 研究課題を考察・分析するための枠組みが適切であること。
- 3) 先行研究が適切に引用され、研究内容の学術的な位置づけが明確であること。
- 4) 研究内容が明確かつ論理的に記述されていること。
- 5) 経営学の当該専門分野に関する深い理解に基づき、社会で生じる事象や問題を考慮・分析したものであること。

2. 授業科目の編成・単位

科目名 ※(他)：他専攻開講科目	単位数		
	必修	選必	選択
論文演習Ⅰ	2		
論文演習Ⅱ			2
論文演習Ⅲ			2
論文演習Ⅳ			2
財務会計論特講Ⅰ			2
財務会計論特講Ⅱ			2
財務会計論研究Ⅰ			2
財務会計論研究Ⅱ			2
公会計特講Ⅰ			2
公会計特講Ⅱ			2
公会計研究Ⅰ			2
公会計研究Ⅱ			2
管理会計論特講Ⅰ			2
管理会計論特講Ⅱ			2
管理会計論研究Ⅰ			2
管理会計論研究Ⅱ			2
経営財務論特講Ⅰ			2
経営財務論特講Ⅱ			2
経営財務論研究Ⅰ			2
経営財務論研究Ⅱ			2
経営管理論特講Ⅰ			2
経営管理論特講Ⅱ			2
経営管理論研究Ⅰ			2
経営管理論研究Ⅱ			2
経営戦略論特講Ⅰ			2
経営戦略論特講Ⅱ			2
経営戦略論研究Ⅰ			2
経営戦略論研究Ⅱ			2
人事管理論特講Ⅰ			2
人事管理論特講Ⅱ			2
人事管理論研究Ⅰ			2
人事管理論研究Ⅱ			2
経営組織論特講Ⅰ			2
経営組織論特講Ⅱ			2

科目名 ※(他)：他専攻開講科目	単位数		
	必修	選必	選択
経営組織論研究Ⅰ			2
経営組織論研究Ⅱ			2
マーケティング戦略論特講Ⅰ			2
マーケティング戦略論特講Ⅱ			2
マーケティング戦略論研究Ⅰ			2
マーケティング戦略論研究Ⅱ			2
国際経営論特講Ⅰ			2
国際経営論特講Ⅱ			2
国際経営論研究Ⅰ			2
国際経営論研究Ⅱ			2
SEMINAR IN GLOBAL MARKETINGⅠ			2
SEMINAR IN GLOBAL MARKETINGⅡ			2
RESEARCH IN GLOBAL MARKETINGⅠ			2
RESEARCH IN GLOBAL MARKETINGⅡ			2
消費者行動論特講Ⅰ			2
消費者行動論特講Ⅱ			2
消費者行動論研究Ⅰ			2
消費者行動論研究Ⅱ			2
マーケティング・コミュニケーション特講Ⅰ			2
マーケティング・コミュニケーション特講Ⅱ			2
マーケティング・コミュニケーション研究Ⅰ			2
マーケティング・コミュニケーション研究Ⅱ			2
製品開発論特講Ⅰ			2
製品開発論特講Ⅱ			2
製品開発論研究Ⅰ			2
製品開発論研究Ⅱ			2

3. 履修上の注意

- 1) 修了要件に必要な30単位以上を修得し、指導教員の指導のもとに修士論文を作成・提出することが必要である。
- 2) 各教員が特講と研究を開講しているが、研究は特講を修得した者が履修できることとする。
- 3) 研究指導を在学中毎学期受けること。なお、2017年次生以降の学生については、必要な合格科目数も定められている。「1. 修了に要する科目、単位数、科目数などの要件」を参照すること。
- 4) 年度初めの専攻ガイダンスで「研究指導」「修士論文作成について」説明を行うので、必ず出席のこと。

(早期修了希望者)

上智大学大学院学則第 21 条に基づいて、経済学研究科経済学専攻および経営学専攻の博士前期課程における早期修了について、以下のように定められている。

- 1) 早期修了とは、経済学研究科博士前期課程に 1 年在学した者のうち、所定の手続を経て、1 年次終了時をもって修了することである。
- 2) 早期修了の認定を受けるには、次に掲げる要件を満たしていること。
 - (ア) 本人が早期修了を希望すること。
 - (イ) 早期修了時において、修了に必要な履修上の要件をすべて満たし、所定の授業科目の単位をすべて取得し、かつ、その成績評価が GPA3.8 以上であること。
 - (ウ) 修士論文の評価が A であること。
- 3) 早期修了を希望する者は、早期修了申請書（書式自由）に指導教員の承認印を受けて、これを所属専攻主任・経済学研究科委員長宛に提出すること。なお、早期修了申請書の提出は、1 年次春学期の履修登録前までに行うこと。
- 4) 申請取り消しを希望する場合は、1 年次秋学期の履修中止期間中に、早期修了申請取消願書（書式自由）に指導教員の承認印を受けて、これを所属専攻主任・経済学研究科委員長宛に提出すること。

4. 開講科目一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他)：他専攻教員 *：非常勤教員	外国語	備考
P.194参照	春	論文演習 I	MMI501-56j00	2	経営学専攻各指導教員		M1 対象
P.194参照	秋	論文演習 II	MMI502-56j00	2	経営学専攻各指導教員		M1 対象
P.194参照	春	論文演習 III	MMI603-56j00	2	経営学専攻各指導教員		M2 対象
P.194参照	秋	論文演習 IV	MMI604-56j00	2	経営学専攻各指導教員		M2 対象
MEMG7010	休講	財務会計論特講 I	ACC501-56j00	2			「財務会計論研究 I」と合併
MEMG7030	休講	財務会計論研究 I	ACC601-56j00	2			M2 対象、「財務会計論特講 I」と合併
MEMG7786	春	公会計特講 I	ACC503-56j00	2	若 林 利 明		「公会計研究 I」と合併
MEMG7788	春	公会計研究 I	ACC606-56j00	2	若 林 利 明		M2 対象、「公会計特講 I」と合併
MEMG7170	春	経営財務論特講 I	MAN501-56j00	2	石 井 昌 宏		「経営財務論研究 I」と合併
MEMG7190	春	経営財務論研究 I	MAN601-56j00	2	石 井 昌 宏		M2 対象、「経営財務論特講 I」と合併
MEMG7210	春	経営管理論特講 I	MAN503-56j00	2	山 田 幸 三		「経営管理論研究 I」と合併
MEMG7230	春	経営管理論研究 I	MAN603-56j00	2	山 田 幸 三		M2 対象、「経営管理論特講 I」と合併
MEMG7290	休講	人事管理論特講 I	MAN507-56j00	2			「人事管理論研究 I」と合併
MEMG7310	休講	人事管理論研究 I	MAN607-56j00	2			M2 対象、「人事管理論特講 I」と合併
MEMG7330	春	経営組織論特講 I	MAN509-56j00	2	関 廷 媛		「経営組織論研究 I」と合併
MEMG7350	春	経営組織論研究 I	MAN609-56j00	2	関 廷 媛		M2 対象、「経営組織論特講 I」と合併
MEMG7410	春	国際経営論特講 I	MAN511-56j00	2	竹之内 秀 行		「国際経営論研究 I」と合併
MEMG7430	春	国際経営論研究 I	MAN611-56j00	2	竹之内 秀 行		M2 対象、「国際経営論特講 I」と合併
MEMG7786	春	SEMINAR IN GLOBAL MARKETING I	MRK507-56e00	2	J O H N S A d a m	○	「RESEARCH IN GLOBAL MARKETING I」と合併
MEMG7784	春	RESEARCH IN GLOBAL MARKETING I	MRK607-56e00	2	J O H N S A d a m	○	M2 対象, 「SEMINAR IN GLOBAL MARKETING I」と合併
MEMG7530	春	消費者行動論特講 I	MRK501-56j00	2	杉 本 徹 雄		「消費者行動論研究 I」と合併
MEMG7550	春	消費者行動論研究 I	MRK601-56j00	2	杉 本 徹 雄		M2 対象、「消費者行動論特講 I」と合併
MEMG7610	春	マーケティング戦略論特講 I	MRK503-56j00	2	杉 谷 陽 子		「マーケティング戦略論研究 I」と合併
MEMG7630	春	マーケティング戦略論研究 I	MRK603-56j00	2	杉 谷 陽 子		M2 対象, 「マーケティング戦略論特講 I」と合併
MEMG7690	春	マーケティング・コミュニケーション特講 I	MRK505-56j00	2	新 井 範 子		「マーケティング・コミュニケーション研究 I」と合併
MEMG7710	春	マーケティング・コミュニケーション研究 I	MRK605-56j00	2	新 井 範 子		M2 対象、「マーケティング・コミュニケーション特講 I」と合併
MEMG7740	春	製品開発論特講 I	MAN513-56j00	2	小 阪 玄 次 郎		「製品開発論研究 I」と合併
MEMG7760	春	製品開発論研究 I	MAN613-56j00	2	小 阪 玄 次 郎		M2 対象、「製品開発論特講 I」と合併

登録 コード	開 講 期	科目名	ナンバ リング	単 位 数	担当教員名 ※(他)：他専攻教員 *：非常勤教員	外 国 語	備 考
MEMG7250	春	経営戦略論特講Ⅰ	MAN505-56j00	2	網 倉 久 永		「経営戦略論研究Ⅰ」と合併
MEMG7270	春	経営戦略論研究Ⅰ	MAN605-56j00	2	網 倉 久 永		M2対象, 「経営戦略論特講Ⅰ」と合併
MEMG7090	春	管理会計論特講Ⅰ	ACC506-56j00	2	王 志		「管理会計論研究Ⅰ」と合併
MEMG7110	春	管理会計論研究Ⅰ	ACC604-56j00	2	王 志		M2対象, 「管理会計論特講Ⅰ」と合併
MEMG7020	秋	財務会計論特講Ⅱ	ACC502-56j00	2	西 澤 茂		「財務会計論研究Ⅱ」と合併
MEMG7040	秋	財務会計論研究Ⅱ	ACC602-56j00	2	西 澤 茂		M2対象, 「財務会計論特講Ⅱ」と合併
MEMG7787	秋	公会計特講Ⅱ	ACC504-56j00	2	若 林 利 明		「公会計研究Ⅱ」と合併
MEMG7789	秋	公会計研究Ⅱ	ACC607-56j00	2	若 林 利 明		M2対象, 「公会計特講Ⅱ」と合併
MEMG7180	秋	経営財務論特講Ⅱ	MAN502-56j00	2	石 井 昌 宏		「経営財務論研究Ⅱ」と合併
MEMG7200	秋	経営財務論研究Ⅱ	MAN602-56j00	2	石 井 昌 宏		M2対象, 「経営財務論特講Ⅱ」と合併
MEMG7220	秋	経営管理論特講Ⅱ	MAN504-56j00	2	山 田 幸 三		「経営管理論研究Ⅱ」と合併
MEMG7240	秋	経営管理論研究Ⅱ	MAN604-56j00	2	山 田 幸 三		M2対象, 「経営管理論特講Ⅱ」と合併
MEMG7300	休講	人事管理論特講Ⅱ	MAN508-56j00	2			「人事管理論研究Ⅱ」と合併
MEMG7320	休講	人事管理論研究Ⅱ	MAN608-56j00	2			M2対象, 「人事管理論特講Ⅱ」と合併
MEMG7340	秋	経営組織論特講Ⅱ	MAN510-56j00	2	関 廷 媛		「経営組織論研究Ⅱ」と合併
MEMG7360	秋	経営組織論研究Ⅱ	MAN610-56j00	2	関 廷 媛		M2対象, 「経営組織論特講Ⅱ」と合併
MEMG7787	秋	SEMINAR IN GLOBAL MARKETING Ⅱ	MRK508-56e00	2	J O H N S A d a m	○	「RESEARCH IN GLOBAL MARKETING Ⅱ」と合併
MEMG7785	秋	RESEARCH IN GLOBAL MARKETING Ⅱ	MRK608-56e00	2	J O H N S A d a m	○	M2対象, 「SEMINAR IN GLOBAL MARKETING Ⅱ」と合併
MEMG7540	秋	消費者行動論特講Ⅱ	MRK502-56j00	2	杉 本 徹 雄		「消費者行動論研究Ⅱ」と合併
MEMG7560	秋	消費者行動論研究Ⅱ	MRK602-56j00	2	杉 本 徹 雄		M2対象, 「消費者行動論特講Ⅱ」と合併
MEMG7620	秋	マーケティング戦略論特講Ⅱ	MRK504-56j00	2	杉 谷 陽 子		「マーケティング戦略論研究Ⅱ」と合併
MEMG7640	秋	マーケティング戦略論研究Ⅱ	MRK604-56j00	2	杉 谷 陽 子		M2対象, 「マーケティング戦略論特講Ⅱ」と合併
MEMG7700	秋	マーケティング・コミュニケーション特講Ⅱ	MRK506-56j00	2	新 井 範 子		「マーケティング・コミュニケーション研究Ⅱ」と合併
MEMG7720	秋	マーケティング・コミュニケーション研究Ⅱ	MRK606-56j00	2	新 井 範 子		M2対象, 「マーケティング・コミュニケーション特講Ⅱ」と合併
MEMG7750	休講	製品開発論特講Ⅱ	MAN514-56j00	2			「製品開発論研究Ⅱ」と合併
MEMG7770	休講	製品開発論研究Ⅱ	MAN614-56j00	2			M2対象, 「製品開発論特講Ⅱ」と合併
MEMG7100	秋	管理会計論特講Ⅱ	ACC507-56j00	2	王 志		「管理会計論研究Ⅱ」と合併
MEMG7120	秋	管理会計論研究Ⅱ	ACC605-56j00	2	王 志		M2対象, 「管理会計論特講Ⅱ」と合併
MEMG7420	秋	国際経営論特講Ⅱ	MAN512-56j00	2	竹之内 秀行		「国際経営論研究Ⅱ」と合併
MEMG7440	秋	国際経営論研究Ⅱ	MAN612-56j00	2	竹之内 秀行		M2対象, 「国際経営論特講Ⅱ」と合併
MEMG7260	秋	経営戦略論特講Ⅱ	MAN506-56j00	2	網 倉 久 永		「経営戦略論研究Ⅱ」と合併
MEMG7280	秋	経営戦略論研究Ⅱ	MAN606-56j00	2	網 倉 久 永		M2対象, 「経営戦略論特講Ⅱ」と合併
MEMG9010	秋	修士論文	MMI699-56m00	0	経営学専攻各指導教員		

論文演習（Ⅰ～Ⅳ） 登録コード一覧

科目名・対象/ 開講期 指導教員	論文演習Ⅰ M1／春	論文演習Ⅱ M1／秋	論文演習Ⅲ M2／春	論文演習Ⅳ M2／秋
	登録コード	登録コード	登録コード	登録コード
網 倉 久 永	MEMG1100	MEMG7850	MEMG7890	MEMG7930
新 井 範 子	MEMG1101	MEMG7851	MEMG7891	MEMG7931
細 萱 伸 子	MEMG1103 (休講)	MEMG7853 (休講)	MEMG7893 (休講)	MEMG7933 (休講)
石 井 昌 宏	MEMG1104	MEMG7854	MEMG7894	MEMG7934
関 廷 媛	MEMG1105	MEMG7855	MEMG7895	MEMG7935
西 澤 茂	MEMG1108 (休講)	MEMG7858	MEMG7898 (休講)	MEMG7938
杉 本 徹 雄	MEMG1109	MEMG7859	MEMG7899	MEMG7939
杉 谷 陽 子	MEMG1110	MEMG7860	MEMG7900	MEMG7940
竹之内 秀 行	MEMG1111	MEMG7861	MEMG7901	MEMG7941
山 田 幸 三	MEMG1112	MEMG7862	MEMG7902	MEMG7942
小 阪 玄次郎	MEMG1113	MEMG7863 (休講)	MEMG7903	MEMG7943 (休講)
王 志	MEMG1114	MEMG7864	MEMG7904	MEMG7944
JOHNS Adam	MEMG1115	MEMG7865	MEMG7905	MEMG7945
若 林 利 明	MEMG1116	MEMG7866	MEMG7906	MEMG7946
河 合 憲 史	MEMG1117	MEMG7867	MEMG7907	MEMG7947
外 川 拓	MEMG1118	MEMG7868	MEMG7908	MEMG7948

5. 研究指導一覧表

ナンバリング	担当教員名	備考
MMI599-56m00	網 倉 久 永	
	新 井 範 子	
	細 萱 伸 子	休講
	石 井 昌 宏	
	関 廷 媛	
	西 澤 茂	休講（春）
	杉 本 徹 雄	
	杉 谷 陽 子	
	竹之内 秀 行	
	山 田 幸 三	
	小 阪 玄次郎	休講（秋）
	王 志	
	JOHNS Adam	
	若 林 利 明	
河 合 憲 史		
外 川 拓		

経営学専攻 博士後期課程

1. 修了に要する科目, 単位数, 科目数などの要件

【18年次生以降】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限, その他）
総単位数	6		
・必修科目			
・選択必修科目	6		会計学・マーケティング・経営学の3コースの中から1コースを選択する。
・選択科目			
研究指導（必修）		6	単位なし, 在学中毎学期登録される。 6科目以上合格すること。
博士論文			必要な研究指導を受けた上, 博士論文の審査および試験に合格すること。

【17年次生】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限, その他）
総単位数			
・必修科目			
・選択科目			
研究指導（必修）		6	単位なし, 在学中毎学期登録される。 6科目以上合格すること。
博士論文			必要な研究指導を受けた上, 博士論文の審査および試験に合格すること。

【16年次生以前】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限, その他）
総単位数			
・必修科目			
・選択科目			
研究指導（必修）			【10年次生以前】単位なし, 修業年限3年を満たすまでは, 毎学期履修すること。 【11年次生以降】単位なし, 修業年限にかかわらず, 在学中は毎学期登録される。
博士論文			必要な研究指導を受けた上, 博士論文の審査および試験に合格すること。

【研究指導スケジュール】

年度初めの専攻ガイダンスで「研究指導」「博士論文作成について」説明をおこなうので, 必ず出席のこと。
なお, 「3. 履修上の注意」を参照すること。

【博士論文審査基準】

- 1) 学術性の高い研究課題が設定されていること。
- 2) 研究課題を考察・分析するための枠組みが適切であること。
- 3) 先行研究が適切に引用され、研究内容の学術的な位置づけが明確であること。
- 4) 研究内容が明確かつ論理的に記述されていること。
- 5) 経営学の当該専門分野において、独自の学術的貢献を有する研究内容であること。
- 6) 執筆者が自立的研究者としての研究遂行能力を有することを証するものであること。

2. 授業科目の編成・単位

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
会計学特講Ⅰ		2	
会計学特講Ⅱ		2	
会計学特講Ⅲ		2	
マーケティング論特講Ⅰ		2	
マーケティング論特講Ⅱ		2	
マーケティング論特講Ⅲ		2	
経営学特講Ⅰ		2	
経営学特講Ⅱ		2	
経営学特講Ⅲ		2	

3. 履修上の注意

指導教員の研究指導を受け、博士論文を作成・提出することが必要である。

2018年度以降に入学した者には、コースワークが設定されている。

選択必修科目のうち、各コースの特講Ⅰ・Ⅱ・Ⅲの順に履修すること。

研究指導について

【10年次生以前】修業年限3年を満たすまでは毎学期（春・秋）履修登録すること。なお2010年度以前開講の研究指導については、毎年（通年）履修登録すること。

【11～16年次生】在学期間中は研究指導が毎学期登録される。

【17年次生以降】在学中毎学期受けること。なお、必要な合格科目数も定められているので、「1. 修了に要する科目、単位数、科目数などの要件」を参照すること。

年度初めの専攻ガイダンスで「研究指導」「博士論文作成について」説明を行うので、必ず出席のこと。

4. 開講科目一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他)：他専攻教員 *：非常勤教員	外国語	備考
DEMG2000	春	会計学特講Ⅰ	ACC801-56j00	2	経営学専攻各指導教員		D1 対象
DEMG2010	休講	会計学特講Ⅱ	ACC802-56j00	2	経営学専攻各指導教員		D2 対象
DEMG2020	休講	会計学特講Ⅲ	ACC803-56j00	2	経営学専攻各指導教員		D3 対象
DEMG2030	春	マーケティング論特講Ⅰ	MRK801-56j00	2	経営学専攻各指導教員		D1 対象
DEMG2040	休講	マーケティング論特講Ⅱ	MRK802-56j00	2	経営学専攻各指導教員		D2 対象
DEMG2050	休講	マーケティング論特講Ⅲ	MRK803-56j00	2	経営学専攻各指導教員		D3 対象
DEMG2060	春	経営学特講Ⅰ	MAN801-56j00	2	経営学専攻各指導教員		D1 対象
DEMG2070	休講	経営学特講Ⅱ	MAN802-56j00	2	経営学専攻各指導教員		D2 対象
DEMG2080	休講	経営学特講Ⅲ	MAN803-56j00	2	経営学専攻各指導教員		D3 対象

5. 研究指導一覧表

ナンバリング	担当教員名	備考
MMI899-56j00	網 倉 久 永	
	新 井 範 子	
	細 萱 伸 子	休講
	石 井 昌 宏	
	JOHNS Adam	
	関 廷 媛	
	西 澤 茂	休講 (春)
	杉 本 徹 雄	
	杉 谷 陽 子	
	竹之内 秀 行	
	山 田 幸 三	
	小 阪 玄次郎	休講 (秋)
	王 志	
若 林 利 明		

言語科学研究科

1. 言語科学研究科の教育研究上の目的及び人材養成の目的

理論言語学、個別言語学、及び応用言語学に関して国際的視野で独創的研究を行える研究者を養成する。また、言語聴覚障害学の基礎および臨床における研究者を養成し、さらに、英語による授業を通じて、英語教育に携わる教師を養成する。理論と実践が伴った国内外で活躍できる日本語教師も養成する。

2. 各専攻のディプロマ・ポリシー

言語学専攻

【博士前期課程】

本課程では、言語という人間の最も根本を成す能力を探究することにより、本学の設立目的及び使命を果たそうとする人材の養成を目的として、学生が修了時に身につけるべき能力や知識を次のように定めています。修了要件を満たし論文審査に合格すれば、これらを身につけた者と認め、学位を授与します。

1. 幅広い言語学の分野から自らの専門領域を確立させるため、初年度より各々の分野で所定の科目履修をすることにより得た、言語研究の現状理解と方法論
2. 解決すべき問題を研究課題という適切な形式で問う力
3. 問題解決のために最も適切なデータ収集、および分析を行い、意味のある解を見つけ出す力
4. 言語学の基礎概念と方法論を広い視野に立って身につけ、学究的な思考方法を学び、特定の専門領域を究明する力
5. 結果の意味づけができ、専門性を活かして社会に貢献する力

【博士後期課程】

本課程では、言語という人間の最も根本を成す能力を深くかつ広く探究することにより、本学の設立目的及び使命を果たそうとする人材の養成を目的として、学生が修了時に身につけるべき能力や知識を次のように定めています。修了要件を満たし論文審査に合格すれば、これらを身につけた者と認め、学位を授与します。

1. 博士前期課程で身につけた専門領域での方法論と知識をもとに、オリジナリティのある研究を行い論文にまとめる力
2. 独力で高度の研究を遂行することができる学究的能力
3. 言語学および関連諸科学に関する高度に専門的な理論および方法論に熟達した自立した研究者として、国際的なレベルで認められるような学術論文を完成させる力

3. 各専攻のカリキュラム・ポリシー

言語学専攻

【博士前期課程】

本課程では、ディプロマ・ポリシーに沿って、言語を学術的に深く考察するよう、以下の趣旨を盛り込んだ科目によってカリキュラムを編成しています。

1. 専門の如何にかかわらず言語に関する基礎的な知識を修得する。そのために各コースにおいては以下の科目を必修科目と指定しており、できる限り1年目で履修させる。1) 言語学一般—音声学・音韻論基礎、統辞論基礎、2) 言語聴覚研究—言語聴覚障害学特論、言語聴覚障害研究法B（実験計画法）、言語聴覚障害研究法D（文献講読）、3) 英語教授法—Introduction to TEFL in Japan, Second Language Acquisition, Introduction to Linguistics、4) 日本語教育学—日本語教育文法I、第二言語習得I、言語・文化・社会、日本語教授法概論。

2. 英語，ドイツ語，フランス語，イスパニア語，ロシア語，ポルトガル語の6学科に合致させた形で各言語に関する音声，音韻，統辞法，意味，文体，歴史に関する科目を開設する。
3. 上記の必修科目および他選択科目を履修することにより，各コースにおいて専門的なテーマを追求するために必須となる理論的知識，理論を応用する能力，問題解決能力，批判的思考能力，適切なデータを収集分析解釈する能力，個々のデータから一般化し理論を構築する能力を修得させる。

【博士後期課程】

本課程では，ディプロマ・ポリシーに沿って，言語を学術的に深く考察するよう，以下の趣旨を盛り込んだ科目によってカリキュラムを編成しています。

1. 音声学・音韻論を含む理論言語学，言語聴覚障害学，応用言語学のうちから特定のテーマを選び，それについて特定の教授の個別面談に基づいた論文指導を受けさせる。
2. 各自の専門分野の研究を深化させると同時に，関連分野の知見も取り入れ，専門的教養・学識を高めて独創的な研究を行わせる。
3. 入学後2年次に資格試験を受け合格し，さらに2編の論文を査読付きの学術雑誌に掲載することを必須とする。
4. 主として指導教員から研究指導を受け，必要とされた言語学専攻で開設されている科目を履修させる。

言語学専攻 博士前期課程

1. 修了に要する科目, 単位数, 科目数などの要件

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限, その他）
総単位数	30		
▶選択必修科目	8		
└統辞論基礎	4		
└音声学・音韻論基礎	4		
▶選択科目	22		
└意味論基礎			選択科目だが, 理論言語学を専攻する者は必ず履修すること
└自専攻自コース科目			
└自専攻他コース科目			
研究指導(必修)		2	単位なし, 2年次以降に毎学期登録される 2科目以上合格すること
修士論文			必要な研究指導を受けた上, 修士論文の審査および試験に 合格すること (修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること)

【研究指導スケジュール】

4月に実施する専攻ガイダンスで配付する「言語学専攻ハンドブック」にて詳細を確認すること。

【修士論文審査基準】

- 1) 研究の内容が言語研究に寄与し, 独創性を有すること。
- 2) 研究テーマが十分に練り込まれた明確なものであること。
- 3) 先行研究を踏まえ, 十分な論証がなされていること。
- 4) 論文の構成が組織立っており, 論理が明晰で, 論旨が一貫していること。

2. 授業科目の編成・単位

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
<一般言語学>			
統辞論基礎		4	
音声学・音韻論基礎		4	
意味論基礎			4
理論言語学A			4
理論言語学B			4
理論言語学C			4
実験音声学特講・演習Ⅰ-A			2
実験音声学特講・演習Ⅰ-B			2
実験音声学特講・演習Ⅱ-A			2
実験音声学特講・演習Ⅱ-B			2
文法理論			4
意味論1			2
意味論2			2
Psycholinguistics ※注1			4
コーパス言語学2			2
Sociolinguistics ※注1			2
日本語言語学A（現代日本語構造論）			4
言語学特殊講義A（GB概説）			4
言語学特殊講義B-1（音韻論と言語障害）			2
言語学特殊講義B-2（音韻論と言語障害）			2
言語学特殊講義C（言語の認知神経科学）			4
現代言語学諸問題A（音韻論）			4
現代言語学諸問題B（文法理論）			4
現代言語学諸問題C（日本語言語学）			4
現代言語学諸問題D（比較文法）			4
<応用言語学>			
実験統計法1			2
実験統計法2			2
Second Language Acquisition (English) ※注1			4
言語テスト1			2
言語テスト2			2
TEFL Methodology ※注1			4
Focus on Form: Theory, Research, and Practice ※注1			4
Bilingual Education ※注1			4
フランス語教授法1			2
フランス語教授法2			2
Affective Factors in TESOL ※注1			2
Sociocultural Theory & SLA ※注1			2
Qualitative Research Methods ※注1			2
Language and Power ※注1			2
World Englishes ※注1			2
Thesis Writing ※注1			2
Classroom Discourse ※注1			2
Intercultural Interaction ※注1			2
Analyzing Spoken Data ※注1			2

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
<個別外国語研究>			
ドイツ語意味論1			2
ドイツ語意味論2			2
ドイツ語統語論1			2
ドイツ語統語論2			2
ドイツ語文体論1			2
ドイツ語文体論2			2
ドイツ語教育1			2
ドイツ語教育2			2
ドイツ語音声学・音韻論1			2
ドイツ語音声学・音韻論2			2
フランス語文法論1			2
フランス語文法論2			2
フランス語文体論1			2
フランス語文体論2			2
フランス語通訳論1			2
フランス語通訳論2			2
フランス語音声学1			2
フランス語音声学2			2
イスパニア語のバリエーション1 （言語データ処理の技法）			2
イスパニア語のバリエーション2 （言語データ処理の技法）			2
イスパニア語研究1			2
イスパニア語研究2			2
イスパニア語応用言語学1			2
イスパニア語応用言語学2			2
イスパニア語教授法1			2
イスパニア語教授法2			2
イスパニア語圏の言語と社会1			2
イスパニア語圏の言語と社会2			2
ロシア語史1			2
ロシア語史2			2
ロシア語翻訳論1			2
ロシア語翻訳論2			2
ロシア語文体論1			2
ロシア語文体論2			2
ロシア語統語論1			2
ロシア語統語論2			2
ロシア語応用言語学1			2
ロシア語応用言語学2			2
ポルトガル語の拡がりと変異1			2
ポルトガル語の拡がりと変異2			2
ポルトガル語文法論1			2
ポルトガル語文法論2			2
ポルトガル語比較文体論1			2

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
ポルトガル語比較文体論2			2
ポルトガル語翻訳論1			2
ポルトガル語翻訳論2			2
ポルトガル語史1			2
ポルトガル語史2			2

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
<個別言語学特殊講義>			
音韻論特講1			2
音韻論特講2			2
文法理論演習			4

※注1：英語教授法コース（TESOL）開講科目。

3. 履修上の注意

- 1) 選択必修の2科目を含め、30単位以上を履修すること。選択必修科目（「統辞論基礎」「音声学・音韻論基礎」）は、修了要件上の必修科目であり、入学1年次に履修することが望ましい。また、「意味論基礎」は選択科目であるが、理論言語学を専攻する者は必ず履修すること。
- 2) 1年次終了までに指導教員を決め、履修計画および修士論文の作成に対する指導を受けること。
- 3) 「研究指導」を2年次以降に毎学期受けること。なお、必要な合格科目数も定められている。「1. 修了に要する科目、単位数、科目数などの要件」を参照すること。
- 4) 2年次春学期に「修士論文計画案」を提出し、論文審査委員（主査1名、副査2名以上）による面接を受けること。その結果を受けて、論文の作成にかかり、所定の期限に提出後、学位論文審査を受けること。

■学部開講関連科目一覧（参考）

授業科目名		担当者 *：非常勤教員	開講学科等
休	言語処理入門	未 定	外国語学部
	日本語史1	豊 島 正 之	外国語学部
	日本語史2	豊 島 正 之	外国語学部
	言語学特殊講義1（ロマンス語研究）	* 小 川 定 義	外国語学部
	言語学特殊講義2（ロマンス語研究）	* 小 川 定 義	外国語学部
休	ヨーロッパの社会と言語A	木村 護郎クリストフ	外国語学部
	ヨーロッパの社会と言語B	* 佐 野 彩	外国語学部
	フランス語圏の社会と言語	* 佐 野 彩	外国語学部

※科目の詳細（開講期、曜日、時限等）については、学部のLoyolaの「時間割表」および「履修要覧」で確認すること。

※上記の科目は、履修することは可能だが、修了要件に算入することは出来ない。

4. 開講科目一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※ * : 非常勤教員	外国語	備考
MFLG6020	春	意味論基礎	LNG511-61j00	4	加藤孝臣		隔年開講, 前期課程対象, 注2
MFLG6040	春	統辞論基礎	LNG515-61j00	4	福井直樹		前期課程対象
MFLG6030	春	音声学・音韻論基礎	LNG501-61j00	4	北原真冬		前期課程対象
MFLG7040	春	実験音声学特講・演習Ⅰ-A	LNG526-61j00	2	*田嶋圭一		
MFLG7060	春	実験音声学特講・演習Ⅱ-A	LNG528-61j00	2	*藤本雅子		
MFLG7990	春	理論言語学A	LNG533-61m00	4	大塚祐子		隔年開講, 旧「理論言語学A-1」 「理論言語学A-2」
MFLG7310	春	理論言語学B	LNG519-61j00	4	*石井透		旧「理論言語学B-1」 「理論言語学B-2」
MFLG7170	春	言語学特殊講義B-1 (音韻論と言語障害)	LNG506-61j00	2	*都田青子		前期課程対象
MFLG7190	春	意味論1	LNG531-61j00	2	*中村嗣郎		隔年開講
MFLG7270	春	実験統計法1	LNG502-61m00	2	渡部良典		
MFLG7420	春	ドイツ語意味論1	LGG501-61g00	2	高橋由美子	○	隔年開講
MFLG7440	春	ドイツ語統語論1	LGG503-61j00	2	高橋亮介		
MFLG7480	春	ドイツ語音声学・音韻論1	LGG509-61m00	2	正木晶子		隔年開講
MFLG7491	春	ドイツ語教育1	LGG507-61g00	2	LIPSKY Angela	○	
MFLG7520	春	フランス語文体論1	LGF505-61f00	2	COUCHOT Hervé	○	隔年開講
MFLG7840	春	フランス語音声学1	LGF507-61j00	2	北村亜矢子		隔年開講
MFLG7640	春	イスパニア語応用言語学1	LGH507-61j00	2	*上田博人		隔年開講
MFLG7860	春	イスパニア語教授法1	LGH509-61h00	2	廣康好美	○	隔年開講
MFLG7970	春	イスパニア語圏の言語と社会1	LGH511-61h00	2	ARoz Aingeru	○	
MFLG7700	春	ロシア語翻訳論1	LGR505-61m00	2	LATYSHEVA Svetlana		隔年開講
MFLG7720	春	ロシア語統語論1	LGR509-61j00	2	秋山真一		隔年開講
MFLG7760	春	ポルトガル語の拡がりと変異1	LGP505-61j00	2	市之瀬 敦		隔年開講, 前期課程対象
MFLG7791	春	ポルトガル語史1	LGP501-61j00	2	*黒澤直俊		
MFLG9311	春	修士論文	LNG601-61m00	0	言語学専攻各指導教員		M2対象, 注1
MFLG7030	秋	理論言語学C	LNG512-61j00	4	福井直樹		
MFLG7050	秋	実験音声学特講・演習Ⅰ-B	LNG527-61j00	2	*田嶋圭一		
MFLG7070	秋	実験音声学特講・演習Ⅱ-B	LNG530-61j00	2	*藤本雅子		
MFLG7180	秋	言語学特殊講義B-2 (音韻論と言語障害)	LNG507-61j00	2	*都田青子		前期課程対象
MFLG7200	秋	意味論2	LNG532-61j00	2	*中村嗣郎		隔年開講
MFLG7210	秋	現代言語学諸問題A (音韻論)	LNG521-61j00	4	北原真冬		
MFLG7230	秋	現代言語学諸問題C (日本語言語学)	LNG523-61j00	4	加藤孝臣		
MFLG7290	秋	言語テスト1	LNG504-61m00	2	渡部良典		
MFLG7430	秋	ドイツ語意味論2	LGG502-61g00	2	高橋由美子	○	隔年開講
MFLG7450	秋	ドイツ語統語論2	LGG504-61j00	2	高橋亮介		
MFLG7490	秋	ドイツ語音声学・音韻論2	LGG510-61m00	2	正木晶子		隔年開講
MFLG7492	秋	ドイツ語教育2	LGG508-61g00	2	LIPSKY Angela	○	
MFLG7530	秋	フランス語文体論2	LGF506-61f00	2	COUCHOT Hervé	○	隔年開講
MFLG7850	秋	フランス語音声学2	LGF508-61j00	2	北村亜矢子		隔年開講
MFLG7650	秋	イスパニア語応用言語学2	LGH508-61j00	2	*上田博人		隔年開講
MFLG7870	秋	イスパニア語教授法2	LGH510-61h00	2	廣康好美	○	隔年開講
MFLG7980	秋	イスパニア語圏の言語と社会2	LGH512-61h00	2	ARoz Aingeru	○	
MFLG7710	秋	ロシア語翻訳論2	LGR506-61m00	2	LATYSHEVA Svetlana		隔年開講
MFLG7730	秋	ロシア語統語論2	LGR510-61j00	2	秋山真一		隔年開講
MFLG7770	秋	ポルトガル語の拡がりと変異2	LGP506-61j00	2	市之瀬 敦		隔年開講, 前期課程対象
MFLG7792	秋	ポルトガル語史2	LGP502-61j00	2	*黒澤直俊		

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※ * :非常勤教員	外国語	備考
MFLG7940	秋	文法理論演習	LNG524-61j00	4	福井直樹		
MFLG9310	秋	修士論文	LNG601-61m00	0	言語学専攻各指導教員		M2対象
MFLG7080	休講	文法理論	LNG529-61j00	4			
MFLG7110	休講	コーパス言語学2	LNG510-61j00	2			隔年開講
MFLG7120	休講	日本語言語学A (現代日本語構造論)	LNG508-61j00	4			
MFLG7140	休講	言語学特殊講義A (GB概説)	LNG525-61j00	4			旧「言語学特殊講義A(GB概論)」
MFLG7160	休講	言語学特殊講義C (言語の認知神経科学)	LNG516-61j00	4			隔年開講
MFLG7220	休講	現代言語学諸問題B (文法理論)	LNG522-61j00	4			
MFLG7250	休講	現代言語学諸問題D (比較文法)	LNG520-61m00	4			隔年開講
MFLG7280	休講	実験統計法2	LNG503-61m00	2			
MFLG7300	休講	言語テスト2	LNG505-61e00	2		○	
MFLG7320	休講	フランス語教授法1	LGF501-61f00	2		○	隔年開講
MFLG7330	休講	フランス語教授法2	LGF502-61f00	2		○	隔年開講
MFLG7460	休講	ドイツ語文体論1	LGG505-61g00	2		○	隔年開講
MFLG7470	休講	ドイツ語文体論2	LGG506-61g00	2		○	隔年開講
MFLG7500	休講	フランス語文法論1	LGF503-61f00	2		○	隔年開講
MFLG7510	休講	フランス語文法論2	LGF504-61f00	2		○	隔年開講
MFLG7542	休講	フランス語通訳論1	LGF509-61f00	2		○	隔年開講
MFLG7543	休講	フランス語通訳論2	LGF510-61f00	2		○	隔年開講
MFLG7600	休講	スペイン語のバリエーション1 (言語データ処理の技法)	LGH501-61j00	2			隔年開講, 旧「スペイン語のバリエーション1」
MFLG7610	休講	スペイン語のバリエーション2 (言語データ処理の技法)	LGH502-61j00	2			隔年開講, 旧「スペイン語のバリエーション2」
MFLG7620	休講	スペイン語研究1	LGH505-61m00	2			隔年開講
MFLG7630	休講	スペイン語研究2	LGH506-61m00	2			隔年開講
MFLG7660	休講	ロシア語史1	LGR501-61j00	2			隔年開講
MFLG7670	休講	ロシア語史2	LGR502-61j00	2			隔年開講
MFLG7740	休講	ロシア語文体論1	LGR507-61j00	2			隔年開講, 前期課程対象
MFLG7750	休講	ロシア語文体論2	LGR508-61j00	2			隔年開講, 前期課程対象
MFLG7950	休講	ロシア語応用言語学1	LGR511-61m00	2			隔年開講
MFLG7960	休講	ロシア語応用言語学2	LGR512-61m00	2			隔年開講
MFLG7780	休講	ポルトガル語翻訳論1	LGP509-61m00	2			隔年開講
MFLG7790	休講	ポルトガル語翻訳論2	LGP510-61m00	2			隔年開講
MFLG7800	休講	ポルトガル語文法論1	LGP507-61j00	2			隔年開講
MFLG7810	休講	ポルトガル語文法論2	LGP508-61j00	2			隔年開講
MFLG7820	休講	ポルトガル語比較文体論1	LGP503-61p00	2		○	隔年開講
MFLG7830	休講	ポルトガル語比較文体論2	LGP504-61p00	2		○	隔年開講
MFLG7900	休講	音韻論特講1	LNG513-61j00	2			
MFLG7910	休講	音韻論特講2	LNG514-61j00	2			

注1: Loyolaで登録することはできないので、登録に際しては学事センターで手続きすること。

注2: 履修に際しては、P.231の「3. 履修上の注意」の1)を参照すること。

5. 研究指導一覧表

ナンバリング	担当教員名	備考
LNG533-61m00	吉田 研作	
	高橋 由美子	
	福井 直樹	
	渡部 良典	
	市之瀬 敦	
	原田 早苗	
	和泉 伸一	
	小柳 かおる	
	NEVES Mauro	
	西村 君代	
	坂本 光代	
	清水 崇文	
	TOIDA Helena	
	村田 真一	
	COUCHOT Hervé	
	FAIRBROTHER Lisa	
	TUCHAIS Simon	
	LIPSKY Angela	
	原 惠子	
	高橋 亮介	
	吉畑 博代	
	加藤 孝臣	
	峯 布由紀	
秋山 真一		
北原 真冬		
AROZ Aingeru		

1. 修了に要する科目, 単位数, 科目数などの要件

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考 (上限, その他)
総単位数	30		
▶選択必修科目 (必修)	6		
└言語聴覚障害学特論	2		
└言語聴覚障害研究法B (実験計画法)	2		
└言語聴覚障害研究法D (文献講読)	2		
▶選択必修科目	2		「コミュニケーション科学研究法A」「同B」のうち, 1科目は必ず履修すること
▶選択科目	22		
└自専攻自コース科目			
└自専攻他コース科目			
研究指導(必修)		2	単位なし, 2年次以降に毎学期登録される 2科目以上合格すること
修士論文			必要な研究指導を受けた上, 修士論文の審査および試験に合格すること (修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること)

【研究指導スケジュール】

4月に実施する専攻ガイダンスで配付する「言語学専攻ハンドブック」にて詳細を確認すること。

【修士論文審査基準】

- 1) 研究の内容が言語研究に寄与し, 独創性を有すること。
- 2) 研究テーマが十分に練り込まれた明確なものであること。
- 3) 先行研究を踏まえ, 十分な論証がなされていること。
- 4) 論文の構成が組織立っており, 論理が明晰で, 論旨が一貫していること。

2. 授業科目の編成・単位

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
言語聴覚障害学特論	2		
失語・高次脳機能障害学特論A			2
失語・高次脳機能障害学特論B			2
聴覚障害学特論A			2
聴覚障害学特論B			2
聴覚障害学特論C（補聴器）			2
聴覚障害学特論D（人工内耳）			2
小児言語発達学特論			2
言語聴覚学特論A（成人のコミュニケーション障害）			2
言語聴覚学特論B（小児のコミュニケーション障害）			2
言語聴覚障害研究法A（心理統計）			2
言語聴覚障害研究法B（実験計画法）	2		
言語聴覚障害研究法C（データ分析）			2
言語聴覚障害研究法D（文献講読）	2		
コミュニケーション障害分析法A（治療診断学・成人）			2
コミュニケーション障害分析法B（治療診断学・小児）			2
言語障害研究特殊講義A（機能的構音障害）			2
言語障害研究特殊講義B（器質性構音障害）			2
言語障害研究特殊講義C（発声発語の生理学）			2
言語障害研究特殊講義D（音声障害）			2
言語障害研究特殊講義E（吃音）			2
言語障害研究特殊講義F（学習障害）			2
言語障害研究特殊講義G（成人の運動性構音障害・摂食・嚥下障害）			2
言語障害研究特殊講義H（小児の運動性構音障害・摂食・嚥下障害）			2
臨床医学特論A（神経内科学）			2
臨床医学特論B（精神医学・リハビリテーション医学・コミュニケーション障害と心理臨床）			2
臨床医学特論C（耳科学・形成外科学・歯科口腔外科学）			2
臨床医学特論D（神経系の基礎と病態と内科学）			2
臨床医学特論E（発達障害医学・脳性麻痺）			2

※注1：心理学専攻開講科目。

※注2：言語学専攻開講科目。

※注3：英語教授法コース（TESOL）開講科目。

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
言語聴覚病理学特論（医学概論・解剖学・生理学・病理学）			2
高次脳機能障害学演習A			2
高次脳機能障害学演習B			2
言語発達障害学演習A			2
言語発達障害学演習B			2
聴覚障害学演習A			2
聴覚障害学演習B			2
発声発語障害学演習A			2
発声発語障害学演習B			2
発声発語障害学演習C			2
発声発語障害学演習D			2
コミュニケーション科学研究法A		2	
コミュニケーション科学研究法B		2	
統辞論基礎 ※注2			4
意味論基礎 ※注2			4
音声学・音韻論基礎 ※注2			4
実験音声学特講・演習Ⅰ－A ※注2			2
実験音声学特講・演習Ⅰ－B ※注2			2
実験音声学特講・演習Ⅱ－A ※注2			2
実験音声学特講・演習Ⅱ－B ※注2			2
Psycholinguistics ※注3			4
Second Language Acquisition (English) ※注3			4
(他) 心理測定学特殊研究Ⅰ ※注1			2
(他) 心理測定学特殊研究Ⅱ ※注1			2
(他) 認知心理学特殊研究Ⅰ ※注1			2
(他) 認知心理学特殊研究Ⅱ ※注1			2
(他) 生理心理学特殊研究Ⅰ ※注1			2
(他) 生理心理学特殊研究Ⅱ ※注1			2
(他) 発達心理学特殊研究Ⅰ ※注1			2
(他) 発達心理学特殊研究Ⅱ ※注1			2

3. 履修上の注意

- 1) 必修科目の3科目と、選択必修科目のうち、どちらか1科目を含む、30単位以上を履修すること。言語聴覚士国家試験の受験資格の取得を希望する場合は、在籍期間中に、厚生労働大臣の指定する科目（平成10年8月厚生省告示227号）を履修すること。なお、言語聴覚士の国家試験受験資格を得るためには2年半の在籍が必要となる。
- 2) 1年次終了までに指導教員を決め、履修計画及び、修士論文の作成に対する指導を受けること。
- 3) 「研究指導」を2年次以降に毎学期受けること。なお、必要な合格科目数も定められている。「1. 修了に要する科目、単位数、科目数などの要件」を参照すること。
- 4) 2年次春学期に「修士論文計画書」を提出し、論文審査委員（主査1名、副査2名以上）による面接を受けること。その結果を受けて、論文の作成にかかり、所定の期限に提出後、学位論文審査を受けること。

■学部開講関連科目一覧（参考）

授 業 科 目 名		担 当 者 *：非常勤教員	開講学科等
休	言語学概論1	加 藤 孝 臣	外国語学部
休	言語学概論2	加 藤 孝 臣	外国語学部
	言語聴覚障害学概論	コ)原 惠 子	外国語学部
休	言語聴覚障害学特殊講義A（失語症）	吉 畑 博 代	外国語学部
	言語聴覚障害学特殊講義B（言語発達遅滞）	コ)原 惠 子	外国語学部
	学習・言語心理学	廣 瀬 英 子	心理学科
	発達心理学	齋 藤 慈 子	心理学科
	認知心理学Ⅰ（知覚・認知心理学）	道 又 爾	心理学科
	認知心理学Ⅱ	道 又 爾	心理学科
	感情・人格心理学	吉 村 聡	心理学科
	心理的アセスメント	吉 村 聡	心理学科
	認知行動療法概論	毛 利 伊 吹	心理学科
	心理学的支援法	毛 利 伊 吹	心理学科
	臨床心理学概論	横 山 恭 子	心理学科
	臨床心理学	横 山 恭 子	心理学科
	社会福祉概論	栃 本 一三郎	社会福祉学科
休	社会福祉原論	栃 本 一三郎	社会福祉学科
	社会保障論Ⅰ	香 取 照 幸	社会福祉学科
休	精神保健福祉論	未 定	社会福祉学科
	障害者福祉論Ⅰ	笠 原 千 絵	社会福祉学科

※科目の詳細（開講期、曜日、時限等）については、学部のLoyolaの「時間割表」および「履修要覧」で確認すること。

※上記の科目は、履修することは可能だが、修了要件に算入することはできない。

※履修希望者は、p.13を参照。

4. 開講科目一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※*:非常勤教員	外国語	備考
MFLC1010	春	言語聴覚障害学特論	LGC501-61j00	2	原 恵 子		M1対象
MFLC6010	春	コミュニケーション科学研究法A	LGC605-61j00	2	吉 畑 博 代		M2対象
MFLC6020	春	コミュニケーション科学研究法B	LGC606-61j00	2	原 恵 子		M2対象
MFLC7010	春	失語・高次脳機能障害学特論A	LGC502-61j00	2	*吉 野 眞理子		M1対象
MFLC7040	春	聴覚障害学特論B	LGC505-61j00	2	*廣 田 栄 子		隔年開講
MFLC7090	春	言語聴覚障害研究法C (データ分析)	LGC603-61j00	2	*山 本 崇 博		M2対象
MFLC7120	春	言語障害研究特殊講義A (機能性構音障害)	LGC511-61j00	2	*浅 野 和 海		一部集中
MFLC7170	春	高次脳機能障害学演習A	LGC514-61j00	2	*原 和 江		言語聴覚研究コースの学生のみ履修可, M1対象
MFLC7190	春	言語発達障害学演習A	LGC604-61j00	2	原 恵 子		言語聴覚研究コースの学生のみ履修可, M2対象, 集中実習を含む
MFLC7210	春	聴覚障害学演習A	LGC517-61j00	2	*伊 原 素 子		言語聴覚研究コースの学生のみ履修可, M1対象, 集中実習を含む
MFLC7230	春	発声発語障害学演習A	LGC619-61j00	2	*山 下 夕香里		言語聴覚研究コースの学生のみ履修可, M2対象, 集中実習を含む
MFLC7250	春	発声発語障害学演習C	LGC521-61j00	2	*西 脇 恵 子		言語聴覚研究コースの学生のみ履修可, M1対象
MFLC7141	春	言語障害研究特殊講義E (吃音)	LGC524-61j00	2	*酒 井 奈緒美		春学期集中, 隔年開講
MFLC7161	春	臨床医学特論C (耳科学・形成外科学・歯科口腔外科学)	LGC526-61j00	2	*小 林 一 女 *大久保 文 雄 *石 井 宏 昭		春学期集中, 輪講, 隔年開講
MFLC7165	春	臨床医学特論D (神経系の基礎と病態・内科学)	LGC535-61j00	2	*岡 田 大 助 *吉 澤 浩 志 *豊 島 裕 子		春学期集中, 輪講, 隔年開講
MFLC7166	春	臨床医学特論E (発達障害医学・脳性麻痺)	LGC536-61j00	2	*今 井 祐 之 *栗 原 亞 紀		春学期集中, 輪講, 隔年開講
MFLC7164	春	言語聴覚病理学特論(医学概論・解剖学・生理学・病理学)	LGC527-61j00	2	*木 村 直 史 *池 上 雅 博 *柳 澤 裕 之 *橋 本 尚 詞		春学期集中, 輪講, 隔年開講
MFLC7041	2Q	聴覚障害学特論C (補聴器)	LGC523-61j00	2	*中 川 辰 雄		2Q集中, 隔年開講
MFLC7151	2Q	言語障害研究特殊講義H(小児の運動性構音障害・摂食・嚥下障害)	LGC525-61j00	2	*虫 明 千恵子		2Q集中, 隔年開講
MFLC1020	秋	言語聴覚障害研究法B (実験計画法)	LGC507-61j00	2	吉 畑 博 代		M1対象
MFLC7020	秋	失語・高次脳機能障害学特論B	LGC503-61j00	2	コーディネータ 吉 畑 博 代		一部集中, 輪講, M1対象
MFLC7052	秋	小児言語発達学特論	LGC529-61j00	2	原 恵 子		隔年開講
MFLC7060	秋	言語聴覚学特論A (成人のコミュニケーション障害)	LGC601-61j00	2	吉 畑 博 代		M2対象
MFLC7070	秋	言語聴覚学特論B (小児のコミュニケーション障害)	LGC602-61j00	2	原 恵 子		M2対象
MFLC7080	秋	言語聴覚障害研究法A (心理統計)	LGC506-61j00	2	*山 本 崇 博		M1対象
MFLC7100	秋	コミュニケーション障害分析法A (治療診断学・成人)	LGC509-61j00	2	吉 畑 博 代		

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※*:非常勤教員	外国語	備考
MFLC7110	秋	コミュニケーション障害分析法B (治療診断学・小児)	LGC510-61j00	2	原 恵 子		M1対象
MFLC7130	秋	言語障害研究特殊講義B (器質性構音障害)	LGC512-61j00	2	*浅野和海 *山下夕香里		一部集中, 輪講, M1対象
MFLC7180	秋	高次脳機能障害学演習B	LGC515-61j00	2	吉畑博代		言語聴覚研究コースの学生のみ履修可, M1対象
MFLC7200	秋	言語発達障害学演習B	LGC516-61j00	2	原 恵 子		言語聴覚研究コースの学生のみ履修可, M1対象, 集中実習を含む
MFLC7220	秋	聴覚障害学演習B	LGC518-61j00	2	*伊原素子		言語聴覚研究コースの学生のみ履修可, M1対象, 集中実習を含む
MFLC7240	秋	発声発語障害学演習B	LGC520-61j00	2	*関谷麻美子		言語聴覚研究コースの学生のみ履修可, M1対象, 集中実習を含む
MFLC7260	秋	発声発語障害学演習D	LGC522-61j00	2	*西脇恵子		言語聴覚研究コースの学生のみ履修可, M1対象
MFLC1030	休講	言語聴覚障害研究法D (文献講読)	LGC508-61j00	2			隔年開講
MFLC7030	休講	聴覚障害学特論A	LGC504-61j00	2			隔年開講
MFLC7051	休講	聴覚障害学特論D(人工内耳)	LGC528-61j00	2			隔年開講
MFLC7131	休講	言語障害研究特殊講義C (発声発語の生理学)	LGC530-61j00	2			隔年開講
MFLC7132	休講	言語障害研究特殊講義D (音声障害)	LGC531-61j00	2			隔年開講
MFLC7142	休講	言語障害研究特殊講義F (学習障害)	LGC532-61j00	2			隔年開講
MFLC7150	休講	言語障害研究特殊講義G(成人の 運動性構音障害・摂食・嚥下障害)	LGC513-61j00	2			隔年開講
MFLC7152	休講	臨床医学特論A(神経内科学)	LGC533-61j00	2			隔年開講
MFLC7153	休講	臨床医学特論B(精神医学・リハビリテーション 医学・コミュニケーション障害と心理臨床)	LGC534-61j00	2			輪講, 隔年開講

※備考欄で特に記載がない場合は前期課程の学生を対象。

※修士論文については履修要覧〔ガイド・資料編〕p.49～51参照。

※研究指導一覧表についてはp.224参照。

言語学専攻 博士前期課程 英語教授法コース (TESOL)

1. 修了に要する科目, 単位数, 科目数などの要件

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考 (上限, その他)
総単位数	30		
▶ 選択必修科目 (必修)	8		
└ Introduction to Linguistics	2		
└ Introduction to TEFL in Japan	2		
└ Second Language Acquisition (English)	4		
▶ 選択科目	22		
└ 自専攻自コース科目	12		
└ Core Courses	4		
└ Integrative Seminar in TESOL 1 (Core Topics)	4		
└ Integrative Seminar in TESOL 2 (Related Topics)	4		
└ Special Topics in Linguistics			
└ 自専攻他コース科目			
研究指導 (必修)		2	単位なし, 2年次以降に毎学期登録される 2科目以上合格すること
修士論文			必要な研究指導を受けた上, 修士論文の審査および試験に合格すること (修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること)

【研究指導スケジュール】

4月に実施する専攻ガイダンスで配付する「言語学専攻ハンドブック」にて詳細を確認すること。

【修士論文審査基準】

- 1) 研究の内容が言語研究に寄与し, 独創性を有すること。
- 2) 研究テーマが十分に練り込まれた明確なものであること。
- 3) 先行研究を踏まえ, 十分な論証がなされていること。
- 4) 論文の構成が組織立っており, 論理が明晰で, 論旨が一貫していること。

2. 授業科目の編成・単位

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
<Core Courses>			
Introduction to Linguistics		2	
Introduction to TEFL in Japan		2	
Second Language Acquisition (English)		4	
Teaching Pronunciation			2
Listening and Speaking			2
Reading and Writing			2
Classroom Research			2
Affective Factors in TESOL			2
Curriculum and Syllabus Design			2
Materials Development			2
Principles and Practice of CLIL			2
Thesis Writing			2
<Integrative Seminar in TESOL 1 (Core Topics)>			
Focus on Form: Theory, Research, and Practice			4
Action Research			4
TEFL Methodology			4
言語テストイング 1 ※注1			2
言語テストイング 2 ※注1			2
Classroom Discourse			2
<Integrative Seminar in TESOL 2 (Related Topics)>			
Bilingual Education			4
Intercultural Interaction			2
Analyzing Spoken Data			2
Psycholinguistics			4
Sociolinguistics			2
Sociocultural Theory & SLA			2
Qualitative Research Methods			2
Language and Power			2
実験統計法1 ※注1			2
実験統計法2 ※注1			2
フランス語教授法1 ※注1			2
フランス語教授法2 ※注1			2
Theories of Teaching English to Young Children			2
Practicum in Teaching English to Children 1			2
Practicum in Teaching English to Children 2			2

※注1：言語学専攻開講科目。

※注2：日本語教育学コース開講科目。

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
日本語教育文法 I ※注2			2
日本語教育文法 II ※注2			2
第二言語習得 I ※注2			2
第二言語習得 II ※注2			2
言語・文化・社会 ※注2			2
日本語教授法概論 ※注2			2
日本語教育文法演習 ※注2			2
日本語教授法特講 ※注2			2
第二言語習得演習 ※注2			2
中間言語語用論概論 ※注2			2
中間言語語用論演習 ※注2			2
談話分析 ※注2			2
日本語評価法 ※注2			2
日本語教授法（初級） ※注2			2
日本語教授法（中上級） ※注2			2
日本語音声学 ※注2			2
日本語教材・教具論 ※注2			2
日本語社会言語学 ※注2			2
バイリンガル教育と多文化共生 ※注2			2
研究法入門 ※注2			2
異文化コミュニケーション ※注2			2
日本語研究 I ※注2			2
日本語研究 II ※注2			2
社会言語学特講 ※注2			2
日本語教授法演習 ※注2			2
応用心理言語学 ※注2			2
<Special Topics in Linguistics>			
World Englishes			2
音声学・音韻論基礎 ※注1			4
統辞論基礎 ※注1			4
意味論基礎 ※注1			4
コーパス言語学2 ※注1			2

3. 履修上の注意

1) 30 単位以上を履修すること。

なお、上記 30 単位の中には、次の選択必修科目が含まれていなければならない。

Introduction to Linguistics, Introduction to TEFL in Japan, Second Language Acquisition (English), これら 3 科目は、修了要件上の必修科目であり、1 年次に履修することが望ましい。

また、Core Courses から少なくとも 12 単位、Integrative Seminar in TESOL 1 (Core Topics) から少なくとも 4 単位、Integrative Seminar in TESOL 2 (Related Topics) から少なくとも 4 単位履修すること。

2) 1 年次終了までに指導教員を決め、履修計画及び、修士論文・プロジェクトの作成に対する指導を受けること。

3) 「研究指導」を 2 年次以降に毎学期受けること。なお、必要な合格科目数も定められている。「1. 修了に要する科目、単位数、科目数などの要件」を参照すること。

4) 2 年次春学期に「修士論文計画書」を提出し、論文審査委員（主査 1 名、副査 2 名以上）による面接を受けること。その結果を受けて、論文の作成にかかり、所定の期限に提出後、学位論文審査を受けること。

4. 開講科目一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他)：他専攻教員 *：非常勤教員	外国語	備考
MFLT6010	春	INTRODUCTION TO LINGUISTICS	LGE502-61e00	2	藤田 保	○	M1対象
MFLT6020	春	INTRODUCTION TO TEFL IN JAPAN	LGE503-61e00	2	渡部 良典	○	M1対象
MFLT6041	春	SECOND LANGUAGE ACQUISITION (ENGLISH)	LGE510-61e00	4	和泉 伸一	○	M1対象
MFLT7020	春	LISTENING AND SPEAKING	LGE505-61e00	2	佐藤 敬典	○	
MFLT7040	春	CLASSROOM RESEARCH	LGE507-61e00	2	渡部 良典	○	
MFLT7080	春	THESIS WRITING	LGE526-61e00	2	MACINTYRE Robert	○	
MFLT7150	春	CLASSROOM DISCOURSE	LGE516-61e00	2	FURUKAWA Gavin	○	隔年開講
MFLT7170	春	INTERCULTURAL INTERACTION	LGE522-61e00	2	FAIRBROTHER Lisa	○	
MFLT7180	春	PSYCHOLINGUISTICS	LGE515-61e00	4	吉田 研作	○	隔年開講
MFLT7340	春	PRACTICUM IN TEACHING ENGLISH TO CHILDREN 1	LGE524-61e00	2	*狩野 晶子	○	
MFLT7010	秋	TEACHING PRONUNCIATION	LGE504-61e00	2	佐藤 敬典	○	
MFLT7030	秋	READING AND WRITING	LGE506-61e00	2	渡部 良典	○	
MFLT7050	秋	AFFECTIVE FACTORS IN TESOL	LGE508-61e00	2	逸見 シャンタール	○	
MFLT7360	秋	FOCUS ON FORM : THEORY, RESEARCH, AND PRACTICE	LGE511-61e00	4	和泉 伸一	○	旧「APPLIED LINGUISTICS (FOCUS ON FORM)」
MFLT7130	秋	ACTION RESEARCH	LGE512-61e00	4	渡部 良典	○	
MFLT7140	秋	TEFL METHODOLOGY	LGE513-61e00	4	吉田 研作	○	
MFLT7190	秋	SOCIOLINGUISTICS	LGE501-61e00	2	FAIRBROTHER Lisa	○	隔年開講
MFLT7260	秋	PRINCIPLES AND PRACTICE OF CLIL	LGE519-61e00	2	(他)池田 真	○	
MFLT7330	秋	THEORIES OF TEACHING ENGLISH TO YOUNG CHILDREN	LGE523-61e00	2	藤田 保	○	
MFLT7350	秋	PRACTICUM IN TEACHING ENGLISH TO CHILDREN 2	LGE525-61e00	2	*狩野 晶子	○	
MFLT7070	休講	CURRICULUM AND SYLLABUS DESIGN	LGE509-61e00	2		○	
MFLT7120	休講	ANALYZING SPOKEN DATA	LGE520-61e00	2		○	隔年開講
MFLT7160	休講	BILINGUAL EDUCATION	LGE514-61e00	4		○	隔年開講
MFLT7200	休講	SOCIOCULTURAL THEORY & SLA	LGE601-61e00	2		○	
MFLT7230	休講	QUALITATIVE RESEARCH METHODS	LGE517-61e00	2		○	
MFLT7240	休講	LANGUAGE AND POWER	LGE602-61e00	2		○	隔年開講
MFLT7250	休講	MATERIALS DEVELOPMENT	LGE518-61e00	2		○	
MFLT7270	休講	WORLD ENGLISHES	LGE521-61e00	2		○	隔年開講

※修士論文については履修要覧〔ガイド・資料編〕 p. 49～51参照。

※研究指導一覧表についてはp. 224参照。

1. 修了に要する科目, 単位数, 科目数などの要件

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考 (上限, その他)
総単位数	30		
▶ 選択必修科目 (必修)	8		
└ 日本語教育文法 I	2		
└ 第二言語習得 I	2		
└ 言語・文化・社会	2		
└ 日本語教授法概論	2		
▶ (B) 選択必修科目群	16		(B) 選択必修科目群から16単位を超えて履修をした場合, その単位は選択科目として取り扱う
▶ 選択科目	6		
└ 自専攻自コース科目			
└ 自専攻他コース科目			
研究指導(必修)		2	単位なし, 2年次以降に毎学期登録される 2科目以上合格すること
修士論文			必要な研究指導を受けた上, 修士論文の審査および試験に合格すること (修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること)

【研究指導スケジュール】

4月に実施する専攻ガイダンスで配付する「言語学専攻ハンドブック」にて詳細を確認すること。

【修士論文審査基準】

- 1) 研究の内容が言語研究に寄与し, 独創性を有すること。
- 2) 研究テーマが十分に練り込まれた明確なものであること。
- 3) 先行研究を踏まえ, 十分な論証がなされていること。
- 4) 論文の構成が組織立っており, 論理が明晰で, 論旨が一貫していること。

2. 授業科目の編成・単位

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
< (A) 必修科目群 >			
日本語教育文法 I		2	
第二言語習得 I		2	
言語・文化・社会		2	
日本語教授法概論		2	
< (B) 選択必修科目群 >			
日本語教育文法 II			2
第二言語習得 II			2
日本語教育文法演習			2
日本語教授法特講			2
第二言語習得演習			2
中間言語用論概論			2
中間言語用論演習			2
談話分析			2
日本語評価法			2
日本語教授法 (初級)			2
日本語教授法 (中上級)			2
日本語音声学			2
日本語教材・教具論			2
日本語社会言語学			2
バイリンガル教育と多文化共生			2
研究法入門			2
異文化コミュニケーション			2
日本語研究 I			2
日本語研究 II			2
社会言語学特講			2
日本語教授法演習			2
応用心理言語学			2
< (C) 選択科目群 >			
Introduction to Linguistics ※注2			2
Introduction to TEFL in Japan ※注2			2
Second Language Acquisition (English) ※注2			4
Teaching Pronunciation ※注2			2
Listening and Speaking ※注2			2
Reading and Writing ※注2			2

※注1：言語学専攻開講科目。

※注2：英語教授法コース (TESOL) 開講科目。

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
Classroom Research ※注2			2
Affective Factors in TESOL ※注2			2
Curriculum and Syllabus Design ※注2			2
Materials Development ※注2			2
Principles and Practice of CLIL ※注2			2
Thesis Writing ※注2			2
Focus on Form: Theory, Research, and Practice ※注2			4
Action Research ※注2			4
TEFL Methodology ※注2			4
Classroom Discourse ※注2			2
Bilingual Education ※注2			4
Intercultural Interaction ※注2			2
Analyzing Spoken Data ※注2			2
Psycholinguistics ※注2			4
Sociolinguistics ※注2			2
Sociocultural Theory & SLA ※注2			2
Qualitative Research Methods ※注2			2
Language and Power ※注2			2
Theories of Teaching English to Young Children ※注2			2
Practicum in Teaching English to Children 1 ※注2			2
Practicum in Teaching English to Children 2 ※注2			2
World Englishes ※注2			2
統辞論基礎 ※注1			4
意味論基礎 ※注1			4
音声学・音韻論基礎 ※注1			4
実験統計法 1 ※注1			2
実験統計法 2 ※注1			2
言語テストイング 1 ※注1			2
言語テストイング 2 ※注1			2

3. 履修上の注意

1) 30 単位以上を履修すること。

なお、上記 30 単位の中には、(A)履修群の 8 単位、(B)履修群の 16 単位以上が含まれていなければいけない。

また、学部での日本語教育の知識が不十分な学生については、必要に応じて学部の日本語教育関連コースの科目の履修を義務付ける場合がある。

2) 1 年次終了までに指導教員を決め、履修計画及び、修士論文の作成に対する指導を受けること。

3) 「研究指導」を 2 年次以降に毎学期受けること。なお、必要な合格科目数も定められている。「1. 修了に要する科目、単位数、科目数などの要件」を参照すること。

4) 2 年次春学期に「修士論文計画書」を提出し、論文審査委員（主査 1 名、副査 2 名以上）による面接を受けること。その結果を受けて、論文の作成にかかり、所定の期限内に提出後、学位論文審査を受けること。

■学部開講関連科目一覧（参考）

授 業 科 目 名	担 当 者	開講学科等
日本語教育入門1	清 水 崇 文	外国語学部
日本語教育入門2	清 水 崇 文	外国語学部
日本語教育学A（文法）1	村 田 水 恵	外国語学部
日本語教育学A（文法）2	村 田 水 恵	外国語学部
日本語教育学B（言語習得）1	小 柳 かおる	外国語学部
日本語教育学B（言語習得）2	小 柳 かおる	外国語学部
日本語教育学C（社会言語学）1	清 水 崇 文	外国語学部
日本語教育学C（社会言語学）2	清 水 崇 文	外国語学部
日本語教授法A（初級）1	峯 布 由 紀	外国語学部
日本語教授法A（初級）2	峯 布 由 紀	外国語学部
日本語教授法B（中上級）1	峯 布 由 紀	外国語学部
日本語教授法B（中上級）2	峯 布 由 紀	外国語学部
日本語教授法C（技能別）1	小 柳 かおる	外国語学部
日本語教授法C（技能別）2	小 柳 かおる	外国語学部

※科目の詳細（開講期、曜日、時限等）については、学部のLoyolaの「時間割表」および「履修要覧」で確認すること。

※上記の科目は、履修することは可能だが、修了要件に算入することは出来ない。

4. 開講科目一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※ * :非常勤教員	外国語	備考
MFLJ6010	春	日本語教育文法 I	LGJ512-61j00	2	峯 布由紀		
MFLJ6020	春	第二言語習得 I	LGJ501-61j00	2	小 柳 かおる		
MFLJ6030	春	言語・文化・社会	LGJ503-61j00	2	清 水 崇 文		
MFLJ6040	春	日本語教授法概論	LGJ504-61j00	2	峯 布由紀		
MFLJ7070	春	中間言語語用論演習	LGJ604-61j00	2	清 水 崇 文		
MFLJ7120	春	日本語音声学	LGJ514-61j00	2	*大久保 雅 子		隔週開講
MFLJ7160	春	研究法入門	LGJ511-61j00	2	*西 川 朋 美		
MFLJ7200	春	日本語教授法演習	LGJ607-61j00	2	小 柳 かおる		隔年開講
MFLJ7210	春	応用心理言語学	LGJ608-61j00	2	小 柳 かおる		隔年開講
MFLJ7110	2Q	日本語教授法 (中上級)	LGJ516-61j00	2	*ペレラ 柴田 奈津子		2Q集中, 隔年開講
MFLJ7010	秋	日本語教育文法 II	LGJ513-61j00	2	峯 布由紀		
MFLJ7020	秋	第二言語習得 II	LGJ502-61j00	2	小 柳 かおる		
MFLJ7050	秋	第二言語習得演習	LGJ603-61j00	2	小 柳 かおる		
MFLJ7060	秋	中間言語語用論概論	LGJ505-61j00	2	清 水 崇 文		
MFLJ7100	秋	日本語教授法 (初級)	LGJ507-61j00	2	和 氣 圭 子		
MFLJ7140	秋	日本語社会言語学	LGJ509-61j00	2	*齋 藤 純 子		
MFLJ7170	秋	異文化コミュニケーション	LGJ517-61j00	2	清 水 崇 文		
MFLJ7180	秋	日本語研究 I	LGJ605-61j00	2	峯 布由紀		隔年開講
MFLJ7030	休講	日本語教育文法演習	LGJ602-61j00	2			隔年開講
MFLJ7040	休講	日本語教授法特講	LGJ601-61j00	2			隔年開講
MFLJ7080	休講	談話分析	LGJ506-61j00	2			
MFLJ7090	休講	日本語評価法	LGJ515-61j00	2			隔年開講
MFLJ7130	休講	日本語教材・教具論	LGJ508-61j00	2			隔年開講
MFLJ7150	休講	バイリンガル教育と多文化共生	LGJ510-61j00	2			隔年開講
MFLJ7190	休講	日本語研究 II	LGJ606-61j00	2			隔年開講
MFLJ7220	休講	社会言語学特講	LGJ609-61j00	2			

※修士論文については履修要覧〔ガイド・資料編〕 p. 49～51参照。

※研究指導一覧表についてはp. 224参照。

言語学専攻 博士後期課程

1. 修了に要する科目, 単位数, 科目数などの要件

【18年次生以降】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限, その他）
総単位数	6		
・必修科目			
└言語学特殊研究Ⅰ	2		
└言語学特殊研究Ⅱ	2		
└言語学特殊研究Ⅲ	2		
・選択科目			
研究指導（必修）		6	単位なし, 在学中毎学期登録される 6科目以上合格すること
博士論文			必要な研究指導を受けた上, 博士論文の審査および試験に 合格すること

【17年次生】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限, その他）
総単位数			
・選択科目			
研究指導（必修）		6	単位なし, 在学中毎学期登録される 6科目以上合格すること
博士論文			必要な研究指導を受けた上, 博士論文の審査および試験に 合格すること

【16年次生以前】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限, その他）
総単位数			
・選択科目			
研究指導（必修）			単位なし, 11年次生以降は在学中毎学期登録される 10年次生以前は3年次までに計2回, 履修すること ※10年度までは「論文指導（単位なし）」
博士論文			必要な研究指導を受けた上, 博士論文の審査および試験に 合格すること

【研究指導スケジュール】

4月に実施する専攻ガイダンスで配付する「言語学専攻ハンドブック」にて詳細を確認すること。

【博士論文審査基準】

- 1) 研究の内容が言語研究に寄与し, 独創性を有すること。
- 2) 研究テーマが十分に練り込まれた明確なものであること。
- 3) 国内外の先行研究を踏まえ, 十分な論証がなされていること。
- 4) 論文の構成が組織立っており, 論理が明晰で, 論旨が一貫していること。
- 5) 自立した研究者として研究活動を遂行するに足る能力と学識が示されたものであること。

2. 授業科目の編成・単位

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
言語学特殊研究Ⅰ	2		
言語学特殊研究Ⅱ	2		
言語学特殊研究Ⅲ	2		
コミュニケーション障害特殊講義			2
コミュニケーション障害分析法（治療診断学）			2

3. 履修上の注意

- 1) 17年次生以前：修了に必要な履修単位数の条件はない。
18年次生以降：必修科目「言語学特殊研究Ⅰ」「言語学特殊研究Ⅱ」「言語学特殊研究Ⅲ」の3科目、計6単位を履修すること。
- 2) 1年次に指導教員を決め、研究上の指導を受けること。
2年次に博士論文資格試験を受験すること。詳細は言語学専攻事務室に問い合わせること。
- 3) 「研究指導」について
「研究指導」を在学中毎学期受けること。なお、2017年次生以降については、必要な合格科目数も定められている。「1. 修了に要する科目、単位数、科目数などの要件」を参照すること。
- 4) 博士論文提出前に、合計2編以上の論文をしかるべき学術雑誌（査読付き）に発表すること。そのうち少なくとも1編は単著であること。
- 5) 博士論文（課程博士）の作成、提出について
 - (a) 指導教員の指導の下で作成準備にかかり、適当な時期に、論文審査委員会（主査1名、副査2名以上）を構成する。
 - (b) 在学中に論文を提出し、審査を受け、最終試験（公開試問）を受ける。
なお、2001～2013年度の入学者については、満期退学後3年以内に論文を提出した場合には、課程博士として学位論文審査および最終試験を受けることができる特例の適用を受けることができる。本特例の適用を受けようとする者は、「満期退学願」提出時に「課程博士学位論文提出申請書」を提出すること。
本特例の詳細については、学事センター（学籍・証明書）窓口にお問い合わせのこと。
また、「論文博士」の提出手続きについても学事センター（学籍・証明書）窓口にお問い合わせのこと。
- 6) 本修了要件（上記1）～5）は、2003年度入学者から施行する。
- 7) 課程博士の取得を希望する者は専攻事務室で手順書を入手すること。

言語聴覚障害学を専攻する者は以下を参照すること。

- 1) 必修科目「言語学特殊研究Ⅰ」「言語学特殊研究Ⅱ」「言語学特殊研究Ⅲ」の3科目、計6単位を履修すること。
- 2) 1年次に指導教員を決め、研究上の指導を受けること。
2年次に博士論文資格試験を受験すること。詳細は言語学専攻事務室に問い合わせること。
- 3) 「研究指導」を在学中毎学期受けること。なお、2017年次生以降の学生については、必要な合格科目数も定められている。「1. 修了に要する科目、単位数、科目数などの要件」を参照すること。
- 4) 博士論文の提出前に、合計2編以上の論文（査読付き。そのうち1編以上は英語で書かれたもの）をしかるべき学術雑誌に発表すること。また、2編ともに筆頭著者であること。
- 5) 博士論文（課程博士）の作成・提出について
 - (a) 指導教員の指導の下で作成準備にかかり、適当な時期に、論文審査委員会（主査1名、副査2名以上）を構成する。
 - (b) 在学中に論文を提出し、2回の論文審査に合格した後、最終試験（公開試問）を受ける。

「論文博士」の提出手続きについては学事センター（学籍・証明書）窓口にお問い合わせのこと。

6) 課程博士の取得を希望する者は専攻事務室で手順書を入手すること。

4. 開講科目一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名	外国語	備考
DFLG1000	春	言語学特殊研究Ⅰ	LNG801-61m00	2	言語学専攻指導教員		D 1 対象
DFLG2000	春	言語学特殊研究Ⅱ	LNG802-61m00	2	言語学専攻指導教員		D 2 対象
DFLG3000	春	言語学特殊研究Ⅲ	LNG803-61m00	2	言語学専攻指導教員		D 3 対象
DFLG7020	秋	コミュニケーション障害分析法 (治療診断学)	LGC802-61j00	2	吉 畑 博 代		後期課程の学生で、言語聴覚障害学を専攻する者のみ履修可
DFLG7010	休講	コミュニケーション障害特殊講義	LGC801-61j00	2			後期課程の学生で、言語聴覚障害学を専攻する者のみ履修可

5. 研究指導一覧表

ナンバリング	担当教員名	備考
LNG804-61m00	吉田 研作	
	高橋 由美子	
	福井 直樹	
	渡部 良典	
	市之瀬 敦	
	原田 早苗	
	和泉 伸一	
	小柳 かおる	
	NEVES Mauro	
	西村 君代	
	坂本 光代	
	清水 崇文	
	TOIDA Helena	
	村田 真一	
	COUCHOT Hervé	
	FAIRBROTHER Lisa	
	TUCHAIS Simon	
	LIPSKY Angela	
	原 惠子	
	高橋 亮介	
	吉畑 博代	
	加藤 孝臣	
	峯 布由紀	
	秋山 真一	
北原 真冬		
AROZ Aingeru		

※「研究指導」の履修年次は後期課程の1～3年次である。

グローバル・スタディーズ研究科

* グローバル社会専攻のカリキュラムについては、
English-taught Graduate Programs 「BULLETIN OF INFORMATION 2020-2021」を参照

国際関係論専攻

地域研究専攻

グローバル社会専攻

1. グローバル・スタディーズ研究科の教育研究上の目的及び人材養成の目的

国際関係の諸側面とそれらをめぐる諸問題を多角的に研究する国際関係論，アジア・中東・ラテンアメリカ地域等の内生的な理解を重視する地域研究，グローバル・イシューに多面的にアプローチするグローバル社会専攻のそれぞれの方法論を活かし，相互に関連してグローバル化する現代世界を総合的に理解することのできる専門研究者及び高度専門職業人を育成する。

2. 各専攻のディプロマ・ポリシー

国際関係論専攻

【博士前期課程】

本課程では，世界平和と世界正義問題に積極的に取り組み，戦争を防止し，多様で自由な国際社会を築けるような問題関心を持ち，今日の国際社会が直面する諸問題の解決に積極的に貢献できるような研究者や専門家を養成することを目的とし，学生が修了時に身につけるべき能力や知識を次のように定めています。修了要件を満たし論文審査に合格すれば，これらを身につけた者と認め，学位を授与します。

1. 安全保障・紛争，貧困・開発，移民・難民，国際協力の在り方など国際社会が直面する諸問題に関する問題意識が明確かつテーマ設定が適切で，国際関係論およびその関連領域の知識の向上に寄与する力
2. 国際関係論およびその関連領域の知識を理解し，現代の国際関係の事象またはグローバル・イシューを鋭利な問題意識と批判的精神で分析し，問題解決に向けて提言する力
3. 地球環境・国際社会について幅広い問題関心を持ち，国際関係の理解に，国際政治学，国際経済学，国際社会学・比較社会学，国際協力論といった学際的な視点と，国家や社会や地域に関する比較の視点からアプローチする力

【博士後期課程】

本課程では，世界における平和と正義の問題に積極的に取り組み，戦争を防止し，多様で自由なグローバル社会を築けるような問題関心を持ち，今日の国際社会が直面する諸問題の解決に積極的に貢献できるような研究者や専門家を養成することを目的とし，学生が修了時に身につけるべき能力や知識を次のように定めています。修了要件を満たし論文審査に合格すれば，これらを身につけた者と認め，学位を授与します。

1. 問題意識が明確で，テーマ設定が適切であり，対象分野に関する新しい知見の発見，ないしは既存の知見に対する新しい解釈が提示する力
2. 自ら選んだ専攻分野における独創的かつ先端的な研究であり，自立的研究者として研究を遂行することができる能力
3. 論文の主要部分が学術雑誌などに出版，あるいは提出されている能力

地域研究専攻

【博士前期課程】

本課程では，現場の視点を重視した地域立脚型のアプローチに基づき，歴史的文化的背景に配慮しながら，グローバル・イシューの原点解明と解決をめざすフィールド・ワーカー養成を目的とし，学生が修了時に身につけるべき能力や知識を次のように定めています。修了要件を満たし論文審査に合格すれば，これらを身につけた者と認め，学位を授与します。

1. 東南アジア，南アジア，中東，アフリカ，ラテンアメリカ，ヨーロッパの各地域の言語を用い，フィールド・ワークに基づいた方法論を確立する力
2. 国単位ではない地域社会からの発想，及び複数の学問による共同研究によって既存の学問ではとらえきれない問題へ挑み，分析・理解する力

3. グローバルな諸現象の解明に地域の視点とアプローチから学術的・社会的に貢献し、次世代地域研究者としてグローバルな市民社会とローカルな多様性を支える力

【博士後期課程】

本課程では、研究課題解明のための適切且つ独創的な地域へのアプローチと方法論に基づき、関連学問分野の発展に貢献する地域研究の高度な学術水準を満たすことを目的とし、学生が修了時に身につけるべき能力や知識を次のように定めています。修了要件を満たし論文審査に合格すれば、これらを身につけた者と認め、学位を授与します。

1. 今日の課題解決のための適切なアプローチを、学問上の貢献と合わせて開発・確立し、さらに研究課題の解明に必要な十分な言語能力を運用したうえで、フィールド・ワークを遂行し独自の資料入手と分析をする力
2. 将来の学際的な共同研究も視野に入れた、研究課題の設定及び学術的貢献の可能性を洞察する力

グローバル社会専攻

【博士前期課程】

本課程では、学生が修了時に身につけるべき能力や知識を次のように定めています。修了要件を満たした者は、これらを身につけた者と認め、学位を授与します。

1. 専門的知識、世界に通用する文化的対応能力
2. グローバル社会研究領域では、グローバルな諸事象の研究のための基本的な概念や方法論
3. 国際経営開発領域では、特に日本とアジアに着目し、現代社会でのグローバルなビジネスおよび開発における多様な問題に対応するための分析をする力
4. 比較日本研究領域では、日本の歴史、文学、宗教、美術史、社会、文化について、総合的、学際的に理解する力

【博士後期課程】

本課程では、学生が修了時に身につけるべき能力や知識を次のように定めています。修了要件を満たした者は、これらを身につけた者と認め、学位を授与します。

1. 高度専門職にふさわしい専門知識
2. グローバル社会研究領域では、関連する基本的な概念に精通し、方法論を用いて達成された、グローバル社会研究領域における独創的な貢献をする力
3. 比較日本研究領域では、博士学位は、関連する基本的な概念に精通し、方法論を用いて達成された、比較日本研究領域における独創的な貢献をする力

3. 各専攻のカリキュラム・ポリシー

国際関係論専攻

【博士前期課程】

本課程では、ディプロマ・ポリシーの達成を目的とした二つの科目群により、以下の趣旨を盛り込んだ科目によってカリキュラムを編成しています。

1. 本課程では、学際的視点と比較の視点を修得すべく、国際政治・比較政治系と国際社会・国際協力系の履修群を二本柱とし、各群から一定の単位を修得し、国際関係論を体系的かつ幅広く研究することを目指している。
2. 国際政治・比較政治系では、国際関係論、国際政治学、比較政治学、平和研究、安全保障など国民国家の安全保障に関連する研究を行う。国際社会・国際協力系では国際経済学、国際社会学・比較社会学、国際協力論など国民国家の枠を超えて、人の安全保障に関連する研究を行う。
3. 国際関係論の理論や先行研究理解を踏まえ、独自の問題関心にしたいがい、国際社会が直面する諸問題に関する問

題意識が明確かつテーマ設定が適切で、国際関係論およびその関連領域の知識の向上に寄与できるような修士論文の作成に取り組ませる。

4. 修士課程での研究の発展を促すために、1人の学生を主指導教員と副指導教員の複数指導体制によって研究指導を行う。複数の教員の指導によって幅広い知識と視野を得て、学生が独自の研究を円滑に進めることが出来る指導体制とする。

【博士後期課程】

本課程では、ディプロマ・ポリシーに沿って、個別研究の独創性と学術的貢献についての認識を深め、学術上の研究成果をあげるよう、以下の趣旨を盛り込んだ科目によってカリキュラムを編成しています。

1. 指導教員と作成した独自のカリキュラムによって研究を進め、学会での発表や学術誌への投稿を行う。そのことで専門的な知識をえるだけでなく、高度な独創性をもった独自の研究を深めていく。
2. 本課程では、学際的な研究を遂行できるように複数の専門領域を学ぶことを学生に期待しており、博士論文の第一段階は、国際関係論で開設されている二科目を選択して受験する「博士論文資格試験」に合格することにより、この試験を経ることによって、複数の専門科目に関する幅広い知識と視野を得ることを目指す。
3. 博士論文の第二段階は、「博士論文計画書」を作成する。指導教員の指導によって独自に計画書の作成を進め学会での報告や学会誌への投稿を行うが、それらの研究成果に基づく具体的で体系的な博士論文の執筆計画を提出し審査される。「博士論文計画書」によって、博士論文作成は最終執筆の段階に至る。

地域研究専攻

【博士前期課程】

本課程では、ディプロマ・ポリシーの実現を目的として、以下の趣旨を盛り込んだ科目によってカリキュラムを編成しています。

1. 必修の基礎科目により、地域研究の基礎と多様で総合的な方法と地域立脚型の視点を修得させる。
2. 地域間比較科目により、研究対象とする地域及び主として用いる方法論の相対化を促し、また比較の視野を培うことによって個別研究の学術的貢献について客観的に把握する力をつける。
3. 地域研究専門科目により、研究対象に適切な方法論及び専攻研究成果を踏まえた、整合性のある論理展開が出来るように訓練する。

【博士後期課程】

本課程では、ディプロマ・ポリシーの実現を目的として、以下の趣旨を盛り込んだ科目によってカリキュラムを編成しています。

1. フィールド・ワークによる独創的な資料入手及びアプローチの開発を促すために、指導教員との個別論文指導を行う。
2. 指導教員及び専攻内で開設されている科目への積極的な参加を通じて、他分野、他地域の学生と幅広く議論する。
3. 博士論文提出資格試験により、言語能力、論理的思考も含めた学術水準の到達度を審査する。
4. 博士論文提出資格試験に合格したのち、博士論文計画書審査と博士論文計画セミナーの実施を経て博士論文完成へと導く。

グローバル社会専攻

【博士前期課程】

本課程では、ディプロマ・ポリシーに沿って、以下の趣旨を盛り込んだ科目によってカリキュラムを編成しています。

1. 多国籍・多文化な社会において、英語または他の言語により活躍できる人材を育成する。
2. グローバル社会研究領域では、国際的な組織、政府、NGO、マスメディア、教育機関その他の組織に十分に参画し、指導的な役割を果たす能力を身に付けさせる。
3. 国際経営開発学領域では、先進国・発展途上国の経済状況を深く理解し、国際的な組織・政府・ビジネスで必要な専門的な経営管理能力を身に付けさせる。
4. 比較日本研究領域では、教育機関その他の、日本に関する専門的な知識を必要とする組織において必要な日本語力と学術的知識を修得させる。

【博士後期課程】

本課程では、ディプロマ・ポリシーに沿って、以下の趣旨を盛り込んだ科目によってカリキュラムを編成しています。

1. 特定の領域で深い専門知識を修得し、かつ国際的なキャリアに必要な文化的対応能力を備える者を育成する。
2. グローバル社会研究領域では、高等教育機関における教育研究職や、グローバルな諸事象に対する専門的な理解と分析を必要とする組織での職務に就くに十分な、グローバル社会研究領域に対する理論と方法の専門的知識を身に付けさせる。
3. 比較日本研究領域では、日本研究領域の特定分野において高等教育機関における教育研究職に就くに十分な専門性を身につけ、また、自らの専門分野において高度・革新的なレベルの研究を続けてゆく能力を身に付けさせる。

国際関係論専攻 博士前期課程

1. 修了に要する科目, 単位数, 科目数などの要件

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考 (上限, その他)
総単位数	30		
▶選択必修科目	30		
└─自専攻科目	18		国際政治・比較政治系から12単位・国際社会・国際協力系から6単位, 国際社会・国際協力系から12単位・国際政治・比較政治系から6単位, いずれかの組み合わせで履修すること
└─国際政治・比較政治系	12または6		
└─国際社会・国際協力系	6または12		
└─自研究科他専攻科目			
└─委託聴講科目			2単位まで修了に必要な単位として認める
研究指導 (必修)		4	単位なし, 在学中毎学期登録される 4科目以上合格すること
修士論文			必要な研究指導を受けた上, 修士論文の審査および試験に合格すること (修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること)

- ▶前期課程学生は, [国際政治・比較政治系] 履修群および [国際社会・国際協力系] 履修群から 12 単位以上, もう一方から 6 単位以上を履修しなければならない。
- ▶前期課程学生は, 「研究指導」を在学中, 毎学期履修し, 必要な科目数を合格しなくてはならない。
- ▶前期課程修了条件は, 履修上の注意にしたがった上で, 30 単位以上の単位を修得し, 定められた手続きにより修士論文を提出して, 口述試験に合格することである。

定められた手続きに関するスケジュール

【博士前期課程 1 年次】

- 4 月上旬 入学式
- 4 月上旬 国際関係論専攻別ガイダンスにて必要書類・提出書類受取
- 4 月上旬～中旬 履修登録期間中に Loyola にて履修登録 (春学期科目)
- 4 月中旬 「博士前期課程指導教員仮届」提出
- 9 月中旬～9 月下旬 履修登録期間中に Loyola にて履修登録 (秋学期科目)
- 9 月下旬～10 月上旬 博士前期課程 2 年生の修士論文中間報告会出席 (観覧者として)
- 10 月上旬 「指導教員変更届」提出 (変更者のみ)

【博士前期課程 2 年次】

- 4 月上旬 国際関係論専攻別ガイダンスにて必要書類・提出書類受取
- 4 月上旬～中旬 履修登録期間中に Loyola にて履修登録 (春学期科目)
- 4 月中旬 「指導教員仮届及び修士論文提出予備届」提出
- 9 月中旬～9 月下旬 履修登録期間中に Loyola にて履修登録 (秋学期科目)
- 9 月下旬～10 月上旬 修士論文中間報告会出席 (報告者として)
- 11 月上旬 「国際関係論専攻修士論文提出本届」提出
- 1 月上旬 修士論文提出期日
- 2 月上旬 修士論口述試験 (後日結果通知)
- 3 月下旬 修了式

【修士論文審査基準】

- 1) 問題意識が明確で、テーマ設定が適切であり、国際関係論およびその関連領域の知識の向上に寄与していること。
- 2) 先行研究が十分に検討・吟味されており、出典記載や引用が適切になされていること。
- 3) 論文構成が的確で、論理展開に整合性と一貫性があること。
- 4) 論文の言語表現が的確で、目次・註・付録（図表・資料・参考文献表など）に関する体裁が整っていること。

2. 授業科目の編成・単位

【18年次生以降】

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
< (国際政治・比較政治系) 履修群 >			
対外政策研究1		2	
対外政策研究2		2	
比較政治学研究1		2	
比較政治学研究2		2	
国際関係論特殊講義		2	
国際関係論演習		2	
現代ロシア政治研究1		2	
現代ロシア政治研究2		2	
ロシア政治史研究1		2	
ロシア政治史研究2		2	
国際政治史研究1 (基礎)		2	
国際政治史研究2 (応用)		2	
日本外交研究1		2	
日本外交研究2		2	
中国政治外交研究1		2	
中国政治外交研究2		2	
ヨーロッパ比較政治研究1		2	
ヨーロッパ比較政治研究2		2	
アメリカ政治外交研究1		2	
アメリカ政治外交研究2		2	
グローバル・ガバナンス論研究1		2	
グローバル・ガバナンス論研究2		2	
国際政治経済論研究1(政治学的アプローチ)		2	
国際政治経済論研究2(政治学的アプローチ)		2	
国連研究1		2	
国連研究2		2	
国連研究演習1		2	
国連研究演習2		2	
国際機構論研究1		2	
国際機構論研究2		2	
国連の役割と機能(国連集中研修プログラム)		2	
ジュネーブ国際機関集中研修プログラム		2	
地域統合研究1		2	
地域統合研究2		2	

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
(他) 政治学研究 I (政治経済文献講読) ※注1		2	
(他) 政治学研究 II (リサーチデザイン) ※注1		2	
(他) INTERNATIONAL RELATIONS THEORY ※注1		2	
(他) INTERNATIONAL MIGRATION ※注1		2	
< (国際社会・国際協力系) 履修群 >			
開発経済学研究1		2	
開発経済学研究2		2	
国際協力論研究演習1		2	
国際協力論研究演習2		2	
国際社会学研究1 (基礎)		2	
国際社会学研究2 (応用)		2	
グローバル市民社会論研究1 (基礎)		2	
グローバル市民社会論研究2 (応用)		2	
現代ロシア経済研究1		2	
現代ロシア経済研究2		2	
体制移行経済研究1		2	
体制移行経済研究2		2	
言語社会学研究1		2	
言語社会学研究2		2	
国際教育開発論研究演習1		2	
国際教育開発論研究演習2		2	
国際経済学研究1		2	
国際経済学研究2		2	
国際政治経済論研究1(経済学的アプローチ)		2	
国際政治経済論研究2(経済学的アプローチ)		2	
環太平洋移民史研究1		2	
環太平洋移民史研究2		2	
社会科学の方法論1 (基礎)		2	
社会科学の方法論2 (応用)		2	

※注1：法律学専攻開講科目

上記注1科目の詳細については各専攻の履修要綱を確認すること。

【17年次生以前】

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
＜(A/国際政治・比較政治系)履修群＞			
国際政治史研究1(基礎)		2	
国際政治史研究2(応用)		2	
日本外交研究1		2	
日本外交研究2		2	
グローバル市民社会論研究1(基礎)		2	
グローバル市民社会論研究2(応用)		2	
中国政治外交研究1		2	
中国政治外交研究2		2	
国際協力論研究演習1		2	
国際協力論研究演習2		2	
アメリカ政治外交研究1		2	
アメリカ政治外交研究2		2	
グローバル・ガバナンス論研究1		2	
グローバル・ガバナンス論研究2		2	
国際政治経済論研究1(政治学的アプローチ)		2	
国際政治経済論研究2(政治学的アプローチ)		2	
国連の役割と機能(国連集中研修プログラム)		2	
ジュネーブ国際機関集中研修プログラム		2	
国連研究1		2	
国連研究2		2	
国連研究演習1		2	
国連研究演習2		2	
国際機構論研究1		2	
国際機構論研究2		2	
国際関係論特殊講義		2	
国際関係論演習		2	
地域統合研究1		2	
地域統合研究2		2	
(他)政治学研究Ⅰ(政治経済文献講読) ※注1		2	
(他)政治学研究Ⅱ(リサーチデザイン) ※注1		2	
(他)INTERNATIONAL RELATIONS THEORY ※注1		2	
(他)INTERNATIONAL MIGRATION ※注1		2	

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
＜(B/国際社会・国際協力系)履修群＞			
対外政策研究1		2	
対外政策研究2		2	
開発経済学研究1		2	
開発経済学研究2		2	
比較政治学研究1		2	
比較政治学研究2		2	
社会科学の方法論1(基礎) ※注2		2	
社会科学の方法論2(応用) ※注3		2	
国際社会学研究1(基礎)		2	
国際社会学研究2(応用)		2	
現代ロシア政治研究1		2	
現代ロシア政治研究2		2	
ロシア政治史研究1		2	
ロシア政治史研究2		2	
ヨーロッパ比較政治研究1		2	
ヨーロッパ比較政治研究2		2	
現代ロシア経済研究1		2	
現代ロシア経済研究2		2	
体制移行経済研究1		2	
体制移行経済研究2		2	
言語社会学研究1		2	
言語社会学研究2		2	
国際教育開発論研究演習1		2	
国際教育開発論研究演習2		2	
国際経済学研究1 ※注4		2	
国際経済学研究2 ※注5		2	
国際政治経済論研究1(経済学的アプローチ) ※注6		2	
国際政治経済論研究2(経済学的アプローチ) ※注7		2	
環太平洋移民史研究1		2	
環太平洋移民史研究2		2	

※注1：法律学専攻開講科目

※注2：旧統計学と国際社会研究1(基礎)

※注3：旧統計学と国際社会研究2(応用)

※注4：旧国際経済学研究1(理論)

※注5：旧国際経済学研究2(ケース・スタディ)

※注6：旧国際政治経済論研究1(理論)

※注7：旧国際政治経済論研究2(ケース・スタディ)

上記注1科目の詳細については各専攻の履修要綱を確認すること。

3. 履修上の注意

- 1) 前期課程学生は、[国際政治・比較政治系]履修群および[国際社会・国際協力系]履修群のいずれかから12単位以上、もう一方から6単位以上を修得しなければならない。各履修群の分類については「2. 授業科目の編成・単位」を参照すること。
なお、博士前期課程修了要件において、入学年次に応じて履修群の科目編成が異なるので注意すること。
- 2) 前期課程学生は、1年次入学とともに、なるべく早く修士論文の指導教員（本学国際関係論専攻担当専任教員）を決定し、必要な科目を履修すること。
- 3) 前期課程学生は、ガイダンスにて配布される「指導教員届」を専攻事務室に提出しなければならない。
- 4) 年度初めに行う専攻ガイダンスで「研究指導」「修士論文」について説明を行うので、必ず出席すること。
- 5) 前期課程学生は、「研究指導」を在学中、每学期履修し、必要な科目数を合格しなくてはならない。必要な合格科目数は「1. 修了に要する科目、単位数、科目数などの要件」を参照すること。
- 6) 科目選択にあたっては指導教員と相談の上、決定することとする。
- 7) 前期課程修了条件は、上記1)～4)にしたがった上で、30単位以上の単位を修得し、定められた手続きにより修士論文を提出して、口述試験に合格することである。
- 8) 前期課程において、大学院学則の規定に従い、本専攻入学以前に国内外の大学院で既に修得した単位を、本専攻修了に必要な単位として認定を受けることができる（入学前既修得単位認定）。また本専攻在学中に留学先大学院等で修得した単位を、本専攻修了に必要な単位として換算することを申請できる（単位換算）。いずれの場合も、学事センターへ申請が提出された後、本専攻にて審議し、認定の可否を判断する。単位数は、本学の基準により計算する。認定・換算できる総単位数は10単位を上限とする。
- 9) 18年度以前に履修した科目を確認する場合は、18年度以前の履修要綱を確認すること。
- 10) その他、不明な点は、上智大学大学院学則、上智大学学位規程を熟読し、専攻事務室、指導教員、専攻主任などと相談すること。

4. 開講科目一覧表

登録 コード	開 講 期	科目名	ナン バ リ ン グ	単 位 数	担当教員名 ※(他)：他専攻教員 *：非常勤教員	外 国 語	備 考
MFIR6200	休講	対外政策研究1	IRS503-66j00	2			「対外政策専門研究1」と合併，博士前期課程対象
MFIR6220	休講	対外政策研究2	IRS504-66j00	2			「対外政策専門研究2」と合併，博士前期課程対象
MFIR6920	休講	国際経済学研究1	IRS553-66j00	2			旧「国際経済学研究1(理論)」隔年開講，「国際経済学専門研究1」と合併，博士前期課程対象
MFIR6930	休講	国際経済学研究2	IRS554-66j00	2			旧「国際経済学研究2(ケース・スタディ)」隔年開講，「国際経済学専門研究2」と合併，博士前期課程対象
MFIR6900	休講	国際政治経済論研究1 (経済学的アプローチ)	IRS551-66j00	2			隔年開講，「国際政治経済論専門研究1(経済学的アプローチ)」と合併，博士前期課程対象
MFIR6910	秋	国際政治経済論研究2 (経済学的アプローチ)	IRS552-66j00	2	下川 雅嗣		隔年開講，「国際政治経済論専門研究2(経済学的アプローチ)」と合併，博士前期課程対象
MFIR6141	春	国際政治史研究1(基礎)	IRS531-66j00	2	宮城 大蔵		隔年開講，「国際政治史専門研究1(基礎)」と合併，博士前期課程対象
MFIR6142	休講	国際政治史研究2(応用)	IRS532-66j00	2			隔年開講，「国際政治史専門研究2(応用)」と合併，博士前期課程対象
MFIR6143	休講	日本外交研究1	IRS533-66j00	2			隔年開講，旧「日本外交史研究1」「日本外交専門研究1」と合併，博士前期課程対象
MFIR6144	秋	日本外交研究2	IRS534-66j00	2	宮城 大蔵		隔年開講，旧「日本外交史研究2」「日本外交専門研究2」と合併，博士前期課程対象
MFIR6180	春	グローバル市民社会論研究1(基礎)	IRS501-66j00	2	稲葉 奈々子		「グローバル市民社会論専門研究1(基礎)」と合併，博士前期課程対象
MFIR6190	秋	グローバル市民社会論研究2(応用)	IRS502-66j00	2	稲葉 奈々子		「グローバル市民社会論専門研究2(応用)」と合併，博士前期課程対象
MFIR6580	春	中国政治外交研究1	IRS521-66j00	2	渡辺 紫乃		「中国政治外交専門研究1」と合併，博士前期課程対象
MFIR6590	秋	中国政治外交研究2	IRS522-66j00	2	渡辺 紫乃		「中国政治外交専門研究2」と合併，博士前期課程対象
MFIR6940	春	国際協力論研究演習1	IRS523-66j00	2	丸山 英樹		「国際協力論研究専門演習1」と合併，博士前期課程対象
MFIR6950	秋	国際協力論研究演習2	IRS524-66j00	2	丸山 英樹		「国際協力論研究専門演習2」と合併，博士前期課程対象
MFIR6740	春	アメリカ政治外交研究1	IRS527-66j00	2	前嶋 和弘		「アメリカ政治外交専門研究1」と合併，博士前期課程対象
MFIR6750	秋	アメリカ政治外交研究2	IRS528-66j00	2	前嶋 和弘		「アメリカ政治外交専門研究2」と合併，博士前期課程対象
MFIR6030	春	グローバル・ガバナンス論研究1	IRS529-66j00	2	都留 康子		「グローバル・ガバナンス論専門研究1」と合併，博士前期課程対象
MFIR6040	休講	グローバル・ガバナンス論研究2	IRS530-66j00	2			「グローバル・ガバナンス論専門研究2」と合併，博士前期課程対象

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他):他専攻教員 *:非常勤教員	外国語	備考
MFIR6570	秋	国連の役割と機能 (国連集中研修プログラム)	IRS520-66j00	2	植木安弘		秋学期集中科目,注1
MFIR6980	春	ジュネーブ国際機関 集中研修プログラム	IRS15-66j00	2	植木安弘		春学期集中科目,注3
MFIR6510	1Q	国連研究1	IRS543-66j00	2	植木安弘		隔年開講,「国連専門研究1」と合併, 博士前期課程対象
MFIR6520	秋	国連研究2	IRS544-66j00	2	植木安弘		隔年開講,「国連専門研究2」と合併, 博士前期課程対象
MFIR6530	休講	国連研究演習1	IRS545-66j00	2			隔年開講,「国連研究専門演習1」と 合併,博士前期課程対象
MFIR6540	休講	国連研究演習2	IRS546-66j00	2			隔年開講,「国連研究専門演習2」と 合併,博士前期課程対象
MFIR7000	1Q	国際機構論研究1	IRS555-66j00	2	植木安弘		隔年開講,「国際機構論専門研究1」 と合併,博士前期課程対象
MFIR7010	秋	国際機構論研究2	IRS555-66j00	2	植木安弘		隔年開講,「国際機構論専門研究2」 と合併,博士前期課程対象
MFIR6010	春	開発経済学研究1	IRS535-66e00	2	高島亮	○	「開発経済学専門研究1」と合併,博 士前期課程対象
MFIR6020	秋	開発経済学研究2	IRS536-66e00	2	高島亮	○	「開発経済学専門研究2」と合併,博 士前期課程対象
MFIR6300	休講	比較政治学研究1	IRS505-66j00	2			「比較政治学専門研究1」と合併,博 士前期課程対象
MFIR6310	秋	比較政治学研究2	IRS506-66j00	2	岸川毅		「比較政治学専門研究2」と合併,博 士前期課程対象
MFIR6860	1Q	社会科学の方法論1(基礎)	IRS549-66j00	2	*小林誉明		旧「統計学と国際社会研究1(基礎)」, 博士前期課程対象,注2
MFIR6870	2Q	社会科学の方法論2(応用)	IRS550-66j00	2	*小林誉明		旧「統計学と国際社会研究2(応用)」, 博士前期課程対象,注2
MFIR6370	春	国際社会学研究1(基礎)	IRS507-66j00	2	蘭信三		「国際社会学専門研究1(基礎)」と合 併,博士前期課程対象
MFIR6380	秋	国際社会学研究2(応用)	IRS508-66j00	2	蘭信三		「国際社会学専門研究2(応用)」と合 併,博士前期課程対象
MFIR6990	休講	現代ロシア政治研究1	IRS509-66j00	2			隔年開講,「現代ロシア政治専門研究 1」と合併,博士前期課程対象
MFIR6340	休講	現代ロシア政治研究2	IRS510-66j00	2			隔年開講,「現代ロシア政治専門研究 2」と合併,博士前期課程対象
MFIR6350	春	ロシア政治史研究1	IRS511-66j00	2	湯浅剛		隔年開講,「ロシア政治史専門研究1」 と合併,博士前期課程対象
MFIR6360	秋	ロシア政治史研究2	IRS512-66j00	2	湯浅剛		隔年開講,「ロシア政治史専門研究2」 と合併,博士前期課程対象
MFIR6483	春	ヨーロッパ比較政治研究1	IRS537-66j00	2	河崎健		「ヨーロッパ比較政治専門研究1」と 合併,博士前期課程対象
MFIR6484	秋	ヨーロッパ比較政治研究2	IRS538-66j00	2	河崎健		「ヨーロッパ比較政治専門研究2」と 合併,博士前期課程対象
MFIR6490	春	現代ロシア経済研究1	IRS516-66j00	2	安達祐子		隔年開講,「現代ロシア経済専門研究 1」と合併,博士前期課程対象
MFIR6491	秋	現代ロシア経済研究2	IRS539-66j00	2	安達祐子		隔年開講,「現代ロシア経済専門研究 2」と合併,博士前期課程対象

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他):他専攻教員 *:非常勤教員	外国語	備考
MFIR6500	休講	体制移行経済研究1	IRS517-66j00	2			隔年開講,「体制移行経済専門研究1」と合併,博士前期課程対象
MFIR6501	休講	体制移行経済研究2	IRS540-66j00	2			隔年開講,「体制移行経済専門研究2」と合併,博士前期課程対象
MFIR6780	春	言語社会学研究1	IRS518-66j00	2	木村 護郎クリストフ		「言語社会学専門研究1」と合併,博士前期課程対象
MFIR6790	休講	言語社会学研究2	IRS519-66j00	2			「言語社会学専門研究2」と合併,博士前期課程対象
MFIR6720	休講	国際教育開発論研究演習1	IRS525-66e00	2		○	「国際教育開発論研究専門演習1」と合併,博士前期課程対象
MFIR6730	休講	国際教育開発論研究演習2	IRS526-66j00	2			「国際教育開発論研究専門演習2」と合併,博士前期課程対象
MFIR6840	春	環太平洋移民史研究1	IRS541-66m00	2	飯 島 真里子		授業は日本語と英語で行う 「環太平洋移民史専門研究1」と合併,博士前期課程対象
MFIR6850	秋	環太平洋移民史研究2	IRS542-66m00	2	飯 島 真里子		授業は日本語と英語で行う 「環太平洋移民史専門研究2」と合併,博士前期課程対象
MFIR6550	春	国際政治経済論研究1 (政治学的アプローチ)	IRS547-66j00	2	鈴木 一 敏		「国際政治経済論専門研究1(政治学的アプローチ)」と合併,博士前期課程対象
MFIR6560	秋	国際政治経済論研究2 (政治学的アプローチ)	IRS548-66j00	2	鈴木 一 敏		「国際政治経済論専門研究2(政治学的アプローチ)」と合併,博士前期課程対象
MFIR	春	地域統合研究1		2	中 内 政 貴		授業は日本語と英語で行う 「地域統合専門研究1」と合併,博士前期課程対象
MFIR	秋	地域統合研究2		2	中 内 政 貴		授業は日本語と英語で行う 「地域統合専門研究2」と合併,博士前期課程対象
MFIR6960	春	国際関係論特殊講義	IRS513-66j00	2	*堀 田 幸 裕		「国際関係論演習」と合併, M1対象
MFIR6970	春	国際関係論演習	IRS614-66j00	2	*堀 田 幸 裕		「国際関係論特殊講義」と合併, M2対象
MFIR9011	春	修士論文	IRS699-66j00	0	国際関係論専攻各指導教員		M2対象 (9月修了対象)
MFIR9010	秋	修士論文	IRS699-66j00	0	国際関係論専攻各指導教員		M2対象

注1 秋学期後半にニューヨーク国連本部で集中的に行われる。本科目の評価には、P(合格)・X(不合格)を使用する。
単位認定が翌年度に行われるため、2021年3月修了予定者はプログラムには参加可能だが、単位は認められない。

注2 クォーター科目のため、学期科目と授業期間が異なる。

4月の履修登録期間に「1」「2」両方の科目を履修登録すること。1Qの講義終了後、単位取得の可否を担当教員に確認し、修得できれば「2」に進み、修得できなかった場合は6月の「2Q科目追加履修登録期間」に「2」の科目を削除すること。

注3 春学期後半にジュネーブ国連本部で集中的に行われる。本科目の評価には、P(合格)・X(不合格)を使用する。

5. 研究指導一覧表

ナンバリング	担当教員名	備考
IRS599-66j00	下 川 雅 嗣	
	岸 川 毅	
	稲 葉 奈々子	
	湯 浅 剛	
	蘭 信 三	
	宮 城 大 蔵	
	河 崎 健	
	高 島 亮	
	安 達 祐 子	
	木村 護郎 <small>クリストフ</small>	
	渡 辺 紫 乃	
	前 嶋 和 弘	
	都 留 康 子	
	廣 里 恭 史	
	飯 島 真里子	
	植 木 安 弘	
	鈴 木 一 敏	
中 内 政 貴		

国際関係論専攻 博士後期課程

1. 修了に要する科目, 単位数, 科目数などの要件

【18年次生以降】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考 (上限, その他)
総単位数	6		
▶選択科目			
└博士後期課程演習科目	6		
研究指導 (必修)		6	単位なし, 在学中毎学期登録される 6科目以上合格すること
博士論文			必要な研究指導を受けた上, 博士論文の審査および試験に 合格すること

【17年次生以降】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考 (上限, その他)
総単位数			
▶選択科目			
研究指導 (必修)		6	単位なし, 在学中毎学期登録される 6科目以上合格すること
博士論文			必要な研究指導を受けた上, 博士論文の審査および試験に 合格すること

【16年次生以前】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考 (上限, その他)
総単位数			
▶選択科目			
研究指導 (必修)		6	単位なし, 在学中毎学期登録される
博士論文			必要な研究指導を受けた上, 博士論文の審査および試験に 合格すること

- ▶後期課程の学生は, 修了要件として休学期間を除く 3年間の在学が必要となる。在学中は指導教員の研究指導科目を毎学期履修しなければならない。
- ▶後期課程の学生は, 定められた手続きにより博士論文資格試験に合格し, かつ「博士論文計画書」の審査に合格しなければならない。

定められた手続きに関するスケジュール

【毎年】

4月上旬	国際関係論専攻別ガイダンスにて必要書類・提出書類受取
4月上旬～中旬	履修登録期間中に Loyola にて履修登録 (春学期科目)
4月中旬	「博士後期課程指導教員仮届」提出
9月中旬～下旬	履修登録期間中に Loyola にて履修登録 (秋学期科目)

【博士論文資格試験受験⇒博士論文計画書提出⇒博士論文提出】

①博士論文資格試験科目選択計画書の提出（所定用紙：専攻 HP よりダウンロードすること 提出先：専攻事務室）

- ・春学期（5月～6月）に受験する場合：前年度11/20迄
- ・秋学期（11月～12月）に受験する場合：当該年度5/20迄
- ※前もって各科目の担当教員の内諾を得ておくこと
- ※受験時期は、合格後9カ月以内の博士論文計画書の提出が可能であるか十分に考慮して申請すること



②博士論文資格試験受験 5月/6月または11月/12月（筆記試験2科目・口述試験）



③博士論文計画書の提出（博士論文資格試験合格後9カ月以内に専攻事務室へ提出）



④博士論文予備審査申請書の提出

論文3部を添えて専攻事務室へ提出（所定用紙：専攻 HP よりダウンロードすること）

予備審査は申請書提出後30～60日以内に行う。（審査期間は夏期休暇等長期休暇の日数は含めない。ただし、特に不都合が生じる場合には特別考慮する）

※博士論文予備審査に合格することが、博士論文提出のための要件となる



⑤博士論文審査願ひ又は学位申請書及び*関連書類一式の提出（学事センターへ提出）

課程博士・・・在学中の授与（または論文再入学制度での授与）

論文博士・・・満期退学後の授与

*関連書類

1. 論文目録
2. 履歴書
3. 論文要旨
4. 論文（簡易製本）
5. インターネット公表確認書1部
6. 論文要約（インターネット非公開表の場合のみ）

各3部



⑥論文審査・論文要約審査・公開試問（試験日は試験担当教員と調整して決定）



⑦博士論文（製本）提出（学事センターへ）



⑧学位授与可否審議（審査員のみ）



⑨学位記授与（3月または9月）

※詳細については、「研究指導，博士論文資格試験，博士論文計画書および博士論文についての内規」を参照のこと。不明な点は，上智大学大学院学則，上智大学学位規程等関連書類を熟読し，専攻事務室，指導教員，専攻主任などに相談すること。

【博士論文審査基準】

- 1) 問題意識が明確で、テーマ設定が適切であり、対象分野に関する新しい知見の発見、ないしは既存の知見に対する新しい解釈が提示されていること。
- 2) 先行研究が網羅的に検討・吟味されており、出典記載や引用が適切になされていること。
- 3) 論文構成が的確で、論理展開に整合性と一貫性があること。
- 4) 論文の言語表現が的確で、目次・註・付録（図表・資料・参考文献表など）に関する体裁が整っていること。
- 5) 論文の主要部分が学術雑誌などに出版されているか、あるいは掲載される水準であること。
- 6) 当該分野における独創的かつ先端的な研究であり、執筆者が自立的研究者として研究を遂行する能力があることを証明する研究であること。

2. 履修上の注意

- 1) 後期課程の学生（2017年度生以降）は、研究指導科目の必要合格科目数が定められているため、「1. 修了に要する科目、単位数、科目数などの要件」に従って履修すること。
- 2) 後期課程の学生（2018年度生以降）は、博士後期課程演習科目から6単位以上を修得しなくてはならない。
- 3) 科目選択にあたっては指導教員と相談の上、決定することとする。
- 4) 後期課程の学生は、専攻事務室に指導教員の届出をしなければならない。
- 5) 後期課程の学生は、修了要件として休学期間を除く3年の在学が必要となる。在学中は指導教員の研究指導科目を毎学期履修しなければならない。
- 6) 後期課程の「博士論文計画書」及び「博士論文資格試験」については、「博士論文資格試験、博士論文計画書および博士論文についての内規」に定められている。
- 7) 18年度以前に履修した科目を確認する場合は、18年度以前の履修要綱を確認すること。
- 8) その他、不明な点は、上智大学大学院学則、上智大学学位規程を熟読し、専攻事務室、指導教員、専攻主任などと相談すること。

3. 授業科目の編成・単位

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
<国際政治・比較政治系>			
対外政策専門研究1			2
対外政策専門研究2			2
比較政治学専門研究1			2
比較政治学専門研究2			2
現代ロシア政治専門研究1			2
現代ロシア政治専門研究2			2
ロシア政治史専門研究1			2
ロシア政治史専門研究2			2
国際政治史専門研究1（基礎）			2
国際政治史専門研究2（応用）			2
日本外交専門研究1			2
日本外交専門研究2			2
中国政治外交専門研究1			2
中国政治外交専門研究2			2
ヨーロッパ比較政治専門研究1			2
ヨーロッパ比較政治専門研究2			2
アメリカ政治外交専門研究1			2
アメリカ政治外交専門研究2			2
グローバル・ガバナンス論専門研究1			2
グローバル・ガバナンス論専門研究2			2
国際政治経済論専門研究1 （政治学的アプローチ）			2
国際政治経済論専門研究2 （政治学的アプローチ）			2
国連専門研究1			2
国連専門研究2			2
国連研究専門演習 1			2
国連研究専門演習 2			2
国際機構論専門研究1			2
国際機構論専門研究2			2
地域統合専門研究1			2
地域統合専門研究2			2

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
<国際社会・国際協力系>			
開発経済学専門研究1			2
開発経済学専門研究2			2
国際協力論研究専門演習1			2
国際協力論研究専門演習2			2
国際社会学専門研究1（基礎）			2
国際社会学専門研究2（応用）			2
グローバル市民社会論専門研究1（基礎）			2
グローバル市民社会論専門研究2（応用）			2
現代ロシア経済専門研究1			2
現代ロシア経済専門研究2			2
体制移行経済専門研究1			2
体制移行経済専門研究2			2
言語社会学専門研究1			2
言語社会学専門研究2			2
国際教育開発論研究専門演習1			2
国際教育開発論研究専門演習2			2
国際経済学専門研究1			2
国際経済学専門研究2			2
国際政治経済論専門研究1 （経済学的アプローチ）			2
国際政治経済論専門研究2 （経済学的アプローチ）			2
環太平洋移民史専門研究1			2
環太平洋移民史専門研究2			2

4. 開講科目一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他)：他専攻教員 *：非常勤教員	外国語	備考
DFIR7000	休講	対外政策専門研究1	IRS802-66j00	2			「対外政策研究1」と合併，博士後期課程対象
DFIR7010	休講	対外政策専門研究2	IRS803-66j00	2			「対外政策研究2」と合併，博士後期課程対象
DFIR7020	休講	国際経済学専門研究1	IRS804-66j00	2			隔年開講，「国際経済学研究1」と合併，博士後期課程対象
DFIR7030	休講	国際経済学専門研究2	IRS805-66j00	2			隔年開講，「国際経済学研究2」と合併，博士後期課程対象
DFIR7040	休講	国際政治経済論専門研究1 (経済学的アプローチ)	IRS806-66j00	2			隔年開講，「国際政治経済論研究1 (経済学的アプローチ)」と合併，博士後期課程対象
DFIR7050	秋	国際政治経済論専門研究2 (経済学的アプローチ)	IRS807-66j00	2	下川 雅嗣		隔年開講，「国際政治経済論研究2 (経済学的アプローチ)」と合併，博士後期課程対象
DFIR7060	春	国際政治史専門研究1 (基礎)	IRS808-66j00	2	宮城 大蔵		隔年開講，「国際政治史研究1(基礎)」と合併，博士後期課程対象
DFIR7070	休講	国際政治史専門研究2 (応用)	IRS809-66j00	2			隔年開講，「国際政治史研究2(応用)」と合併，博士後期課程対象
DFIR7080	休講	日本外交専門研究1	IRS810-66j00	2			隔年開講，「日本外交研究1」と合併，博士後期課程対象
DFIR7090	秋	日本外交専門研究2	IRS811-66j00	2	宮城 大蔵		隔年開講，「日本外交研究2」と合併，博士後期課程対象
DFIR7100	春	グローバル市民社会論 専門研究1 (基礎)	IRS812-66j00	2	稲葉 奈々子		「グローバル市民社会論研究1 (基礎)」と合併，博士後期課程対象
DFIR7110	秋	グローバル市民社会論 専門研究2(応用)	IRS813-66j00	2	稲葉 奈々子		「グローバル市民社会論研究2 (応用)」と合併，博士後期課程対象
DFIR7140	春	中国政治外交専門研究1	IRS814-66j00	2	渡辺 紫乃		「中国政治外交研究1」と合併，博士後期課程対象
DFIR7150	秋	中国政治外交専門研究2	IRS815-66j00	2	渡辺 紫乃		「中国政治外交研究2」と合併，博士後期課程対象
DFIR7740	春	国際協力論研究専門演習1	IRS816-66j00	2	丸山 英樹		「国際協力論研究演習1」と合併，博士後期課程対象
DFIR7750	秋	国際協力論研究専門演習2	IRS817-66j00	2	丸山 英樹		「国際協力論研究演習2」と合併，博士後期課程対象
DFIR7220	春	アメリカ政治外交専門研究1	IRS818-66j00	2	前嶋 和弘		「アメリカ政治外交研究1」と合併，博士後期課程対象
DFIR7230	秋	アメリカ政治外交専門研究2	IRS819-66j00	2	前嶋 和弘		「アメリカ政治外交研究2」と合併，博士後期課程対象
DFIR7820	春	グローバル・ガバナンス論専門研究1	IRS820-66j00	2	都留 康子		「グローバル・ガバナンス論研究1」と合併，博士後期課程対象
DFIR7830	休講	グローバル・ガバナンス論専門研究2	IRS821-66j00	2			「グローバル・ガバナンス論研究2」と合併，博士後期課程対象
DFIR7300	1Q	国連専門研究1	IRS822-66j00	2	植木 安弘		隔年開講，「国連研究1」と合併，博士後期課程対象
DFIR7310	秋	国連専門研究2	IRS823-66j00	2	植木 安弘		隔年開講，「国連研究2」と合併，博士後期課程対象

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他):他専攻教員 *:非常勤教員	外国語	備考
DFIR7890	1Q	国際機構論専門研究1	IRS849-66J00	2	植木安弘		「国際機構論研究1」と合併, 博士後期課程対象
DFIR7850	秋	国際機構論専門研究2	IFRS850-66J00	2	植木安弘		「国際機構論研究2」と合併, 博士後期課程対象
DFIR7320	休講	国連研究専門演習1	IRS824-66j00	2			隔年開講, 「国連研究演習1」と合併, 博士後期課程対象
DFIR7330	休講	国連研究専門演習2	IRS825-66j00	2			隔年開講, 「国連研究演習2」と合併, 博士後期課程対象
DFIR7800	春	開発経済学専門研究1	IRS826-66e00	2	高島亮	○	「開発経済学研究1」と合併, 博士後期課程対象
DFIR7810	秋	開発経済学専門研究2	IRS827-66e00	2	高島亮	○	「開発経済学研究2」と合併, 博士後期課程対象
DFIR7400	休講	比較政治学専門研究1	IRS828-66j00	2			「比較政治学研究1」と合併, 博士後期課程対象
DFIR7410	秋	比較政治学専門研究2	IRS829-66j00	2	岸川毅		「比較政治学研究2」と合併, 博士後期課程対象
DFIR7420	春	国際社会学専門研究1(基礎)	IRS830-66j00	2	蘭信三		「国際社会学研究1(基礎)」と合併, 博士後期課程対象
DFIR7430	秋	国際社会学専門研究2(応用)	IRS831-66j00	2	蘭信三		「国際社会学研究2(応用)」と合併, 博士後期課程対象
DFIR7760	休講	現代ロシア政治専門研究1	IRS832-66j00	2			隔年開講, 「現代ロシア政治研究1」と合併, 博士後期課程対象
DFIR7770	休講	現代ロシア政治専門研究2	IRS833-66j00	2			隔年開講, 「現代ロシア政治研究2」と合併, 博士後期課程対象
DFIR7780	春	ロシア政治史専門研究1	IRS834-66j00	2	湯浅剛		隔年開講, 「ロシア政治史研究1」と合併, 博士後期課程対象
DFIR7790	秋	ロシア政治史専門研究2	IRS835-66j00	2	湯浅剛		隔年開講, 「ロシア政治史研究2」と合併, 博士後期課程対象
DFIR7520	春	ヨーロッパ比較政治専門研究1	IRS836-66j00	2	河崎健		「ヨーロッパ比較政治研究1」と合併, 博士後期課程対象
DFIR7530	秋	ヨーロッパ比較政治専門研究2	IRS801-66j00	2	河崎健		「ヨーロッパ比較政治研究2」と合併, 博士後期課程対象
DFIR7540	春	現代ロシア経済専門研究1	IRS837-66j00	2	安達祐子		隔年開講, 「現代ロシア経済研究1」と合併, 博士後期課程対象
DFIR7550	秋	現代ロシア経済専門研究2	IRS838-66j00	2	安達祐子		隔年開講, 「現代ロシア経済研究2」と合併, 博士後期課程対象
DFIR7560	休講	体制移行経済専門研究1	IRS839-66j00	2			隔年開講, 「体制移行経済研究1」と合併, 博士後期課程対象
DFIR7570	休講	体制移行経済専門研究2	IRS840-66j00	2			隔年開講, 「体制移行経済研究2」と合併, 博士後期課程対象
DFIR7580	春	言語社会学専門研究1	IRS841-66j00	2	木村護郎クリストフ		「言語社会学研究1」と合併, 博士後期課程対象
DFIR7590	休講	言語社会学専門研究2	IRS842-66j00	2			「言語社会学研究2」と合併, 博士後期課程対象
DFIR7640	休講	国際教育開発論研究専門演習1	IRS843-66e00	2		○	「国際教育開発論研究演習1」と合併, 博士後期課程対象
DFIR7650	休講	国際教育開発論研究専門演習2	IRS844-66j00	2			「国際教育開発論研究演習2」と合併, 博士後期課程対象

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他)：他専攻教員 *：非常勤教員	外国語	備考
DFIR7680	春	環太平洋移民史専門研究1	IRS845-66m00	2	飯島 真里子		授業は日本語と英語で行う 「環太平洋移民史研究1」と合併，博士後期課程対象
DFIR7690	秋	環太平洋移民史専門研究2	IRS846-66m00	2	飯島 真里子		授業は日本語と英語で行う 「環太平洋移民史研究2」と合併，博士後期課程対象
DFIR7720	春	国際政治経済論専門研究1 (政治学的アプローチ)	IRS847-66j00	2	鈴木 一 敏		「国際政治経済論研究1 (政治学的アプローチ)」と合併，博士後期課程対象
DFIR7730	秋	国際政治経済論専門研究2 (政治学的アプローチ)	IRS848-66j00	2	鈴木 一 敏		「国際政治経済論研究2 (政治学的アプローチ)」と合併，博士後期課程対象
DFIR	春	地域統合専門研究1		2	中内 政 貴		授業は日本語と英語で行う 「地域統合研究1」と合併，博士後期課程対象
DFIR	秋	地域統合専門研究2		2	中内 政 貴		授業は日本語と英語で行う 「地域統合研究2」と合併，博士後期課程対象

5. 研究指導一覧表

ナンバリング	担当教員名	備考
IRS899-66j00	下川 雅 嗣	
	岸川 毅	
	稲葉 奈々子	
	湯浅 剛	
	蘭 信 三	
	宮城 大 蔵	
	河崎 健	
	高島 亮	
	安達 祐子	
	木村 護郎 クリストフ	
	渡辺 紫 乃	
	前嶋 和 弘	
	都留 康 子	
	廣里 恭 史	
	飯島 真里子	
	植木 安 弘	
鈴木 一 敏		
中内 政 貴		

地域研究専攻 博士前期課程

1. 修了に要する科目, 単位数, 科目数などの要件

【17年次生以降】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限, その他）
総単位数	30		
▶必修科目	6		
└地域研究方法論	2		
└フィールドワーク	2		
└生態人類学	2		
▶選択科目	24		
└自専攻科目			
└ (A) 履修群：選択科目			
└ (B) 履修群：地域研究 専門科目	12		
└ (C) 履修群：地域間比 較科目	6		
└自研究科他専攻科目			
└委託聴講科目			4単位まで修了に必要な単位として認められる
研究指導（必修）		4	単位なし, 在学中毎学期登録される 4科目以上合格すること
修士論文			必要な研究指導を受けた上, 修士論文の審査および試験に 合格すること (修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文 登録をすること)

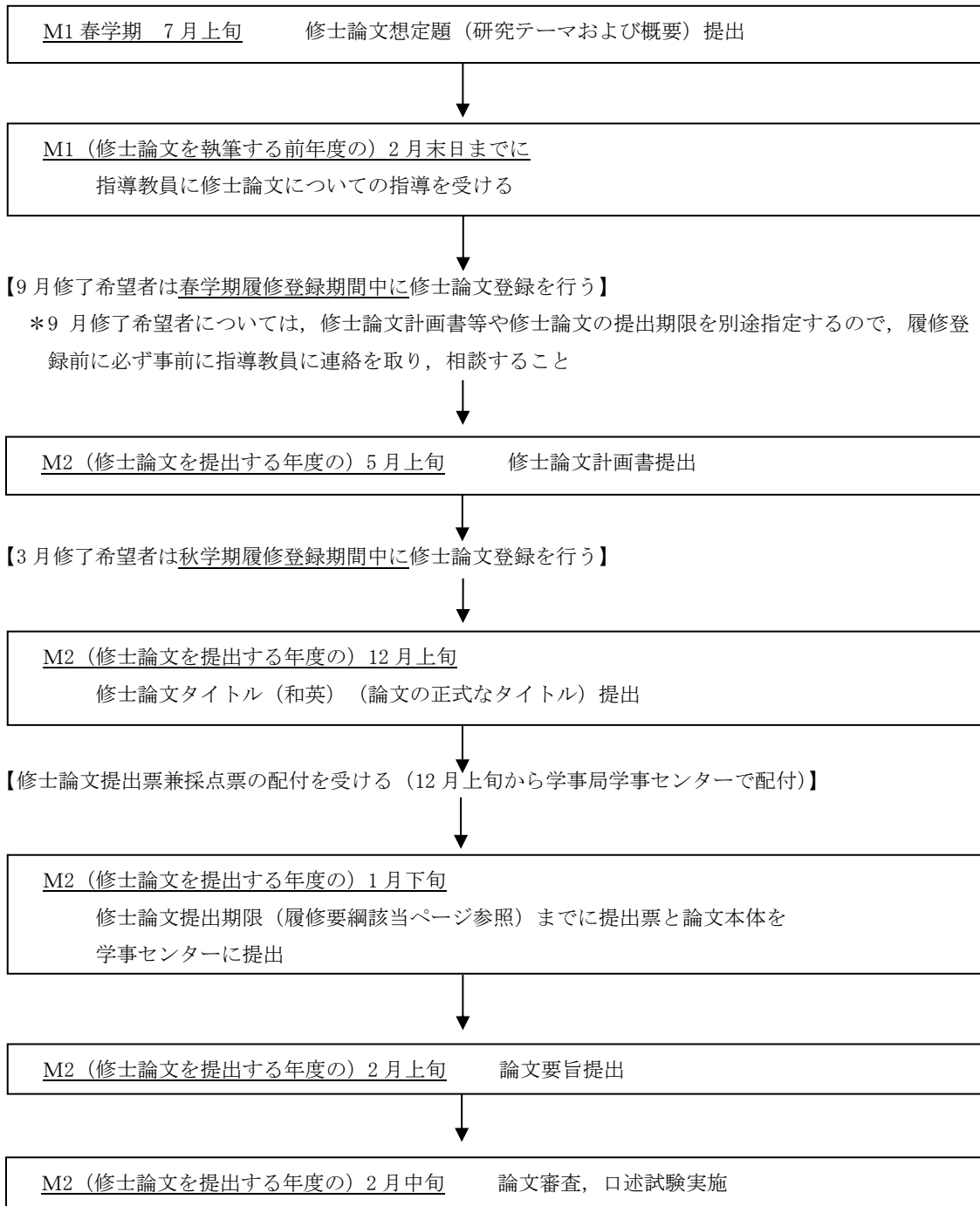
【16年次生以前】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限, その他）
総単位数	30		
▶必修科目	6		
└地域研究方法論	2		
└地域調査方法論	2		
└生態人類学	2		
▶選択科目	24		
└自専攻科目			
└ (A) 履修群：選択科目			
└ (B) 履修群：地域研究 専門科目	12		
└ (C) 履修群：地域間比 較科目	6		
└自研究科他専攻科目			
└委託聴講科目			4単位まで修了に必要な単位として認められる
研究指導（必修）			単位なし, 在学中毎学期登録される
修士論文			必要な研究指導を受けた上, 修士論文の審査および試験に 合格すること (修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文 登録をすること)

地域研究専攻 博士前期課程における研究指導について

*書式や提出期限詳細は専攻ハンドブックを参照のこと

**Loyola に掲出する通知で提出期限を再確認し、書式をダウンロードして提出すること



【修士論文審査基準】

- 1) 研究対象に対して適切な方法論及び先行研究成果を踏まえていること。
- 2) グローバルな諸現象の解明に貢献する水準に達していること。
- 3) 地域に立脚した視座を有し、且つ社会的・学術的な意義が認められること。
- 4) 論文構成が的確で、論理展開に整合性と一貫性があること。
- 5) 出典記載や引用が適切になされているなど、論文の体裁が整っていること (これについての詳細は「修士論文に関する地域研究専攻内規」を参照すること)。

2. 授業科目の編成・単位

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
< (A) 履修群：基礎科目 >			
地域研究方法論	2		
地域調査方法論	2		
生態人類学	2		
フィールドワーク1			1
フィールドワーク2			1
< (B) 履修群：地域研究専門科目 >			
東南アジア社会文化研究1			2
東南アジア社会文化研究2			2
東南アジア国際協力研究1			2
東南アジア国際協力研究2			2
東南アジア宗教文化研究1			2
東南アジア宗教文化研究2			2
東南アジア政治史研究1			2
東南アジア政治史研究2			2
南アジア社会政治研究1			2
南アジア社会政治研究2			2
南アジア社会開発研究1			2
南アジア社会開発研究2			2
中東社会文化研究1			2
中東社会文化研究2			2
中東政治史研究1			2
中東政治史研究2			2
中東文化研究1			2
中東文化研究2			2
中東社会開発研究1			2
中東社会開発研究2			2
中東政治社会研究1			2
中東政治社会研究2			2
ラテンアメリカ国際関係研究1			2
ラテンアメリカ国際関係研究2			2
ラテンアメリカ社会開発研究1			2
ラテンアメリカ社会開発研究2			2
ラテンアメリカ社会研究1			2
ラテンアメリカ社会研究2			2
ラテンアメリカ文化研究1			2
ラテンアメリカ文化研究2			2
ラテンアメリカ経済研究1			2
ラテンアメリカ経済研究2			2
ヨーロッパ文化研究1			2
ヨーロッパ文化研究2			2
ヨーロッパ政治文化研究1			2
ヨーロッパ政治文化研究2			2

科目名 ※(他)：他専攻開講科目	単位数		
	必修	選必	選択
ヨーロッパ政治社会研究1			2
ヨーロッパ政治社会研究2			2
アフリカ政治研究1			2
アフリカ政治研究2			2
アフリカ政治社会研究1			2
アフリカ政治社会研究2			2
< (C) 履修群：地域間比較科目 >			
地域からみたグローバリゼーション			2
国際関係研究：中東			2
国際協力基礎研究1			2
国際協力基礎研究2			2
国際開発協力研究：東南アジア (1)			2
国際開発協力研究：東南アジア (2)			2
国際開発協力研究：中東			2
国際開発協力研究：ラテンアメリカ			2
(他) 開発経済学研究1 ※注1			2
(他) 開発経済学研究2 ※注1			2
(他) 比較政治学研究1 ※注1			2
(他) 比較政治学研究2 ※注1			2
(他) 国際経済学研究1 ※注1			2
(他) 国際経済学研究2 ※注1			2
(他) 国際政治経済論研究1 (経済学的アプローチ) ※注1			2
(他) 国際政治経済論研究2 (経済学的アプローチ) ※注1			2
(他) < 西洋史学 > 中世演習 I ※注2			2
(他) < 西洋史学 > 中世演習 II ※注2			2
(他) < 西洋史学 > 近世演習 I ※注2			2
(他) < 西洋史学 > 近世演習 II ※注2			2
(他) < 西洋史学 > 近・現代演習 I ※注2			2
(他) < 西洋史学 > 近・現代演習 II ※注2			2

※注1：国際関係論専攻開講科目。

※注2：文学研究科史学専攻開講科目。

3. 履修上の注意

- 1) 前期課程の必修科目は、1. 地域研究方法論、2. 地域調査方法論、3. 生態人類学の3科目で、この3科目は在学中(1, 2年次)に必ず選択し単位を修得しなければならない。できれば、入学年次に上記3科目中2科目まで履修しておくことが望ましい。
- 2) 前期課程学生は、1年次入学とともに専攻主任と相談の上、なるべく早く修士論文の指導教員(本学地域研究専攻担当専任教員)を決定し、その指導教員の地域研究専門科目を指定年次において履修し、単位を修得しなくてはならない。
- 3) 前期課程学生は、上記指導教員の地域研究専門科目を含めて、(B)履修群:地域研究専門科目(全科目重複履修可とする)から12単位以上を修得しなくてはならない。(B)履修群:地域研究専門科目は、履修する際、1年次・2年次でそれぞれ到達目標が異なるため、必ずシラバスで確認すること。
- 4) 前期課程学生は、(C)履修群:地域間比較科目から6単位以上を修得しなくてはならない。
- 5) 上記以外の科目の選択は自由だが、科目選択にあたっては指導教員、専攻主任と相談の上、決定することとする。
- 6) 前期課程学生は、「研究指導」を在学中毎学期履修しなくてはならない。また、2017年次生以降の学生については、必要な合格科目数が4科目と定められている。1. 修了に要する科目、単位数、科目数などの要件を参照すること。
- 7) 前期課程修了の条件は、上記1)～6)にしたがった上で、30単位以上の科目単位を修得し、定められた手続きにより修士論文を提出して、口述試験に合格することである。前期課程学生は、第1年次に20単位以上を修得することが望ましい。
- 8) 前期課程において学生の研究上必要と認められるときは、国際連合大学サステイナビリティ高等研究所の講座を受講させ、4単位まで必要単位として認定する。
- 9) その他、不明な点は、上智大学大学院学則、上智大学学位規程を熟読し、専攻主任と相談すること。

4. 開講科目一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 *:非常勤教員	外国語	備考
(A) 履修群:基礎科目							
MFAS1010	春	地域研究方法論	ARS508-67j00	2	コ)根本 敬		(A) 輪講
MFAS1020	秋	地域調査方法論	ARS509-67j00	2	コ)丸井 雅子		(A) 輪講
MFAS1030	春	生態人類学	ARS507-67j00	2	*赤嶺 淳		(A)
MFAS7995	春	フィールドワーク1	ARS503-67j00	1	眞城・田中・福武		
MFAS7996	秋	フィールドワーク2	ARS504-67j00	1	眞城・田中・福武		
※注:フィールドワークは、履修年次・履修の順序を問わないが、連続する2学期において履修することが望ましい。(1と2, 2と1というように、どちらでも履修可とする)							
(B) 履修群:地域研究専門科目							
MFAS7040	休講	東南アジア社会文化研究1	ASA505-67j00	2			(B) 博士後期課程「東南アジア社会文化研究(上級)1」と合併
MFAS7050	秋	東南アジア社会文化研究2	ASA506-67j00	2	丸井 雅子		(B) 博士後期課程「東南アジア社会文化研究(上級)2」と合併
MFAS7081	春	東南アジア国際協力研究1	ASA503-67j00	2	福武 慎太郎		(B) 博士後期課程「東南アジア国際協力研究(上級)1」と合併
MFAS7091	秋	東南アジア国際協力研究2	ASA504-67j00	2	福武 慎太郎		(B) 博士後期課程「東南アジア国際協力研究(上級)2」と合併
MFAS7260	春	東南アジア宗教文化研究1	ASA507-67j00	2	久志本 裕子		(B) 博士後期課程「東南アジア宗教文化研究(上級)1」と合併
MFAS7270	秋	東南アジア宗教文化研究2	ASA508-67j00	2	久志本 裕子		(B) 博士後期課程「東南アジア宗教文化研究(上級)2」と合併
MFAS7240	春	東南アジア政治史研究1	ASA509-67j00	2	根本 敬		(B) 博士後期課程「東南アジア政治史研究(上級)1」と合併
MFAS7250	休講	東南アジア政治史研究2	ASA510-67j00	2			(B) 博士後期課程「東南アジア政治史研究(上級)2」と合併
MFAS7300	春	南アジア社会政治研究1	ASA515-67e00	2	AUGUSTINE Sali	○	(B) 博士後期課程「南アジア社会政治研究(上級)1」と合併

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 *：非常勤教員	外国語	備考
MFAS7310	秋	南アジア社会政治研究2	ASA516-67e00	2	AUGUSTINE Sali	○	(B) 博士後期課程「南アジア社会政治研究(上級)2」と合併
MFAS7320	春	南アジア社会開発研究1	ASA513-67j00	2	田中雅子		(B) 博士後期課程「南アジア社会開発研究(上級)1」と合併
MFAS7330	秋	南アジア社会開発研究2	ASA514-67j00	2	田中雅子		(B) 博士後期課程「南アジア社会開発研究(上級)2」と合併
MFAS7100	春	中東社会文化研究1	AME505-67j00	2	辻上奈美江		(B) 博士後期課程「中東社会文化研究(上級)1」と合併
MFAS7110	秋	中東社会文化研究2	AME506-67j00	2	辻上奈美江		(B) 博士後期課程「中東社会文化研究(上級)2」と合併
MFAS7360	春	中東政治史研究1	AME507-67j00	2	山口昭彦		(B) 博士後期課程「中東政治史研究(上級)1」と合併
MFAS7370	秋	中東政治史研究2	AME508-67j00	2	山口昭彦		(B) 博士後期課程「中東政治史研究やま(上級)2」と合併
MFAS7400	春	中東文化研究1	AME511-67j00	2	赤堀雅幸		(B) 博士後期課程「中東文化研究(上級)1」と合併
MFAS7410	休講	中東文化研究2	AME512-67j00	2			(B) 博士後期課程「中東文化研究(上級)2」と合併
MFAS7120	春	中東社会開発研究1	AME503-67j00	2	岩崎えり奈		(B) 博士後期課程「中東社会開発研究(上級)1」と合併
MFAS7130	秋	中東社会開発研究2	AME504-67j00	2	岩崎えり奈		(B) 博士後期課程「中東社会開発研究(上級)2」と合併
MFAS7530	春	中東政治社会研究1	AME509-67j00	2	澤江史子		(B) 博士後期課程「中東政治社会研究(上級)1」と合併
MFAS7540	秋	中東政治社会研究2	AME510-67j00	2	澤江史子		(B) 博士後期課程「中東政治社会研究(上級)2」と合併
MFAS7490	春	ラテンアメリカ国際関係研究1	ALA503-67j00	2	子安昭子		(B) 博士後期課程「ラテンアメリカ国際関係研究(上級)1」と合併
MFAS7500	秋	ラテンアメリカ国際関係研究2	ALA504-67j00	2	子安昭子		(B) 博士後期課程「ラテンアメリカ国際関係研究(上級)2」と合併
MFAS7450	春	ラテンアメリカ社会開発研究1	ALA505-67j00	2	田村梨花		(B) 博士後期課程「ラテンアメリカ社会開発研究(上級)1」と合併
MFAS7460	秋	ラテンアメリカ社会開発研究2	ALA506-67j00	2	田村梨花		(B) 博士後期課程「ラテンアメリカ社会開発研究(上級)2」と合併
MFAS7570	春	ラテンアメリカ社会研究1	ALA507-67j00	2	幡谷則子		(B) 博士後期課程「ラテンアメリカ社会研究(上級)1」と合併
MFAS7580	秋	ラテンアメリカ社会研究2	ALA508-67j00	2	幡谷則子		(B) 博士後期課程「ラテンアメリカ社会研究(上級)2」と合併
MFAS7610	春	ラテンアメリカ文化研究1	ALA509-67h00	2	長谷川ニナ	○	(B) 博士後期課程「ラテンアメリカ文化研究(上級)1」と合併
MFAS7620	秋	ラテンアメリカ文化研究2	ALA510-67h00	2	長谷川ニナ	○	(B) 博士後期課程「ラテンアメリカ文化研究(上級)2」と合併
MFAS7650	春	ラテンアメリカ経済研究1	ALA501-67j00	2	谷洋之		(B) 博士後期課程「ラテンアメリカ経済研究(上級)1」と合併
MFAS7660	秋	ラテンアメリカ経済研究2	ALA502-67j00	2	谷洋之		(B) 博士後期課程「ラテンアメリカ経済研究(上級)2」と合併
MFAS7940	春	ヨーロッパ文化研究1	AEU505-67j00	2	松原典子		(B) 博士後期課程「ヨーロッパ文化研究(上級)1」と合併
MFAS7950	秋	ヨーロッパ文化研究2	AEU506-67j00	2	松原典子		(B) 博士後期課程「ヨーロッパ文化研究(上級)2」と合併
MFAS7000	春	ヨーロッパ政治文化研究1	AEU503-67j00	2	高橋暁生		(B) 博士後期課程「ヨーロッパ政治文化研究(上級)1」と合併
MFAS7010	秋	ヨーロッパ政治文化研究2	AEU504-67j00	2	高橋暁生		(B) 博士後期課程「ヨーロッパ政治文化研究(上級)2」と合併
MFAS7020	春	ヨーロッパ政治社会研究1	AEU501-67j00	2	内村俊太		(B) 博士後期課程「ヨーロッパ政治社会研究(上級)1」と合併
MFAS7030	秋	ヨーロッパ政治社会研究2	AEU502-67j00	2	内村俊太		(B) 博士後期課程「ヨーロッパ政治社会研究(上級)2」と合併
MFAS7980	春	アフリカ政治研究1	AAF501-67j00	2	矢澤達宏		(B) 博士後期課程「アフリカ政治研究(上級)1」と合併
MFAS7990	秋	アフリカ政治研究2	AAF502-67j00	2	矢澤達宏		(B) 博士後期課程「アフリカ政治研究(上級)2」と合併
MFAS7993	春	アフリカ政治社会研究1	AAF503-67j00	2	眞城百華		(B) 博士後期課程「アフリカ政治社会研究(上級)1」と合併
MFAS7994	秋	アフリカ政治社会研究2	AAF504-67j00	2	眞城百華		(B) 博士後期課程「アフリカ政治社会研究(上級)2」と合併

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 *：非常勤教員	外国語	備考
(C) 履修群：地域間比較科目							
MFAS7997	春	地域からみたグローバリゼーション	ARS510-67J00	2	コ)田 中 雅 子		(C) 輪講 旧「グローバル化の諸問題」
MFAS7440	秋	国際関係研究：中東	AME502-67j00	2	*白 杵 陽		(C)
MFAS7710	春	国際協力基礎研究1	ARS505-67j00	2	福 武 慎太郎		(C)
MFAS7720	休講	国際協力基礎研究2	ARS506-67j00	2			(C)
MFAS7740	休講	国際開発協力研究：東南アジア (1)	ASA501-67j00	2			(C)
MFAS7750	秋	国際開発協力研究：東南アジア (2)	ASA502-67j00	2	*長 瀬 理 英		(C)
MFAS7760	秋	国際開発協力研究：中東	AME501-67j00	2	*長 澤 榮 治		(C)
MFAS7770	秋	国際開発協力研究：ラテンアメリカ	ALA511-67j00	2	*受 田 宏 之		(C)
		(他) 開発経済学研究1		2			(C) ※注3
		(他) 開発経済学研究2		2			(C) ※注3
		(他) 比較政治学研究1		2			(C) ※注3
		(他) 比較政治学研究2		2			(C) ※注3
		(他) 国際経済学研究1		2			(C) ※注3
		(他) 国際経済学研究2		2			(C) ※注3
		(他) 国際政治経済論研究1 (経済学的アプローチ)		2			(C) ※注3
		(他) 国際政治経済論研究2 (経済学的アプローチ)		2			(C) ※注3
		(他) <西洋史学>中世演習 I		2			(C) ※注4
		(他) <西洋史学>中世演習 II		2			(C) ※注4
		(他) <西洋史学>近世演習 I		2			(C) ※注4
		(他) <西洋史学>近世演習 II		2			(C) ※注4
		(他) <西洋史学>近・現代演習 I		2			(C) ※注4
		(他) <西洋史学>近・現代演習 II		2			(C) ※注4
その他							
MFAS9010	秋	修士論文	ARS699-67j00	0	地域研究専攻 各指導教員		
MFAS9020	春	修士論文	ARS699-67j00	0	地域研究専攻 各指導教員		

注1：備考欄の(A)(B)(C)は履修群を示す。

注2：担当教員名欄の コ) はコーディネータを示す。

注3：国際関係論専攻開講科目

注4：文学研究科史学専攻開講科目

上記注3, 4科目の詳細については各専攻の履修要覧を確認すること

5. 研究指導一覧表

ナンバリング	担当教員名	備考
ARS599-67j00	赤 堀 雅 幸	
	岩 崎 えり奈	
	内 村 俊 太	
	久志本 裕 子	
	子 安 昭 子	
	澤 江 史 子	
	高 橋 暁 生	
	田 中 雅 子	
	谷 洋 之	
	田 村 梨 花	
	辻 上 奈美江	
	根 本 敬	
	長谷川 ニ ナ	
	幡 谷 則 子	
	福 武 慎太郎	
	眞 城 百 華	
	松 原 典 子	
	丸 井 雅 子	
	矢 澤 達 宏	
	山 口 昭 彦	
AUGUSTINE Sali		

地域研究専攻 博士後期課程

1. 修了に要する科目, 単位数, 科目数などの要件

【18年次生以降】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限, その他）
総単位数	6		
▶選択科目			
└博士後期課程演習科目	6		
研究指導（必修）		6	単位なし, 在学中毎学期登録される 6科目以上合格すること
博士論文			必要な研究指導を受けた上, 博士論文の審査および試験に 合格すること

【17年次生以前】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限, その他）
総単位数			
▶選択科目			
研究指導（必修）		6	単位なし, 在学中毎学期登録される
博士論文			必要な研究指導を受けた上, 博士論文の審査および試験に 合格すること

【博士論文審査基準】

- 1) 自身の方法論を確立した上で, 学術的独創性を備え且つ地域研究全体の学問分野の引き上げに貢献する水準に達していること。
- 2) 研究対象地域の言語を駆使した調査・研究に基づき, 新たな知見によって社会的・学術的な意義が認められること。
- 3) 先行研究と自身の研究課題との関係が, 学界での十分な議論を経て検討・吟味されており, 出典記載や引用が適切になされていること。
- 4) 論文構成が的確で, 論理展開に整合性と一貫性があること。
- 5) 論文の体裁が整っていること。
- 6) 地域研究に必要とされる, 研究対象及び地域に対する研究活動規範即ちコンプライアンスが遵守されていること。

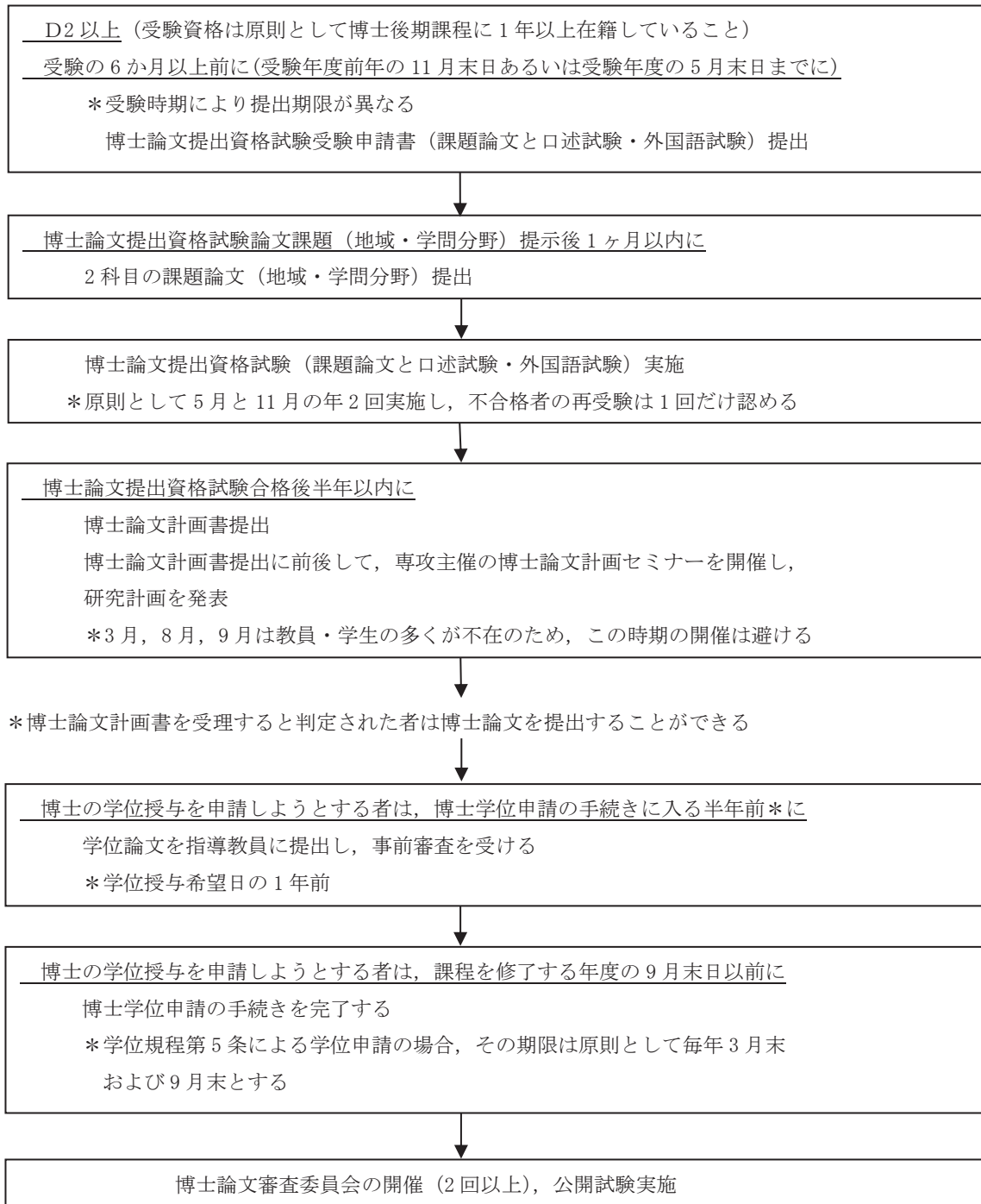
2. 履修上の注意

- 1) 後期課程学生の修了要件は, 上記「1. 修了に要する科目, 単位数, 科目数などの要件」に従って履修し, 博士論文提出資格試験に合格, 博士論文計画書の受理を経た上で, 定められた手続きにより博士論文を提出し, 審査および試験に合格することである。
- 2) 後期課程学生（2018年次生以降）は, 指導教員の博士後期課程演習科目を含めて, 博士後期課程演習科目から6単元以上を修得しなくてはならない。
- 3) 後期課程学生は, 在学期間中の6学期間, 指導教員担当の研究指導を履修しなくてはならない。ただし, 大学院学則第4章第21条の2の規程に基づき, 在学期間の短縮を認められた者に関しては, 短縮された在学期間中, 指導教員の研究指導を履修すればよいものとする。
- 4) その他, 不明な点は, 上智大学大学院学則, 上智大学学位規程を熟読し, 専攻主任と相談すること。

地域研究専攻 博士後期課程における研究指導について

*書式や提出期限詳細は専攻ハンドブックを参照のこと

**Loyola に掲出する通知で提出期限を再確認し、書式をダウンロードして提出すること



3. 授業科目の編成・単位

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
東南アジア社会文化研究（上級）1			2
東南アジア社会文化研究（上級）2			2
東南アジア国際協力研究（上級）1			2
東南アジア国際協力研究（上級）2			2
東南アジア宗教文化研究（上級）1			2
東南アジア宗教文化研究（上級）2			2
東南アジア政治史研究（上級）1			2
東南アジア政治史研究（上級）2			2
南アジア社会政治研究（上級）1			2
南アジア社会政治研究（上級）2			2
南アジア社会開発研究（上級）1			2
南アジア社会開発研究（上級）2			2
中東社会文化研究（上級）1			2
中東社会文化研究（上級）2			2
中東政治史研究（上級）1			2
中東政治史研究（上級）2			2
中東文化研究（上級）1			2
中東文化研究（上級）2			2
中東社会開発研究（上級）1			2
中東社会開発研究（上級）2			2
中東政治社会研究（上級）1			2
中東政治社会研究（上級）2			2
ラテンアメリカ国際関係研究(上級)1			2
ラテンアメリカ国際関係研究(上級)2			2
ラテンアメリカ社会開発研究(上級)1			2
ラテンアメリカ社会開発研究(上級)2			2
ラテンアメリカ社会研究（上級）1			2
ラテンアメリカ社会研究（上級）2			2
ラテンアメリカ文化研究（上級）1			2
ラテンアメリカ文化研究（上級）2			2
ラテンアメリカ経済研究（上級）1			2
ラテンアメリカ経済研究（上級）2			2
ヨーロッパ文化研究（上級）1			2
ヨーロッパ文化研究（上級）2			2
ヨーロッパ政治文化研究（上級）1			2
ヨーロッパ政治文化研究（上級）2			2

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
ヨーロッパ政治社会研究（上級）1			2
ヨーロッパ政治社会研究（上級）2			2
アフリカ政治研究（上級）1			2
アフリカ政治研究（上級）2			2
アフリカ政治社会研究（上級）1			2
アフリカ政治社会研究（上級）2			2

4. 開講科目一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 * : 非常勤教員	外国語	備考
博士後期課程演習科目							
DFAS7000	休講	東南アジア社会文化研究(上級) 1	ASA805-67j00	2			博士前期課程「東南アジア社会文化研究1」と合併
DFAS7010	秋	東南アジア社会文化研究(上級) 2	ASA806-67j00	2	丸井 雅子		博士前期課程「東南アジア社会文化研究2」と合併
DFAS7020	春	東南アジア国際協力研究(上級) 1	ASA807-67j00	2	福武 慎太郎		博士前期課程「東南アジア国際協力研究1」と合併
DFAS7030	秋	東南アジア国際協力研究(上級) 2	ASA808-67j00	2	福武 慎太郎		博士前期課程「東南アジア国際協力研究2」と合併
DFAS7460	春	東南アジア宗教文化研究(上級) 1	ASA809-67j00	2	久志本 裕子		博士前期課程「東南アジア宗教文化研究1」と合併
DFAS7470	秋	東南アジア宗教文化研究(上級) 2	ASA810-67j00	2	久志本 裕子		博士前期課程「東南アジア宗教文化研究2」と合併
DFAS7080	春	東南アジア政治史研究(上級) 1	ASA813-67j00	2	根本 敬		博士前期課程「東南アジア政治史研究1」と合併
DFAS7090	休講	東南アジア政治史研究(上級) 2	ASA814-67j00	2			博士前期課程「東南アジア政治史研究2」と合併
DFAS7420	春	南アジア社会政治研究(上級) 1	ASA801-67e00	2	AUGUSTINE Sali	○	博士前期課程「南アジア社会政治研究1」と合併
DFAS7430	秋	南アジア社会政治研究(上級) 2	ASA802-67e00	2	AUGUSTINE Sali	○	博士前期課程「南アジア社会政治研究2」と合併
DFAS7440	春	南アジア社会開発研究(上級) 1	ASA803-67j00	2	田中 雅子		博士前期課程「南アジア社会開発研究1」と合併
DFAS7450	秋	南アジア社会開発研究(上級) 2	ASA804-67j00	2	田中 雅子		博士前期課程「南アジア社会開発研究2」と合併
DFAS7120	春	中東社会文化研究(上級) 1	AME803-67j00	2	辻上 奈美江		博士前期課程「中東社会文化研究1」と合併
DFAS7130	秋	中東社会文化研究(上級) 2	AME804-67j00	2	辻上 奈美江		博士前期課程「中東社会文化研究2」と合併
DFAS7140	春	中東政治史研究(上級) 1	AME805-67j00	2	山口 昭彦		博士前期課程「中東政治史研究1」と合併
DFAS7150	秋	中東政治史研究(上級) 2	AME806-67j00	2	山口 昭彦		博士前期課程「中東政治史研究2」と合併
DFAS7160	春	中東文化研究(上級) 1	AME807-67j00	2	赤堀 雅幸		博士前期課程「中東文化研究1」と合併
DFAS7170	休講	中東文化研究(上級) 2	AME808-67j00	2			博士前期課程「中東文化研究2」と合併
DFAS7180	春	中東社会開発研究(上級) 1	AME801-67j00	2	岩崎 えり奈		博士前期課程「中東社会開発研究1」と合併
DFAS7190	秋	中東社会開発研究(上級) 2	AME802-67j00	2	岩崎 えり奈		博士前期課程「中東社会開発研究2」と合併
DFAS7200	春	中東政治社会研究(上級) 1	AME809-67j00	2	澤江 史子		博士前期課程「中東政治社会研究1」と合併
DFAS7210	秋	中東政治社会研究(上級) 2	AME810-67j00	2	澤江 史子		博士前期課程「中東政治社会研究2」と合併
DFAS7220	春	ラテンアメリカ国際関係研究(上級) 1	ALA803-67j00	2	子安 昭子		博士前期課程「ラテンアメリカ国際関係研究1」と合併
DFAS7230	秋	ラテンアメリカ国際関係研究(上級) 2	ALA804-67j00	2	子安 昭子		博士前期課程「ラテンアメリカ国際関係研究2」と合併
DFAS7240	春	ラテンアメリカ社会開発研究(上級) 1	ALA801-67j00	2	田村 梨花		博士前期課程「ラテンアメリカ社会開発研究1」と合併
DFAS7250	秋	ラテンアメリカ社会開発研究(上級) 2	ALA802-67j00	2	田村 梨花		博士前期課程「ラテンアメリカ社会開発研究2」と合併
DFAS7260	春	ラテンアメリカ社会研究(上級) 1	ALA805-67j00	2	幡谷 則子		博士前期課程「ラテンアメリカ社会研究1」と合併
DFAS7270	秋	ラテンアメリカ社会研究(上級) 2	ALA806-67j00	2	幡谷 則子		博士前期課程「ラテンアメリカ社会研究2」と合併
DFAS7280	春	ラテンアメリカ文化研究(上級) 1	ALA807-67h00	2	長谷川 ニナ	○	博士前期課程「ラテンアメリカ文化研究1」と合併
DFAS7290	秋	ラテンアメリカ文化研究(上級) 2	ALA808-67h00	2	長谷川 ニナ	○	博士前期課程「ラテンアメリカ文化研究2」と合併
DFAS7300	春	ラテンアメリカ経済研究(上級) 1	ALA809-67j00	2	谷 洋之		博士前期課程「ラテンアメリカ経済研究1」と合併

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 *：非常勤教員	外国語	備考
DFAS7310	秋	ラテンアメリカ経済研究 (上級) 2	ALA810-67j00	2	谷 洋 之		博士前期課程「ラテンアメリカ経済研究2」と合併
DFAS7320	春	ヨーロッパ文化研究 (上級) 1	AEU801-67j00	2	松 原 典 子		博士前期課程「ヨーロッパ文化研究1」と合併
DFAS7330	秋	ヨーロッパ文化研究 (上級) 2	AEU802-67j00	2	松 原 典 子		博士前期課程「ヨーロッパ文化研究2」と合併
DFAS7340	春	ヨーロッパ政治文化研究 (上級) 1	AEU803-67j00	2	高 橋 暁 生		博士前期課程「ヨーロッパ政治文化研究1」と合併
DFAS7350	秋	ヨーロッパ政治文化研究 (上級) 2	AEU804-67j00	2	高 橋 暁 生		博士前期課程「ヨーロッパ政治文化研究2」と合併
DFAS7360	春	ヨーロッパ政治社会研究 (上級) 1	AEU805-67j00	2	内 村 俊 太		博士前期課程「ヨーロッパ政治社会研究1」と合併
DFAS7370	秋	ヨーロッパ政治社会研究 (上級) 2	AEU806-67j00	2	内 村 俊 太		博士前期課程「ヨーロッパ政治社会研究2」と合併
DFAS7380	春	アフリカ政治研究 (上級) 1	AAF801-67j00	2	矢 澤 達 宏		博士前期課程「アフリカ政治研究1」と合併
DFAS7390	秋	アフリカ政治研究 (上級) 2	AAF802-67j00	2	矢 澤 達 宏		博士前期課程「アフリカ政治研究2」と合併
DFAS7400	春	アフリカ政治社会研究 (上級) 1	AAF803-67j00	2	眞 城 百 華		博士前期課程「アフリカ政治社会研究1」と合併
DFAS7410	秋	アフリカ政治社会研究 (上級) 2	AAF804-67j00	2	眞 城 百 華		博士前期課程「アフリカ政治社会研究2」と合併

5. 研究指導一覧表

ナンバリング	担当教員名	備考
ARS899-67j00	赤 堀 雅 幸	
	岩 崎 えり奈	
	内 村 俊 太	
	久志本 裕 子	
	子 安 昭 子	
	澤 江 史 子	
	高 橋 暁 生	
	田 中 雅 子	
	谷 洋 之	
	田 村 梨 花	
	辻 上 奈美江	
	根 本 敬	
	長谷川 ニ ナ	
	幡 谷 則 子	
	福 武 慎太郎	
	眞 城 百 華	
	松 原 典 子	
	丸 井 雅 子	
矢 澤 達 宏		
山 口 昭 彦		
AUGUSTINE Sali		

理工学研究科

1. 理工学研究科の教育研究上の目的及び人材養成の目的

現代科学・技術の各学問領域でその進歩に寄与する専門性と、人間社会や地球環境に与える影響を総合的に捉える学際性とを併せ持つ、特色ある研究科を目指す。前期課程では学部教育との一貫性に配慮しながら、複合知と専門性を兼ね備えた知的能力を持ち、人間社会に貢献できる知的人材を育成する。後期課程では各専門分野で自立して研究を遂行できる研究者の養成を目的とする。

2. 各専攻のディプロマ・ポリシー

理工学専攻

【博士前期課程】

本課程では、現代科学・技術の各学問領域でその進歩に寄与する専門性と、人間社会や地球環境に与える影響を総合的にとらえる学際性を持ち、人間社会に貢献できる人材の養成を目的に、学生が修了時に身につけるべき能力や知識を次のように定めています。修了要件を満たし論文審査に合格すれば、これらを身につけた者と認め、学位を授与します。

1. 自分の専門分野以外の自然科学分野あるいは社会科学分野との学際分野も含め広範に学ぶことにより、技術が人間社会や地球環境に与える影響などを多面的にとらえる力
2. 理工学および関連分野において最先端で活躍できる専門知識を身につけるとともに、新技術の開発や新分野の開拓をできる力
3. グローバル化の進展に対応するため、社会で活躍できるレベルの英語力

【博士後期課程】

本課程では、現代科学・技術の各学問領域でその進歩に寄与する専門性と、人間社会や地球環境に与える影響を総合的にとらえる学際性を持ち、各専門分野で自立して研究・開発を遂行できる人材の養成を目的に、学生が修了時に身につけるべき能力や知識を次のように定めています。修了要件を満たし論文審査に合格すれば、これらを身につけた者と認め、学位を授与します。

1. 自分の専門分野だけでなく、関連する学際分野なども含め広範に学ぶことにより、技術が人間社会や地球環境に与える影響を多面的にとらえる力
2. 理工学および関連分野において最先端で自立的に活躍できる専門知識を身につけるとともに、人類の発展や幸福に寄与する創造的な研究開発を行う力
3. グローバル化の進展の先頭に立ち、国際社会にて独立して活躍できるレベルの英語力

機械工学領域

【博士前期課程】

本領域では、機械工学および関連分野の発展に寄与し、専門知識を用いて人間社会の発展や地球環境の保全に貢献できる人材の養成を目的に、学生が修了時に身につけるべき能力や知識を次のように定めています。修了要件を満たし論文審査に合格すれば、これらを身につけた者と認め、学位を授与します。

1. 自分の専門分野以外の自然科学分野あるいは社会科学分野との学際分野も含め広範に学ぶことにより、技術が人間社会や地球環境に与える影響などを多面的にとらえる力
2. 機械工学および関連分野において最先端で活躍できる専門知識を身につけるとともに、新技術の開発や新分野の開拓をできる力
3. グローバル化の進展に対応するため、社会で活躍できるレベルの英語力

【博士後期課程】

本領域では、機械工学における高度な専門性を身に付け、人間社会や地球環境に与える影響を総合的にとらえる学際性を持ち、自立して研究開発を遂行できる人材の養成を目的に、学生が修了時に身につけるべき能力や知識を次のように定めています。修了要件を満たし論文審査に合格すれば、これらを身につけた者と認め、学位を授与します。

1. 自分の専門分野だけでなく、関連する学際分野なども含め広範に学ぶことにより、技術が人間社会や地球環境に与える影響を多面的にとらえる力
2. 機械工学および関連分野において最先端で自立的に活躍できる専門知識を身につけるとともに、人類の発展や幸福に寄与する創造的な研究開発を行う力
3. グローバル化の進展の先頭に立ち、国際社会にて独立して活躍できるレベルの英語力

電気・電子工学領域

【博士前期課程】

本領域では、電気・電子工学および関連分野の発展に寄与し、専門知識を用いて人間社会の発展や地球環境の保全に貢献できる人材の養成を目的に、学生が修了時に身につけるべき能力や知識を次のように定めています。修了要件を満たし論文審査に合格すれば、これらを身につけた者と認め、学位を授与します。

1. 自分の専門分野以外の自然科学分野あるいは社会科学分野との学際分野も含め広範に学ぶことにより、技術が人間社会や地球環境に与える影響などを多面的にとらえる力
2. 電気・電子工学および関連分野において最先端で活躍できる専門知識を身につけるとともに、新技術の開発や新分野の開拓をできる力
3. グローバル化の進展に対応するため、社会で活躍できるレベルの英語力

【博士後期課程】

本領域では、電気・電子工学における高度な専門性を身に付け、人間社会や地球環境に与える影響を総合的にとらえる学際性を持ち、自立して研究開発を遂行できる人材の養成を目的に、学生が修了時に身につけるべき能力や知識を次のように定めています。修了要件を満たし論文審査に合格すれば、これらを身につけた者と認め、学位を授与します。

1. 自分の専門分野だけでなく、関連する学際分野なども含め広範に学ぶことにより、技術が人間社会や地球環境に与える影響を多面的にとらえる力
2. 電気・電子工学および関連分野において最先端で自立的に活躍できる専門知識を身につけるとともに、人類の発展や幸福に寄与する創造的な研究開発を行う力
3. グローバル化の進展の先頭に立ち、国際社会にて独立して活躍できるレベルの英語力

応用化学領域

【博士前期課程】

本領域では、応用化学および関連分野の発展に寄与し、専門知識を用いて人間社会の発展や地球環境の保全に貢献できる人材の養成を目的に、学生が修了時に身につけるべき能力や知識を次のように定めています。修了要件を満たし論文審査に合格すれば、これらを身につけた者と認め、学位を授与します。

1. 自分の専門分野以外の自然科学分野あるいは社会科学分野との学際分野も含め広範に学ぶことにより修得される、化学技術や化学物質が人間社会や地球環境に与える影響などを多面的にとらえる力
2. 応用化学および関連分野において最先端で活躍できる専門知識、及び、持続可能な人類の発展に資する新しい化学製品・化学技術の開発や新しい化学工業分野の開拓をできる力
3. グローバル化の進展に対応するため、社会で活躍できるレベルの英語力

【博士後期課程】

本領域では、応用化学における高度な専門性を身につけ、人間社会や地球環境に与える影響を総合的にとらえる学際性を持ち、自立して研究開発を遂行できる人材の養成を目的に、学生が修了時に身につけるべき能力や知識を次のように定めています。修了要件を満たし論文審査に合格すれば、これらを身につけた者と認め、学位を授与します。

1. 自分の専門分野だけでなく、関連する学際分野なども含め広範に学ぶことによって修得される、化学技術が人

間社会や地球環境に与える影響を多面的にとらえる力

2. 応用化学および関連分野において最先端で自立的に活躍できる専門知識、及び、持続可能な人類の発展や幸福に寄与する創造的な研究開発を行う力
3. グローバル化の進展の先頭に立ち、国際社会にて独立して活躍できるレベルの英語力

化学領域

【博士前期課程】

本領域では、化学および関連分野の発展に寄与し、専門知識を用いて人間社会の発展や地球環境の保全に貢献できる人材の養成を目的に、学生が修了時に身につけるべき能力や知識を次のように定めています。修了要件を満たし論文審査に合格すれば、これらを身につけた者と認め、学位を授与します。

1. 自分の専門分野以外の自然科学分野あるいは社会科学分野との学際分野も含め広範に学ぶことにより修得される、基礎科学が人間社会や地球環境に与える影響などを多面的にとらえる力
2. 化学および伝統的学問体系に応じた関連分野（物理化学、無機化学、分析化学、有機化学、環境科学）において最先端で活躍できる専門知識、真理の探究および人類の発展や幸福に寄与する創造的な研究開発を行う力
3. グローバル化の進展に対応するため、社会で活躍できるレベルの英語力

【博士後期課程】

本領域では、化学における高度な専門性を身に付け、人間社会や地球環境に与える影響を総合的にとらえる学際性を持ち、自立して研究開発を遂行できる人材の養成を目的に、学生が修了時に身につけるべき能力や知識を次のように定めています。修了要件を満たし論文審査に合格すれば、これらを身につけた者と認め、学位を授与します。

1. 自分の専門分野だけでなく、関連する学際分野なども含め広範に学ぶことによって修得される、自然科学における基礎科学が人間社会や地球環境に与える影響を多面的にとらえる力
2. 化学および伝統的学問体系に応じた関連分野（物理化学、無機化学、分析化学、有機化学、環境科学）において最先端で自立的に活躍できる専門知識、真理の探究および人類の発展や幸福に寄与する創造的な研究開発を行う力
3. グローバル化の進展の先頭に立ち、国際社会にて独立して活躍できるレベルの英語力

数学領域

【博士前期課程】

本領域では、数学の発展とその応用に寄与し、その専門知識を社会や次世代に伝えることで人間社会の発展に貢献できる人材の養成を目的に、学生が修了時に身につけるべき能力や知識を次のように定めています。修了要件を満たし論文審査に合格すれば、これらを身につけた者と認め、学位を授与します。

1. 数学の基礎知識に加え、それ以外の自然科学分野あるいは社会科学分野との学際分野も含め広範に学ぶことにより、数学の基礎およびその社会への応用について多面的にとらえる力
2. 数学および関連分野において最先端で活躍できる専門知識を身につけるとともに、真理の探究・理論の発展およびそれを広く社会や次世代に伝えることのできる力
3. グローバル化の進展に対応するため、社会で活躍できるレベルの英語力

【博士後期課程】

本領域では、数学の発展とその応用に寄与する高度な専門性を身につけ、社会や次世代に伝えるとともに、その及ぼす影響を総合的にとらえる学際性を持ち、自立して研究を遂行できる人材の養成を目的に、学生が修了時に身につけるべき能力や知識を次のように定めています。修了要件を満たし論文審査に合格すれば、これらを身につけた者と認め、学位を授与します。

1. 自分の専門分野だけでなく、関連する学際分野なども含め広範に学ぶことにより、数学とその応用が社会に及ぼす影響を多面的にとらえる力
2. 数学および関連分野において最先端で自立的に活躍できる専門知識を身につけて創造的な研究を行うとともに、それを広く社会や次世代に伝えて人類の発展や幸福に寄与できる力
3. グローバル化の進展の先頭に立ち、国際社会にて独立して活躍できるレベルの英語力

物理学領域

【博士前期課程】

本領域では、物理学および関連分野の発展に寄与し、専門知識を用いて人間社会の発展や地球環境の保全に貢献できる人材の養成を目的に、学生が修了時に身につけるべき能力や知識を次のように定めています。修了要件を満たし論文審査に合格すれば、これらを身につけた者と認め、学位を授与します。

1. 自分の専門分野以外の自然科学分野あるいは社会科学分野との学際分野も含め広範に学ぶことにより、科学が人間社会や地球環境に与える影響などを多面的にとらえる力
2. 物理学および関連分野において最先端で活躍できる専門知識を身につけるとともに、新分野の開拓や新技術の開発をできる力
3. グローバル化の進展に対応するため、社会で活躍できるレベルの英語力

【博士後期課程】

本領域では、物理学における高度な専門性を身に付け、人間社会や地球環境に与える影響を総合的にとらえる学際性を持ち、自立して研究開発を遂行できる人材の養成を目的に、学生が修了時に身につけるべき能力や知識を次のように定めています。修了要件を満たし論文審査に合格すれば、これらを身につけた者と認め、学位を授与します。

1. 自分の専門分野だけでなく、関連する学際分野なども含め広範に学ぶことにより、科学が人間社会や地球環境に与える影響を多面的にとらえる力
2. 物理学および関連分野において最先端で自立的に活躍できる専門知識を身につけるとともに、人類の発展や幸福に寄与する創造的な研究開発を行う力
3. グローバル化の進展の先頭に立ち、国際社会にて独立して活躍できるレベルの英語力

生物科学領域

【博士前期課程】

本領域では、多彩な生物現象を広く理解し、生物科学の進歩に寄与する専門性と、学際的研究分野への応用可能な知識を持ち、人間社会に貢献できる人材の養成を目的に、学生が修了時に身につけるべき能力や知識を次のように定めています。修了要件を満たし論文審査に合格すれば、これらを身につけた者と認め、学位を授与します。

1. 学際分野も含めた自分の専門分野以外の自然科学分野、あるいは生命倫理などの問題を広範に学ぶことにより、人間社会への貢献や生物環境の保全などを多面的にとらえる力
2. 大学院生はさまざまな研究技術を修得し、専門分野を深く掘り下げるとともに、多様な講義を受けることにより、生命という未知の分野の開拓をできる力
3. グローバル化の進展に対応するため、社会で活躍できるレベルの英語力

【博士後期課程】

本領域では、生物科学における高度な研究能力と幅広く応用可能な専門知識を兼ね備え、生物科学の基礎研究を力強く推進できる人材の養成を目的に、学生が修了時に身につけるべき能力や知識を次のように定めています。修了要件を満たし論文審査に合格すれば、これらを身につけた者と認め、学位を授与します。

1. 自分の専門分野だけでなく、他の自然科学分野あるいは生命倫理などの学際分野も含め広範に学ぶことにより、バランスのとれた知識
2. 自分の研究分野において自立的に活躍できる最先端の専門知識を身につけるとともに、生命科学の発展に寄与する創造的な研究を行う力
3. グローバル化の進展の先頭に立ち、国際社会にて独立して活躍できるレベルの英語力

情報学領域

【博士前期課程】

本領域では、情報学および関連分野の発展に寄与し、専門知識を用いて人間社会の発展や地球環境の保全に貢献できる人材の養成を目的に、学生が修了時に身につけるべき能力や知識を次のように定めています。修了要件を満たし論文審査に合格すれば、これらを身につけた者と認め、学位を授与します。

1. 自分の専門分野以外の自然科学分野あるいは社会科学分野との学際分野も含め広範に学ぶことにより、技術が

人間社会や地球環境に与える影響などを多面的にとらえる力

2. 情報学および関連分野において最先端で活躍できる専門知識を身につけるとともに、新技術の開発や新分野の開拓をできる力
3. グローバル化の進展に対応するため、社会で活躍できるレベルの英語力

【博士後期課程】

本領域では、情報学における高度な専門性を身につけ、人間社会や地球環境に与える影響を総合的にとらえる学際性を持ち、自立して研究開発を遂行できる人材の養成を目的に、学生が修了時に身につけるべき能力や知識を次のように定めています。修了要件を満たし論文審査に合格すれば、これらを身につけた者と認め、学位を授与します。

1. 自分の専門分野だけでなく、関連する学際分野なども含め広範に学ぶことにより、技術が人間社会や地球環境に与える影響を多面的にとらえる力
2. 情報学および関連分野において最先端で自立的に活躍できる専門知識を身につけるとともに、人類の発展や幸福に寄与する創造的な研究開発を行う力
3. グローバル化の進展の先頭に立ち、国際社会にて独立して活躍できるレベルの英語力

グリーンサイエンス・エンジニアリング領域

【博士前期課程】

本領域では、地球環境科学、工学および関連分野の発展に寄与し、専門知識を用いて人間社会の発展や地球環境の保全に貢献できる人材の養成を目的に、学生が修了時に身につけるべき能力や知識を次のように定めています。修了要件を満たし論文審査に合格すれば、これらを身につけた者と認め、学位を授与します。

1. 自分の専門分野以外の自然科学分野あるいは社会科学分野との学際分野も含め広範に学ぶことにより、技術が人間社会や地球環境に与える影響などを多面的にとらえる力
2. 地球環境科学、工学および関連分野において最先端で活躍できる専門知識を身につけるとともに、新技術の開発や新分野の開拓をできる力
3. グローバル化の進展に対応するため、社会で活躍できるレベルの英語力と地域及び社会とのつながりを理解する能力

【博士後期課程】

本領域では、地球環境科学、工学における高度な専門性を身につけ、人間社会や地球環境に与える影響を総合的にとらえる学際性を持ち、自立して研究開発を遂行できる人材の養成を目的に、学生が修了時に身につけるべき能力や知識を次のように定めています。修了要件を満たし論文審査に合格すれば、これらを身につけた者と認め、学位を授与します。

1. 自分の専門分野だけでなく、関連する学際分野なども含め広範に学ぶことにより、技術が人間社会や地球環境に与える影響を多面的にとらえる力
2. 地球環境科学、工学および関連分野において最先端で自立的に活躍できる専門知識を身につけるとともに、人類の発展や幸福に寄与する創造的な研究開発を行う力
3. グローバル化の進展の先頭に立ち、国際社会にて独立して活躍できるレベルの研究力とコミュニケーションスキル

3. 各専攻のカリキュラム・ポリシー

理工学専攻

【博士前期課程】

本課程では、ディプロマ・ポリシーに沿って、伝統的学問体系に応じた「領域」ごとのカリキュラム体制をとり、学部教育との一貫性にも配慮しながら、複合知を兼ね備えた専門能力を養成するよう、以下の趣旨を盛り込んだ科目によってカリキュラムを編成しています。

1. 自領域以外の領域、および理工共通領域の科目を受講することにより、自分の専門領域以外の分野について広く知識を得させる。
2. 自領域が提供する科目を受講し、これらについて専門知識を得させる。
また、特定のテーマについて研究を行い、このテーマと周辺について深い専門知識を得るとともに、研究の進め方、まとめ方、研究倫理などを学ばせる。
3. 科学技術英語や英語で行われる科目の受講、研究成果の英語発表、英語論文の執筆などにより、英語力を向上させる。
4. 「領域」として、次の9領域を設けている。機械工学領域、電気・電子工学領域、応用化学領域、化学領域、数学領域、物理学領域、生物科学領域、情報学領域、グリーンサイエンス・エンジニアリング領域。

【博士後期課程】

本課程では、ディプロマ・ポリシーに沿って、指導教員による日々の研究指導に加えて、週1回以上の専門分野に関する英語の輪講・演習を設け、国際的に活躍できる高度な専門能力を養成するよう、以下の趣旨を盛り込んだ科目によってカリキュラムを編成しています。

1. 各領域における高度な専門性と関連分野の広範な知識を有し、自立して研究開発を遂行できる力を涵養するため、演習を受講し研究指導を受けさせる。
2. 自分の専門分野以外の学際分野などの学術論文や解説書などを精読することにより、これらの分野について広く知識を得させる。
3. 自分の専門分野において教員の研究指導を受けながら集中して研究を遂行し、このテーマと周辺について深い専門知識を得るとともに、研究の進め方、まとめ方、研究倫理などを学び、研究の集大成として博士論文を提出させる。
4. 得られた研究成果を国内外にて英語で発表し、また英語論文を執筆投稿し、必要に応じて海外の研究機関にて研究を行い、これにより英語力を積極的に向上させる。
5. 「領域」として、次の9領域を設け、専門性にも配慮したカリキュラム構成としている。機械工学領域、電気・電子工学領域、応用化学領域、化学領域、数学領域、物理学領域、生物科学領域、情報学領域、グリーンサイエンス・エンジニアリング領域。

機械工学領域

【博士前期課程】

機械工学および関連分野の発展に寄与し、人間社会の発展や地球環境の保全に貢献できる力を涵養するため、機械工学領域や他領域の科目を受講し、研究指導を受けさせる。

1. 機械工学領域以外の領域、および理工共通領域の科目を受講することにより、自分の専門領域以外の分野について広く知識を得させる。
2. 機械工学領域が提供する材料力学、機械力学、熱工学、流体工学、精密工学、制御工学、材料科学、物理学、数学などに関する科目を受講し、これらについて専門知識を得させる。また、それらを基礎とした特定のテーマについて研究を行い、このテーマと周辺について深い専門知識を得るとともに、研究の進め方、まとめ方、研究倫理などを学ばせる。
3. 科学技術英語や英語で行われる科目の受講、研究成果の英語発表、英語論文の執筆などにより、英語力を向上

させる。

【博士後期課程】

機械工学における高度な専門性と関連分野の広範な知識を有し、自立して研究開発を遂行できる力を涵養するため、演習を受講し研究指導を受けさせる。

1. 自分の専門分野以外の学際分野などの学術論文や解説書などを精読することにより、これらの分野について広く知識を得させる。
2. 自分の専門分野において教員の研究指導を受けながら集中して研究を遂行し、このテーマと周辺について深い専門知識を得るとともに、研究の進め方、まとめ方、研究倫理などを学び、研究の集大成として博士論文を提出させる。
3. 得られた研究成果を国内外にて英語で発表し、また英語論文を執筆投稿し、必要に応じて海外の研究機関にて研究を行い、これらにより英語力を積極的に向上させる。

電気・電子工学領域

【博士前期課程】

電気・電子工学および関連分野の発展に寄与し、人間社会の発展や地球環境の保全に貢献できる力を涵養するため、電気・電子工学領域や他領域の科目を受講し、研究指導を受けさせる。

1. 電気・電子工学領域以外の領域、および理工共通領域の科目を受講することにより、自分の専門領域以外の分野について広く知識を得させる。
2. 電気・電子工学領域が提供する半導体、電力、情報通信などに関する科目を受講し、これらについて専門知識を得させる。
また、特定のテーマについて研究を行い、このテーマと周辺について深い専門知識を得るとともに、研究の進め方、まとめ方、研究倫理などを学ばせる。
3. 科学技術英語や英語で行われる科目の受講、研究成果の英語発表、英語論文の執筆などにより、英語力を向上させる。

【博士後期課程】

電気・電子工学における高度な専門性と関連分野の広範な知識を有し、自立して研究開発を遂行できる力を涵養するため、演習を受講し研究指導を受けさせる。

1. 自分の専門分野以外の学際分野などの学術論文や解説書などを精読することにより、これらの分野について広く知識を得させる。
2. 自分の専門分野において教員の研究指導を受けながら集中して研究を遂行し、このテーマと周辺について深い専門知識を得るとともに、研究の進め方、まとめ方、研究倫理などを学び、研究の集大成として博士論文を提出させる。
3. 得られた研究成果を国内外にて英語で発表し、また英語論文を執筆投稿し、必要に応じて海外の研究機関にて研究を行い、これらにより英語力を積極的に向上させる。

応用化学領域

【博士前期課程】

応用化学および関連分野の発展に寄与し、人間社会の発展や地球環境の保全に貢献できる力を涵養するため、応用化学領域や他領域の科目を受講し、研究指導を受けさせる。

1. 応用化学領域以外の領域、および理工共通領域の科目を受講することにより、自分の専門領域以外の分野について広く知識を得させる。
2. 応用化学領域が提供する有機合成化学、高分子化学、無機工業化学、工業物理化学および環境化学工学などに関する科目を受講し、これらについて専門知識を得させる。
また、特定のテーマについて研究を行い、このテーマと周辺について深い専門知識を得るとともに、研究の進め方、まとめ方、研究倫理などを学ばせる。
3. 科学技術英語や英語で行われる科目の受講、研究成果の英語発表、英語論文の執筆などにより、英語力を向上

させる。

【博士後期課程】

応用化学における高度な専門性と関連分野の広範な知識を有し、自立して研究開発を遂行できる力を涵養するため、演習を受講し研究指導を受けさせる。

1. 自分の専門分野以外の学際分野などの学術論文や解説書などを精読することにより、これらの分野について広く知識を得させる。
2. 自分の専門分野において教員の研究指導を受けながら集中して研究を遂行し、このテーマと周辺について深い専門知識を得るとともに、研究の進め方、まとめ方、研究倫理などを学び、研究の集大成として博士論文を提出させる。
3. 得られた研究成果を国内外にて英語で発表し、また英語論文を執筆投稿し、必要に応じて海外の研究機関にて研究を行い、これらにより英語力を積極的に向上させる。

化学領域

【博士前期課程】

化学および関連分野の発展に寄与し、人間社会の発展や地球環境の保全に貢献できる力を涵養するため、化学領域や他領域の科目を受講し、研究指導を受けさせる。

1. 化学領域以外の領域、および理工共通領域の科目を受講することにより、自分の専門領域以外の分野について広く知識を得させる。
2. 化学領域が提供する物理化学、無機化学、分析化学、有機化学、錯体化学、環境科学などに関する科目を受講し、これらについて専門知識を得させる。
また、特定のテーマについて研究を行い、このテーマと周辺について深い専門知識を得るとともに、研究の進め方、まとめ方、研究倫理などを学ばせる。
3. 科学技術英語や英語で行われる科目の受講、研究成果の英語発表、英語論文の執筆などにより、英語力を向上させる。

【博士後期課程】

化学における高度な専門性と関連分野の広範な知識を有し、自立して研究開発を遂行できる力を涵養するため、演習を受講し研究指導を受けさせる。

1. 自分の専門分野以外の学際分野などの学術論文や解説書などを精読することにより、これらの分野について広く知識を得させる。
2. 自分の専門分野において教員の研究指導を受けながら集中して研究を遂行し、このテーマと周辺について深い専門知識を得るとともに、研究の進め方、まとめ方、研究倫理などを学び、研究の集大成として博士論文を提出させる。
3. 得られた研究成果を国内外にて英語で発表し、また英語論文を執筆投稿し、必要に応じて海外の研究機関にて研究を行い、これらにより英語力を積極的に向上させる。

数学領域

【博士前期課程】

高度に発展した数学の理解と新たな真理の探究のため、体系的に専門的知識を学び、自ら思考して新しい数学的知見を創造し、数学の研究とは何かを学ぶとともに、それを広く社会や次世代に伝えて人間社会の発展に貢献できる力を涵養するため、数学領域や他領域の科目を受講し、研究指導を受けさせる。

1. 数学領域の科目の受講を通じて基礎的知識を得るとともに、他領域および理工共通領域の科目を受講することにより、自分の専門領域以外の分野についても広く知識を得させる。
2. 数学領域が提供する解析学・代数学・幾何学・数理統計などに関する科目を受講し、これらについて専門知識を得させる。また、特定のテーマについて研究を行い、このテーマと周辺について深い専門知識を得るとともに、研究の進め方、まとめ方、研究倫理などを学ばせる。
3. 科学技術英語や英語で行われる科目の受講、英語文献の講読、英語による学術講演の聴講、研究成果の英語発

表，英語論文の執筆などにより，英語力を向上させる。

【博士後期課程】

数学における高度な専門性と関連分野の広範な知識を有し，自立して研究を遂行できる力を涵養するため，演習を受講し研究指導を受けさせる。

1. 自分の専門分野を中心に数学の基礎的な学術論文や解説書などを精読することに加え，学際分野を含むその他の分野との関連・応用についても広く知識を得させる。
2. 自分の専門分野において教員の研究指導を受けながら集中して研究を遂行し，このテーマと周辺について深い専門知識を得るとともに，研究の進め方，まとめ方，研究倫理などを学び，研究の集大成として博士論文を提出させる。
3. 得られた研究成果を国内外にて英語で発表し，また英語論文を執筆投稿し，必要に応じて海外の研究機関にて研究を行い，これらにより英語力を積極的に向上させる。

物理学領域

【博士前期課程】

物理学および関連分野の発展に寄与し，人間社会の発展や地球環境の保全に貢献できる力を涵養するため，物理学領域や他領域の科目を受講し，研究指導を受けさせる。

1. 物理学領域以外の領域，および理工共通領域の科目を受講することにより，自分の専門領域以外の分野について広く知識を得させる。
2. 物理学領域が提供する物性物理，光物性，原子・分子などに関する科目を受講し，これらについて専門知識を得させる。
また，特定のテーマについて研究を行い，このテーマと周辺について深い専門知識を得るとともに，研究の進め方，まとめ方，研究倫理などを学ばせる。
3. 科学技術英語や英語で行われる科目の受講，研究成果の英語発表，英語論文の執筆などにより，英語力を向上させる。

【博士後期課程】

物理学における高度な専門性と関連分野の広範な知識を有し，自立して研究開発を遂行できる力を涵養するため，演習を受講し研究指導を受けさせる。

1. 自分の専門分野以外の学際分野などの学術論文や解説書などを精読することにより，これらの分野について広く知識を得させる。
2. 自分の専門分野において教員の研究指導を受けながら集中して研究を遂行し，このテーマと周辺について深い専門知識を得るとともに，研究の進め方，まとめ方，研究倫理などを学び，研究の集大成として博士論文を提出させる。
3. 得られた研究成果を国内外にて英語で発表し，また英語論文を執筆投稿し，必要に応じて海外の研究機関にて研究を行い，これらにより英語力を積極的に向上させる。

生物科学領域

【博士前期課程】

生物科学および関連分野の発展に寄与し，人間社会の発展や生物環境の保全に貢献できる力を涵養するため，生物科学領域や他領域の科目を受講し，研究指導を受けさせる。

1. 理工共通領域の科目，および生物科学領域以外の専門領域の科目を受講することにより，自然科学一般の基礎知識を得させる。
2. 生物科学領域が提供する分子，細胞，個体レベルの科目を受講し，生命に関する最先端の専門知識を得させる。
また，特定のテーマについて研究を行い，このテーマと周辺について深い知識を得るとともに，研究の進め方，まとめ方，研究倫理などを学ばせる。
3. 科学技術英語や英語で行われる科目の受講，英語論文の熟読や輪読などにより，英語力を向上させる。

【博士後期課程】

生物科学における高度な専門性と関連分野の広範な知識を有し、自立して研究開発を遂行できる能力を得るため、演習を受講し研究指導を受けさせる。

1. 自分の専門分野に精通するだけでなく、学際分野などの学術論文や解説書などを精読することにより、生命科学の分野において広く知識を得させる。
2. 自分の専門分野において教員の研究指導を受けながら集中して精力的に研究を遂行し、研究の技術の修得、論文の掲載などを行ない、研究の集大成として博士論文を提出させる。
3. 得られた研究成果を国内外にて英語で発表し、また英語論文を執筆投稿し、必要に応じて海外の研究機関にて研究を行う。これらにより英語力を積極的に向上させる。

情報学領域

【博士前期課程】

情報学および関連分野の発展に寄与し、人間社会の発展や地球環境の保全に貢献できる力を涵養するため、情報学領域や他領域の科目を受講し、研究指導を受けさせる。

1. 情報学領域以外の領域、および理工共通領域の科目を受講することにより、自分の専門領域以外の分野について広く知識を得させる。
2. 情報学領域が提供する科目を受講し、これらについて専門知識を得させる。また、特定のテーマについて研究を行い、このテーマと周辺について深い専門知識を得るとともに、研究の進め方、まとめ方、研究倫理などを学ばせる。
3. 科学技術英語や英語で行われる科目の受講、研究成果の英語発表、英語論文の執筆などにより、英語力を向上させる。

【博士後期課程】

情報学における高度な専門性と関連分野の広範な知識を有し、自立して研究開発を遂行できる力を涵養するため、演習を受講し研究指導を受けさせる。

1. 自分の専門分野以外の学際分野などの学術論文や解説書などを精読することにより、これらの分野について広く知識を得させる。
2. 自分の専門分野において教員の研究指導を受けながら集中して研究を遂行し、このテーマと周辺について深い専門知識を得るとともに、研究の進め方、まとめ方、研究倫理などを学び、研究の集大成として博士論文を提出させる。
3. 得られた研究成果を国内外にて英語で発表し、また英語論文を執筆投稿し、必要に応じて海外の研究機関にて研究を行い、これらにより英語力を積極的に向上させる。

グリーンサイエンス・エンジニアリング領域

【博士前期課程】

地球環境科学、工学および関連分野の発展に寄与し、人間社会の発展や地球環境の保全に貢献できる力を涵養するため、グリーンサイエンス、グリーンエンジニアリング領域や他領域の科目を受講し、研究指導を受けさせる。

1. グリーンサイエンス、グリーンエンジニアリング領域以外の領域、および理工共通領域の科目を受講することにより、自分の専門領域以外の分野について広く知識を得させる。
2. グリーンサイエンス、グリーンエンジニアリング領域が提供する科目を受講し、これらについて専門知識を得させる。
また、特定のテーマについて研究を行い、このテーマと周辺について深い専門知識を得るとともに、研究の進め方、まとめ方、研究倫理などを学ばせる。
3. 受講する授業はすべて英語で行われ、研究成果の発表、論文の執筆などにより、科学における英語力を向上させる。

【博士後期課程】

地球環境科学，工学における高度な専門性と関連分野の広範な知識を有し，自立して研究開発を遂行できる力を涵養するため，演習を受講し研究指導を受けさせる。

1. 地球環境科学，工学分野以外の学際分野などの学術論文や解説書などを精読することにより，これらの分野について広く知識を得させる。
2. 地球環境科学，工学分野において教員の研究指導を受けながら集中して研究を遂行し，このテーマと周辺について深い専門知識を得るとともに，研究の進め方，まとめ方，研究倫理などを学び，研究の集大成として博士論文を提出させる。
3. 得られた研究成果を国内外にて英語で発表し，また英語論文を執筆投稿し，必要に応じて海外の研究機関にて研究を行い，これらによりコミュニケーションスキルを積極的に向上させる。

理工学研究科の履修登録について

理工学研究科では学生が各分野から幅広く知識を吸収するように、各領域の科目を履修出来るようになっていました。また大学院が高度な専門教育・研究の場である事を考慮し、機械工学領域、電気・電子工学領域、応用化学領域、化学領域、数学領域、物理学領域、生物科学領域、情報学領域、グリーンサイエンス・エンジニアリング領域（英語コース・2013年秋開設）の9領域よりなる1専攻として専門性にも配慮しています。

卒業研究で行ったテーマを大学院でも引き続き研究できるようになっていますし、新しい分野を開拓したい学生は新しい指導教員のもとで研究を開始することも可能になっています。

指導教員の指導のもとに履修計画を立ててから登録してください。毎年度、領域で定める「研究計画書」を指導教員の指導のもとに作成し、提出してください。書式・提出期限等は各領域の指導に従ってください。

理工学研究科学生の法文系科目の履修について

指導教員が教育研究上有益と認めた場合、他研究科の授業科目を8単位まで修得し、これを所定の単位に算入できることは、大学院学則に示されていて、この中には法文系の科目（キリスト教的世界観に関する科目を含む）も入っています。それは、最近の科学・技術の急速な発達、人間生活の広い面で大きな影響を及ぼすことになったため、科学・技術者としても、その専門にとどまらず、広い関心と知識を持つべきであるという観点からです。

入学年次による授業科目の編成・単位の違いについて

入学年次により、修了に要する科目、単位数の要件が異なります。

自分の対象の年次・項目をよく確認すること。

理工学専攻 博士前期課程

1. 修了に要する科目, 単位数, 科目数などの要件

【17年次生以降】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限, その他）
総単位数	30		※注
▶選択必修科目	2		
└大学院演習ⅠA	1		
└大学院演習ⅠB	1		
└大学院演習ⅡA	1		
└大学院演習ⅡB	1		
▶選択科目	28		
└自研究科自領域科目	18		※注
└自研究科他領域科目	4		理工基本領域を除く, 理工共通領域は含む
└自研究科全領域	6		理工基本領域と理工共通領域を含む全ての領域
└委託聴講科目			※注（領域毎に取扱が異なる）
研究指導（必修）		4	単位なし, 在学中毎学期登録される 4科目以上合格すること
修士論文			必要な研究指導を受けたうえ, 修士論文の審査および試験 に合格すること (修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文 登録をすること)

【16年次生以前】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限, その他）
総単位数	30		※注
▶選択必修科目	2		
└大学院演習ⅠA	1		
└大学院演習ⅠB	1		
└大学院演習ⅡA	1		
└大学院演習ⅡB	1		
▶選択科目	28		
└自研究科自領域科目	18		※注
└自研究科他領域科目	4		理工基本領域を除く, 理工共通領域は含む
└自研究科全領域	6		理工基本領域と理工共通領域を含む全ての領域
└委託聴講科目			※注（領域毎に取扱が異なる）
研究指導（必修）			単位なし, 在学中毎学期登録される
修士論文			必要な研究指導を受けたうえ, 修士論文の審査および試験 に合格すること (修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文 登録をすること)

※注 「履修上の注意」を参照のこと。(p.277)

【研究指導スケジュール】

年次	事項	期日	備考
M1	年次研究計画書の提出	4月末まで (情報学領域：5月中旬頃まで)	毎年度提出すること。
	研究中間発表会 (生物科学領域のみ)	11月頃	ポスター発表会
	研究報告書の提出	2月末まで (3月末まで：物理学領域)	電気・電子工学領域，応用化学領域，化学領域，生物科学領域，情報学領域は実施しない。
M2	年次研究計画書の提出	4月末まで (情報学領域：5月中旬頃まで)	毎年度提出すること。
	修士論文の履修登録	9月下旬～10月上旬	修士論文提出学期の履修登録期間に各自 Loyola で登録すること。
	修士論文中間発表会	機械工学領域：9～11月頃 電気・電子工学領域： (20年次生から) 2021夏頃 物理学領域：11月頃	応用化学領域，化学領域，数学領域，情報学領域は実施しない。
	※外国語試験	学位規程第13条の4に規定する外国語の試験は，領域ごとに別途定める。詳細は領域の指示に従うこと。	
	修士論文発表会要旨提出	1月上旬～下旬	領域により異なる。フォーマットや期限など，領域の指示に従うこと。
	修士論文提出	1月下旬	2020年度は 2021年1月29日(金)とする。
	修士論文発表会 (論文審査・口述試験)	2月中旬	

※ 書式や提出期限に係る詳細は，4月実施の領域ガイダンスで配布する次の資料を参照のこと。

：配布資料名

機械工学領域	機械工学領域ガイダンス 配布資料
電気・電子工学領域	電気・電子工学領域ガイダンス 配布資料
応用化学領域	応用化学領域・化学領域大学院ガイダンス資料
化学領域	
数学領域	数学領域ガイダンス (新入生・在校生)
物理学領域	大学院履修ガイダンス
生物科学領域	生物科学領域，修士のための英語試験に関して 生物科学領域履修のてびき
情報学領域	情報学領域 履修上の注意
グリーンサイエンス・エンジニアリング領域	English-taught Graduate Programs 「BULLETIN OF INFORMATION 2020-2021」

※ 9月修了希望者は，上記に係る期日を別途指定するため，履修登録前に必ず指導教員に連絡をとり，スケジュール等詳細について確認すること。

【修士論文審査基準】

- 1) 審査は、提出された論文について行い、申請者が専攻分野における研究能力を有するか否かについて考査する。
- 2) 審査に当たっては、論文の内容及び構成・表現に留意する。特に、先行研究が十分に参照され明記されているか、引用が正確になされているか、データが適切に処理されているかを考査する。
- 3) 試験は、論文を中心として広く関連した科目について口述によって行い、申請者が広い視野に立って精深な学識を修めたか否かについて考査する。
- 4) 外国語については1か国語を課し、筆記試験を課することができる。ただし、申請者が学位を受けるにふさわしい外国語の能力を備えていると認定された場合は、外国語の試験の一部又は全部を免除することができる。免除の基準は、所属する領域に確認すること。

2. 授業科目の編成・単位

<理工基本領域>

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
大学院演習ⅠA		1	
大学院演習ⅠB		1	
大学院演習ⅡA		1	
大学院演習ⅡB		1	

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
科学技術英語A ※注1			2
科学技術英語B			2

※注1 2014年度以前開講の科目名変更(重複履修不可)

2015年度以降開講科目名 ※ () 内は単位数	2014年度以前開講科目名 ※ () 内は単位数
科学技術英語A (2)	科学技術英語Ⅱ (1) (2)

<理工共通領域>

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
物理学序論			2
経済数学特論Ⅰ			2

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
経済数学特論Ⅱ			2
(他) エネルギーと環境 ※注1			2

※注1 地球環境研究科開講科目だが、自研究科科目扱いとなる。詳細は p.325～を参照。

<機械工学領域>

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
材料力学特論			2
構造力学特論			2
固体力学特論			2
機械力学特論			2
マルチボディ・ダイナミクス			2
熱エネルギー変換工学特論			2
環境材料学			2
伝熱工学特論			2
流体工学特論A			2
流体工学特論B			2
流体エネルギー変換工学特論			2
機械工学応用			2

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
精密加工学特論			2
計測工学特論			2
制御工学特論A			2
制御工学特論B			2
アドバンスト制御			2
材料工学特論			2
機械設計法特論			2
燃焼工学特論			2
機械工学ゼミナールⅠA			2
機械工学ゼミナールⅠB			2
機械工学ゼミナールⅡA			2
機械工学ゼミナールⅡB			2

<電気・電子工学領域>

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
通信用光回路工学			2
光導波工学			2
量子物性工学			2
電気エネルギー管理と制御			2
超伝導応用工学 ※注1			2
電気エネルギー工学特論			2
集積回路工学			2
光デバイス工学			2
光伝送工学			2
先端電子デバイス工学			2
医用光工学			2
ワイヤレス通信工学			2

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
情報工学Ⅰ			2
情報工学Ⅱ			2
半導体デバイス工学			2
先端超伝導応用			2
電力ネットワーク工学			2
センサネットワーク特論			2
情報ネットワーク特論 ※注2			2
情報理論特論 ※注2			2
電気・電子工学ゼミナールⅠA			2
電気・電子工学ゼミナールⅠB			2
電気・電子工学ゼミナールⅡA			2
電気・電子工学ゼミナールⅡB			2

※注1 2019年度以前開講の科目名変更（重複履修不可）

2020年度以降開講科目名 ※（ ）内は単位数	2019年度以前開講科目名 ※（ ）内は単位数
超伝導応用工学 (2)	超伝導工学 (2)

※注2 情報学領域開講科目だが、電気・電子工学領域の自領域扱いとなる。詳細は p. 297～を参照。

<応用化学領域>

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
有機合成化学特論（立体選択的合成）			2
高分子合成特論			2
応用化学特論			2
電離気体反応論			2
環境化学特論			2
高分子解析特論			2
光機能材料特論			2
工業材料化学特論			2

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
有機合成化学特論（機器構造解析） ※注1			2
高分子物性特論			2
有機金属化学特論			2
電磁波化学特論			2
応用化学ゼミナールⅠA			2
応用化学ゼミナールⅠB			2
応用化学ゼミナールⅡA			2
応用化学ゼミナールⅡB			2

※注1 2016年度以前開講の科目名変更（重複履修不可）

2017年度以降開講科目名 ※（ ）内は単位数	2016年度以前開講科目名 ※（ ）内は単位数
有機合成化学特論（機器構造解析） (2)	有機合成化学特論（触媒有機合成） (2)

<化学領域>

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
物理化学特論（構造化学）			2
物理化学特論（理論化学） ※注2			2
物理化学特論（環境科学） ※注1			2
分析化学特論（電気化学分析）			2
有機化学特論（医薬品設計・合成化学）			2
無機化学特論（地球化学）			2
有機化学特論（有機化学演習）			2
分析化学特論（超分子化学） ※注2			2

※注1 2015年度以前開講の科目名変更(重複履修不可)

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
分析化学特論（先端分析化学）			2
無機化学特論（無機反応化学）			2
無機化学特論（錯体化学）			2
有機化学特論（天然物化学）			2
化学ゼミナールⅠA			2
化学ゼミナールⅠB			2
化学ゼミナールⅡA			2
化学ゼミナールⅡB			2

2016年度以降開講科目名 ※（ ）内は単位数	2015年度以前開講科目名 ※（ ）内は単位数
物理化学特論（環境科学） (2)	物理化学特論（環境科学A） (2)

※注2 グリーンサイエンス・エンジニアリング領域との同内容科目（重複履修不可）

化学領域科目名 ※（ ）内は単位数	グリーンサイエンス・エンジニアリング領域科目名 ※（ ）内は単位数
物理化学特論（理論化学） (2)	Theoretical Chemistry (2) (~2018)
分析化学特論（超分子化学） (2)	Supramolecular Analytical Chemistry (2) (2020~) Environmental Analytical Chemistry (2) (~2019)

<数学領域>

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
代数学特論Ⅰ			2
代数学特論Ⅱ			2
代数学特論Ⅲ			2
代数学特論Ⅳ			2
幾何学特論Ⅰ			2
幾何学特論Ⅱ			2
幾何学特論Ⅲ			2
幾何学特論Ⅳ			2
解析学特論Ⅰ			2

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
解析学特論Ⅱ			2
解析学特論Ⅲ			2
解析学特論Ⅳ			2
計算数学特論			2
数学ゼミナールⅠA			2
数学ゼミナールⅠB			2
数学ゼミナールⅡA			2
数学ゼミナールⅡB			2

<物理学領域>

科目名	単位数	
	必修	選択
光物性		2
物性物理A		2
物性物理B		2
物性物理C		2
量子多体問題		2
デバイスの物理 ※注3		2
低温物性		2
実験物理特論A		2
実験物理特論B		2
原子分子分光特論 ※注1		2
原子衝突物理特論 ※注1		2

科目名	単位数	
	必修	選択
放射光原子分子科学 ※注2		2
物理汎論A		2
物理汎論B ※注5		2
物理汎論C		2
相転移の物理 ※注4		2
理論物理特論 ※注4		2
原子過程科学		2
物理学ゼミナールⅠA		2
物理学ゼミナールⅠB		2
物理学ゼミナールⅡA		2
物理学ゼミナールⅡB		2

※注1 2017年度以前開講の科目名変更(重複履修不可)

2018年度以降開講科目名 ※ () 内は単位数	2017年度以前開講科目名 ※ () 内は単位数
原子分子分光特論 (2)	原子・分子A (2)
原子衝突物理特論 (2)	原子・分子B (2)

※注2 2016年度以前開講の科目名変更(重複履修不可)

2017年度以降開講科目名 ※ () 内は単位数	2016年度以前開講科目名 ※ () 内は単位数
放射光原子分子科学 (2)	放射光科学 (2)

※注3 2015年度以前開講の科目名変更(重複履修不可)

2016年度以降開講科目名 ※ () 内は単位数	2015年度以前開講科目名 ※ () 内は単位数
デバイスの物理 (2)	ナノスケールの物理 (2)

※注4 2014年度以前開講の科目名変更(重複履修不可)

2015年度以降開講科目名 ※ () 内は単位数	2014年度以前開講科目名 ※ () 内は単位数
相転移の物理 (2)	計算物理 (2)
理論物理特論 (2)	理論物理特論A (2)

※注5 2020年度より重複履修可

<生物科学領域>

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
分子進化学特論			2
生体運動特論			2
細胞神経科学特論			2
細胞内情報伝達論			2
植物分子応答学特論			2
脳生理学特論			2
神経発生学特論			2
発生生物学特論			2
バイオインフォマティクス			2
ゲノム細胞生物学			2

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
創薬インフォマティクス			2
環境分子生物学特論			2
植物機能科学特論			2
生物物理特論			2
海洋生物学特論			2
微生物生態学特論			2
生物科学ゼミナール I A			2
生物科学ゼミナール I B			2
生物科学ゼミナール II A			2
生物科学ゼミナール II B			2

<情報学領域>

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
システム工学特論			2
シミュレーション工学特論			2
数理最適化特論			2
経営情報分析特論			2
ソフトウェア特論			2
教育情報工学特論			2
音声・音響・聴覚情報処理			2
コンピュータグラフィックスとバーチャル・リアリティ			2
医用画像工学			2
センシングシステム工学			2
脳ネットワーク解析特論 ※注2			2
人工知能特論			2
パターン認識特論			2

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
マシンインテリジェンス			2
情報理論特論			2
情報科学特論			2
情報ネットワーク特論			2
ワイヤレス通信工学 ※注1			2
センサネットワーク特論 ※注1			2
データサイエンス特論			2
情報学ゼミナール I A			2
情報学ゼミナール I B			2
情報学ゼミナール II A			2
情報学ゼミナール II B			2

※注1 電気・電子工学領域開講科目だが、情報学領域の自領域扱いとなる。詳細は p. 289~を参照。

※注2 2019年度以前開講の科目名変更(重複履修不可)

2020年度以降開講科目名 ※ () 内は単位数 脳ネットワーク解析特論 (2)	2019年度以前開講科目名 ※ () 内は単位数 脳ネットワーク特論 (2)
--	--

<グリーンサイエンス・エンジニアリング領域>

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
Green Science and Engineering 1			2
Green Science and Engineering 2			2
Green Science and Engineering 3			2
Green Science and Engineering 4			2
Artificial Intelligence ※注2			2
Advanced Mechanical Engineering 1			2
Advanced Mechanical Engineering 2			2
Advanced Electrical and Electronics Engineering 1			2
Advanced Electrical and Electronics Engineering 2			2
Environmental Chemistry			2
Advanced Materials ※注1			2

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
Computational Chemistry			2
Supramolecular Analytical Chemistry ※注1,2			2
Differential Equations for Natural Phenomena			2
Statistical Data Analysis			2
Environmental Atomic and Molecular Physics			2
Introduction to Superconductivity			2
Environmental Basic Biology			2
Environmental Life Science			2
Computer Science			2
Applied Computer Science			2

※注1 各領域との同内容科目 (重複履修不可)

グリーンサイエンス・エンジニアリング領域開講科目名 ※ () 内は	各領域開講科目名 ※ () 内は単位	備考
Advanced Materials (2)	無機製造工学特論 (2)	応用化学領域
Theoretical Chemistry (2) (~2018)	物理化学特論 (理論化学) (2)	化学領域
Supramolecular Analytical Chemistry (2) (2020~)	分析化学特論 (超分子化学) (2)	化学領域
Environmental Analytical Chemistry (2) (~2019)		

注2) 前年度以前開講の科目名変更 (重複履修不可)

2020年度以降開講科目名 ※ () 内は単位数 Supramolecular Analytical Chemistry (2)	2019年度以前開講科目名 ※ () 内は単位数 Environmental Analytical Chemistry (2)
--	---

2017年度以降開講科目名 ※ () 内は単位数 Artificial Intelligence (2)	2016年度以前開講科目名 ※ () 内は単位数 Introduction To Artificial Intelligence (2)
--	--

3. 履修上の注意

1) 30 単位以上を修得し、修士論文を提出し、その審査および最終試験に合格した者に修士の学位を授与する。単位の内訳については、以下のとおりとする。

- ・ 選択必修 2 単位
- ・ 選択 28 単位

ただし、選択 28 単位については、以下のとおりとする。

① 自領域の科目を 18 単位

② 他領域（自領域以外の領域）および理工共通領域から 4 単位（理工基本領域は除く）

③ 自領域、他領域、理工基本領域、理工共通領域から 6 単位

・ 「大学院演習（選択必修）」を、2 単位を超えて修得した場合は、③の 6 単位に含めることができる。原則として履修すること。

・ 指導教員が認める「他研究科の授業科目（上限 8 単位）」（「履修要覧〔ガイド・資料編〕 p.34 を参照）」については、①の 18 単位に含めることができる。

・ 大学院演習および各領域のゼミナールは原則として I A, I B, II A, II B の順に履修すること。

・ 指導教員の担当科目に限り、所定の手続きを経て他領域の各ゼミナールを自領域科目扱いとすることができる。手続きの詳細は専攻事務室に問い合わせること。

④ 委託聴講科目の取り扱いは次のとおりとする。

領域	修了要件に算入できる単位数	備考
機械工学領域	10	自研究科他領域科目算入可
電気・電子工学領域	4	自研究科他領域科目算入可
応用化学領域	4	自研究科他領域科目算入可
化学領域	4	自研究科自領域科目算入可
数学領域	10	数学連絡協議会科目は 自研究科自領域科目算入可
		その他の委託聴講科目は 自研究科他領域科目算入可
物理学領域	10	自研究科他領域科目算入可
生物科学領域	10	自研究科他領域科目算入可
情報学領域	10	自研究科他領域科目算入可
グリーンサイエンス・エンジニアリング領域	10	自研究科自領域科目算入可

※なお、修了要件に算入できる単位数は、入学前単位認定（先取り履修を含む）、委託聴講による修得単位、留学による単位認定等の合計 10 単位を上限とする。

2) 「研究指導（必修）」は、在学中毎学期受けること。なお、2017 年次生以降の学生については、必要な合格科目数も定められている。1. 修了に要する科目、単位数、科目数などの要件を参照すること。

3) その他

【機械工学領域】

- 1) 「機械工学領域 ガイダンス 配布資料」（4 月初旬に開催するガイダンスにて配布）に従って履修すること。
- 2) 毎年 4 月に各年度の研究計画書を機械工学領域主任へ提出すること。
- 3) 機械工学領域で定める英語資格を満たすこと。
- 4) 修士論文の審査を受けるためには、審査を受ける学期の履修登録期間中に「修士論文」を履修登録し、修士 2 年次の秋頃までに中間審査を受け、修士論文の作成、および 2 月の修士論文審査会にて発表すること。

【電気・電子工学領域】

- 1) 毎年4月初旬に開催されるガイダンス（新入生・在校生共通）で配布する「電気・電子工学領域ガイダンス 配布資料」に従って履修すること。
- 2) 毎年4月に指導教員と相談のうえで各年度の研究計画書を作成し、計画書に記載された期限までに電気・電子工学領域事務室に提出すること。
- 3) 上記配布資料に記載された、電気・電子工学領域で定める英語資格を満たすこと。
- 4) 修士論文の審査を受けるためには、審査を受ける学期の履修登録期間中に「修士論文」を履修登録し、修士論文を作成し、修士論文を指導教員に提出後、2月の修士論文審査会で発表を行う必要がある。なお、20年次生以降は、予め修士論文中間発表も行う必要がある。
- 5) その他、詳細事項は上記配布資料に記載する。

【応用化学領域】

- 1) 春学期4月初旬に新入生・在校生に対し、領域主任によるガイダンスを行い、修士論文のスケジュール・履修科目などについて指導する。ガイダンスの開催についてはLoyolaに掲示する。
- 2) 学生は、毎年度4月末までに研究計画書を作成・提出する。研究計画書には講義科目の履修計画・修士論文の計画を記載し、指導教員の承認後、領域主任へ提出する。研究計画書の書式は4月上旬に指導教員から配布する。
- 3) 領域が定める英語資格を満たすこと。毎年12月に領域が実施する外国語資格試験を受験する、または既定の外部英語試験のスコアを提出することによって判定する。資格試験・スコア提出については10月に出される掲示を参照のこと。

【化学領域】

- 1) 春学期4月初旬に新入生・在校生に対し、領域主任によるガイダンスを行い、修士論文のスケジュール・履修科目などについて指導する。ガイダンスの開催についてはLoyolaに掲示する。
- 2) 学生は、毎年度4月末までに研究計画書を作成・提出する。研究計画書には講義科目の履修計画・修士論文の計画を記載し、指導教員の承認後、領域主任へ提出する。研究計画書の書式は4月上旬に指導教員から配布する。
- 3) 領域が定める英語資格を満たすこと。毎年12月に領域が実施する外国語資格試験を受験する、または既定の外部英語試験のスコアを提出することによって判定する。資格試験・スコア提出については10月に出される掲示を参照のこと。

【数学領域】

研究指導計画やスケジュールの詳細は、年度初めに行うガイダンスにて周知される。

【物理学領域】

- 1) 「物理学領域履修上の注意」（4月領域別ガイダンスで配布予定）にしたがって履修すること。
- 2) 毎年度、4月に領域の定める「研究計画書」を提出し、自発的に研究を進められるように努力すること。」

【生物科学領域】

- 1) 4月に行われる領域別ガイダンスにて配布される「生物科学領域履修のてびき」を参照して履修計画を作成すること。
- 2) 毎年度、「研究計画書」を指導教員と相談して作成し、領域主任に提出すること。
- 3) 修士論文審査基準第4項に記載の外国語筆記試験については、4月に行われる領域別ガイダンスにて配布される「生物科学領域、修士のための英語試験に関して」を参照すること。

【情報学領域】

- 1) 「情報学領域履修上の注意」（4月に実施される領域別ガイダンスで配布）に従って履修すること。
- 2) 毎年度、領域の定める「研究計画書」を提出すること。計画書の書式や提出期限・提出先は領域別ガイダンスでの指示に従うこと。

【各入学年次共通】

4. 開講科目一覧表

<理工基本領域>

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名	領域	外国語	備考
MSCT3051	春	大学院演習ⅠA	SCT501-75j00	1	曄道佳明	機械工学		注1
MSCT3052	秋	大学院演習ⅠB	SCT502-75j00	1			注1	
MSCT3053	春	大学院演習ⅡA	SCT601-75j00	1			注1	
MSCT3054	秋	大学院演習ⅡB	SCT602-75j00	1			注1	
MSCT3071	春	大学院演習ⅠA	SCT501-75j00	1	鈴木隆	機械工学		注1
MSCT3072	秋	大学院演習ⅠB	SCT502-75j00	1			注1	
MSCT3073	春	大学院演習ⅡA	SCT601-75j00	1			注1	
MSCT3074	秋	大学院演習ⅡB	SCT602-75j00	1			注1	
MSCT3081	春	大学院演習ⅠA	SCT501-75j00	1	申鉄龍	機械工学		注1
MSCT3082	秋	大学院演習ⅠB	SCT502-75j00	1			注1	
MSCT3083	春	大学院演習ⅡA	SCT601-75j00	1			注1	
MSCT3084	秋	大学院演習ⅡB	SCT602-75j00	1			注1	
MSCT3091	春	大学院演習ⅠA	SCT501-75j00	1	長嶋利夫	機械工学		注1
MSCT3092	秋	大学院演習ⅠB	SCT502-75j00	1			注1	
MSCT3093	春	大学院演習ⅡA	SCT601-75j00	1			注1	
MSCT3094	秋	大学院演習ⅡB	SCT602-75j00	1			注1	
MSCT3111	春	大学院演習ⅠA	SCT501-75j00	1	高井健一	機械工学		注1
MSCT3112	秋	大学院演習ⅠB	SCT502-75j00	1			注1	
MSCT3113	春	大学院演習ⅡA	SCT601-75j00	1			注1	
MSCT3114	秋	大学院演習ⅡB	SCT602-75j00	1			注1	
MSCT3121	春	大学院演習ⅠA	SCT501-75j00	1	久森紀之	機械工学		注1
MSCT3122	秋	大学院演習ⅠB	SCT502-75j00	1			注1	
MSCT3123	春	大学院演習ⅡA	SCT601-75j00	1			注1	
MSCT3124	秋	大学院演習ⅡB	SCT602-75j00	1			注1	
MSCT3851	休講	大学院演習ⅠA	SCT501-75j00	1	渡邊摩理子	機械工学		
MSCT3852	休講	大学院演習ⅠB	SCT502-75j00	1				
MSCT3853	休講	大学院演習ⅡA	SCT601-75j00	1				
MSCT3854	休講	大学院演習ⅡB	SCT602-75j00	1				
MSCT3951	春	大学院演習ⅠA	SCT501-75j00	1	一柳満久	機械工学		注1
MSCT3952	秋	大学院演習ⅠB	SCT502-75j00	1			注1	
MSCT3953	春	大学院演習ⅡA	SCT601-75j00	1			注1	
MSCT3954	秋	大学院演習ⅡB	SCT602-75j00	1			注1	
MSCT3971	春	大学院演習ⅠA	SCT501-75j00	1	竹原昭一郎	機械工学		注1
MSCT3972	秋	大学院演習ⅠB	SCT502-75j00	1			注1	
MSCT3973	春	大学院演習ⅡA	SCT601-75j00	1			注1	
MSCT3974	秋	大学院演習ⅡB	SCT602-75j00	1			注1	
MSCT3361	春	大学院演習ⅠA	SCT501-75j00	1	DZIEMIŃSKA, Edyta	機械工学		注1
MSCT3362	秋	大学院演習ⅠB	SCT502-75j00	1			注1	
MSCT3363	春	大学院演習ⅡA	SCT601-75j00	1			注1	
MSCT3364	秋	大学院演習ⅡB	SCT602-75j00	1			注1	
MSCT3011	春	大学院演習ⅠA	SCT501-75j00	1	田中秀岳	機械工学		注1
MSCT3012	秋	大学院演習ⅠB	SCT502-75j00	1			注1	
MSCT3013	春	大学院演習ⅡA	SCT601-75j00	1			注1	
MSCT3014	秋	大学院演習ⅡB	SCT602-75j00	1			注1	

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名	領域	外国語	備考
MSCT4041	春	大学院演習ⅠA	SCT501-75j00	1	張 月 琳	機械工学		
MSCT4042	秋	大学院演習ⅠB	SCT502-75j00	1				
MSCT4043	休講	大学院演習ⅡA	SCT601-75j00	1				
MSCT4044	休講	大学院演習ⅡB	SCT602-75j00	1				
MSCT4011	春	大学院演習ⅠA	SCT501-75j00	1	曹 文 静	機械工学		
MSCT4012	秋	大学院演習ⅠB	SCT502-75j00	1				
MSCT4013	休講	大学院演習ⅡA	SCT601-75j00	1				
MSCT4014	休講	大学院演習ⅡB	SCT602-75j00	1				
MSCT3861	春	大学院演習ⅠA	SCT501-75j00	1	菊 池 昭 彦	電気・電子工学		注1
MSCT3862	秋	大学院演習ⅠB	SCT502-75j00	1				注1
MSCT3863	春	大学院演習ⅡA	SCT601-75j00	1				注1
MSCT3864	秋	大学院演習ⅡB	SCT602-75j00	1				注1
MSCT3871	春	大学院演習ⅠA	SCT501-75j00	1	野 村 一 郎	電気・電子工学		注1
MSCT3872	秋	大学院演習ⅠB	SCT502-75j00	1				注1
MSCT3873	春	大学院演習ⅡA	SCT601-75j00	1				注1
MSCT3874	秋	大学院演習ⅡB	SCT602-75j00	1				注1
MSCT3161	春	大学院演習ⅠA	SCT501-75j00	1	下 村 和 彦	電気・電子工学		
MSCT3162	秋	大学院演習ⅠB	SCT502-75j00	1				
MSCT3163	春	大学院演習ⅡA	SCT601-75j00	1				
MSCT3164	秋	大学院演習ⅡB	SCT602-75j00	1				
MSCT3171	春	大学院演習ⅠA	SCT501-75j00	1	高 尾 智 明	電気・電子工学		注1
MSCT3172	秋	大学院演習ⅠB	SCT502-75j00	1				注1
MSCT3173	春	大学院演習ⅡA	SCT601-75j00	1				注1
MSCT3174	秋	大学院演習ⅡB	SCT602-75j00	1				注1
MSCT4031	春	大学院演習ⅠA	SCT501-75j00	1	中 村 一 也	電気・電子工学		注1
MSCT4032	秋	大学院演習ⅠB	SCT502-75j00	1				注1
MSCT4033	春	大学院演習ⅡA	SCT601-75j00	1				注1
MSCT4034	秋	大学院演習ⅡB	SCT602-75j00	1				注1
MSCT3891	春	大学院演習ⅠA	SCT501-75j00	1	坂 本 織 江	電気・電子工学		注1
MSCT3892	秋	大学院演習ⅠB	SCT502-75j00	1				注1
MSCT3893	春	大学院演習ⅡA	SCT601-75j00	1				注1
MSCT3894	秋	大学院演習ⅡB	SCT602-75j00	1				注1
MSCT3181	春	大学院演習ⅠA	SCT501-75j00	1	宮 武 昌 史	電気・電子工学		注1
MSCT3182	秋	大学院演習ⅠB	SCT502-75j00	1				注1
MSCT3183	春	大学院演習ⅡA	SCT601-75j00	1				注1
MSCT3184	秋	大学院演習ⅡB	SCT602-75j00	1				注1
MSCT3191	春	大学院演習ⅠA	SCT501-75j00	1	谷 貝 剛	電気・電子工学		注1
MSCT3192	秋	大学院演習ⅠB	SCT502-75j00	1				注1
MSCT3193	春	大学院演習ⅡA	SCT601-75j00	1				注1
MSCT3194	秋	大学院演習ⅡB	SCT602-75j00	1				注1
MSCT3201	春	大学院演習ⅠA	SCT501-75j00	1	中 岡 俊 裕	電気・電子工学		注1
MSCT3202	秋	大学院演習ⅠB	SCT502-75j00	1				注1
MSCT3203	春	大学院演習ⅡA	SCT601-75j00	1				注1
MSCT3204	秋	大学院演習ⅡB	SCT602-75j00	1				注1
MSCT3821	春	大学院演習ⅠA	SCT501-75j00	1	小 川 将 克	電気・電子工学		注1
MSCT3822	秋	大学院演習ⅠB	SCT502-75j00	1				注1
MSCT3823	春	大学院演習ⅡA	SCT601-75j00	1				注1
MSCT3824	秋	大学院演習ⅡB	SCT602-75j00	1				注1

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名	領域	外国語	備考
MSCT3881	春	大学院演習ⅠA	SCT501-75j00	1	林 等	電気・電子工学		注1
MSCT3882	秋	大学院演習ⅠB	SCT502-75j00	1				注1
MSCT3883	春	大学院演習ⅡA	SCT601-75j00	1				注1
MSCT3884	秋	大学院演習ⅡB	SCT602-75j00	1				注1
MSCT3981	春	大学院演習ⅠA	SCT501-75j00	1	高 橋 浩	電気・電子工学		注1
MSCT3982	秋	大学院演習ⅠB	SCT502-75j00	1				注1
MSCT3983	春	大学院演習ⅡA	SCT601-75j00	1				注1
MSCT3984	秋	大学院演習ⅡB	SCT602-75j00	1				注1
MSCT3211	休講	大学院演習ⅠA	SCT501-75j00	1	有機合成化学グループ (鈴木(教))	応用化学		注1
MSCT3212	秋	大学院演習ⅠB	SCT502-75j00	1				注1
MSCT3213	休講	大学院演習ⅡA	SCT601-75j00	1				注1
MSCT3214	秋	大学院演習ⅡB	SCT602-75j00	1				注1
MSCT3221	春	大学院演習ⅠA	SCT501-75j00	1	高分子化学グループ (陸川・竹岡・藤田)	応用化学		注1
MSCT3222	秋	大学院演習ⅠB	SCT502-75j00	1				注1
MSCT3223	春	大学院演習ⅡA	SCT601-75j00	1				注1
MSCT3224	秋	大学院演習ⅡB	SCT602-75j00	1				注1
MSCT3231	春	大学院演習ⅠA	SCT501-75j00	1	無機工業化学グループ (内田・横田)	応用化学		注1
MSCT3232	秋	大学院演習ⅠB	SCT502-75j00	1				注1
MSCT3233	春	大学院演習ⅡA	SCT601-75j00	1				注1
MSCT3234	秋	大学院演習ⅡB	SCT602-75j00	1				注1
MSCT3241	春	大学院演習ⅠA	SCT501-75j00	1	工業物理解化学グループ (高橋・田中(邦))	応用化学		注1
MSCT3242	秋	大学院演習ⅠB	SCT502-75j00	1				注1
MSCT3243	春	大学院演習ⅡA	SCT601-75j00	1				注1
MSCT3244	秋	大学院演習ⅡB	SCT602-75j00	1				注1
MSCT3901	春	大学院演習ⅠA	SCT501-75j00	1	環境化学工学グループ (堀越)	応用化学		注1
MSCT3902	秋	大学院演習ⅠB	SCT502-75j00	1				注1
MSCT3903	春	大学院演習ⅡA	SCT601-75j00	1				注1
MSCT3904	秋	大学院演習ⅡB	SCT602-75j00	1				注1
MSCT3251	春	大学院演習ⅠA	SCT501-75j00	1	無機化学グループ (木川田)	化学		注1
MSCT3252	秋	大学院演習ⅠB	SCT502-75j00	1				注1
MSCT3253	春	大学院演習ⅡA	SCT601-75j00	1				注1
MSCT3254	秋	大学院演習ⅡB	SCT602-75j00	1				注1
MSCT3261	春	大学院演習ⅠA	SCT501-75j00	1	理論分子設計・ 物理化学グループ (南部・久世)	化学		注1
MSCT3262	秋	大学院演習ⅠB	SCT502-75j00	1				注1
MSCT3263	春	大学院演習ⅡA	SCT601-75j00	1				注1
MSCT3264	秋	大学院演習ⅡB	SCT602-75j00	1				注1
MSCT4021	春	大学院演習ⅠA	SCT501-75j00	1	環境科学グループ (DANIELACHE)	化学		注1
MSCT4022	秋	大学院演習ⅠB	SCT502-75j00	1				注1
MSCT4023	春	大学院演習ⅡA	SCT601-75j00	1				注1
MSCT4024	秋	大学院演習ⅡB	SCT602-75j00	1				注1
MSCT3271	春	大学院演習ⅠA	SCT501-75j00	1	錯体化学グループ (長尾・三澤)	化学		注1
MSCT3272	秋	大学院演習ⅠB	SCT502-75j00	1				注1
MSCT3273	春	大学院演習ⅡA	SCT601-75j00	1				注1
MSCT3274	秋	大学院演習ⅡB	SCT602-75j00	1				注1
MSCT3281	春	大学院演習ⅠA	SCT501-75j00	1	分析化学グループ (早下・橋本)	化学		注1
MSCT3282	秋	大学院演習ⅠB	SCT502-75j00	1				注1
MSCT3283	春	大学院演習ⅡA	SCT601-75j00	1				注1
MSCT3284	秋	大学院演習ⅡB	SCT602-75j00	1				注1

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名	領域	外国語	備考
MSCT3301	春	大学院演習ⅠA	SCT501-75j00	1	有機化学グループ (白杵)	化学		注1
MSCT3302	秋	大学院演習ⅠB	SCT502-75j00	1				注1
MSCT3303	春	大学院演習ⅡA	SCT601-75j00	1				注1
MSCT3304	秋	大学院演習ⅡB	SCT602-75j00	1				注1
MSCT3911	春	大学院演習ⅠA	SCT501-75j00	1	有機化学グループ (鈴木(由))	化学		注1
MSCT3912	秋	大学院演習ⅠB	SCT502-75j00	1				注1
MSCT3913	春	大学院演習ⅡA	SCT601-75j00	1				注1
MSCT3914	秋	大学院演習ⅡB	SCT602-75j00	1				注1
MSCT3921	休講	大学院演習ⅠA	SCT501-75j00	1	大城佳奈子	数学		
MSCT3922	休講	大学院演習ⅠB	SCT502-75j00	1				
MSCT3923	休講	大学院演習ⅡA	SCT601-75j00	1				
MSCT3924	休講	大学院演習ⅡB	SCT602-75j00	1				
MSCT3321	春	大学院演習ⅠA	SCT501-75j00	1	辻元	数学		
MSCT3322	秋	大学院演習ⅠB	SCT502-75j00	1				
MSCT3323	春	大学院演習ⅡA	SCT601-75j00	1				
MSCT3324	秋	大学院演習ⅡB	SCT602-75j00	1				
MSCT3331	休講	大学院演習ⅠA	SCT501-75j00	1	中島俊樹	数学		
MSCT3332	休講	大学院演習ⅠB	SCT502-75j00	1				
MSCT3333	休講	大学院演習ⅡA	SCT601-75j00	1				
MSCT3334	休講	大学院演習ⅡB	SCT602-75j00	1				
MSCT3931	春	大学院演習ⅠA	SCT501-75j00	1	中筋麻貴	数学		注1
MSCT3932	秋	大学院演習ⅠB	SCT502-75j00	1				注1
MSCT3933	春	大学院演習ⅡA	SCT601-75j00	1				注1
MSCT3934	秋	大学院演習ⅡB	SCT602-75j00	1				注1
MSCT3831	春	大学院演習ⅠA	SCT501-75j00	1	加藤剛	数学		注1
MSCT3832	秋	大学院演習ⅠB	SCT502-75j00	1				注1
MSCT3833	春	大学院演習ⅡA	SCT601-75j00	1				注1
MSCT3834	秋	大学院演習ⅡB	SCT602-75j00	1				注1
MSCT3371	休講	大学院演習ⅠA	SCT501-75j00	1	角皆宏	数学		
MSCT3372	休講	大学院演習ⅠB	SCT502-75j00	1				
MSCT3373	休講	大学院演習ⅡA	SCT601-75j00	1				
MSCT3374	休講	大学院演習ⅡB	SCT602-75j00	1				
MSCT3381	休講	大学院演習ⅠA	SCT501-75j00	1	都築正男	数学		
MSCT3382	休講	大学院演習ⅠB	SCT502-75j00	1				
MSCT3383	休講	大学院演習ⅡA	SCT601-75j00	1				
MSCT3384	休講	大学院演習ⅡB	SCT602-75j00	1				
MSCT3391	休講	大学院演習ⅠA	SCT501-75j00	1	平田均	数学		
MSCT3392	休講	大学院演習ⅠB	SCT502-75j00	1				
MSCT3393	休講	大学院演習ⅡA	SCT601-75j00	1				
MSCT3394	休講	大学院演習ⅡB	SCT602-75j00	1				
MSCT3401	休講	大学院演習ⅠA	SCT501-75j00	1	五味靖	数学		
MSCT3402	休講	大学院演習ⅠB	SCT502-75j00	1				
MSCT3403	休講	大学院演習ⅡA	SCT601-75j00	1				
MSCT3404	休講	大学院演習ⅡB	SCT602-75j00	1				
MSCT3411	休講	大学院演習ⅠA	SCT501-75j00	1	後藤聡史	数学		
MSCT3412	休講	大学院演習ⅠB	SCT502-75j00	1				
MSCT3413	休講	大学院演習ⅡA	SCT601-75j00	1				
MSCT3414	休講	大学院演習ⅡB	SCT602-75j00	1				

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名	領域	外国語	備考
MSCT3441	春	大学院演習ⅠA	SCT501-75j00	1	電子物性グループ (星 野)	物理学		
MSCT3442	秋	大学院演習ⅠB	SCT502-75j00	1				
MSCT3443	春	大学院演習ⅡA	SCT601-75j00	1				
MSCT3444	秋	大学院演習ⅡB	SCT602-75j00	1				
MSCT3451	春	大学院演習ⅠA	SCT501-75j00	1	固体物理グループ (黒 江)	物理学		
MSCT3452	秋	大学院演習ⅠB	SCT502-75j00	1				
MSCT3453	休講	大学院演習ⅡA	SCT601-75j00	1				
MSCT3454	休講	大学院演習ⅡB	SCT602-75j00	1				
MSCT3461	休講	大学院演習ⅠA	SCT501-75j00	1	凝縮系物理グループ (高 柳 (和))	物理学		
MSCT3462	休講	大学院演習ⅠB	SCT502-75j00	1				
MSCT3463	春	大学院演習ⅡA	SCT601-75j00	1				
MSCT3464	秋	大学院演習ⅡB	SCT602-75j00	1				
MSCT3471	春	大学院演習ⅠA	SCT501-75j00	1	光物理グループ (江 馬 ・ 樺 田)	物理学		注1
MSCT3472	秋	大学院演習ⅠB	SCT502-75j00	1				注1
MSCT3473	春	大学院演習ⅡA	SCT601-75j00	1				注1
MSCT3474	秋	大学院演習ⅡB	SCT602-75j00	1				注1
MSCT3481	休講	大学院演習ⅠA	SCT501-75j00	1	物性理論グループ (大 槻)	物理学		
MSCT3482	休講	大学院演習ⅠB	SCT502-75j00	1				
MSCT3483	休講	大学院演習ⅡA	SCT601-75j00	1				
MSCT3484	休講	大学院演習ⅡB	SCT602-75j00	1				
MSCT3491	休講	大学院演習ⅠA	SCT501-75j00	1	薄膜グループ (坂 間)	物理学		注1
MSCT3492	休講	大学院演習ⅠB	SCT502-75j00	1				注1
MSCT3493	春	大学院演習ⅡA	SCT601-75j00	1				注1
MSCT3494	秋	大学院演習ⅡB	SCT602-75j00	1				注1
MSCT3501	休講	大学院演習ⅠA	SCT501-75j00	1	低温物理グループ (後 藤 (貴))	物理学		
MSCT3502	休講	大学院演習ⅠB	SCT502-75j00	1				
MSCT3503	休講	大学院演習ⅡA	SCT601-75j00	1				
MSCT3504	休講	大学院演習ⅡB	SCT602-75j00	1				
MSCT3511	春	大学院演習ⅠA	SCT501-75j00	1	物質科学グループ (桑 原)	物理学		注1
MSCT3512	秋	大学院演習ⅠB	SCT502-75j00	1				注1
MSCT3513	春	大学院演習ⅡA	SCT601-75j00	1				注1
MSCT3514	秋	大学院演習ⅡB	SCT602-75j00	1				注1
MSCT3521	休講	大学院演習ⅠA	SCT501-75j00	1	原子物理グループ (岡 田 (邦))	物理学		
MSCT3522	休講	大学院演習ⅠB	SCT502-75j00	1				
MSCT3523	休講	大学院演習ⅡA	SCT601-75j00	1				
MSCT3524	休講	大学院演習ⅡB	SCT602-75j00	1				
MSCT3531	休講	大学院演習ⅠA	SCT501-75j00	1	ハドロン物理学グループ (平 野)	物理学		
MSCT3532	休講	大学院演習ⅠB	SCT502-75j00	1				
MSCT3533	春	大学院演習ⅡA	SCT601-75j00	1				
MSCT3534	秋	大学院演習ⅡB	SCT602-75j00	1				
MSCT3841	休講	大学院演習ⅠA	SCT501-75j00	1	原子分子分光グループ (小 田 切)	物理学		
MSCT3842	休講	大学院演習ⅠB	SCT502-75j00	1				
MSCT3843	休講	大学院演習ⅡA	SCT601-75j00	1				
MSCT3844	休講	大学院演習ⅡB	SCT602-75j00	1				
MSCT3941	春	大学院演習ⅠA	SCT501-75j00	1	低温・超伝導物性グループ (足 立)	物理学		
MSCT3942	秋	大学院演習ⅠB	SCT502-75j00	1				
MSCT3943	春	大学院演習ⅡA	SCT601-75j00	1				
MSCT3944	秋	大学院演習ⅡB	SCT602-75j00	1				

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名	領域	外国語	備考
MSCT3541	休講	大学院演習ⅠA	SCT501-75j00	1	笹川展幸	生物科学		注1
MSCT3542	休講	大学院演習ⅠB	SCT502-75j00	1				注1
MSCT3543	春	大学院演習ⅡA	SCT601-75j00	1				注1
MSCT3544	秋	大学院演習ⅡB	SCT602-75j00	1				注1
MSCT3551	休講	大学院演習ⅠA	SCT501-75j00	1	林謙介	生物科学		注1
MSCT3552	休講	大学院演習ⅠB	SCT502-75j00	1				注1
MSCT3553	春	大学院演習ⅡA	SCT601-75j00	1				注1
MSCT3554	秋	大学院演習ⅡB	SCT602-75j00	1				注1
MSCT3561	春	大学院演習ⅠA	SCT501-75j00	1	安増茂樹	生物科学		注1
MSCT3562	秋	大学院演習ⅠB	SCT502-75j00	1				注1
MSCT3563	春	大学院演習ⅡA	SCT601-75j00	1				注1
MSCT3564	秋	大学院演習ⅡB	SCT602-75j00	1				注1
MSCT3581	休講	大学院演習ⅠA	SCT501-75j00	1	千葉篤彦	生物科学		注1
MSCT3582	休講	大学院演習ⅠB	SCT502-75j00	1				注1
MSCT3583	春	大学院演習ⅡA	SCT601-75j00	1				注1
MSCT3584	秋	大学院演習ⅡB	SCT602-75j00	1				注1
MSCT4001	春	大学院演習ⅠA	SCT501-75j00	1	鈴木伸洋	生物科学		注1
MSCT4002	秋	大学院演習ⅠB	SCT502-75j00	1				注1
MSCT4003	春	大学院演習ⅡA	SCT601-75j00	1				注1
MSCT4004	秋	大学院演習ⅡB	SCT602-75j00	1				注1
MSCT3611	春	大学院演習ⅠA	SCT501-75j00	1	神澤信行	生物科学		注1
MSCT3612	秋	大学院演習ⅠB	SCT502-75j00	1				注1
MSCT3613	春	大学院演習ⅡA	SCT601-75j00	1				注1
MSCT3614	秋	大学院演習ⅡB	SCT602-75j00	1				注1
MSCT3621	休講	大学院演習ⅠA	SCT501-75j00	1	齊藤玉緒	生物科学		注1
MSCT3622	休講	大学院演習ⅠB	SCT502-75j00	1				注1
MSCT3623	春	大学院演習ⅡA	SCT601-75j00	1				注1
MSCT3624	秋	大学院演習ⅡB	SCT602-75j00	1				注1
MSCT3631	休講	大学院演習ⅠA	SCT501-75j00	1	藤原誠	生物科学		
MSCT3632	休講	大学院演習ⅠB	SCT502-75j00	1				
MSCT3633	休講	大学院演習ⅡA	SCT601-75j00	1				
MSCT3634	休講	大学院演習ⅡB	SCT602-75j00	1				
MSCT3811	春	大学院演習ⅠA	SCT501-75j00	1	新倉貴子	生物科学		注1
MSCT3812	秋	大学院演習ⅠB	SCT502-75j00	1				注1
MSCT3813	春	大学院演習ⅡA	SCT601-75j00	1				注1
MSCT3814	秋	大学院演習ⅡB	SCT602-75j00	1				注1
MSCT3641	春	大学院演習ⅠA	SCT501-75j00	1	近藤次郎	生物科学		注1
MSCT3642	秋	大学院演習ⅠB	SCT502-75j00	1				注1
MSCT3643	春	大学院演習ⅡA	SCT601-75j00	1				注1
MSCT3644	秋	大学院演習ⅡB	SCT602-75j00	1				注1
MSCT3801	春	大学院演習ⅠA	SCT501-75j00	1	川口真理	生物科学		
MSCT3802	秋	大学院演習ⅠB	SCT502-75j00	1				
MSCT3803	休講	大学院演習ⅡA	SCT601-75j00	1				
MSCT3804	休講	大学院演習ⅡB	SCT602-75j00	1				
MSCT3651	春	大学院演習ⅠA	SCT501-75j00	1	荒井隆行	情報学		注1
MSCT3652	秋	大学院演習ⅠB	SCT502-75j00	1				注1
MSCT3653	春	大学院演習ⅡA	SCT601-75j00	1				注1
MSCT3654	秋	大学院演習ⅡB	SCT602-75j00	1				注1

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名	領域	外国語	備考
MSCT3661	春	大学院演習ⅠA	SCT501-75j00	1	川 端 亮	情報学		注1
MSCT3662	秋	大学院演習ⅠB	SCT502-75j00	1				注1
MSCT3663	春	大学院演習ⅡA	SCT601-75j00	1				注1
MSCT3664	秋	大学院演習ⅡB	SCT602-75j00	1				注1
MSCT3711	春	大学院演習ⅠA	SCT501-75j00	1	伊 呂 原 隆	情報学		注1
MSCT3712	秋	大学院演習ⅠB	SCT502-75j00	1				注1
MSCT3713	春	大学院演習ⅡA	SCT601-75j00	1				注1
MSCT3714	秋	大学院演習ⅡB	SCT602-75j00	1				注1
MSCT3681	春	大学院演習ⅠA	SCT501-75j00	1	田 中 昌 司	情報学		注1
MSCT3682	秋	大学院演習ⅠB	SCT502-75j00	1				注1
MSCT3683	春	大学院演習ⅡA	SCT601-75j00	1				注1
MSCT3684	秋	大学院演習ⅡB	SCT602-75j00	1				注1
MSCT3761	春	大学院演習ⅠA	SCT501-75j00	1	澁 谷 智 治	情報学		注1
MSCT3762	秋	大学院演習ⅠB	SCT502-75j00	1				注1
MSCT3763	春	大学院演習ⅡA	SCT601-75j00	1				注1
MSCT3764	秋	大学院演習ⅡB	SCT602-75j00	1				注1
MSCT3721	春	大学院演習ⅠA	SCT501-75j00	1	炭 親 良	情報学		注1
MSCT3722	秋	大学院演習ⅠB	SCT502-75j00	1				注1
MSCT3723	春	大学院演習ⅡA	SCT601-75j00	1				注1
MSCT3724	秋	大学院演習ⅡB	SCT602-75j00	1				注1
MSCT3771	春	大学院演習ⅠA	SCT501-75j00	1	高 岡 詠 子	情報学		注1
MSCT3772	秋	大学院演習ⅠB	SCT502-75j00	1				注1
MSCT3773	春	大学院演習ⅡA	SCT601-75j00	1				注1
MSCT3774	秋	大学院演習ⅡB	SCT602-75j00	1				注1
MSCT3731	春	大学院演習ⅠA	SCT501-75j00	1	田 村 恭 久	情報学		注1
MSCT3732	秋	大学院演習ⅠB	SCT502-75j00	1				注1
MSCT3733	春	大学院演習ⅡA	SCT601-75j00	1				注1
MSCT3734	秋	大学院演習ⅡB	SCT602-75j00	1				注1
MSCT3961	春	大学院演習ⅠA	SCT501-75j00	1	ゴンサルバス タッド	情報学		注1
MSCT3962	秋	大学院演習ⅠB	SCT502-75j00	1				注1
MSCT3963	春	大学院演習ⅡA	SCT601-75j00	1				注1
MSCT3964	秋	大学院演習ⅡB	SCT602-75j00	1				注1
MSCT3781	春	大学院演習ⅠA	SCT501-75j00	1	萬 代 雅 希	情報学		注1
MSCT3782	秋	大学院演習ⅠB	SCT502-75j00	1				注1
MSCT3783	春	大学院演習ⅡA	SCT601-75j00	1				注1
MSCT3784	秋	大学院演習ⅡB	SCT602-75j00	1				注1
MSCT3791	春	大学院演習ⅠA	SCT501-75j00	1	宮 本 裕 一 郎	情報学		注1
MSCT3792	秋	大学院演習ⅠB	SCT502-75j00	1				注1
MSCT3793	春	大学院演習ⅡA	SCT601-75j00	1				注1
MSCT3794	秋	大学院演習ⅡB	SCT602-75j00	1				注1
MSCT3751	春	大学院演習ⅠA	SCT501-75j00	1	矢 入 郁 子	情報学		注1
MSCT3752	秋	大学院演習ⅠB	SCT502-75j00	1				注1
MSCT3753	春	大学院演習ⅡA	SCT601-75j00	1				注1
MSCT3754	秋	大学院演習ⅡB	SCT602-75j00	1				注1
MSCT3741	春	大学院演習ⅠA	SCT501-75j00	1	山 中 高 夫	情報学		注1
MSCT3742	秋	大学院演習ⅠB	SCT502-75j00	1				注1
MSCT3743	春	大学院演習ⅡA	SCT601-75j00	1				注1
MSCT3744	秋	大学院演習ⅡB	SCT602-75j00	1				注1

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名	領域	外国語	備考
MSCT4045	春	大学院演習ⅠA	SCT501-75j00	1	山下 遥	情報学		注1
MSCT4046	秋	大学院演習ⅠB	SCT502-75j00	1				注1
MSCT4047	春	大学院演習ⅡA	SCT601-75j00	1				注1
MSCT4048	秋	大学院演習ⅡB	SCT602-75j00	1				注1
MSCT7025	春	科学技術英語A	SCT513-75e00	2	DZIEMIŃSKA, Edyta	注2	○	
MSCT7045	秋	科学技術英語B	SCT514-75e00	2	TRIHAN, Fabien		○	
MSCT9000	秋	修士論文	SCT604-75j00	0	理工学専攻各指導教員			

注1) 同教員の「大学院演習ⅠA」と「大学院演習ⅡA」は合併。

同教員の「大学院演習ⅠB」と「大学院演習ⅡB」は合併。

注2) 2014年度以前開講の科目名変更(重複履修不可)

2015年度以降開講科目名 ※ () 内は単位数	2014年度以前開講科目名 ※ () 内は単位数
科学技術英語A (2)	科学技術英語Ⅱ (1) (2)

<理工共通領域>

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 * : 非常勤教員	外国語	備考
MSCT7130	春	経済数学特論Ⅰ	MTH503-75j00	2	*横内 大介		
MSCT7140	秋	経済数学特論Ⅱ	MTH504-75j00	2	*青木 義充		
MSCT7100	秋	物理学序論	PHY503-75j00	2	物理学領域教員		輪講

<機械工学領域>

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※ * : 非常勤教員	外国語	備考
MSME1461	休講	機械工学ゼミナールⅠA	MEC501-75j00	2	渡邊 摩理子		
MSME1472	休講	機械工学ゼミナールⅠB	MEC502-75j00	2			
MSME2463	休講	機械工学ゼミナールⅡA	MEC601-75j00	2			
MSME2474	休講	機械工学ゼミナールⅡB	MEC602-75j00	2			
MSME1441	春	機械工学ゼミナールⅠA	MEC501-75j00	2	一柳 満久		注1
MSME1452	秋	機械工学ゼミナールⅠB	MEC502-75j00	2			注1
MSME2443	春	機械工学ゼミナールⅡA	MEC601-75j00	2			注1
MSME2454	秋	機械工学ゼミナールⅡB	MEC602-75j00	2			注1
MSME1281	春	機械工学ゼミナールⅠA	MEC501-75j00	2	曄道 佳明		注1
MSME1292	秋	機械工学ゼミナールⅠB	MEC502-75j00	2			注1
MSME2283	春	機械工学ゼミナールⅡA	MEC601-75j00	2			注1
MSME2294	秋	機械工学ゼミナールⅡB	MEC602-75j00	2			注1
MSME1321	春	機械工学ゼミナールⅠA	MEC501-75j00	2	鈴木 隆		注1
MSME1332	秋	機械工学ゼミナールⅠB	MEC502-75j00	2			注1
MSME2323	春	機械工学ゼミナールⅡA	MEC601-75j00	2			注1
MSME2334	秋	機械工学ゼミナールⅡB	MEC602-75j00	2			注1
MSME1341	春	機械工学ゼミナールⅠA	MEC501-75j00	2	申 鉄龍		注1
MSME1352	秋	機械工学ゼミナールⅠB	MEC502-75j00	2			注1
MSME2343	春	機械工学ゼミナールⅡA	MEC601-75j00	2			注1
MSME2354	秋	機械工学ゼミナールⅡB	MEC602-75j00	2			注1
MSME1361	春	機械工学ゼミナールⅠA	MEC501-75j00	2	長鳴 利夫		注1
MSME1372	秋	機械工学ゼミナールⅠB	MEC502-75j00	2			注1
MSME2363	春	機械工学ゼミナールⅡA	MEC601-75j00	2			注1
MSME2374	秋	機械工学ゼミナールⅡB	MEC602-75j00	2			注1

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※ * :非常勤教員	外国語	備考
MSME1401	春	機械工学ゼミナールⅠA	MEC501-75j00	2	高井 健一		注1
MSME1412	秋	機械工学ゼミナールⅠB	MEC502-75j00	2			注1
MSME2403	春	機械工学ゼミナールⅡA	MEC601-75j00	2			注1
MSME2414	秋	機械工学ゼミナールⅡB	MEC602-75j00	2			注1
MSME1421	春	機械工学ゼミナールⅠA	MEC501-75j00	2	久森 紀之		注1
MSME1432	秋	機械工学ゼミナールⅠB	MEC502-75j00	2			注1
MSME2423	春	機械工学ゼミナールⅡA	MEC601-75j00	2			注1
MSME2434	秋	機械工学ゼミナールⅡB	MEC602-75j00	2			注1
MSME1481	春	機械工学ゼミナールⅠA	MEC501-75j00	2	竹原 昭一郎		注1
MSME1492	秋	機械工学ゼミナールⅠB	MEC502-75j00	2			注1
MSME2483	春	機械工学ゼミナールⅡA	MEC601-75j00	2			注1
MSME2494	秋	機械工学ゼミナールⅡB	MEC602-75j00	2			注1
MSME1501	春	機械工学ゼミナールⅠA	MEC501-75j00	2	DZIEMIŃSKA, Edyta		注1
MSME1512	秋	機械工学ゼミナールⅠB	MEC502-75j00	2			注1
MSME2503	春	機械工学ゼミナールⅡA	MEC601-75j00	2			注1
MSME2514	秋	機械工学ゼミナールⅡB	MEC602-75j00	2			注1
MSME1521	春	機械工学ゼミナールⅠA	MEC501-75j00	2	田中 秀岳		注1
MSME1532	秋	機械工学ゼミナールⅠB	MEC502-75j00	2			注1
MSME2523	春	機械工学ゼミナールⅡA	MEC601-75j00	2			注1
MSME2534	秋	機械工学ゼミナールⅡB	MEC602-75j00	2			注1
MSME1511	春	機械工学ゼミナールⅠA	MEC501-75j00	2	張 月琳		
MSME1522	秋	機械工学ゼミナールⅠB	MEC502-75j00	2			
MSME2583	休講	機械工学ゼミナールⅡA	MEC601-75j00	2			
MSME2594	休講	機械工学ゼミナールⅡB	MEC602-75j00	2			
MSME1561	春	機械工学ゼミナールⅠA	MEC501-75j00	2	曹 文 静		
MSME1572	秋	機械工学ゼミナールⅠB	MEC502-75j00	2			
MSME2563	休講	機械工学ゼミナールⅡA	MEC601-75j00	2			
MSME2574	休講	機械工学ゼミナールⅡB	MEC602-75j00	2			
MSME7020	春	構造力学特論	MEC506-75j00	2	*青木 隆平		
MSME7040	春	機械力学特論	MEC508-75j00	2	竹原 昭一郎		
MSME7080	秋	伝熱工学特論	MEC511-75j00	2	一柳 満久		
MSME7100	春	流体工学特論A	MEC513-75j00	2	DZIEMIŃSKA, Edyta		
MSME7170	春	制御工学特論B	MEC519-75j00	2	申 鉄龍		
MSME7190	春	材料工学特論	MEC521-75j00	2	高井 健一		
MSME7210	春	機械設計法特論	MEC522-75j00	2	*飯野 謙次		
MSME7010	春	材料力学特論	MEC505-75j00	2	張 月琳		
MSME7030	春	固体力学特論	MEC507-75j00	2	長嶋 利夫		
MSME7050	秋	マルチボディ・ダイナミクス	MEC509-75j00	2	竹原 昭一郎		
MSME7070	秋	熱エネルギー変換工学特論	MEC510-75j00	2	鈴木 隆		
MSME7140	休講	精密加工学特論	MEC516-75j00	2			隔年開講
MSME7150	秋	計測工学特論	MEC517-75j00	2	田中 秀岳		隔年開講
MSME7180	秋	アドバンスト制御	MEC520-75j00	2	申 鉄龍		
MSME7110	休講	流体工学特論B	MEC514-75j00	2			
MSME7160	秋	制御工学特論A	MEC518-75j00	2	曹 文 静		
MSME7220	秋	環境材料学	MEC523-75j00	2	久森 紀之		
MSME7120	秋	流体エネルギー変換工学特論	MEC515-75j00	2	渡邊 摩理子		
MSME7090	春	燃焼工学特論	MEC512-75j00	2	鈴木 隆		

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※ * : 非常勤教員	外国語	備考
MSME7230	2Q	機械工学応用	MEC524-75j00	2	DZIEMIŃSKA, Edyta	○	※夏期集中 (海外短期研修)

注1) 同教員の「機械工学ゼミナールⅠA」と「機械工学ゼミナールⅡA」は合併。

同教員の「機械工学ゼミナールⅠB」と「機械工学ゼミナールⅡB」は合併。

※ この科目は海外短期研修プログラムである。日程・内容・手続き等詳細は機械工学領域主任に確認すること。

なお, Loyola での履修登録はできない。

<電気・電子工学領域>

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※ * : 非常勤教員	外国語	備考
MSEE1211	春	電気・電子工学ゼミナールⅠA	EEE501-75j00	2	菊池昭彦		注1
MSEE1222	秋	電気・電子工学ゼミナールⅠB	EEE502-75j00	2		注1	
MSEE2213	春	電気・電子工学ゼミナールⅡA	EEE601-75j00	2		注1	
MSEE2224	秋	電気・電子工学ゼミナールⅡB	EEE602-75j00	2		注1	
MSEE1231	春	電気・電子工学ゼミナールⅠA	EEE501-75j00	2	野村一郎		注1
MSEE1242	秋	電気・電子工学ゼミナールⅠB	EEE502-75j00	2		注1	
MSEE2233	春	電気・電子工学ゼミナールⅡA	EEE601-75j00	2		注1	
MSEE2244	秋	電気・電子工学ゼミナールⅡB	EEE602-75j00	2		注1	
MSEE1071	春	電気・電子工学ゼミナールⅠA	EEE501-75j00	2	下村和彦		注1
MSEE1082	秋	電気・電子工学ゼミナールⅠB	EEE502-75j00	2		注1	
MSEE2073	春	電気・電子工学ゼミナールⅡA	EEE601-75j00	2		注1	
MSEE2084	秋	電気・電子工学ゼミナールⅡB	EEE602-75j00	2		注1	
MSEE1091	春	電気・電子工学ゼミナールⅠA	EEE501-75j00	2	高尾智明		注1
MSEE1102	秋	電気・電子工学ゼミナールⅠB	EEE502-75j00	2		注1	
MSEE2093	春	電気・電子工学ゼミナールⅡA	EEE601-75j00	2		注1	
MSEE2104	秋	電気・電子工学ゼミナールⅡB	EEE602-75j00	2		注1	
MSEE1311	春	電気・電子工学ゼミナールⅠA	EEE501-75j00	2	中村一也		注1
MSEE1322	秋	電気・電子工学ゼミナールⅠB	EEE502-75j00	2		注1	
MSEE2313	春	電気・電子工学ゼミナールⅡA	EEE601-75j00	2		注1	
MSEE2324	秋	電気・電子工学ゼミナールⅡB	EEE602-75j00	2		注1	
MSEE1271	春	電気・電子工学ゼミナールⅠA	EEE501-75j00	2	坂本織江		注1
MSEE1282	秋	電気・電子工学ゼミナールⅠB	EEE502-75j00	2		注1	
MSEE2273	春	電気・電子工学ゼミナールⅡA	EEE601-75j00	2		注1	
MSEE2284	秋	電気・電子工学ゼミナールⅡB	EEE602-75j00	2		注1	
MSEE1111	春	電気・電子工学ゼミナールⅠA	EEE501-75j00	2	宮武昌史		注1
MSEE1122	秋	電気・電子工学ゼミナールⅠB	EEE502-75j00	2		注1	
MSEE2113	春	電気・電子工学ゼミナールⅡA	EEE601-75j00	2		注1	
MSEE2124	秋	電気・電子工学ゼミナールⅡB	EEE602-75j00	2		注1	
MSEE1131	春	電気・電子工学ゼミナールⅠA	EEE501-75j00	2	谷貝剛		注1
MSEE1142	秋	電気・電子工学ゼミナールⅠB	EEE502-75j00	2		注1	
MSEE2133	春	電気・電子工学ゼミナールⅡA	EEE601-75j00	2		注1	
MSEE2144	秋	電気・電子工学ゼミナールⅡB	EEE602-75j00	2		注1	
MSEE1151	春	電気・電子工学ゼミナールⅠA	EEE501-75j00	2	中岡俊裕		注1
MSEE1162	秋	電気・電子工学ゼミナールⅠB	EEE502-75j00	2		注1	
MSEE2153	春	電気・電子工学ゼミナールⅡA	EEE601-75j00	2		注1	
MSEE2164	秋	電気・電子工学ゼミナールⅡB	EEE602-75j00	2		注1	
MSEE1191	春	電気・電子工学ゼミナールⅠA	EEE501-75j00	2	小川将克		注1
MSEE1202	秋	電気・電子工学ゼミナールⅠB	EEE502-75j00	2		注1	
MSEE2193	春	電気・電子工学ゼミナールⅡA	EEE601-75j00	2		注1	
MSEE2204	秋	電気・電子工学ゼミナールⅡB	EEE602-75j00	2		注1	

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※ * : 非常勤教員	外国語	備考
MSEE1251	春	電気・電子工学ゼミナールⅠA	EEE501-75j00	2	林 等		注1
MSEE1262	秋	電気・電子工学ゼミナールⅠB	EEE502-75j00	2			注1
MSEE2253	春	電気・電子工学ゼミナールⅡA	EEE601-75j00	2			注1
MSEE2264	秋	電気・電子工学ゼミナールⅡB	EEE602-75j00	2			注1
MSEE1291	春	電気・電子工学ゼミナールⅠA	EEE501-75j00	2	高橋 浩		注1
MSEE1302	秋	電気・電子工学ゼミナールⅠB	EEE502-75j00	2			注1
MSEE2293	春	電気・電子工学ゼミナールⅡA	EEE601-75j00	2			注1
MSEE2304	秋	電気・電子工学ゼミナールⅡB	EEE602-75j00	2			注1
MSEE7080	春	光デバイス工学	EEE545-75j00	2	菊池 昭彦		
MSEE7100	休講	医用光工学	EEE566-75j00	2			
MSEE7120	春	情報工学Ⅰ	EEE561-75j00	2	*中山 泰一		
MSEE7140	春	半導体デバイス工学	EEE542-75j00	2	*星 拓也		
MSEE7150	春	先端電子デバイス工学	EEE544-75j00	2	中岡 俊裕		
MSEE7250	春	超伝導応用工学	EEE524-75j00	2	高尾 智明		注2
MSEE7200	春	ワイヤレス通信工学	EEE563-75j00	2	小川 将克		
MSEE7211	春	電力ネットワーク工学	EEE522-75j00	2	坂本 織江		
MSEE7220	春	センサネットワーク特論	EEE565-75j00	2	林 等		
MSEE7230	春	電気エネルギー管理と制御	EEE523-75j00	2	宮武 昌史		
MSEE7020	秋	光導波工学	EEE547-75j00	2	下村 和彦		
MSEE7030	秋	量子物性工学	EEE541-75j00	2	野村 一郎		
MSEE7060	秋	電気エネルギー工学特論	EEE521-75j00	2	中村 一也		
MSEE7070	秋	集積回路工学	EEE543-75j00	2	林 等		
MSEE7090	春	光伝送工学	EEE546-75j00	2	富樫 理恵		
MSEE7130	春	情報工学Ⅱ	EEE562-75j00	2	*坂田 祐司		
MSEE7180	秋	先端超伝導応用	EEE525-75j00	2	谷貝 剛		
MSEE7240	秋	通信用光回路工学	EEE564-75j00	2	高橋 浩		

注1) 同教員の「電気・電子工学ゼミナールⅠA」と「電気・電子工学ゼミナールⅡA」は合併。

同教員の「電気・電子工学ゼミナールⅠB」と「電気・電子工学ゼミナールⅡB」は合併。

注2) 2019年度以前開講の科目名変更(重複履修不可)

2020年度以降開講科目名 ※ () 内は単位数	2019年度以前開講科目名 ※ () 内は単位数
超伝導応用工学 (2)	超伝導工学 (2)

<応用化学領域>

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※ * : 非常勤教員	外国語	備考
MSAC1031	休講	応用化学ゼミナールⅠA	ACH501-75j00	2	有機合成化学グループ (鈴木(教))		注1
MSAC1042	秋	応用化学ゼミナールⅠB	ACH502-75j00	2			注1
MSAC2033	休講	応用化学ゼミナールⅡA	ACH601-75j00	2			注1
MSAC2044	秋	応用化学ゼミナールⅡB	ACH602-75j00	2			注1
MSAC1051	春	応用化学ゼミナールⅠA	ACH501-75j00	2	高分子化学グループ (陸川・竹岡・藤田)		注1
MSAC1062	秋	応用化学ゼミナールⅠB	ACH502-75j00	2			注1
MSAC2053	春	応用化学ゼミナールⅡA	ACH601-75j00	2			注1
MSAC2064	秋	応用化学ゼミナールⅡB	ACH602-75j00	2			注1
MSAC1071	春	応用化学ゼミナールⅠA	ACH501-75j00	2	無機工業化学グループ (内田・横田)		注1
MSAC1082	秋	応用化学ゼミナールⅠB	ACH502-75j00	2			注1
MSAC2073	春	応用化学ゼミナールⅡA	ACH601-75j00	2			注1
MSAC2084	秋	応用化学ゼミナールⅡB	ACH602-75j00	2			注1

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※ * :非常勤教員	外国語	備考
MSAC1091	春	応用化学ゼミナールⅠA	ACH501-75j00	2	工業物理化学グループ (高橋・田中(邦))		注1
MSAC1102	秋	応用化学ゼミナールⅠB	ACH502-75j00	2			注1
MSAC2093	春	応用化学ゼミナールⅡA	ACH601-75j00	2			注1
MSAC2104	秋	応用化学ゼミナールⅡB	ACH602-75j00	2			注1
MSAC1111	春	応用化学ゼミナールⅠA	ACH501-75j00	2	環境化学工学グループ (堀越)		注1
MSAC1122	秋	応用化学ゼミナールⅠB	ACH502-75j00	2			注1
MSAC2113	春	応用化学ゼミナールⅡA	ACH601-75j00	2			注1
MSAC2124	秋	応用化学ゼミナールⅡB	ACH602-75j00	2			注1
MSAC7130	休講	有機合成化学特論(立体選択的合成)	ACH510-75j00	2			
MSAC7140	休講	環境化学特論	ACH511-75j00	2			隔年開講
MSAC7080	春	工業材料化学特論	ACH507-75j00	2	内田 寛		
MSAC7100	休講	高分子物性特論	ACH508-75j00	2			隔年開講
MSAC7160	秋	有機金属化学特論	ACH512-75j00	2	鈴木 教之		
MSAC7020	秋	高分子合成特論	ACH503-75j00	2	竹岡 裕子		
MSAC7170	春	応用化学特論	ACH513-75j00	2	高橋 和夫		隔年開講
MSAC7040	秋	電離気体反応論	ACH504-75j00	2	田中 邦翁		
MSAC7060	秋	高分子解析特論	ACH505-75j00	2	藤田 正博		
MSAC7180	休講	有機合成化学特論(機器構造解析)	ACH514-75j00	2			輪講, 隔年開講, 注2
MSAC7120	秋	電磁波化学特論	ACH509-75j00	2	堀越 智		隔年開講
MSAC7190	春	光機能材料特論	ACH509-75j00	2	横田 幸恵		

注1) 同教員の「応用化学ゼミナールⅠA」と「応用化学ゼミナールⅡA」は合併。

同教員の「応用化学ゼミナールⅠB」と「応用化学ゼミナールⅡB」は合併。

注2) 2016年以前開講科目名変更(重複履修不可)

2017年度以降開講科目名 ※ () 内は単位数	2016年度以前開講科目名 ※ () 内は単位数
有機合成化学特論(機器構造解析) (2)	有機合成化学特論(触媒的有機合成) (2)

<化学領域>

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※ * :非常勤教員	外国語	備考
MSCH1031	春	化学ゼミナールⅠA	CHM501-75j00	2	理論分子設計・ 物理化学グループ (南部・久世)		注1
MSCH1042	秋	化学ゼミナールⅠB	CHM502-75j00	2			注1
MSCH2033	春	化学ゼミナールⅡA	CHM601-75j00	2			注1
MSCH2044	秋	化学ゼミナールⅡB	CHM602-75j00	2			注1
MSCH1171	春	化学ゼミナールⅠA	CHM501-75j00	2	環境科学グループ (DANIELACHE)		注1
MSCH1182	秋	化学ゼミナールⅠB	CHM502-75j00	2			注1
MSCH2173	春	化学ゼミナールⅡA	CHM601-75j00	2			注1
MSCH2184	秋	化学ゼミナールⅡB	CHM602-75j00	2			注1
MSCH1051	春	化学ゼミナールⅠA	CHM501-75j00	2	無機化学グループ (木川田)		注1
MSCH1062	秋	化学ゼミナールⅠB	CHM502-75j00	2			注1
MSCH2053	春	化学ゼミナールⅡA	CHM601-75j00	2			注1
MSCH2064	秋	化学ゼミナールⅡB	CHM602-75j00	2			注1

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※ * :非常勤教員	外国語	備考
MSCH1071	春	化学ゼミナールⅠA	CHM501-75j00	2	錯体化学グループ (長尾・三澤)		注1
MSCH1082	秋	化学ゼミナールⅠB	CHM502-75j00	2			注1
MSCH2073	春	化学ゼミナールⅡA	CHM601-75j00	2			注1
MSCH2084	秋	化学ゼミナールⅡB	CHM602-75j00	2			注1
MSCH1091	春	化学ゼミナールⅠA	CHM501-75j00	2	分析化学グループ (早下・橋本)		注1
MSCH1102	秋	化学ゼミナールⅠB	CHM502-75j00	2			注1
MSCH2093	春	化学ゼミナールⅡA	CHM601-75j00	2			注1
MSCH2104	秋	化学ゼミナールⅡB	CHM602-75j00	2			注1
MSCH1131	春	化学ゼミナールⅠA	CHM501-75j00	2	有機化学グループ (臼杵)		注1
MSCH1142	秋	化学ゼミナールⅠB	CHM502-75j00	2			注1
MSCH2133	春	化学ゼミナールⅡA	CHM601-75j00	2			注1
MSCH2144	秋	化学ゼミナールⅡB	CHM602-75j00	2			注1
MSCH1151	春	化学ゼミナールⅠA	CHM501-75j00	2	有機化学グループ (鈴木(由))		注1
MSCH1162	秋	化学ゼミナールⅠB	CHM502-75j00	2			注1
MSCH2153	春	化学ゼミナールⅡA	CHM601-75j00	2			注1
MSCH2164	秋	化学ゼミナールⅡB	CHM602-75j00	2			注1
MSCH7010	春	物理化学特論(構造化学)	CHM503-75j00	2	久世信彦		
MSCH7021	休講	分析化学特論(電気化学分析)	CHM504-75j00	2			
MSCH7031	春	有機化学特論(医薬品設計・合成化学)	CHM505-75j00	2	鈴木由美子		
MSCH7040	春	無機化学特論(地球化学)	CHM506-75j00	2	木川田喜一		
MSCH7055	秋	有機化学特論(有機化学演習)	CHM507-75j00	2	臼杵豊展・鈴木由美子		輪講
MSCH7061	休講	分析化学特論(超分子化学)	CHM508-75j00	2		○	注3 隔年開講
MSCH7070	秋	分析化学特論(先端分析化学)	CHM509-75j00	2	橋本剛		
MSCH7130	秋	無機化学特論(無機反応化学)	CHM514-75j00	2	三澤智世		
MSCH7090	秋	無機化学特論(錯体化学)	CHM510-75j00	2	長尾宏隆		
MSCH7101	休講	有機化学特論(天然物化学)	CHM511-75j00	2			
MSCH7110	秋	物理化学特論(理論化学)	CHM512-75j00	2	南部伸孝	○	注3 隔年開講
MSCH7120	秋	物理化学特論(環境科学)	CHM513-75j00	2	DANIELACHE, Sebastian	○	注2

注1) 同教員の「化学ゼミナールⅠA」と「化学ゼミナールⅡA」は合併。

同教員の「化学ゼミナールⅠB」と「化学ゼミナールⅡB」は合併。

注2) 2015年度以前開講の科目名変更(重複履修不可)

2016年度以降開講科目名 ※ () 内は単位数	2015年度以前開講科目名 ※ () 内は単位数
物理化学特論(環境科学) (2)	物理化学特論(環境科学A) (2)

注3) グリーンサイエンス・エンジニアリング領域との同内容科目(重複履修不可)

化学領域科目名 ※ () 内は単位数	グリーンサイエンス・エンジニアリング領域科目名 ※ () 内は単位数
物理化学特論(理論化学) (2)	Theoretical Chemistry (2) (~2018)
分析化学特論(超分子化学) (2)	Supramolecular Analytical Chemistry(2) (2020~) Environmental Analytical Chemistry(2) (~2019)

<数学領域>

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※ * :非常勤教員	外国語	備考
MSMT1291	休講	数学ゼミナールⅠA	MTH501-75j00	2	大城佳奈子		
MSMT1302	休講	数学ゼミナールⅠB	MTH502-75j00	2			
MSMT2293	休講	数学ゼミナールⅡA	MTH601-75j00	2			
MSMT2304	休講	数学ゼミナールⅡB	MTH602-75j00	2			

登録 コード	開 講 期	科目名	ナンバ リング	単 位 数	担当教員名 ※ * :非常勤教員	外 国 語	備 考
MSMT1071	春	数学ゼミナールⅠA	MTH501-75j00	2	辻 元		
MSMT1082	秋	数学ゼミナールⅠB	MTH502-75j00	2			
MSMT2073	春	数学ゼミナールⅡA	MTH601-75j00	2			
MSMT2084	秋	数学ゼミナールⅡB	MTH602-75j00	2			
MSMT1311	春	数学ゼミナールⅠA	MTH501-75j00	2	中 筋 麻 貴		
MSMT1322	秋	数学ゼミナールⅠB	MTH502-75j00	2			
MSMT2313	春	数学ゼミナールⅡA	MTH601-75j00	2			
MSMT2324	秋	数学ゼミナールⅡB	MTH602-75j00	2			
MSMT1111	休講	数学ゼミナールⅠA	MTH501-75j00	2	中 島 俊 樹		
MSMT1122	休講	数学ゼミナールⅠB	MTH502-75j00	2			
MSMT2113	休講	数学ゼミナールⅡA	MTH601-75j00	2			
MSMT2124	休講	数学ゼミナールⅡB	MTH602-75j00	2			
MSMT1131	休講	数学ゼミナールⅠA	MTH501-75j00	2	角 皆 宏		
MSMT1142	休講	数学ゼミナールⅠB	MTH502-75j00	2			
MSMT2133	休講	数学ゼミナールⅡA	MTH601-75j00	2			
MSMT2144	休講	数学ゼミナールⅡB	MTH602-75j00	2			
MSMT1151	休講	数学ゼミナールⅠA	MTH501-75j00	2	都 築 正 男		
MSMT1162	休講	数学ゼミナールⅠB	MTH502-75j00	2			
MSMT2153	休講	数学ゼミナールⅡA	MTH601-75j00	2			
MSMT2164	休講	数学ゼミナールⅡB	MTH602-75j00	2			
MSMT1191	休講	数学ゼミナールⅠA	MTH501-75j00	2	平 田 均		
MSMT1202	休講	数学ゼミナールⅠB	MTH502-75j00	2			
MSMT2193	休講	数学ゼミナールⅡA	MTH601-75j00	2			
MSMT2204	休講	数学ゼミナールⅡB	MTH602-75j00	2			
MSMT1211	休講	数学ゼミナールⅠA	MTH501-75j00	2	五 味 靖		
MSMT1222	休講	数学ゼミナールⅠB	MTH502-75j00	2			
MSMT2213	休講	数学ゼミナールⅡA	MTH601-75j00	2			
MSMT2224	休講	数学ゼミナールⅡB	MTH602-75j00	2			
MSMT1231	休講	数学ゼミナールⅠA	MTH501-75j00	2	後 藤 聡 史		
MSMT1242	休講	数学ゼミナールⅠB	MTH502-75j00	2			
MSMT2233	休講	数学ゼミナールⅡA	MTH601-75j00	2			
MSMT2244	休講	数学ゼミナールⅡB	MTH602-75j00	2			
MSMT1271	春	数学ゼミナールⅠA	MTH501-75j00	2	加 藤 剛		注1
MSMT1282	秋	数学ゼミナールⅠB	MTH502-75j00	2			注1
MSMT2273	春	数学ゼミナールⅡA	MTH601-75j00	2			注1
MSMT2284	秋	数学ゼミナールⅡB	MTH602-75j00	2			注1
MSMT7010	休講	代数学特論Ⅰ	MTH507-75j00	2			
MSMT7030	春	代数学特論Ⅲ	MTH509-75j00	2	都 築 正 男		
MSMT7050	休講	幾何学特論Ⅰ	MTH511-75j00	2			
MSMT7070	秋	幾何学特論Ⅲ	MTH513-75j00	2	辻 元		
MSMT7090	休講	解析学特論Ⅰ	MTH515-75j00	2			
MSMT7110	秋	解析学特論Ⅲ	MTH517-75j00	2	後 藤 聡 史		
MSMT7160	休講	計算数学特論	MTH519-75j00	2			夏期集中, 隔年開講
MSMT7020	休講	代数学特論Ⅱ	MTH508-75j00	2			
MSMT7040	春	代数学特論Ⅳ	MTH510-75j00	2	中 筋 麻 貴		
MSMT7060	休講	幾何学特論Ⅱ	MTH512-75j00	2			

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※ * : 非常勤教員	外国語	備考
MSMT7080	休講	幾何学特論Ⅳ	MTH514-75j00	2			
MSMT7100	休講	解析学特論Ⅱ	MTH516-75j00	2			
MSMT7120	休講	解析学特論Ⅳ	MTH518-75j00	2			

注1) 同教員の「数学ゼミナールⅠA」と「数学ゼミナールⅡA」は合併。

同教員の「数学ゼミナールⅠB」と「数学ゼミナールⅡB」は合併。

<物理学領域>

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※ * : 非常勤教員	外国語	備考
MSPY1051	春	物理学ゼミナールⅠA	PHY501-75j00	2	電子物性グループ (星 野)		
MSPY1062	秋	物理学ゼミナールⅠB	PHY502-75j00	2			
MSPY2053	春	物理学ゼミナールⅡA	PHY601-75j00	2			
MSPY2064	秋	物理学ゼミナールⅡB	PHY602-75j00	2			
MSPY1071	休講	物理学ゼミナールⅠA	PHY501-75j00	2	原子物理グループ (岡 田 (邦))		
MSPY1082	休講	物理学ゼミナールⅠB	PHY502-75j00	2			
MSPY2073	休講	物理学ゼミナールⅡA	PHY601-75j00	2			
MSPY2084	休講	物理学ゼミナールⅡB	PHY602-75j00	2			
MSPY1091	春	物理学ゼミナールⅠA	PHY501-75j00	2	固体物理グループ (黒 江)		
MSPY1102	秋	物理学ゼミナールⅠB	PHY502-75j00	2			
MSPY2093	休講	物理学ゼミナールⅡA	PHY601-75j00	2			
MSPY2104	休講	物理学ゼミナールⅡB	PHY602-75j00	2			
MSPY1111	休講	物理学ゼミナールⅠA	PHY501-75j00	2	凝縮系物理グループ (高 柳 (和))		
MSPY1122	休講	物理学ゼミナールⅠB	PHY502-75j00	2			
MSPY2113	春	物理学ゼミナールⅡA	PHY601-75j00	2			
MSPY2124	秋	物理学ゼミナールⅡB	PHY602-75j00	2			
MSPY1131	春	物理学ゼミナールⅠA	PHY501-75j00	2	光物理グループ (江 馬 ・ 樺 田)		注1
MSPY1142	秋	物理学ゼミナールⅠB	PHY502-75j00	2			注1
MSPY2133	春	物理学ゼミナールⅡA	PHY601-75j00	2			注1
MSPY2144	秋	物理学ゼミナールⅡB	PHY602-75j00	2			注1
MSPY1151	休講	物理学ゼミナールⅠA	PHY501-75j00	2	物性理論グループ (大 槻)		注1
MSPY1162	休講	物理学ゼミナールⅠB	PHY502-75j00	2			注1
MSPY2153	休講	物理学ゼミナールⅡA	PHY601-75j00	2			注1
MSPY2164	休講	物理学ゼミナールⅡB	PHY602-75j00	2			注1
MSPY1171	休講	物理学ゼミナールⅠA	PHY501-75j00	2	薄膜グループ (坂 間)		注1
MSPY1182	休講	物理学ゼミナールⅠB	PHY502-75j00	2			注1
MSPY2173	春	物理学ゼミナールⅡA	PHY601-75j00	2			注1
MSPY2184	秋	物理学ゼミナールⅡB	PHY602-75j00	2			注1
MSPY1191	休講	物理学ゼミナールⅠA	PHY501-75j00	2	低温物理グループ (後 藤 (貴))		
MSPY1202	休講	物理学ゼミナールⅠB	PHY502-75j00	2			
MSPY2193	休講	物理学ゼミナールⅡA	PHY601-75j00	2			
MSPY2204	休講	物理学ゼミナールⅡB	PHY602-75j00	2			
MSPY1211	春	物理学ゼミナールⅠA	PHY501-75j00	2	物質科学グループ (桑 原)		注1
MSPY1222	秋	物理学ゼミナールⅠB	PHY502-75j00	2			注1
MSPY2213	春	物理学ゼミナールⅡA	PHY601-75j00	2			注1
MSPY2224	秋	物理学ゼミナールⅡB	PHY602-75j00	2			注1

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※ * :非常勤教員	外国語	備考
MSPY1231	休講	物理学ゼミナール I A	PHY501-75j00	2	ハドロン物理学グループ (平 野)		
MSPY1242	休講	物理学ゼミナール I B	PHY502-75j00	2			
MSPY2233	春	物理学ゼミナール II A	PHY601-75j00	2			
MSPY2244	秋	物理学ゼミナール II B	PHY602-75j00	2			
MSPY1251	休講	物理学ゼミナール I A	PHY501-75j00	2	原子分子分光グループ (小 田 切)		
MSPY1262	休講	物理学ゼミナール I B	PHY502-75j00	2			
MSPY2253	休講	物理学ゼミナール II A	PHY601-75j00	2			
MSPY2264	休講	物理学ゼミナール II B	PHY602-75j00	2			
MSPY1271	春	物理学ゼミナール I A	PHY501-75j00	2	低温・超伝導物性グループ (足 立)		
MSPY1282	秋	物理学ゼミナール I B	PHY502-75j00	2			
MSPY2273	春	物理学ゼミナール II A	PHY601-75j00	2			
MSPY2284	秋	物理学ゼミナール II B	PHY602-75j00	2			
MSPY7010	春	光物性	PHY603-75j00	2	櫻 田 英 之		
MSPY7055	秋	デバイスの物理	PHY608-75j00	2	坂 間 弘		注4
MSPY7060	春	低温物性	PHY609-75j00	2	後 藤 貴 行		
MSPY7110	春	実験物理特論 B	PHY612-75j00	2	櫻 田 英 之		
MSPY7135	春	原子衝突物理特論	PHY614-75j00	2	星 野 正 光		注2
MSPY7180	休講	物理汎論 C	PHY619-75j00	2			※夏期集中, 隔年開講
MSPY7020	春	物性物理 A	PHY604-75j00	2	足 立 匡		
MSPY7030	秋	物性物理 B	PHY605-75j00	2	桑 原 英 樹		
MSPY7035	春	物性物理 C	PHY606-75j00	2	黒 江 晴 彦		
MSPY7040	春	量子多体問題	PHY607-75j00	2	高 柳 和 雄		
MSPY7100	秋	実験物理特論 A	PHY611-75j00	2	岡 田 邦 宏		
MSPY7125	秋	原子分子分光特論	PHY613-75j00	2	小田切 丈		注2
MSPY7140	春	物理汎論 A	PHY615-75j00	2	*赤 松 幸 尚		※夏期集中, 隔年開講
MSPY7150	春	物理汎論 B	PHY616-75j00	2	*近 藤 高 志		注6※夏期集中
MSPY7165	秋	相転移の物理	PHY617-75j00	2	大 槻 東 巳		注5
MSPY7085	秋	理論物理特論	PHY610-75j00	2	平 野 哲 文		注5
MSPY7190	春	原子過程科学	PHY620-75j00	2	*市 村 淳		
MSPY7175	休講	放射光原子分子科学	PHY618-75j00	2			注3

注 1) 同教員の物理学ゼミナール I A・物理学ゼミナール II Aは合併。

同教員の物理学ゼミナール I B・物理学ゼミナール II Bは合併。

注 2) 2017 年度以前開講の科目名変更(重複履修不可)

2018年度以降開講科目名 ※ () 内は単位数	2017年度以前開講科目名 ※ () 内は単位数
原子分子分光特論 (2)	原子・分子A (2)
原子衝突物理特論 (2)	原子・分子B (2)

注 3) 2016 年度以前開講の科目名変更(重複履修不可)

2017年度以降開講科目名 ※ () 内は単位数	2016年度以前開講科目名 ※ () 内は単位数
放射光原子分子科学 (2)	放射光科学 (2)

注 4) 2015 年度以前開講の科目名変更(重複履修不可)

2016年度以降開講科目名 ※ () 内は単位数	2015年度以前開講科目名 ※ () 内は単位数
デバイスの物理 (2)	ナノスケールの物理 (2)

注 5) 2014 年度以前開講の科目名変更(重複履修不可)

2015年度以降開講科目名 ※ () 内は単位数	2014年度以前開講科目名 ※ () 内は単位数
相転移の物理 (2)	計算物理 (2)
理論物理特論 (2)	理論物理特論 A (2)

注 6) 2020 年度より重複履修可

※ 集中講義については、別途掲示で日時および教室を必ず確認すること。

<生物科学領域>

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※ * : 非常勤教員	外国語	備考
MSBS1031	春	生物科学ゼミナールⅠA	BI0501-75j00	2	生命科学グループ (安増)		注1
MSBS1042	秋	生物科学ゼミナールⅠB	BI0502-75j00	2		注1	
MSBS2033	春	生物科学ゼミナールⅡA	BI0601-75j00	2		注1	
MSBS2044	秋	生物科学ゼミナールⅡB	BI0602-75j00	2		注1	
MSBS7190	春	分子進化学特論	BI0514-75j00	2	川口 眞理		
MSBS7200	秋	細胞神経科学特論	BI0515-75j00	2	新倉 貴子		
MSBS7050	春	細胞内情報伝達論	BI0507-75j00	2	笹川 展幸		
MSBS7240	秋	植物分子応答学特論	BI0518-75j00	2	鈴木 伸洋		
MSBS7070	春	脳生理学特論	BI0508-75j00	2	千葉 篤彦		
MSBS7120	春	バイオインフォマティクス	BI0511-75j00	2	*池尾 一穂		※春学期集中
MSBS7210	春	創薬インフォマティクス	BI0516-75j00	2	*広川 貴次		※春学期集中
MSBS7620	春	植物機能科学特論	BI0520-75j00	2	藤原 誠		
MSBS7630	春	生物物理特論	BI0521-75j00	2	近藤 次郎		
MSBS7020	秋	生体運動特論	BI0505-75j00	2	神澤 信行		
MSBS7090	秋	神経発生学特論	BI0509-75j00	2	林 謙介		
MSBS7110	秋	発生生物学特論	BI0510-75j00	2	安増 茂樹		
MSBS7130	2Q	ゲノム細胞生物学	BI0512-75j00	2	*田中 寛		※2Q集中, 隔年開講
MSBS7160	秋	環境分子生物学特論	BI0513-75j00	2	齊藤 玉緒		
MSBS7250	2Q	海洋生物学特論	BI0519-75j00	2	*赤坂 甲治 *兵藤 晋 *猿渡 敏郎		※2Q集中, 輪講
MSBS7225	休講	微生物生態学特論	BI0517-75j00	2			※春学期集中, 隔年開講

注1) 同教員の「生物科学ゼミナールⅠA」と「生物科学ゼミナールⅡA」は合併。

同教員の「生物科学ゼミナールⅠB」と「生物科学ゼミナールⅡB」は合併。

※ 集中講義については、別途掲示で日時および教室を必ず確認すること。

<情報学領域>

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※ * : 非常勤教員	外国語	備考
MSIS1031	春	情報学ゼミナールⅠA	INF501-75j00	2	荒井 隆行		注1
MSIS1042	秋	情報学ゼミナールⅠB	INF502-75j00	2		注1	
MSIS2033	春	情報学ゼミナールⅡA	INF601-75j00	2		注1	
MSIS2044	秋	情報学ゼミナールⅡB	INF602-75j00	2		注1	
MSIS1051	春	情報学ゼミナールⅠA	INF501-75j00	2	川端 亮		注1
MSIS1062	秋	情報学ゼミナールⅠB	INF502-75j00	2		注1	
MSIS2053	春	情報学ゼミナールⅡA	INF601-75j00	2		注1	
MSIS2064	秋	情報学ゼミナールⅡB	INF602-75j00	2		注1	
MSIS1151	春	情報学ゼミナールⅠA	INF501-75j00	2	伊呂原 隆		注1
MSIS1162	秋	情報学ゼミナールⅠB	INF502-75j00	2		注1	
MSIS2153	春	情報学ゼミナールⅡA	INF601-75j00	2		注1	
MSIS2164	秋	情報学ゼミナールⅡB	INF602-75j00	2		注1	

登録 コード	開 講 期	科目名	ナンバ リング	単 位 数	担当教員名 ※ * :非常勤教員	外 国 語	備 考
MSIS1091	春	情報学ゼミナールⅠA	INF501-75j00	2	田 中 昌 司		注1
MSIS1102	秋	情報学ゼミナールⅠB	INF502-75j00	2			注1
MSIS2093	春	情報学ゼミナールⅡA	INF601-75j00	2			注1
MSIS2104	秋	情報学ゼミナールⅡB	INF602-75j00	2			注1
MSIS1251	春	情報学ゼミナールⅠA	INF501-75j00	2	澁 谷 智 治		注1
MSIS1262	秋	情報学ゼミナールⅠB	INF502-75j00	2			注1
MSIS2253	春	情報学ゼミナールⅡA	INF601-75j00	2			注1
MSIS2264	秋	情報学ゼミナールⅡB	INF602-75j00	2			注1
MSIS1171	春	情報学ゼミナールⅠA	INF501-75j00	2	炭 親 良		注1
MSIS1182	秋	情報学ゼミナールⅠB	INF502-75j00	2			注1
MSIS2173	春	情報学ゼミナールⅡA	INF601-75j00	2			注1
MSIS2184	秋	情報学ゼミナールⅡB	INF602-75j00	2			注1
MSIS1271	春	情報学ゼミナールⅠA	INF501-75j00	2	高 岡 詠 子		注1
MSIS1282	秋	情報学ゼミナールⅠB	INF502-75j00	2			注1
MSIS2273	春	情報学ゼミナールⅡA	INF601-75j00	2			注1
MSIS2284	秋	情報学ゼミナールⅡB	INF602-75j00	2			注1
MSIS1191	春	情報学ゼミナールⅠA	INF501-75j00	2	田 村 恭 久		注1
MSIS1202	秋	情報学ゼミナールⅠB	INF502-75j00	2			注1
MSIS2193	春	情報学ゼミナールⅡA	INF601-75j00	2			注1
MSIS2204	秋	情報学ゼミナールⅡB	INF602-75j00	2			注1
MSIS1331	春	情報学ゼミナールⅠA	INF501-75j00	2	ゴンサルベス タッド		注1
MSIS1342	秋	情報学ゼミナールⅠB	INF502-75j00	2			注1
MSIS2333	春	情報学ゼミナールⅡA	INF601-75j00	2			注1
MSIS2344	秋	情報学ゼミナールⅡB	INF602-75j00	2			注1
MSIS1311	春	情報学ゼミナールⅠA	INF501-75j00	2	萬 代 雅 希		注1
MSIS1322	秋	情報学ゼミナールⅠB	INF502-75j00	2			注1
MSIS2313	春	情報学ゼミナールⅡA	INF601-75j00	2			注1
MSIS2324	秋	情報学ゼミナールⅡB	INF602-75j00	2			注1
MSIS1291	春	情報学ゼミナールⅠA	INF501-75j00	2	宮 本 裕 一 郎		注1
MSIS1302	秋	情報学ゼミナールⅠB	INF502-75j00	2			注1
MSIS2293	春	情報学ゼミナールⅡA	INF601-75j00	2			注1
MSIS2304	秋	情報学ゼミナールⅡB	INF602-75j00	2			注1
MSIS1231	春	情報学ゼミナールⅠA	INF501-75j00	2	矢 入 郁 子		注1
MSIS1242	秋	情報学ゼミナールⅠB	INF502-75j00	2			注1
MSIS2233	春	情報学ゼミナールⅡA	INF601-75j00	2			注1
MSIS2244	秋	情報学ゼミナールⅡB	INF602-75j00	2			注1
MSIS1211	春	情報学ゼミナールⅠA	INF501-75j00	2	山 中 高 夫		注1
MSIS1222	秋	情報学ゼミナールⅠB	INF502-75j00	2			注1
MSIS2213	春	情報学ゼミナールⅡA	INF601-75j00	2			注1
MSIS2224	秋	情報学ゼミナールⅡB	INF602-75j00	2			注1

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※ * : 非常勤教員	外国語	備考
MSIS1351	春	情報学ゼミナールⅠA	INF501-75j00	2	山下 遥		注1
MSIS1362	秋	情報学ゼミナールⅠB	INF502-75j00	2			注1
MSIS2353	春	情報学ゼミナールⅡA	INF601-75j00	2			注1
MSIS2364	秋	情報学ゼミナールⅡB	INF602-75j00	2			注1
MSIS7010	春	システム工学特論	INF508-75j00	2	伊呂原 隆		
MSIS7020	秋	シミュレーション工学特論	INF509-75j00	2	ゴンサルベス タッド		
MSIS7270	春	経営情報分析特論	INF523-75j00	2	山下 遥		
MSIS7050	春	ソフトウェア特論	INF510-75j00	2	川 端 亮		
MSIS7080	春	音声・音響・聴覚情報処理	INF512-75j00	2	荒 井 隆 行		
MSIS7140	春	パターン認識特論	INF515-75j00	2	川 中 彰		
MSIS7170	秋	データサイエンス特論	INF516-75j00	2	田村・山中・山下		
MSIS7190	春	脳ネットワーク解析特論	INF517-75j00	2	田 中 昌 司		注2
MSIS7200	春	マシンインテリジェンス	INF518-75j00	2	矢 入 郁 子		
MSIS7060	秋	教育情報工学特論	INF511-75j00	2	田 村 恭 久		
MSIS7230	春	コンピュータグラフィックスとバーチャル・リアリティ	INF521-75j00	2	* 牧 野 光 則		
MSIS7110	秋	医用画像工学	INF513-75j00	2	炭 親 良		
MSIS7120	秋	センシングシステム工学	INF514-75j00	2	山 中 高 夫		
MSIS7970	秋	情報科学特論	INF525-75j00	2	高 岡 詠 子		
MSIS7910	春	情報理論特論	INF524-75j00	2	澁 谷 智 治		
MSIS7210	秋	数理最適化特論	INF519-75j00	2	宮 本 裕 一 郎		
MSIS7220	春	情報ネットワーク特論	INF520-75j00	2	萬 代 雅 希		
MSIS7260	休講	人工知能特論	INF522-75j00	2			

注1) 同教員の「情報学ゼミナールⅠA」と「情報学ゼミナールⅡA」は合併。

同教員の「情報学ゼミナールⅠB」と「情報学ゼミナールⅡB」は合併。

注2) 2019年度以前開講の科目名変更(重複履修不可)

2020年度以降開講科目名 ※ () 内は単位数	2019年度以前開講科目名 ※ () 内は単位数
脳ネットワーク解析特論 (2)	脳ネットワーク特論 (2)

＜グリーンサイエンス・エンジニアリング領域＞ *講義はすべて英語で行われる。

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※ * : 非常勤教員	外国語	備考
MSGR7010	休講	Green Science and Engineering 1	GSE503-75e00	2		○	隔年開講
MSGR7020	春	Green Science and Engineering 2	GSE504-75e00	2	久世信彦・他	○	隔年開講
MSGR7030	秋	Green Science and Engineering 3	GSE505-75e00	2	ゴンサルベス タッド・他	○	隔年開講
MSGR7040	休講	Green Science and Engineering 4	GSE506-75e00	2		○	隔年開講
MSGR7046	秋	Artificial Intelligence	INF505-75e00	2	ゴンサルベス タッド	○	隔年開講, 注2
MSGR7050	休講	Advanced Mechanical Engineering 1	MEC503-75e00	2		○	隔年開講
MSGR7060	秋	Advanced Mechanical Engineering 2	MEC504-75e00	2	田中秀岳・他	○	隔年開講
MSGR7070	休講	Advanced Electrical and Electronics Engineering 1	EEE511-75e00	2		○	隔年開講
MSGR7080	秋	Advanced Electrical and Electronics Engineering 2	EEE512-75e00	2	富 樫 理 恵	○	隔年開講
MSGR7090	休講	Environmental Chemistry	ACH503-75e00	2		○	隔年開講
MSGR7100	休講	Advanced Materials	ACH504-75e00	2		○	隔年開講, 注1
MSGR7220	休講	Computational Chemistry	GSE509-75e00	2		○	隔年開講
MSGR7230	春	Supramolecular Analytical Chemistry	GSE510-75e00	2	早 下 隆 士	○	隔年開講, 注1, 2
MSGR7130	休講	Differential Equations for Natural Phenomena	MTH505-75e00	2		○	隔年開講
MSGR7140	秋	Statistical Data Analysis	MTH506-75e00	2	加 藤 剛	○	隔年開講
MSGR7150	休講	Environmental Atomic and Molecular Physics	GRS619-75e00	2		○	隔年開講
MSGR7210	秋	Introduction to Superconductivity	GRE620-75e00	2	ZHANG, Weilu	○	
MSGR7170	春	Environmental Basic Biology	BI0503-75e00	2	荒 木 剛	○	隔年開講
MSGR7180	休講	Environmental Life Science	BI0504-75e00	2		○	隔年開講
MSGR7190	春	Computer Science	INF506-75e00	2	宮本裕一郎・他	○	隔年開講
MSGR7200	休講	Applied Computer Science	INF507-75e00	2		○	隔年開講

注1) 各領域との同内容科目 (重複履修不可)

グリーンサイエンス・エンジニアリング領域開講科目名 ※ () 内は	各領域開講科目名 ※ () 内は単位	備考
Advanced Materials (2)	無機製造工学特論 (2) (~2019)	応用化学領域
Theoretical Chemistry (2) (~2018)	物理化学特論 (理論化学) (2)	化学領域
Supramolecular Analytical Chemistry (2) (2020~)	分析化学特論 (超分子化学) (2)	化学領域
Environmental Analytical Chemistry (2) (~2019)		

注2) 前年度以前開講の科目名変更 (重複履修不可)

2020年度以降開講科目名 ※ () 内は単位数	2019年度以前開講科目名 ※ () 内は単位数
Supramolecular Analytical Chemistry (2)	Environmental Analytical Chemistry (2)

2017年度以降開講科目名 ※ () 内は単位数	2016年度以前開講科目名 ※ () 内は単位数
Artificial Intelligence (2)	Introduction To Artificial Intelligence (2)

5. 研究指導一覧表

ナンバリング	担当教員名	領域	備考
SCT603-75j00	DZIEMIŃSKA, Edyta	機械工学	
	曄 道 佳 明	機械工学	
	鈴木 隆	機械工学	
	申 鉄 龍・曹 文 静	機械工学	
	長嶋 利夫・張 月琳	機械工学	
	高 井 健 一	機械工学	
	久 森 紀 之	機械工学	
	渡 邊 摩 理 子	機械工学	休講（春・秋）
	竹 原 昭 一 郎	機械工学	
	一 柳 満 久	機械工学	
	田 中 秀 岳	機械工学	
	菊 池 昭 彦	電気・電子工学	
	野 村 一 郎	電気・電子工学	
	下 村 和 彦	電気・電子工学	
	高 尾 智 明	電気・電子工学	
	中 村 一 也	電気・電子工学	
	宮 武 昌 史	電気・電子工学	
	谷 貝 剛	電気・電子工学	
	中 岡 俊 裕	電気・電子工学	
	小 川 将 克	電気・電子工学	
	林 等	電気・電子工学	
	高 橋 浩	電気・電子工学	
	坂 本 織 江	電気・電子工学	
	有機合成化学グループ （鈴木（教））	応用化学	
	高分子化学グループ （陸川・竹岡・藤田）	応用化学	
	無機工業化学グループ （内田・横田）	応用化学	
	工業物理化学グループ （高橋・田中（邦））	応用化学	
	環境化学工学グループ （堀 越）	応用化学	
	無機化学グループ （木川田）	化学	
	物理化学グループ （久 世）	化学	
	理論分子設計グループ （南 部）	化学	
	錯体化学グループ （長尾・三澤）	化学	
	分析化学グループ （早下・橋本）	化学	
	有機化学グループ （白 杵）	化学	

ナンバリング	担当教員名	領域	備考
SCT603-75j00	有機化学グループ (鈴木(由))	化学	
	環境科学グループ (DANIELACHE)	化学	
	辻 元	数学	
	中 島 俊 樹	数学	休講(春・秋)
	中 筋 麻 貴	数学	
	加 藤 剛	数学	
	角 皆 宏	数学	休講(春・秋)
	都 築 正 男	数学	
	五 味 靖	数学	休講(春・秋)
	大 城 佳 奈 子	数学	休講(春・秋)
	電子物性グループ (星野)	物理学	
	固体物理グループ (黒江)	物理学	
	凝縮系物理グループ (高柳(和))	物理学	
	光物理グループ (江馬)	物理学	
	光物理グループ (樫田)	物理学	
	物性理論グループ (大槻)	物理学	休講(春・秋)
	薄膜グループ (坂間)	物理学	
	低温物理グループ (後藤(貴))	物理学	休講(春・秋)
	物質科学グループ (桑原)	物理学	
	原子物理グループ (岡田(邦))	物理学	休講(春・秋)
	ハドロン物理学グループ (平野)	物理学	
	原子分子分光グループ (小田切)	物理学	休講(春・秋)
	低温・超伝導物性グループ (足立)	物理学	
	笹 川 展 幸	生物科学	
	近 藤 次 郎	生物科学	
	林 謙 介	生物科学	
	安 増 茂 樹	生物科学	
	千 葉 篤 彦	生物科学	
	神 澤 信 行	生物科学	
	齊 藤 玉 緒	生物科学	
	藤 原 誠	生物科学	休講(春・秋)
	新 倉 貴 子	生物科学	
	川 口 眞 理	生物科学	
	鈴 木 伸 洋	生物科学	
	荒 井 隆 行	情報学	
	伊 呂 原 隆	情報学	

ナンバリング	担当教員名	領域	備考
SCT603-75j00	田 中 昌 司	情報学	
	澁 谷 智 治	情報学	
	炭 親 良	情報学	
	高 岡 詠 子	情報学	
	田 村 恭 久	情報学	
	萬 代 雅 希	情報学	
	宮 本 裕 一 郎	情報学	
	矢 入 郁 子	情報学	
	山 中 高 夫	情報学	
	川 端 亮	情報学	
	ゴンサルベス タッド	情報学	

理工学専攻 博士後期課程

1. 修了に要する科目，単位数，科目数などの要件

【18年次生以降】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限，その他）
総単位数	6		
・必修科目	6		
└大学院演習Ⅲ A	1		
└大学院演習Ⅲ B	1		
└大学院演習Ⅳ A	1		
└大学院演習Ⅳ B	1		
└大学院演習Ⅴ A	1		
└大学院演習Ⅴ B	1		
研究指導（必修）		6	単位なし，在学中每学期登録される 6科目以上合格すること
博士論文			必要な研究指導を受けた上，博士論文の審査および試験に 合格すること

【17年次生】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限，その他）
総単位数	2		
・選択必修科目	2		
└大学院演習Ⅲ A	1		
└大学院演習Ⅲ B	1		
└大学院演習Ⅳ A	1		
└大学院演習Ⅳ B	1		
└大学院演習Ⅴ A	1		
└大学院演習Ⅴ B	1		
研究指導（必修）		6	単位なし，在学中每学期登録される 6科目以上合格すること
博士論文			必要な研究指導を受けた上，博士論文の審査および試験に 合格すること

【14～16年次生】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限，その他）
総単位数	2		
・選択必修科目	2		
└大学院演習Ⅲ A	1		
└大学院演習Ⅲ B	1		
└大学院演習Ⅳ A	1		
└大学院演習Ⅳ B	1		
└大学院演習Ⅴ A	1		
└大学院演習Ⅴ B	1		
研究指導（必修）			単位なし，在学中每学期登録される
博士論文			必要な研究指導を受けた上，博士論文の審査および試験に 合格すること

【研究指導スケジュール】

年次	事項	期日	備考
D1 D2	年次研究計画書の提出	4月末まで (情報学領域：5月中旬頃まで)	毎年度提出すること。
	研究報告書の提出	2月末まで	電気・電子工学領域，応用化学領域，化学領域，生物科学領域，情報学領域は実施しない。
D3	年次研究計画書の提出	4月末まで (情報学領域：5月中旬頃まで)	毎年度提出すること。
	博士論文提出資格判定願の提出	9月中旬までに	
	学位申請 (申請場所：学事センターへ)	資格判定結果通知後10月下旬までに	手続きについては学事センターに確認すること。
	審査，公開試験実施	～1月	

※ 論文提出資格の要件，書式や提出期限に係る詳細等は，4月実施の領域ガイダンスで配布する次の資料を参照し，指導教員の指導を受けること。

※ 9月学位授与を希望する場合は，別途，日程を指導教員に確認すること。

【博士論文審査基準】

- 1) 審査は，提出された論文について行い，申請者が専攻分野について自立して研究活動を行い，又はその他の高度に専門的な業務に従事するに必要な研究能力を有するか否かについて考査する。
- 2) 審査に当たっては，次の点に留意する。
 - ①論文の内容（独創性，知見の新規性，有用性等の十分な学術的な価値を有するか否か）
 - ②論文の体裁（構成および表現が適切であるか否か）
- 3) 試験は，論文を中心として広く関連した科目について口述によって行い，申請者が専攻分野について自立して研究活動を行うに必要な高度の研究能力の基礎となる豊かな学識を有するか否かについて考査する。
- 4) 外国語については1か国語を課し，筆記試験を課すことができる。ただし，申請者が学位を受けるにふさわしい外国語の能力を備えていると認定された場合は，外国語の試験の一部又は全部を免除することができる。免除の基準は，所属する領域に確認すること。

2. 授業科目の編成・単位

【18年次生以降】

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
大学院演習ⅢA	1		
大学院演習ⅢB	1		
大学院演習ⅣA	1		
大学院演習ⅣB	1		
大学院演習ⅤA	1		
大学院演習ⅤB	1		

【14～17年次生】

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
大学院演習ⅢA		1	
大学院演習ⅢB		1	
大学院演習ⅣA		1	
大学院演習ⅣB		1	
大学院演習ⅤA		1	
大学院演習ⅤB		1	

3. 履修上の注意

【18年次生以降】

6単位を修得し、指導教員の研究指導を受け、博士論文を提出し、その審査および最終試験に合格した者に博士の学位を授与する。なお、早期修了の場合、在学しない学期分の必修科目の単位数は免除される。在学期間中は指導教員担当の「研究指導（必修）」は毎学期受け、6科目以上合格すること。

【17年次生】

2単位を修得し、指導教員の研究指導を受け、博士論文を提出し、その審査および最終試験に合格した者に博士の学位を授与する。在学期間中は指導教員担当の「研究指導（必修）」は毎学期受け、6科目以上合格すること。

【14～16年次生】

2単位を修得し、指導教員の研究指導を受け、博士論文を提出し、その審査および最終試験に合格した者に博士の学位を授与する。在学期間中は指導教員担当の「研究指導（必修）」は、毎学期受けること。

(その他)

【機械工学領域】

- 1) 「機械工学領域ガイダンス配布資料」（4月初旬に開催するガイダンスにて配布）に従って履修すること。
- 2) 毎年4月に各年度の研究計画書を機械工学領域主任へ提出すること。

【電気・電子工学領域】

- 1) 毎年4月初旬に開催されるガイダンス（新入生・在校生共通）で配布する「電気・電子工学領域ガイダンス 配布資料」に従って履修すること。
- 2) 毎年4月に指導教員と相談のうえで各年度の研究計画書を作成し、計画書に記載された期限までに電気・電子工学領域事務室に提出すること。
- 3) 博士論文審査に関わる諸手続は、上記配布資料を参考に、指導教員とも相談しながら行うこと。
- 4) その他、詳細事項は上記配布資料に記載する。

【応用化学領域】

- 1) 4月に新入生・在校生に対し、領域主任によるガイダンスを行い、博士論文のスケジュールについて指導する。
- 2) 学生は、毎年度4月末までに研究計画書を作成・提出する。研究計画書には博士論文の計画を記載し、指導教員の承認後、領域主任へ提出する。研究計画書の書式は4月上旬に指導教員から配布する。
- 3) 領域が定める英語資格を満たすこと。毎年12月に領域が実施する外国語資格試験を受験することによって判定する。資格試験については10月に出される掲示を参照のこと。

【化学領域】

- 1) 4月に新入生・在校生に対し、領域主任によるガイダンスを行い、博士論文のスケジュールについて指導する。

- 2) 学生は、毎年度 4 月末までに研究計画書を作成・提出する。研究計画書には博士論文の計画を記載し、指導教員の承認後、領域主任へ提出する。研究計画書の書式は 4 月上旬に指導教員から配布する。
- 3) 領域が定める英語資格を満たすこと。毎年 12 月に領域が実施する外国語資格試験を受験することによって判定する。資格試験については 10 月に出される掲示を参照のこと。

【数学領域】

研究指導計画やスケジュールの詳細は、年度初めに行うガイダンスにて周知される。

【物理学領域】

- 1) 「物理学領域履修上の注意」（4 月領域別ガイダンスで配布予定）に従って履修すること。
- 2) 毎年度、4 月に領域の定める「研究計画書」を、3 月に「研究報告書」を提出し、自発的に研究を進められるように努力すること。

【生物科学領域】

- 1) 4 月に行われる領域別ガイダンスにて配布される「生物科学領域 後期課程 履修のてびき」を参照して履修計画を作成すること。
- 2) 毎年度、「研究計画書」を指導教員と相談して作成し、領域主任に提出すること。

【情報学領域】

- 1) 「情報学領域履修上の注意」（4 月に実施される領域別ガイダンスで配布）に従って履修すること。
- 2) 毎年度、領域の定める「研究計画書」を提出すること。研究計画書の書式や提出期限・提出先は領域別ガイダンスでの指示に従うこと。

4. 開講科目一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名	外国語	備考
DSCT1361	春	大学院演習Ⅲ A	SCT801-75j00	1	曄道佳明		
DSCT1362	秋	大学院演習Ⅲ B	SCT802-75j00	1		注1	
DSCT1363	休講	大学院演習Ⅳ A	SCT803-75j00	1			
DSCT1364	休講	大学院演習Ⅳ B	SCT804-75j00	1		注1	
DSCT1365	休講	大学院演習Ⅴ A	SCT805-75j00	1			
DSCT1366	休講	大学院演習Ⅴ B	SCT806-75j00	1			
DSCT1371	休講	大学院演習Ⅲ A	SCT801-75j00	1	申鉄龍		
DSCT1372	休講	大学院演習Ⅲ B	SCT802-75j00	1			
DSCT1373	春	大学院演習Ⅳ A	SCT803-75j00	1		注1	
DSCT1374	秋	大学院演習Ⅳ B	SCT804-75j00	1		注1	
DSCT1375	春	大学院演習Ⅴ A	SCT805-75j00	1		注1	
DSCT1376	秋	大学院演習Ⅴ B	SCT806-75j00	1	注1		
DSCT1401	春	大学院演習Ⅲ A	SCT801-75j00	1	長嶋利夫		
DSCT1402	秋	大学院演習Ⅲ B	SCT802-75j00	1			
DSCT1403	休講	大学院演習Ⅳ A	SCT803-75j00	1			
DSCT1404	休講	大学院演習Ⅳ B	SCT804-75j00	1			
DSCT1405	休講	大学院演習Ⅴ A	SCT805-75j00	1			
DSCT1406	休講	大学院演習Ⅴ B	SCT806-75j00	1			
DSCT1091	春	大学院演習Ⅲ A	SCT801-75j00	1	高井健一		
DSCT1092	秋	大学院演習Ⅲ B	SCT802-75j00	1			
DSCT1093	休講	大学院演習Ⅳ A	SCT803-75j00	1			
DSCT1094	休講	大学院演習Ⅳ B	SCT804-75j00	1			
DSCT1095	休講	大学院演習Ⅴ A	SCT805-75j00	1			
DSCT1096	休講	大学院演習Ⅴ B	SCT806-75j00	1			
DSCT1161	休講	大学院演習Ⅲ A	SCT801-75j00	1	久森紀之		
DSCT1162	休講	大学院演習Ⅲ B	SCT802-75j00	1			
DSCT1163	休講	大学院演習Ⅳ A	SCT803-75j00	1			
DSCT1164	休講	大学院演習Ⅳ B	SCT804-75j00	1			
DSCT1165	休講	大学院演習Ⅴ A	SCT805-75j00	1			
DSCT1166	休講	大学院演習Ⅴ B	SCT806-75j00	1			
DSCT1341	春	大学院演習Ⅲ A	SCT801-75j00	1	鈴木隆		
DSCT1342	秋	大学院演習Ⅲ B	SCT802-75j00	1			
DSCT1343	春	大学院演習Ⅳ A	SCT803-75j00	1			
DSCT1344	秋	大学院演習Ⅳ B	SCT804-75j00	1			
DSCT1345	休講	大学院演習Ⅴ A	SCT805-75j00	1			
DSCT1346	休講	大学院演習Ⅴ B	SCT806-75j00	1			
DSCT1521	休講	大学院演習Ⅲ A	SCT801-75j00	1	下村和彦		
DSCT1522	休講	大学院演習Ⅲ B	SCT802-75j00	1			
DSCT1523	休講	大学院演習Ⅳ A	SCT803-75j00	1			
DSCT1524	休講	大学院演習Ⅳ B	SCT804-75j00	1			
DSCT1525	春	大学院演習Ⅴ A	SCT805-75j00	1			
DSCT1526	秋	大学院演習Ⅴ B	SCT806-75j00	1			

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名	外国語	備考
DSCT1381	休講	大学院演習Ⅲ A	SCT801-75j00	1	高尾智明		
DSCT1382	休講	大学院演習Ⅲ B	SCT802-75j00	1			
DSCT1383	休講	大学院演習Ⅳ A	SCT803-75j00	1			
DSCT1384	休講	大学院演習Ⅳ B	SCT804-75j00	1			
DSCT1385	休講	大学院演習Ⅴ A	SCT805-75j00	1			
DSCT1386	休講	大学院演習Ⅴ B	SCT806-75j00	1			
DSCT1131	休講	大学院演習Ⅲ A	SCT801-75j00	1	菊池昭彦		
DSCT1132	休講	大学院演習Ⅲ B	SCT802-75j00	1			
DSCT1133	休講	大学院演習Ⅳ A	SCT803-75j00	1			
DSCT1134	休講	大学院演習Ⅳ B	SCT804-75j00	1			
DSCT1135	春	大学院演習Ⅴ A	SCT805-75j00	1			
DSCT1136	秋	大学院演習Ⅴ B	SCT806-75j00	1			
DSCT1301	休講	大学院演習Ⅲ A	SCT801-75j00	1	野村一郎		
DSCT1302	休講	大学院演習Ⅲ B	SCT802-75j00	1			
DSCT1303	休講	大学院演習Ⅳ A	SCT803-75j00	1			
DSCT1304	休講	大学院演習Ⅳ B	SCT804-75j00	1			
DSCT1305	休講	大学院演習Ⅴ A	SCT805-75j00	1			
DSCT1306	休講	大学院演習Ⅴ B	SCT806-75j00	1			
DSCT1171	春	大学院演習Ⅲ A	SCT801-75j00	1	宮武昌史		
DSCT1172	秋	大学院演習Ⅲ B	SCT802-75j00	1			
DSCT1173	休講	大学院演習Ⅳ A	SCT803-75j00	1			
DSCT1174	休講	大学院演習Ⅳ B	SCT804-75j00	1			
DSCT1175	休講	大学院演習Ⅴ A	SCT805-75j00	1			
DSCT1176	休講	大学院演習Ⅴ B	SCT806-75j00	1			
DSCT1241	休講	大学院演習Ⅲ A	SCT801-75j00	1	谷貝剛		
DSCT1242	休講	大学院演習Ⅲ B	SCT802-75j00	1			
DSCT1243	春	大学院演習Ⅳ A	SCT803-75j00	1			
DSCT1244	秋	大学院演習Ⅳ B	SCT804-75j00	1			
DSCT1245	休講	大学院演習Ⅴ A	SCT805-75j00	1			
DSCT1246	休講	大学院演習Ⅴ B	SCT806-75j00	1			
DSCT1261	休講	大学院演習Ⅲ A	SCT801-75j00	1	中岡俊裕		
DSCT1262	休講	大学院演習Ⅲ B	SCT802-75j00	1			
DSCT1263	休講	大学院演習Ⅳ A	SCT803-75j00	1			
DSCT1264	休講	大学院演習Ⅳ B	SCT804-75j00	1			
DSCT1265	休講	大学院演習Ⅴ A	SCT805-75j00	1			
DSCT1266	休講	大学院演習Ⅴ B	SCT806-75j00	1			
DSCT1211	休講	大学院演習Ⅲ A	SCT801-75j00	1	小川将克		
DSCT1212	休講	大学院演習Ⅲ B	SCT802-75j00	1			
DSCT1213	休講	大学院演習Ⅳ A	SCT803-75j00	1			
DSCT1214	休講	大学院演習Ⅳ B	SCT804-75j00	1			
DSCT1215	休講	大学院演習Ⅴ A	SCT805-75j00	1			
DSCT1216	休講	大学院演習Ⅴ B	SCT806-75j00	1			
DSCT1321	休講	大学院演習Ⅲ A	SCT801-75j00	1	林等		
DSCT1322	休講	大学院演習Ⅲ B	SCT802-75j00	1			
DSCT1323	休講	大学院演習Ⅳ A	SCT803-75j00	1			
DSCT1324	休講	大学院演習Ⅳ B	SCT804-75j00	1			
DSCT1325	休講	大学院演習Ⅴ A	SCT805-75j00	1			
DSCT1326	休講	大学院演習Ⅴ B	SCT806-75j00	1			

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名	外国語	備考
DSCT1191	休講	大学院演習Ⅲ A	SCT801-75j00	1	高橋 浩		
DSCT1192	休講	大学院演習Ⅲ B	SCT802-75j00	1			
DSCT1193	休講	大学院演習Ⅳ A	SCT803-75j00	1			
DSCT1194	休講	大学院演習Ⅳ B	SCT804-75j00	1			
DSCT1195	休講	大学院演習Ⅴ A	SCT805-75j00	1			
DSCT1196	休講	大学院演習Ⅴ B	SCT806-75j00	1			
DSCT1331	休講	大学院演習Ⅲ A	SCT801-75j00	1	鈴木 教之		
DSCT1332	休講	大学院演習Ⅲ B	SCT802-75j00	1			
DSCT1333	休講	大学院演習Ⅳ A	SCT803-75j00	1			
DSCT1334	休講	大学院演習Ⅳ B	SCT804-75j00	1			
DSCT1335	休講	大学院演習Ⅴ A	SCT805-75j00	1			
DSCT1336	休講	大学院演習Ⅴ B	SCT806-75j00	1			
DSCT1391	休講	大学院演習Ⅲ A	SCT801-75j00	1	陸川 政弘		
DSCT1392	休講	大学院演習Ⅲ B	SCT802-75j00	1			
DSCT1393	休講	大学院演習Ⅳ A	SCT803-75j00	1			
DSCT1394	休講	大学院演習Ⅳ B	SCT804-75j00	1			
DSCT1395	休講	大学院演習Ⅴ A	SCT805-75j00	1			
DSCT1396	休講	大学院演習Ⅴ B	SCT806-75j00	1			
DSCT1251	休講	大学院演習Ⅲ A	SCT801-75j00	1	竹岡 裕子		
DSCT1252	休講	大学院演習Ⅲ B	SCT802-75j00	1			
DSCT1253	休講	大学院演習Ⅳ A	SCT803-75j00	1			
DSCT1254	休講	大学院演習Ⅳ B	SCT804-75j00	1			
DSCT1255	休講	大学院演習Ⅴ A	SCT805-75j00	1			
DSCT1256	休講	大学院演習Ⅴ B	SCT806-75j00	1			
DSCT1281	休講	大学院演習Ⅲ A	SCT801-75j00	1	内田 寛		
DSCT1282	休講	大学院演習Ⅲ B	SCT802-75j00	1			
DSCT1283	休講	大学院演習Ⅳ A	SCT803-75j00	1			
DSCT1284	休講	大学院演習Ⅳ B	SCT804-75j00	1			
DSCT1285	休講	大学院演習Ⅴ A	SCT805-75j00	1			
DSCT1286	休講	大学院演習Ⅴ B	SCT806-75j00	1			
DSCT1201	休講	大学院演習Ⅲ A	SCT801-75j00	1	高橋 和夫		
DSCT1202	休講	大学院演習Ⅲ B	SCT802-75j00	1			
DSCT1203	休講	大学院演習Ⅳ A	SCT803-75j00	1			
DSCT1204	休講	大学院演習Ⅳ B	SCT804-75j00	1			
DSCT1205	休講	大学院演習Ⅴ A	SCT805-75j00	1			
DSCT1206	休講	大学院演習Ⅴ B	SCT806-75j00	1			
DSCT1081	休講	大学院演習Ⅲ A	SCT801-75j00	1	堀越 智		
DSCT1082	休講	大学院演習Ⅲ B	SCT802-75j00	1			
DSCT1083	春	大学院演習Ⅳ A	SCT803-75j00	1			
DSCT1084	休講	大学院演習Ⅳ B	SCT804-75j00	1			
DSCT1085	休講	大学院演習Ⅴ A	SCT805-75j00	1			
DSCT1086	秋	大学院演習Ⅴ B	SCT806-75j00	1			
DSCT1551	休講	大学院演習Ⅲ A	SCT801-75j00	1	藤田 正博		
DSCT1552	休講	大学院演習Ⅲ B	SCT802-75j00	1			
DSCT1553	休講	大学院演習Ⅳ A	SCT803-75j00	1			
DSCT1554	休講	大学院演習Ⅳ B	SCT804-75j00	1			
DSCT1555	休講	大学院演習Ⅴ A	SCT805-75j00	1			
DSCT1556	休講	大学院演習Ⅴ B	SCT806-75j00	1			

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名	外国語	備考
DSCT1511	春	大学院演習Ⅲ A	SCT801-75j00	1	南部伸孝		
DSCT1512	秋	大学院演習Ⅲ B	SCT802-75j00	1			
DSCT1513	休講	大学院演習Ⅳ A	SCT803-75j00	1			
DSCT1514	休講	大学院演習Ⅳ B	SCT804-75j00	1			
DSCT1515	休講	大学院演習Ⅴ A	SCT805-75j00	1			
DSCT1516	休講	大学院演習Ⅴ B	SCT806-75j00	1			
DSCT1021	休講	大学院演習Ⅲ A	SCT801-75j00	1	長尾宏隆		
DSCT1022	休講	大学院演習Ⅲ B	SCT802-75j00	1			
DSCT1023	春	大学院演習Ⅳ A	SCT803-75j00	1			
DSCT1024	秋	大学院演習Ⅳ B	SCT804-75j00	1			
DSCT1025	休講	大学院演習Ⅴ A	SCT805-75j00	1			
DSCT1026	休講	大学院演習Ⅴ B	SCT806-75j00	1			
DSCT1111	休講	大学院演習Ⅲ A	SCT801-75j00	1	久世信彦		
DSCT1112	休講	大学院演習Ⅲ B	SCT802-75j00	1			
DSCT1113	休講	大学院演習Ⅳ A	SCT803-75j00	1			
DSCT1114	休講	大学院演習Ⅳ B	SCT804-75j00	1			
DSCT1115	休講	大学院演習Ⅴ A	SCT805-75j00	1			
DSCT1116	休講	大学院演習Ⅴ B	SCT806-75j00	1			
DSCT1291	春	大学院演習Ⅲ A	SCT801-75j00	1	木川田喜一		
DSCT1292	秋	大学院演習Ⅲ B	SCT802-75j00	1			
DSCT1293	休講	大学院演習Ⅳ A	SCT803-75j00	1			
DSCT1294	休講	大学院演習Ⅳ B	SCT804-75j00	1			
DSCT1295	春	大学院演習Ⅴ A	SCT805-75j00	1			
DSCT1296	秋	大学院演習Ⅴ B	SCT806-75j00	1			
DSCT1221	春	大学院演習Ⅲ A	SCT801-75j00	1	早下隆士		
DSCT1222	秋	大学院演習Ⅲ B	SCT802-75j00	1			
DSCT1223	休講	大学院演習Ⅳ A	SCT803-75j00	1			
DSCT1224	休講	大学院演習Ⅳ B	SCT804-75j00	1			
DSCT1225	休講	大学院演習Ⅴ A	SCT805-75j00	1			
DSCT1226	休講	大学院演習Ⅴ B	SCT806-75j00	1			
DSCT1531	休講	大学院演習Ⅲ A	SCT801-75j00	1	中島俊樹		
DSCT1532	休講	大学院演習Ⅲ B	SCT802-75j00	1			
DSCT1533	休講	大学院演習Ⅳ A	SCT803-75j00	1			
DSCT1534	休講	大学院演習Ⅳ B	SCT804-75j00	1			
DSCT1535	休講	大学院演習Ⅴ A	SCT805-75j00	1			
DSCT1536	休講	大学院演習Ⅴ B	SCT806-75j00	1			
DSCT1411	休講	大学院演習Ⅲ A	SCT801-75j00	1	辻元		
DSCT1412	休講	大学院演習Ⅲ B	SCT802-75j00	1			
DSCT1413	休講	大学院演習Ⅳ A	SCT803-75j00	1			
DSCT1414	休講	大学院演習Ⅳ B	SCT804-75j00	1			
DSCT1415	休講	大学院演習Ⅴ A	SCT805-75j00	1			
DSCT1416	休講	大学院演習Ⅴ B	SCT806-75j00	1			
DSCT1271	休講	大学院演習Ⅲ A	SCT801-75j00	1	都築正男		
DSCT1272	休講	大学院演習Ⅲ B	SCT802-75j00	1			
DSCT1273	休講	大学院演習Ⅳ A	SCT803-75j00	1			
DSCT1274	休講	大学院演習Ⅳ B	SCT804-75j00	1			
DSCT1275	休講	大学院演習Ⅴ A	SCT805-75j00	1			
DSCT1276	休講	大学院演習Ⅴ B	SCT806-75j00	1			

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名	外国語	備考
DSCT1011	休講	大学院演習Ⅲ A	SCT801-75j00	1	角 皆 宏		
DSCT1012	休講	大学院演習Ⅲ B	SCT802-75j00	1			
DSCT1013	休講	大学院演習Ⅳ A	SCT803-75j00	1			
DSCT1014	休講	大学院演習Ⅳ B	SCT804-75j00	1			
DSCT1015	休講	大学院演習Ⅴ A	SCT805-75j00	1			
DSCT1016	休講	大学院演習Ⅴ B	SCT806-75j00	1			
DSCT1231	休講	大学院演習Ⅲ A	SCT801-75j00	1	足 立 匡		
DSCT1232	休講	大学院演習Ⅲ B	SCT802-75j00	1			
DSCT1233	春	大学院演習Ⅳ A	SCT803-75j00	1			
DSCT1234	秋	大学院演習Ⅳ B	SCT804-75j00	1			
DSCT1235	休講	大学院演習Ⅴ A	SCT805-75j00	1			
DSCT1236	休講	大学院演習Ⅴ B	SCT806-75j00	1			
DSCT1421	休講	大学院演習Ⅲ A	SCT801-75j00	1	桑 原 英 樹		
DSCT1422	休講	大学院演習Ⅲ B	SCT802-75j00	1			
DSCT1423	休講	大学院演習Ⅳ A	SCT803-75j00	1			
DSCT1424	休講	大学院演習Ⅳ B	SCT804-75j00	1			
DSCT1425	休講	大学院演習Ⅴ A	SCT805-75j00	1			
DSCT1426	休講	大学院演習Ⅴ B	SCT806-75j00	1			
DSCT1431	休講	大学院演習Ⅲ A	SCT801-75j00	1	大 槻 東 巳		
DSCT1432	休講	大学院演習Ⅲ B	SCT802-75j00	1			
DSCT1433	休講	大学院演習Ⅳ A	SCT803-75j00	1			
DSCT1434	休講	大学院演習Ⅳ B	SCT804-75j00	1			
DSCT1435	休講	大学院演習Ⅴ A	SCT805-75j00	1			
DSCT1436	休講	大学院演習Ⅴ B	SCT806-75j00	1			
DSCT1441	休講	大学院演習Ⅲ A	SCT801-75j00	1	江 馬 一 弘		
DSCT1442	休講	大学院演習Ⅲ B	SCT802-75j00	1			
DSCT1443	休講	大学院演習Ⅳ A	SCT803-75j00	1			
DSCT1444	休講	大学院演習Ⅳ B	SCT804-75j00	1			
DSCT1445	休講	大学院演習Ⅴ A	SCT805-75j00	1			
DSCT1446	休講	大学院演習Ⅴ B	SCT806-75j00	1			
DSCT1541	休講	大学院演習Ⅲ A	SCT801-75j00	1	高 柳 和 雄		
DSCT1542	休講	大学院演習Ⅲ B	SCT802-75j00	1			
DSCT1543	休講	大学院演習Ⅳ A	SCT803-75j00	1			
DSCT1544	休講	大学院演習Ⅳ B	SCT804-75j00	1			
DSCT1545	休講	大学院演習Ⅴ A	SCT805-75j00	1			
DSCT1546	休講	大学院演習Ⅴ B	SCT806-75j00	1			
DSCT1501	休講	大学院演習Ⅲ A	SCT801-75j00	1	坂 間 弘		
DSCT1502	休講	大学院演習Ⅲ B	SCT802-75j00	1			
DSCT1503	休講	大学院演習Ⅳ A	SCT803-75j00	1			
DSCT1504	休講	大学院演習Ⅳ B	SCT804-75j00	1			
DSCT1505	休講	大学院演習Ⅴ A	SCT805-75j00	1			
DSCT1506	休講	大学院演習Ⅴ B	SCT806-75j00	1			
DSCT1041	休講	大学院演習Ⅲ A	SCT801-75j00	1	後 藤 貴 行		
DSCT1042	休講	大学院演習Ⅲ B	SCT802-75j00	1			
DSCT1043	休講	大学院演習Ⅳ A	SCT803-75j00	1			
DSCT1044	休講	大学院演習Ⅳ B	SCT804-75j00	1			
DSCT1045	休講	大学院演習Ⅴ A	SCT805-75j00	1			
DSCT1046	休講	大学院演習Ⅴ B	SCT806-75j00	1			

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名	外国語	備考
DSCT1071	休講	大学院演習Ⅲ A	SCT801-75j00	1	岡田邦宏		
DSCT1072	休講	大学院演習Ⅲ B	SCT802-75j00	1			
DSCT1073	休講	大学院演習Ⅳ A	SCT803-75j00	1			
DSCT1074	休講	大学院演習Ⅳ B	SCT804-75j00	1			
DSCT1075	休講	大学院演習Ⅴ A	SCT805-75j00	1			
DSCT1076	休講	大学院演習Ⅴ B	SCT806-75j00	1			
DSCT1101	春	大学院演習Ⅲ A	SCT801-75j00	1	平野哲文		
DSCT1102	秋	大学院演習Ⅲ B	SCT802-75j00	1			
DSCT1103	休講	大学院演習Ⅳ A	SCT803-75j00	1			
DSCT1104	秋	大学院演習Ⅳ B	SCT804-75j00	1			
DSCT1105	春	大学院演習Ⅴ A	SCT805-75j00	1			
DSCT1106	秋	大学院演習Ⅴ B	SCT806-75j00	1			
DSCT1561	休講	大学院演習Ⅲ A	SCT801-75j00	1	星野正光		
DSCT1562	休講	大学院演習Ⅲ B	SCT802-75j00	1			
DSCT1563	休講	大学院演習Ⅳ A	SCT803-75j00	1			
DSCT1564	休講	大学院演習Ⅳ B	SCT804-75j00	1			
DSCT1565	休講	大学院演習Ⅴ A	SCT805-75j00	1			
DSCT1566	休講	大学院演習Ⅴ B	SCT806-75j00	1			
DSCT1451	休講	大学院演習Ⅲ A	SCT801-75j00	1	安増茂樹		
DSCT1452	休講	大学院演習Ⅲ B	SCT802-75j00	1			
DSCT1453	春	大学院演習Ⅳ A	SCT803-75j00	1			
DSCT1454	秋	大学院演習Ⅳ B	SCT804-75j00	1			
DSCT1455	休講	大学院演習Ⅴ A	SCT805-75j00	1			
DSCT1456	休講	大学院演習Ⅴ B	SCT806-75j00	1			
DSCT1491	休講	大学院演習Ⅲ A	SCT801-75j00	1	齊藤玉緒		
DSCT1492	休講	大学院演習Ⅲ B	SCT802-75j00	1			
DSCT1493	休講	大学院演習Ⅳ A	SCT803-75j00	1			
DSCT1494	休講	大学院演習Ⅳ B	SCT804-75j00	1			
DSCT1495	春	大学院演習Ⅴ A	SCT805-75j00	1			
DSCT1496	休講	大学院演習Ⅴ B	SCT806-75j00	1			
DSCT1031	春	大学院演習Ⅲ A	SCT801-75j00	1	千葉篤彦		
DSCT1032	秋	大学院演習Ⅲ B	SCT802-75j00	1			
DSCT1033	休講	大学院演習Ⅳ A	SCT803-75j00	1			
DSCT1034	休講	大学院演習Ⅳ B	SCT804-75j00	1			
DSCT1035	休講	大学院演習Ⅴ A	SCT805-75j00	1			
DSCT1036	休講	大学院演習Ⅴ B	SCT806-75j00	1			
DSCT1061	休講	大学院演習Ⅲ A	SCT801-75j00	1	笹川展幸		
DSCT1062	休講	大学院演習Ⅲ B	SCT802-75j00	1			
DSCT1063	休講	大学院演習Ⅳ A	SCT803-75j00	1			
DSCT1064	休講	大学院演習Ⅳ B	SCT804-75j00	1			
DSCT1065	休講	大学院演習Ⅴ A	SCT805-75j00	1			
DSCT1066	休講	大学院演習Ⅴ B	SCT806-75j00	1			
DSCT1461	休講	大学院演習Ⅲ A	SCT801-75j00	1	神澤信行		
DSCT1462	休講	大学院演習Ⅲ B	SCT802-75j00	1			
DSCT1463	休講	大学院演習Ⅳ A	SCT803-75j00	1			
DSCT1464	休講	大学院演習Ⅳ B	SCT804-75j00	1			
DSCT1465	春	大学院演習Ⅴ A	SCT805-75j00	1			
DSCT1466	秋	大学院演習Ⅴ B	SCT806-75j00	1			

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名	外国語	備考
DSCT1121	休講	大学院演習Ⅲ A	SCT801-75j00	1	新倉 貴子		
DSCT1122	休講	大学院演習Ⅲ B	SCT802-75j00	1			
DSCT1123	休講	大学院演習Ⅳ A	SCT803-75j00	1			
DSCT1124	休講	大学院演習Ⅳ B	SCT804-75j00	1			
DSCT1125	休講	大学院演習Ⅴ A	SCT805-75j00	1			
DSCT1126	休講	大学院演習Ⅴ B	SCT806-75j00	1			
DSCT1311	休講	大学院演習Ⅲ A	SCT801-75j00	1	林 謙介		
DSCT1312	休講	大学院演習Ⅲ B	SCT802-75j00	1			
DSCT1313	休講	大学院演習Ⅳ A	SCT803-75j00	1			
DSCT1314	休講	大学院演習Ⅳ B	SCT804-75j00	1			
DSCT1315	休講	大学院演習Ⅴ A	SCT805-75j00	1			
DSCT1316	休講	大学院演習Ⅴ B	SCT806-75j00	1			
DSCT1471	春	大学院演習Ⅲ A	SCT801-75j00	1	荒井 隆行		注1
DSCT1472	秋	大学院演習Ⅲ B	SCT802-75j00	1			注1
DSCT1473	春	大学院演習Ⅳ A	SCT803-75j00	1			注1
DSCT1474	秋	大学院演習Ⅳ B	SCT804-75j00	1			注1
DSCT1475	春	大学院演習Ⅴ A	SCT805-75j00	1			注1
DSCT1476	秋	大学院演習Ⅴ B	SCT806-75j00	1			注1
DSCT1481	休講	大学院演習Ⅲ A	SCT801-75j00	1	伊呂原 隆		
DSCT1482	休講	大学院演習Ⅲ B	SCT802-75j00	1			
DSCT1483	休講	大学院演習Ⅳ A	SCT803-75j00	1			
DSCT1484	休講	大学院演習Ⅳ B	SCT804-75j00	1			
DSCT1485	休講	大学院演習Ⅴ A	SCT805-75j00	1			
DSCT1486	休講	大学院演習Ⅴ B	SCT806-75j00	1			
DSCT1051	休講	大学院演習Ⅲ A	SCT801-75j00	1	澁谷 智治		
DSCT1052	休講	大学院演習Ⅲ B	SCT802-75j00	1			
DSCT1053	休講	大学院演習Ⅳ A	SCT803-75j00	1			
DSCT1054	休講	大学院演習Ⅳ B	SCT804-75j00	1			
DSCT1055	休講	大学院演習Ⅴ A	SCT805-75j00	1			
DSCT1056	休講	大学院演習Ⅴ B	SCT806-75j00	1			
DSCT1141	休講	大学院演習Ⅲ A	SCT801-75j00	1	田村 恭久		
DSCT1142	休講	大学院演習Ⅲ B	SCT802-75j00	1			
DSCT1143	休講	大学院演習Ⅳ A	SCT803-75j00	1			
DSCT1144	休講	大学院演習Ⅳ B	SCT804-75j00	1			
DSCT1145	春	大学院演習Ⅴ A	SCT805-75j00	1			
DSCT1146	秋	大学院演習Ⅴ B	SCT806-75j00	1			
DSCT1151	春	大学院演習Ⅲ A	SCT801-75j00	1	田中 昌司		
DSCT1152	秋	大学院演習Ⅲ B	SCT802-75j00	1			
DSCT1153	休講	大学院演習Ⅳ A	SCT803-75j00	1			
DSCT1154	休講	大学院演習Ⅳ B	SCT804-75j00	1			
DSCT1155	休講	大学院演習Ⅴ A	SCT805-75j00	1			
DSCT1156	休講	大学院演習Ⅴ B	SCT806-75j00	1			
DSCT1001	休講	大学院演習Ⅲ A	SCT801-75j00	1	ゴンサルベス タッド		
DSCT1002	休講	大学院演習Ⅲ B	SCT802-75j00	1			
DSCT1003	春	大学院演習Ⅳ A	SCT803-75j00	1			
DSCT1004	秋	大学院演習Ⅳ B	SCT804-75j00	1			
DSCT1005	休講	大学院演習Ⅴ A	SCT805-75j00	1			
DSCT1006	休講	大学院演習Ⅴ B	SCT806-75j00	1			

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名	外国語	備考
DSCT1181	休講	大学院演習Ⅲ A	SCT801-75j00	1	高岡詠子		
DSCT1182	休講	大学院演習Ⅲ B	SCT802-75j00	1			
DSCT1183	休講	大学院演習Ⅳ A	SCT803-75j00	1			
DSCT1184	休講	大学院演習Ⅳ B	SCT804-75j00	1			
DSCT1185	休講	大学院演習Ⅴ A	SCT805-75j00	1			
DSCT1186	休講	大学院演習Ⅴ B	SCT806-75j00	1			
DSCT1351	休講	大学院演習Ⅲ A	SCT801-75j00	1	萬代雅希		
DSCT1352	休講	大学院演習Ⅲ B	SCT802-75j00	1			
DSCT1353	休講	大学院演習Ⅳ A	SCT803-75j00	1			
DSCT1354	休講	大学院演習Ⅳ B	SCT804-75j00	1			
DSCT1355	休講	大学院演習Ⅴ A	SCT805-75j00	1			
DSCT1356	休講	大学院演習Ⅴ B	SCT806-75j00	1			

注1) 同教員の「大学院演習Ⅲ A」「大学院演習Ⅳ A」「大学院演習Ⅴ A」は合併科目。
同教員の「大学院演習Ⅲ B」「大学院演習Ⅳ B」「大学院演習Ⅴ B」は合併科目。

5. 研究指導一覧表

ナンバリング	担当教員名	備考
SCT807-75j00	曄道佳明	
	申鉄龍	
	長嶋利夫	
	高井健一	
	鈴木隆	
	久森紀之	休講(春・秋)
	下村和彦	
	高尾智明	休講(春・秋)
	菊池昭彦	
	野村一郎	休講(春・秋)
	宮武昌史	
	谷貝剛	
	中岡俊裕	休講(春・秋)
	小川将克	休講(春・秋)
	林等	休講(春・秋)
	高橋浩	休講(春・秋)
	鈴木教之	休講(春・秋)
	陸川政弘	休講(春・秋)
	竹岡裕子	休講(春・秋)
	内田寛	休講(春・秋)
	高橋和夫	休講(春・秋)
	堀越智	
	藤田正博	休講(春・秋)
	南部伸孝	
	長尾宏隆	
	久世信彦	休講(春・秋)
	木川田喜一	
	早下隆士	
	中島俊樹	休講(春・秋)
	辻元	休講(春・秋)
	都築正男	休講(春・秋)
	角皆宏	休講(春・秋)

ナンバリング	担当教員名	備考
SCT807-75j00	足立 匡	
	桑原 英樹	休講 (春・秋)
	大槻 東巳	休講 (春・秋)
	江馬 一弘	休講 (春・秋)
	高柳 和雄	休講 (春・秋)
	坂間 弘	休講 (春・秋)
	後藤 貴行	休講 (春・秋)
	岡田 邦宏	休講 (春・秋)
	平野 哲文	
	星野 正光	休講 (春・秋)
	安増 茂樹	
	齊藤 玉緒	
	千葉 篤彦	
	笹川 展幸	休講 (春・秋)
	神澤 信行	
	新倉 貴子	休講 (春・秋)
	林 謙介	休講 (春・秋)
	荒井 隆行	
	伊呂原 隆	休講 (春・秋)
	澁谷 智治	休講 (春・秋)
	田村 恭久	
	田中 昌司	
	コンサルベス タクト	
高岡 詠子	休講 (春・秋)	
萬代 雅希	休講 (春・秋)	

地球環境学研究科

- * 国際環境コースのカリキュラムについては、
English-taught Graduate Programs 「BULLETIN OF INFORMATION 2020-2021」を参照

1. 地球環境学研究科の教育研究上の目的及び人材養成の目的

地球環境問題の解決にむけ、高い使命感をもち、社会科学と自然科学の知識を総合し、理論と実践を結び付ける優れた知力・学力を有する人材の育成を目指す。前期課程においては、高度専門的な職業を担う人材と知的素養に優れた人材を、後期課程においては、国際的な水準の地球環境学の教育・研究を目指す人材を養成する。

2. 各専攻のディプロマ・ポリシー

地球環境学専攻

【博士前期課程】

本課程では、地球環境問題や環境学の専門家として、環境関連の社会科学と自然科学についての幅広い専門知識と様々な理論と実践を体得し、持続可能な社会の実現に貢献できると見なされる人材の養成を目的に、学生が修了時に身につけるべき能力や知識を次のように定めています。修了要件を満たし論文審査に合格すれば、これらを身につけた者と認め、学位を授与します。

1. 地球環境問題や環境学についての幅広い専門的知見
2. 地球環境問題や環境学についての幅広い実践的知識
3. 地球環境問題や環境学の解明すべき研究課題に対して、社会科学と自然科学の知識の総合化や理論と実践の結合などによる適切な研究方法及び分析手法を提案できる力。また、自らの主張を論理的に記述し、口頭で伝達することができ、社会に情報を発信する力
4. グローバルな視点と対応能力

【博士後期課程】

本課程では、地球環境学に関する国際レベルの研究能力を有していると認められ、また、自立して研究・開発が遂行でき、持続可能な社会の実現に貢献できると見なされる専門的人材の養成を目的に、学生が修了時に身につけるべき能力や知識を次のように定めています。修了要件を満たし論文審査に合格すれば、これらを身につけた者と認め、学位を授与します。

1. 地球環境問題や環境学についての幅広く、かつ特定の分野・課題についての深い専門的知見
2. 地球環境問題や環境学についての幅広く、かつ特定の分野・課題についての深い実践的知識
3. 地球環境学の解明すべき研究課題に対して、社会科学と自然科学の知識の総合化や理論と実践の結合などによるオリジナリティーのある研究能力を身に付け、自立して研究・開発を行うことができる力。また、自らの主張を論理的に記述し、口頭で伝達することができ、社会に情報を発信することができる力
4. グローバルな視点と対応能力

3. 各専攻のカリキュラム・ポリシー

地球環境学専攻

【博士前期課程】

本課程では、ディプロマ・ポリシーに沿って、地球環境問題や環境学に関する、広範な分野についての専門知識と様々な理論と実践を効果的に体得するよう、以下の趣旨を盛り込んだ科目によってカリキュラムを編成しています。

1. 地球環境問題や環境学が提起する課題が常に自然科学的側面と人文・社会科学的側面をもっていることを踏まえた文理融合型の広範かつコンパクトな見通しの良いカリキュラムとするため、環境法律・政策・社会学、環境経済・経営、環境理工の3つの科目群をバランスよく配置する。
2. 問題を適切に認識するための知的枠組み（ディシプリン）の修得と同時に、問題を解決するための実践的あるいは実務的知識をバランスよく身に付けることが可能なカリキュラムとするため、講義科目や演習・セミナー科目等において、最先端の取り組みや現場における知見を学ぶことができる機会を積極的に取り入れる。
3. 本学の教育の特色である小人数教育による教員と学生の多彩なコミュニケーションが可能なきめ細かな教育が可能なカリキュラムとするため、講義科目や演習・セミナー科目等において、研究・分析方法の修得や発表・意見交換を行う機会を取り入れる。また、修士論文執筆と口頭報告の能力の修得のため、第4学期目の始めに論文構想発表会を配置する。
4. 地球環境問題の解決のための国際協力の必要性が高まる中で、積極的に留学生を受け入れ、国際的に活躍する人材を育成するために、英語のみを用いた講義と指導によるカリキュラムの英語コースを設置するとともに、日本語コースと英語コースの講義科目の枠を越えた相互乗り入れを可能とし、演習・セミナー科目等において様々な国籍の学生が交流しつつ学ぶことができる機会を積極的に提供する。また、社会人が学びやすいように、夜間、土曜日に講義科目を配置し、働きながら必要な単位を履修できるように配慮を行う。

【博士後期課程】

本課程では、ディプロマ・ポリシーに沿って、地球環境問題や環境学に関する、広範な分野についての専門知識と様々な理論と実践を効果的に体得するよう、以下の趣旨を盛り込んだ科目によってカリキュラムを編成しています。

1. 地球環境問題や環境学が提起する課題が常に自然科学的側面と人文・社会科学的側面をもっていることを踏まえた文理融合型の広範かつコンパクトな見通しの良いカリキュラムとするため、環境法律・政策・社会学、環境経済・経営、環境理工の3つの科目群からコースワーク科目をバランスよく配置する。
2. 問題を適切に認識するための知的枠組み（ディシプリン）の修得と同時に、問題を解決するための実践的あるいは実務的知識をバランスよく身につけることが可能なカリキュラムとするため、コースワーク科目や研究指導等において、最先端の取り組みや現場における知見を学ぶことができる機会を積極的に取り入れる。
3. 本学の教育の特色である小人数教育による教員と学生の多彩なコミュニケーションが可能なきめ細かな教育が可能なカリキュラムとするため、コースワーク科目や研究指導等において、研究・分析方法の修得や学会発表等を積極的に取り入れる。また、論文構想発表や資格論文審査などにより、博士論文執筆と口頭報告の能力の修得と提出資格の測定を適切に行う。
4. 地球環境問題の解決のための国際協力の必要性が高まる中で、積極的に留学生を受け入れ、国際的に活躍する人材を育成するために、英語のみを用いた講義と指導によるカリキュラムの英語コースを設置するとともに、日本語コースと英語コースの講義科目の枠を越えた相互乗り入れを可能とし、様々な国籍の学生が交流しつつ学ぶことができる機会を積極的に提供する。また、社会人が学びやすいように、働きながら必要な単位を履修できるように配慮を行う。

1. 修了に要する科目, 単位数, 科目数などの要件

【17年次生以降】

＜修士論文トラック＞

要件項目名	必要単位数	必要科目数	備考（上限, その他）
総単位数	30		
▶選択必修科目 ↳演習/SEMINAR A, B, C, D	8		12単位まで修了単位として修了要件に算入可能
▶選択科目 ↳自専攻科目	22		
↳委託聴講科目			10単位まで修了に必要な単位として認められる
研究指導（必修）		4	単位なし, 在学中毎学期登録される。4科目以上合格すること。 ただし, 早期修了者については, 在学しない学期分は免除される
修士論文			修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず「修士論文」を履修登録すること。必要な研究指導を受けた上, 修士論文の審査および試験に合格すること。

＜修士プロジェクトトラック＞

要件項目名	必要単位数	必要科目数	備考（上限, その他）
総単位数	34		
▶選択必修科目 ↳演習/SEMINAR A, B, C, D	4		8単位までは修了単位として修了要件に算入可能
▶選択科目 ↳自専攻科目	30		
↳委託聴講科目			10単位まで修了に必要な単位として認められる
研究指導（必修）		4	単位なし, 在学中毎学期登録される。4科目以上合格すること。 ただし, 早期修了者については, 在学しない学期分は免除される
修士プロジェクト			最終学期の履修登録期間に「修士プロジェクト」を必ず履修登録すること。必要な研究指導を受けた上, 最終学期にリサーチペーパーを提出し合格すること。

【16年次生】

<修士論文トラック>

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限，その他）
総単位数	30		
・選択必修科目 └─演習 A, B, C, D	8		12単位まで修了単位として修了要件に算入可能
・選択科目 └─自専攻科目	22		
└─委託聴講科目			10単位まで修了に必要な単位として認められる
研究指導（必修）			単位なし，在学中毎学期登録される
修士論文			修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず「修士論文」を履修登録すること。必要な研究指導を受けた上，修士論文の審査および試験に合格すること。

<修士プロジェクトトラック>

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限，その他）
総単位数	34		
・選択必修科目 └─演習 A, B, C, D	4		8単位までは修了単位として修了要件に算入可能
・選択科目 └─自専攻科目	30		
└─委託聴講科目			10単位まで修了に必要な単位として認められる
研究指導（必修）			単位なし，在学中毎学期登録される
修士プロジェクト			最終学期の履修登録期間に「修士プロジェクト」を必ず履修登録すること。必要な研究指導を受けた上，最終学期にリサーチペーパーを提出し合格すること。

【15年次生】

<修士論文トラック>

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限，その他）
総単位数	30		
・必修科目 └─演習 A, B, C, D	8		12単位まで修了単位として修了要件に算入可能
・選択科目 └─自専攻科目	22		
└─委託聴講科目			10単位まで修了に必要な単位として認められる
研究指導（必修）			単位なし，在学中毎学期登録される
修士論文			修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず「修士論文」を履修登録すること。必要な研究指導を受けた上，修士論文の審査および試験に合格すること。

<修士プロジェクトトラック>

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限，その他）
総単位数	34		
・必修科目 ↳演習 A, B, C, D	4		8単位までは修了単位として修了要件に算入可能
・選択科目 ↳自専攻科目	30		
↳委託聴講科目			10単位まで修了に必要な単位として認められる
研究指導（必修）			単位なし，在学中毎学期登録される
修士プロジェクト			最終学期の履修登録期間に「修士プロジェクト」を必ず履修登録すること。必要な研究指導を受けた上，最終学期にリサーチペーパーを提出し合格すること。

【研究指導スケジュール】

各学期の履修計画については，入学時のガイダンスで配布される「地球環境学研究科ハンドブック」を参照すること。

【修士論文審査基準】

1. 問題設定：問題意識が明確で，今日の環境問題を解決するために解明すべきテーマを適切に設定できる。
2. 先行研究の理解：テーマに対する現在までの先行業績，学術研究の到達点を適切に把握している。
3. 独創性：問題にアプローチするための前提としてのオリジナルな仮説を適切に設定することができること，あるいは，独創的な，新しい，ユニークな着想や発想をすることができる。
4. 研究方法：仮説を検証するために独自に収集したデータ，新しい資料の発掘など論証方法に工夫をこらすことができる。またアプローチの仕方として，社会科学や自然科学の複数の領域にまたがる知識の総合化や理論と実践のフィードバックなどの手法を駆使することができる。
5. 論文構成：論文の構成，章立て，立証方法などをわかりやすく構成され整理され，説得力のある論理展開ができ，問題提起，途中の推論，結論を整合させ，自己の分析を総合的に記述することができる。
6. 倫理的配慮：研究方法の適切性に留意し，研究対象に対する適切な倫理的配慮を行うとともに，各種学会，大学等が定める倫理基準を満たすことができる。
7. 形式面：関連する多くの資料を網羅し，出展を明示し，正確な引用ができる。また，優れた文章表現ができ，指定するフォーマットの成果物を得る。
8. 語学力：必要な外国語の知識が身につけている。

【リサーチ・ペーパー審査基準】

1. 問題設定：問題意識が明確で，今日の環境問題を解決するために解明すべきテーマを適切に設定できる。
2. 先行研究の理解：テーマに対する現在までの先行業績，学術研究の到達点を適切に把握している。
3. 研究方法：仮説を検証するために独自に収集したデータ，新しい資料の発掘など論証方法に工夫をこらすことができる。またアプローチの仕方として，社会科学や自然科学の複数の領域にまたがる知識の総合化や理論と実践のフィードバックなどの手法を駆使することができる。
4. リサーチペーパー構成：リサーチペーパーの構成，章立て，立証方法などをわかりやすく構成され整理され，説得力のある論理展開ができ，問題提起，途中の推論，結論を整合させ，自己の分析を総合的に記述することに成功する。
5. 倫理的配慮：研究方法の適切性に留意し，研究対象に対する適切な倫理的配慮を行うとともに，各種学会，大学等が定める倫理基準を満たすことができる。

6. 形式面：関連する多くの資料を網羅し，出展を明示し，正確な引用ができる。また，優れた文章表現ができ，指定するフォーマットの成果物を得る。

7. 語学力：必要な外国語の知識が身についている。

2. 授業科目の編成・単位 【各入学年次共通】

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
演習／SEMINAR A ※注1	(2)	2	
演習／SEMINAR B ※注1	(2)	2	
演習／SEMINAR C ※注1	(2)	2	
演習／SEMINAR D ※注1	(2)	2	
日本の環境法			2
環境リスクマネジメント			2
環境経済学			2
自然環境の経済評価			2
森林環境政策			2
環境政策論			2
環境工学			2
環境汚染の生態リスク			2
環境生態学			2
国際環境法			2
環境経営学			2
地球温暖化対策論			2
地球環境工学論			2
環境研究のための統計学			2

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
ジェンダーと環境			2
環境社会学			2
途上国の環境と開発			2
エネルギーと環境			2
環境行政論			2
環境と消費			2
環境倫理			2
環境教育			2
環境史			2
環境研究のフロンティア			2
環境計画・リスクマネジメント論			2
人健康の環境科学			2
公衆衛生と環境			2
インターンシップ I			2
インターンシップ II			2
(他) 環境法政策 ※注2			2
(他) 比較環境法 ※注2			2

注1：2015年次生以前は必修科目

注2：法科大学院開講科目

英語で実施されている科目

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
ENVIRONMENTAL ECONOMICS			2
ECONOMIC VALUATION OF THE NATURAL ENVIRONMENT			2
STRATEGIC ENVIRONMENTAL MANAGEMENT			2
ENVIRONMENT AND DEVELOPMENT IN DEVELOPING COUNTRIES			2
CLIMATE CHANGE POLICY			2
ENVIRONMENTAL ADMINISTRATION			2
ENVIRONMENTAL POLICY: ANALYSIS AND PRACTICE			2
FRONTIER OF ENVIRONMENTAL STUDIES			2
ENVIRONMENTAL HISTORY			2
JAPANESE ENVIRONMENTAL LAW			2

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
BASIC OCEANOGRAPHY AND GLOBAL ENVIRONMENTAL SCIENCE			2
ENVIRONMENT AND SUSTAINABLE LIFESTYLES			2
ENVIRONMENTAL ECOLOGY			2
ECOLOGICAL RISK ASSESSMENT OF POLLUTANTS			2
ENVIRONMENTAL ASSESSMENT			2
ENVIRONMENTAL PLANNING			2
GLOBAL ENVIRONMENT OUTLOOK			2
JAPANESE EXPERIENCES IN ENVIRONMENTAL MANAGEMENT			2
CLIMATE, OCEAN AND ENVIRONMENT			2
MARINE ENVIRONMENTAL POLICY			2

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
ASIAN ENVIRONMENTAL STUDIES			4
BUSINESS STRATEGIES FOR SUSTAINABILITY			2
ENVIRONMENTAL RESOURCE MANAGEMENT POLICY			2
GLOBAL FOREST CONSERVATION POLICY			2
INTRODUCTION TO ENVIRONMENTAL ACCOUNTING			2
WASTE MANAGEMENT IN ASIA			2
ENERGY AND ENVIRONMENTAL TECHNOLOGY			2
URBAN SYSTEMS DESIGN OF SMART CITIES FOR ACHIEVING SDGS			2
LANDSCAPE MANAGEMENT AND SUSTAINABLE TOURISM			2
ENVIRONMENTAL SCIENCE OF HUMAN HEALTH			2
PUBLIC HEALTH AND ENVIRONMENT			2
ENGINEERING OF RECYCLING			2

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
DIVERSITY AND DISASTER RISK GOVERNANCE			2
CORPORATE FINANCE *1			4
ENGLISH FOR SCIENCE / ENGINEERING A*2			2
ENGLISH FOR SCIENCE / ENGINEERING B*2			2
ENVIRONMENTAL CHEMISTRY *2			2
ENVIRONMENTAL LIFE SCIENCE *2			2
ENVIRONMENTAL BASIC BIOLOGY *2			2
GREEN SCIENCE AND ENGINEERING 1 *2			2
GREEN SCIENCE AND ENGINEERING 2 *2			2
GREEN SCIENCE AND ENGINEERING 3 *2			2
GREEN SCIENCE AND ENGINEERING 4 *2			2

*1：経済学専攻開講科目

*2：理工学専攻開講科目

3. 履修上の注意

各学期の履修計画については、入学時のガイダンスで配布される「地球環境学研究科ハンドブック」を参照すること。

【17年次生以降】

1) 修了要件

入学当初は修士論文トラックに登録されている。修士プロジェクトトラックへの変更を希望する場合は所定の期間に所定の書式で希望する指導教員に申し出ること。20年次生以降の学生は入学当初に修士論文トラックまたは修士プロジェクトトラックを選択する。

A. 修士論文トラック

- ① 「演習／SEMINAR」を計8単位修得すること（選択必修）。履修の順番は問わないが、最低4単位は指導教員の「演習／SEMINAR」を履修すること。担当者が異なる同一科目を複数履修してもよい。その場合、12単位までは修了単位として修了要件に算入可能とし、4単位までを選択科目の単位に充当する。なお、同一担当者の同一科目の重複履修分については、特別な事情が認められない限り、修了要件への算入不可とする。
- ② 選択科目22単位を修得すること。
- ③ 「研究指導」（必修）を在学中毎学期受けること。「1. 修了に要する科目、単位数、科目数などの要件」を参照すること。
- ④ 最終学期に「修士論文」を履修登録し、必要な研究指導を受けた上で、修士論文の審査および試験に合格すること。

B. 修士プロジェクトトラック

- ① 指導教員の「演習／SEMINAR」を計4単位履修すること（選択必修）。履修の順番は問わない。担当者が異なる同一科目を複数履修してもよい。その場合、8単位までは修了単位として修了要件に算入可能とし、4単位まで

を選択科目の単位に充当する。なお、同一担当者の同一科目の重複履修分については、特別な事情が認められない限り、修了要件への算入を不可とする。

- ② 選択科目 30 単位を修得すること。
- ③ 「研究指導」(必修)を在学中毎学期受けること。「1. 修了に要する科目, 単位数, 科目数などの要件」を参照すること。
- ④ 最終学期に修士プロジェクトを履修登録し, リサーチペーパーを提出すること。

【16 年次生】

1) 修了要件

入学当初は修士論文トラックに登録されている。修士プロジェクトトラックへの変更を希望する場合は所定の期間に所定の書式で希望する指導教員に申し出ること。

A. 修士論文トラック

- ① 「演習」もしくは Seminar を計 8 単位修得すること (選択必修) *。履修の順番は問わないが, 最低 4 単位は指導教員の演習もしくは Seminar を履修すること。担当者が異なる同一科目を複数履修してもよい。その場合, 12 単位までは修了単位として修了要件に算入可能とし, 4 単位までを選択科目の単位に充当する。なお, 同一担当者の同一科目の重複履修分については, 特別な事情が認められない限り, 修了要件への算入不可とする。
※2017 年度より「演習」および Seminar は「演習/SEMINAR」に名称変更している。履修方法は「2) 履修にあたっての注意」を参照すること。
- ② 選択科目 22 単位を修得すること。
- ③ 研究指導 (必修) を在学中毎学期受けること。
- ④ 最終学期に「修士論文」を履修登録し, 必要な研究指導を受けた上で, 修士論文の審査および試験に合格すること。

B. 修士プロジェクトトラック

- ① 指導教員の「演習」もしくは Seminar を計 4 単位履修すること (選択必修) *。履修の順番は問わない。担当者が異なる同一科目を複数履修してもよい。その場合, 8 単位までは修了単位として修了要件に算入可能とし, 4 単位までを選択科目の単位に充当する。なお, 同一担当者の同一科目の重複履修分については, 特別な事情が認められない限り, 修了要件への算入を不可とする。
※2017 年度より「演習」および Seminar は「演習/SEMINAR」に名称変更している。履修方法は「2) 履修にあたっての注意」を参照すること。
- ② 選択科目 30 単位を修得すること。
- ③ 研究指導 (必修) を在学中毎学期受けること。
- ④ 最終学期に修士プロジェクトを履修登録し, リサーチペーパーを提出すること。

【15 年次生】

1) 修了要件

入学当初は修士論文トラックに登録されている。修士プロジェクトトラックへの変更を希望する場合は所定の期間に所定の書式で希望する指導教員に申し出ること。

A. 修士論文トラック

- ① 「演習」もしくは Seminar を計 8 単位修得すること (必修) *。履修の順番は問わないが, 最低 4 単位は指導教員の演習もしくは Seminar を履修すること。担当者が異なる同一科目を複数履修してもよい。その場合, 12 単位までは修了単位として修了要件に算入可能とし, 4 単位までを選択科目の単位に充当する。なお, 同一担当者の同一科目の重複履修分については, 特別な事情が認められない限り, 修了要件への算入不可とする。

※2017年度より「演習」および Seminar は「演習／SEMINAR」に名称変更している。履修方法は「2）履修にあたっての注意」を参照すること。

- ② 選択科目 22 単位を修得すること。
- ③ 研究指導（必修）を在学中毎学期受けること。
- ④ 最終学期に「修士論文」を履修登録し、必要な研究指導を受けた上で、修士論文の審査および試験に合格すること。

B.修士プロジェクトトラック

- ① 指導教員の「演習」もしくは Seminar を計 4 単位履修すること（必修）*。履修の順番は問わない。担当者が異なる同一科目を複数履修してもよい。その場合、8 単位までは修了単位として修了要件に算入可能とし、4 単位までを選択科目の単位に充当する。なお、同一担当者の同一科目の重複履修分については、特別な事情が認められない限り、修了要件への算入を不可とする。

※2017年度より「演習」および Seminar は「演習／SEMINAR」に名称変更している。履修方法は「2）履修にあたっての注意」を参照すること。

- ② 選択科目 30 単位を修得すること。
- ③ 研究指導（必修）を在学中毎学期受けること。
- ④ 最終学期に修士プロジェクトを履修登録し、リサーチペーパーを提出すること。

2) 履修にあたっての注意

- ① 2017 年度より「演習」および Seminar は「演習／SEMINAR」に名称変更している。
- ② 2015 年度～2016 年度の入学者は「演習 A, B, C, D」, 「SEMINAR I, II, III, IV」を未履修の場合、代わりに「演習／SEMINAR A, B, C, D」を履修する。ただし、同一担当者の同一科目の重複履修分については修了要件への算入不可とする。
- ③ 同じ名称の科目は担当者が異なる場合でも、再度履修することはできない。
- ④ 下記の科目は名称変更を行ったが、内容は同じであるので、再度履修することはできない。

2017 年度以降	2016 年度以前
Waste Management in Asia	Recycling Systems in Asia
Environmental Ecology	Ecology and the Environment
Ecological Risk Assessment of Pollutants	Chemical Substances and the Environment
Climate, Ocean and Environment	Ocean and Environment
環境生態学	生物と環境
環境汚染の生態リスク	化学物質と環境

- ⑤ 「インターンシップ I」及び「同 II」を履修する場合、必ず履修登録期間中に登録を行う。希望者は、まず担当教員に事前に相談すること。また、専攻が別途指定する期日までに実習を修了し、報告書を提出すること。それができないことが明らかになった場合、速やかに学事センターにて登録削除の手続きを行うこと。尚、評価は P 又は X とする。
- ⑥ 2015 年度以前の入学者は演習が「必修科目」のため、原則履修中止は認められない。ただし、演習／SEMINAR を「選択科目」として履修している場合のみ、履修中止することが可能。履修中止を希望する場合は、履修中止期間中に、申請をすること。

4. 開講科目一覧表 【各入学年次共通】

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他)：他専攻教員 *：非常勤教員	外国語	備考
MGGE8011	春	演習／SEMINAR A	ENV501-94e00	2	PUTHENKALAM John Joseph	○	
MGGE8012	春	演習／SEMINAR B	ENV502-94j00	2	ブテンカラム ジョンジョセフ		
MGGE8021	春	演習／SEMINAR A	ENV505-94e00	2	McDONALD Anne	○	
MGGE8022	春	演習／SEMINAR B	ENV506-94e00	2	McDONALD Anne	○	
MGGE8031	春	演習／SEMINAR A	ENV509-94e00	2	HUANG Guangwei	○	
MGGE8032	春	演習／SEMINAR B	ENV510-94e00	2	HUANG Guangwei	○	
MGGE8041	春	演習／SEMINAR A	ENV537-94j00	2	井上直己		
MGGE8042	春	演習／SEMINAR B	ENV538-94e00	2	INOUE Naomi	○	
MGGE8051	春	演習／SEMINAR A	ENV513-94e00	2	SHIBATA Shingo	○	
MGGE8052	春	演習／SEMINAR B	ENV514-94j00	2	柴田晋吾		
MGGE8061	春	演習／SEMINAR A	ENV517-94j00	2	織朱實		
MGGE8062	春	演習／SEMINAR B	ENV518-94e00	2	ORI Akemi	○	
MGGE8071	春	演習／SEMINAR A	ENV521-94j00	2	田中嘉成		
MGGE8072	春	演習／SEMINAR B	ENV522-94e00	2	TANAKA Yoshinari	○	
MGGE8081	春	演習／SEMINAR A	ENV525-94e00	2	HIRAO Keiko	○	
MGGE8082	春	演習／SEMINAR B	ENV526-94j00	2	平尾桂子		
MGGE8091	休講	演習／SEMINAR A	ENV529-94e00	2		○	
MGGE8092	休講	演習／SEMINAR B	ENV530-94e00	2		○	
MGGE8111	春	演習／SEMINAR A	ENV541-94e00	2	ANNO Sumiko	○	
MGGE8112	春	演習／SEMINAR B	ENV542-94j00	2	安納住子		
MGGE8121	春	演習／SEMINAR A	ENV545-94e00	2	TSUGE Takahiro	○	
MGGE8122	春	演習／SEMINAR B	ENV546-94e00	2	柘植隆宏		
MGGE6000	春	日本の環境法	ENV623-94j00	2	織朱實		隔週開講
MGGE6002	春	環境行政論	ENV627-94j00	2	井上直己		
MGGE6045	休講	環境政策論	ENV626-94j00	2			
MGGE6060	休講	環境工学	ENV603-94j00	2			隔年開講
MGGE6080	休講	環境経営学	ENV622-94j00	2			
MGGE7210	春	エネルギーと環境	ENV604-94j00	2	*木村浩		隔週開講
MGGE7240	春	環境と消費	ENV617-94j00	2	*中原秀樹		
MGGE7270	春	環境倫理	ENV605-94j00	2	*鬼頭秀一		
MGGE7290	春	環境教育	ENV611-94j00	2	(他)吉川まみ		
MGGE7370	春	地球環境工学論	ENV612-94j00	2	*大坪國順		隔年開講
MGGE7390	春	環境研究のための統計学	ENV613-94j00	2	平尾桂子		
MGGE7420	春	環境史	ENV618-94j00	2	まくどなるど・あん		
MGGE7570	春	環境生態学	ENV629-94j00	2	田中嘉成		
MGGE7590	春	環境経済学	ENV669-94j00	2	柘植隆宏		
MGGE7610	春	インターンシップ I	ENV619-94j00	2	田中嘉成		春学期集中 ※
MGGE7630	春	環境計画・リスクマネジメント論	ENV616-94j00	2	黄光偉		
MGGE7700	春	人健康の環境科学	ENV630-94j00	2	安納住子		
MGGE9010	春	修士論文	ENV668-94j00	0	地球環境学専攻 各指導教員		
MGGE9550	春	修士プロジェクト	ENV665-94j00	0	地球環境学専攻 各指導教員		
LWS54100	春	環境法政策	ENL702-10j00	2	(他)北村喜宣		(他)法科大学院

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他)：他専攻教員 *：非常勤教員	外国語	備考
MGGE801A	秋	演習／SEMINAR C	ENV503-94e00	2	PUTHENKALAM John Joseph	○	
MGGE801B	秋	演習／SEMINAR D	ENV504-94j00	2	プテンカラム ジョンジョセフ		
MGGE802A	秋	演習／SEMINAR C	ENV507-94e00	2	McDONALD Anne	○	
MGGE802B	秋	演習／SEMINAR D	ENV508-94e00	2	McDONALD Anne	○	
MGGE803A	秋	演習／SEMINAR C	ENV511-94e00	2	HUANG Guangwei	○	
MGGE803B	秋	演習／SEMINAR D	ENV512-94e00	2	HUANG Guangwei	○	
MGGE804A	秋	演習／SEMINAR C	ENV539-94j00	2	井上直己		
MGGE804B	秋	演習／SEMINAR D	ENV540-94e00	2	INOUE Naomi	○	
MGGE805A	秋	演習／SEMINAR C	ENV515-94j00	2	SHIBATA Shingo	○	
MGGE805B	秋	演習／SEMINAR D	ENV516-94j00	2	柴田晋吾		
MGGE806A	秋	演習／SEMINAR C	ENV519-94j00	2	織朱實		
MGGE806B	秋	演習／SEMINAR D	ENV520-94e00	2	ORI Akemi	○	
MGGE807A	秋	演習／SEMINAR C	ENV523-94j00	2	田中嘉成		
MGGE807B	秋	演習／SEMINAR D	ENV524-94e00	2	TANAKA Yoshinari	○	
MGGE808A	秋	演習／SEMINAR C	ENV527-94e00	2	HIRAO Keiko	○	
MGGE808B	秋	演習／SEMINAR D	ENV528-94j00	2	平尾桂子		
MGGE809A	休講	演習／SEMINAR C	ENV531-94e00	2		○	
MGGE809B	休講	演習／SEMINAR D	ENV532-94e00	2		○	
MGGE811A	秋	演習／SEMINAR C	ENV543-94e00	2	ANNO Sumiko	○	
MGGE811B	秋	演習／SEMINAR D	ENV544-94j00	2	安納住子		
MGGE812A	秋	演習／SEMINAR C	ENV547-94e00	2	TSUGE Takahiro	○	
MGGE812B	秋	演習／SEMINAR D	ENV548-94j00	2	柘植隆宏		
MGGE6025	秋	環境リスクマネジメント	ENV624-94j00	2	織朱實		
MGGE6035	秋	国際環境法	ENV625-94j00	2	*鈴木詩衣菜		
MGGE6070	秋	森林環境政策	ENV621-94j00	2	柴田晋吾		
MGGE7120	秋	地球温暖化対策論	ENV610-94j00	2	井上直己		
MGGE7180	秋	環境社会学	ENV606-94j00	2	平尾桂子		隔年開講
MGGE7200	秋	途上国の環境と開発	ENV609-94j00	2	プテンカラム ジョンジョセフ		隔年開講
MGGE7300	秋	環境研究のフロンティア	ENV607-94j00	2	コーディネータ 田中嘉成		輪講，隔年開講
MGGE7410	休講	ジェンダーと環境	ENV614-94j00	2			隔年開講
MGGE7560	秋	環境汚染の生態リスク	ENV628-94j00	2	田中嘉成		
MGGE7600	秋	自然環境の経済評価	ENV670-94e00	2	柘植隆宏		
MGGE7620	秋	インターンシップⅡ	ENV620-94j00	2	田中嘉成		秋学期集中 ※
MGGE7705	秋	公衆衛生と環境	ENV631-94j00	2	安納住子		
MGGE9020	秋	修士論文	ENV668-94j00	0	地球環境学専攻 各指導教員		
MGGE9560	秋	修士プロジェクト	ENV665-94j00	0	地球環境学専攻 各指導教員		
LWS54600	休講	比較環境法	ENL707-10j00	2			(他) 法科大学院 隔年開講

※集中講義については、別途掲示で日時・教室を必ず確認すること。

英語で実施されている科目一覧

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他) : 他専攻教員 * : 非常勤教員 Co) : coordinator	外国語	備考
MGGE7641	SPR	ENVIRONMENTAL ADMINISTRATION	ENV650-94e00	2	INOUE Naomi	○	
MGGE7655	SPR	JAPANESE ENVIRONMENTAL LAW	ENV648-94e00	2	ORI Akemi	○	
MGGE7660	SPR	LANDSCAPE MANAGEMENT AND SUSTAINBLE TOURISM	ENV660-94e00	2	* POGGENDORF Lorenz	○	
MGGE7670	SPR	ENVIRONMENTAL SCIENCE OF HUMAN HEALTH	ENV662-94e00	2	ANNO Sumiko	○	
MGGE7690	SPR	INTRODUCTION TO ENVIRONMENTAL ACCOUNTING	ENV643-94e00	2	* MURAI Hideki	○	
MGGE7695	2Q	ASIAN ENVIRONMENTAL STUDIES *1	ENV661-94e00	4	HUANG Guangwei	○	Intensive course *2
MGGE7770	SPR	ENVIRONMENTAL ASSESSMENT	ENV641-94e00	2	HUANG Guangwei	○	
MGGE7795	SPR	MARINE ENVIRONMENTAL POLICY	ENV646-94e00	2	McDONALD Anne	○	
MGGE7820	SPR	ENVIRONMENTAL ECOLOGY	ENV651-94e00	2	TANAKA Yoshinari	○	
MGGE7840	SPR	ENVIRONMENTAL ECONOMICS	ENV674-94e00	2	TSUGE Takahiro	○	
MGGE7865	SPR	BASIC OCEANOGRAPHY AND GLOBAL ENVIRONMENTAL SCIENCE	ENV654-94e00	2	Co) McDONALD Anne	○	Team-taught course
MGGE7890	Not Offered	CLIMATE, OCEAN AND ENVIRONMENT	ENV658-94e00	2		○	
MGGE7980	Not Offered	BUSINESS STRATEGIES FOR SUSTAINABILITY	ENV645-94e00	2		○	
MGGE7990	Not Offered	ENVIRONMENTAL RESOURCE MANAGEMENT POLICY	ENV644-94e00	2		○	
MSCT7025	SPR	ENGLISH FOR SCIENCE / ENGINEERING A	SCT513-75e00	2	DZIEMINSKA Edyta	○	(other) Grad. Program in Science and Technology
MSGR7170	SPR	ENVIRONMENTAL BASIC BIOLOGY	BI0503-75e00	2	ARAKI Tsuyoshi	○	(other) Grad. Program in Science and Technology Team-taught course
MSGR7180	Not Offered	ENVIRONMENTAL LIFE SCIENCE	BI0504-75e00	2		○	(other) Grad. Program in Science and Technology Team-taught course
MSGR7020	SPR	GREEN SCIENCE AND ENGINEERING 2	GSE504-75e00	2	KUZE Nobuhiko / Others	○	(other) Grad. Program in Science and Technology
MSGR7040	Not Offered	GREEN SCIENCE AND ENGINEERING 4	GSE506-75e00	2		○	(other) Grad. Program in Science and Technology
MGGE7650	AUT	GLOBAL ENVIRONMENT OUTLOOK	ENV634-94e00	2	HUANG Guangwei	○	
MGGE7680	AUT	ENVIRONMENT AND SUSTAINABLE LIFESTYLES	ENV635-94e00	2	HIRAO Keiko	○	
MGGE7685	Not Offered	ENERGY AND ENVIRONMENTAL TECHNOLOGY	ENV647-94e00	2		○	
MGGE7710	AUT	JAPANESE EXPERIENCES IN ENVIRONMENTAL MANAGEMENT	ENV637-94e00	2	* ASAEDA Takashi	○	

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他)：他専攻教員 *：非常勤教員 Co)：coordinator	外国語	備考
MGGE7730	Not Offered	ENVIRONMENT AND DEVELOPMENT IN DEVELOPING COUNTRIES	ENV639-94e00	2		○	
MGGE7740	AUT	PUBLIC HEALTH AND ENVIRONMENT	ENV663-94e00	2	ANNO Sumiko	○	
MGGE7750	AUT	ENVIRONMENTAL PLANNING	ENV640-94e00	2	HUANG Guangwei	○	
MGGE7760	AUT	URBAN SYSTEMS DESIGN OF SMART CITIES FOR ACHIEVING SDGS	ENV671-94e00	2	*YAMAGATA Yoshiki	○	Every other week
MGGE7780	AUT	ENGINEERING OF RECYCLING	ENV672-94e00	2	Co) ORI Akemi	○	Team-taught course
MGGE7790	AUT	DIVERSITY AND DISASTER RISK GOVERNANCE	ENV673-94e00	2	*STEELE Jackie	○	
MGGE7800	AUT	GLOBAL FOREST CONSERVATION POLICY	ENV636-94e00	2	SHIBATA Shingo	○	
MGGE7810	AUT	ENVIRONMENTAL HISTORY	ENV633-94e00	2	McDONALD Anne	○	
MGGE7830	AUT	ECOLOGICAL RISK ASSESSMENT OF POLLUTANTS	ENV652-94e00	2	TANAKA Yoshinari	○	
MGGE7835	AUT	ENVIRONMENTAL POLICY : ANALYSIS AND PRACTICE	ENV653-94e00	2	McDONALD Anne	○	
MGGE7850	AUT	ECONOMIC VALUATION OF THE NATURAL ENVIRONMENT	ENV675-94e00	2	TSUGE Takahiro	○	
MGGE7855	AUT	WASTE MANAGEMENT IN ASIA	ENV657-94e00	2	ORI Akemi	○	
MGGE7875	Not Offered	FRONTIER OF ENVIRONMENTAL STUDIES	ENV655-94e00	2		○	Every other year Team-taught course
MGGE7940	AUT	CLIMATE CHANGE POLICY	ENV649-94e00	2	INOUE Naomi	○	
MGGE7960	Not Offered	STRATEGIC ENVIRONMENTAL MANAGEMENT	ENV642-94e00	2		○	
MEEC7190	AUT	CORPORATE FINANCE	ECN537-55e00	4	KAWANISHI Satoshi	○	(other) Grad. Program in Economics
MSGR7090	Not Offered	ENVIRONMENTAL CHEMISTRY	ACH503-75e00	2		○	(other) Grad. Program in Science and Technology
MSCT7045	AUT	ENGLISH FOR SCIENCE / ENGINEERING B	SCT514-75e00	2	TRIHAN Fabien	○	(other) Grad. Program in Science and Technology
MSGR7010	Not Offered	GREEN SCIENCE AND ENGINEERING 1	GSE503-75e00	2		○	(other) Grad. Program in Science and Technology
MSGR7030	AUT	GREEN SCIENCE AND ENGINEERING 3	GSE505-75e00	2	GONSALVES Tad / Others	○	(other) Grad. Program in Science and Technology

*1: Course registration for “Asian Environmental Studies” is accepted during the course registration period. However, if the numbers of students who register for the course exceed the course capacity, the instructor will select the students who can take the course. Students who were not selected must withdraw from the course during the withdrawal period. This course is offered for second- and third- semester students in the M.A. Program and graded either P or X.

*2: For Intensive Courses, you must check the schedule and classroom on Loyola Bulletin Board (Academic Service).

5. 研究指導一覧表 【各入学年次共通】

ナンバリング	担当教員名	備考
ENV664-94j00	織 朱 實	
	田 中 嘉 成	
	柴 田 晋 吾	
	平 尾 桂 子	
	まくどなるど・あん	
	黄 光 偉	
	ブテンカラム ジョンジョセフ	
	鈴木政史	
	安納住子	
	柘植隆宏	
	井上直己	

6. 早期修了制度

【20年次生以降】

- ① 早期修了制度は修士論文トラック，修士プロジェクトトラックともに適用される。
- ② 早期修了希望者は修了を希望する最終学期（2学期もしくは3学期め）の履修登録期間中に，「早期修了希望届」を地球環境学研究科事務室に提出し，早期修了希望者として登録すること。
- ③ 修了に必要な単位をすべて修得することとし，かつGPAが3.8以上あること。
- ④ 修士論文もしくはリサーチペーパーの評価がAであること。

【19年次生以前】

- ① 早期修了制度は修士論文トラックにのみ適用される。
- ② 早期修了希望時期の遅くとも1年前に研究科委員長に申し出て，早期修了希望者として登録すること。
- ③ 修了に必要な単位をすべて修得することとし，かるGPAが3.8以上であること。
- ④ 修士論文の評価がAであること。

地球環境学専攻 博士後期課程

1. 修了に要する科目, 単位数, 科目数などの要件

【18年次生以降】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限, その他）
総単位数			
・必修科目			
・選択科目	6		
研究指導（必修）		6	単位なし, 在学中毎学期登録される。6科目以上合格すること。
博士論文			必要な研究指導を受けた上, 博士論文の審査および試験に合格すること

【17年次生】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限, その他）
総単位数			
・必修科目			
・選択科目			
研究指導（必修）		6	単位なし, 在学中毎学期登録される。6科目以上合格すること。
博士論文			必要な研究指導を受けた上, 博士論文の審査および試験に合格すること

【16年次生以前】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限, その他）
総単位数			
・必修科目			
・選択科目			
研究指導（必修）			単位なし, 在学中毎学期登録される。
博士論文			必要な研究指導を受けた上, 博士論文の審査および試験に合格すること

【研究指導スケジュール】

各学期の履修計画については, 入学時のガイダンスで配布される「地球環境学研究科ハンドブック」を参照すること。

【博士論文審査基準】

自立した研究者として研究を継続続行し, 当該分野・領域の研究において, 将来にわたり独自の貢献を行うことができる能力を有することが認められ, 以下の基準を高い水準で満たしていること。

1. 問題設定：問題意識が明確で, 今日の問題を解決するために解明すべきテーマを適切に設定できる。
2. 先行研究の理解：テーマに対する現在までの先行業績, 学術研究の到達点を適切に把握している。
3. 独創性：問題にアプローチするための前提としてのオリジナルな仮説を適切に設定することができること, あるいは, 独創的な, 新しい, ユニークな着想や発想をすることができる。

4. 研究方法：仮説を検証するために独自に収集したデータ、新しい資料の発掘など論証方法に工夫をこらすことができる。またアプローチの仕方として、社会科学や自然科学の複数の領域にまたがる知識の総合化や理論と実践のフィードバックなどの手法を駆使することができる。
5. 論文構成：論文の構成、章立て、立証方法などをわかりやすく構成され整理され、説得力のある論理展開ができ、問題提起、途中の推論、結論を整合させ、自己の分析を総合的に記述することに成功する。
6. 倫理的配慮：研究方法の適切性に留意し、研究対象に対する適切な倫理的配慮を行うとともに、各種学会、大学等が定める倫理基準を満たすことができる。
7. 形式面：関連する多くの資料を網羅し、出展を明示し、正確な引用ができる。また、優れた文章表現ができ、指定するフォーマットの成果物を得る。
8. 語学力：必要な外国語の知識が身につけている。

2. 授業科目の編成・単位

科 目 名	単 位 数		
	必修	選必	選択
研究指導 ※	0		
環境生態学特論			2
日本の環境法特論			2
森林環境政策特論			2
環境社会学特論			2
人健康の環境科学特論			2
自然環境の経済評価特論			2
ADVANCED BUSINESS STRATEGIES FOR SUSTAINABILITY			2
ADVANCED ENVIRONMENTAL POLICY: ANALYSIS AND PRACTICE			2
ADVANCED GLOBAL ENVIRONMENT OUTLOOK			2
ADVANCED ENVIRONMENTAL PLANNING			2
ADVANCED ENVIRONMENT AND DEVELOPMENT IN DEVELOPING COUNTRIES			2
ADVANCED ECOLOGICAL RISK ASSESSMENT OF POLLUTANTS			2
ADVANCED WASTE MANAGEMENT IN ASIA			2
GLOBAL FOREST CONSERVATION POLICY II			2
ADVANCED STRATEGIC ENVIRONMENTAL MANAGEMENT			2
ADVANCED MARINE ENVIRONMENTAL POLICY			2
ADVANCED ENVIRONMENTAL ASSESSMENT			2
ADVANCED PUBLIC HEALTH AND ENVIRONMENT			2
ADVANCED ECONOMIC VALUATION OF THE NATURAL ENVIRONMENT			2

3. 履修上の注意

各学期の研究計画及び論文要件については、入学時のガイダンスで配布される「地球環境学研究科ハンドブック」を参照すること。

- ① 学期間中は指導教員担当の「研究指導（必修）」を毎学期受けること。なお、2017年次生以降の学生については、必要な合格科目数も定められている。「1. 修了に要する科目、単位数、科目数などの要件」を参照すること。
- ② 博士論文提出資格論文の審査に合格した上で、定められた手続きにより博士論文を提出し、審査および試験に合格しなければならない。

【18年次生以降】

- ① 在学期間中は指導教員の科目を含め、6単位以上取得すること。

4. 開講科目一覧表 【各入学年次共通】

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他)：他専攻教員 *：非常勤教員	外国語	備考
DGGE7010	春	環境生態学特論	ENV802-94j00	2	田中嘉成		
DGGE7030	春	日本の環境法特論	ENV803-94j00	2	織朱實		隔週開講
DGGE7050	秋	森林環境政策特論	ENV804-94j00	2	柴田晋吾		
DGGE7060	秋	環境社会学特論	ENV805-94j00	2	平尾桂子		隔年開講
DGGE7190	春	人健康の環境科学特論	ENV817-94j00	2	安納住子		
DGGE7210	秋	自然環境の経済評価特論	ENV821-94e00	2	柘植隆宏		
DGGE7070	Not Offered	ADVANCED BUSINESS STRATEGIES FOR SUSTAINABILITY	ENV806-94e00	2		○	
DGGE7080	SPR	ADVANCED MARINE ENVIRONMENTAL POLICY	ENV807-94e00	2	McDONALD Anne	○	
DGGE7090	SPR	ADVANCED ENVIRONMENTAL ASSESSMENT	ENV808-94e00	2	HUANG Guangwei	○	
DGGE7110	Not Offered	ADVANCED STRATEGIC ENVIRONMENTAL MANAGEMENT	ENV809-94e00	2		○	
DGGE7120	AUT	ADVANCED ENVIRONMENTAL POLICY : ANALYSIS AND PRACTICE	ENV810-94e00	2	McDONALD Anne	○	
DGGE7130	AUT	GLOBAL FOREST CONSERVATION POLICY II	ENV811-94e00	2	SHIBATA Shingo	○	
DGGE7140	AUT	ADVANCED GLOBAL ENVIRONMENT OUTLOOK	ENV812-94e00	2	HUANG Guangwei	○	
DGGE7160	AUT	ADVANCED WASTE MANAGEMENT IN ASIA	ENV814-94e00	2	ORI Akemi	○	
DGGE7170	Not Offered	ADVANCED ENVIRONMENT AND DEVELOPMENT IN DEVELOPING COUNTRIES	ENV815-94e00	2		○	
DGGE7180	AUT	ADVANCED ECOLOGICAL RISK ASSESSMENT OF POLLUTANTS	ENV816-94e00	2	TANAKA Yoshinari	○	
DGGE7200	AUT	ADVANCED PUBLIC HEALTH AND ENVIRONMENT	ENV818-94e00	2	ANNO Sumiko	○	
DGGE7220	AUT	ADVANCED ECONOMIC VALUATION OF THE NATURAL ENVIRONMENT	ENV822-94e00	2	TSUGE Takahiro	○	
DGGE7230	AUT	ADVANCED ENVIRONMENTAL PLANNING	ENV823-94e00	2	HUANG Guangwei	○	

5. 研究指導一覧表 【各入学年次共通】

ナンバリング	担当教員名	備考
ENV819-94j00	織 朱 實	
	田 中 嘉 成	
	柴 田 晋 吾	
	平 尾 桂 子	
	まくどなるど・あん	
	ブテンカラム ジョンジョセフ	
	黄 光 偉	
	鈴 木 政 史	
	安 納 住 子	
	柘 植 隆 宏	
	井 上 直 己	